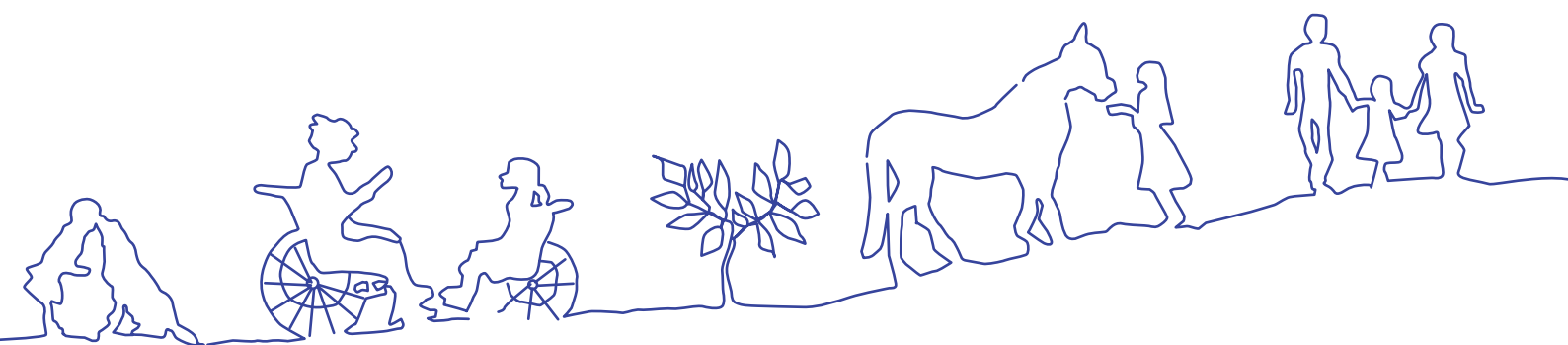


# 地域連携研究

帝京科学大学地域連携推進センター年報

第2巻





## 和太鼓の演奏における地域交流を対象とした地域連携活動の実践

恩田翔央・菊池康平・山田春菜・吉岡和香・長谷川優太・岩崎舞・豊田輝…………… 51

## 足立区における飼い主のいない猫を減らすための地域連携活動と情報発信の実践

三井香奈・畠山豊・中山瑞紀・篠原樹里・加隈良枝・大辻一也…………… 53

## 上野原自然探検隊部 2017 年度の活動報告

笹竹溪太…………… 55

## ねこの目報道部の 2017 年度の地域連携活動について

中村さえ・加賀谷玲夢…………… 59

## 上野原市内における動物介在活動の実践 ～うさぎの介在を中心に第 11、12、13、14 回を振り返って～

池谷尚斗・岡崎拓実・注連育美・平元良河・平田達稔・渡辺美乃里…………… 63

## 自然環境保全連携団体活動報告 ～イノバのすゝめ～

植竹優美香…………… 65

## 動物介在教育研究部 平成 29 年度 地域連携研究報告

副島立…………… 69

## 東京都多摩動物公園と横浜市立金沢動物園での教育普及活動

佐々木陸志…………… 75

## その他の研究・報告

### 山梨県富士・東部保健所実習を通じた地域公衆衛生学の習得と地域連携

渡邊利明・佐藤光浩・市ヶ谷武生・鎌塚正志・佐野秀明・舟喜晶子  
富田圭佑・杉浦加奈子・竹内仁・昇寛・樽本修和…………… 81

### 地域包括ケア推進を目指し多職種で取り組んだ「健康フェスタ in せんじゅ」

定村美紀子・糸井和佳・佐藤亜月子・野田義和・永田あかね・吉賀成子・小島尚・小林和生  
濱野佐代子・上田玲子・浅見恭史・霜越千裕・山川百合子…………… 85

### 千住エリアにおける地域連携活動ー医療福祉学科の取組みー

浅沼太郎…………… 87

### 教育ボランティア活動参加学生に対する意識調査

ー足立区立東加平小学校「ワクワクウェーブ」参加学生へのアンケートを通じてー  
村野芳男…………… 89

### 足立区立小学校における生活科授業支援実践

二木菜月・青木直樹・花園誠…………… 95

### NHK 環境キャンペーンイベントへの出展を通じた社会貢献活動の報告 2017

榊原健太郎・堀米陽太・花園誠・藤咲舞・動物介在教育研究部・ドッグトレーナー研究部…………… 111

## 廃校を活用した環境教育支援実践の2017年度の成果

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| 花園誠・青木直樹・榊原健太郎          | 115 |
| 「大学遠足」による児童養護施設の支援実践と成果 |     |
| 花園誠・石木めぐみ・石出渉・副島立・榊原健太郎 | 123 |

## 資料

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| 平成29年度地域連携推進センター構成員一覧      | 131 |
| 平成29年度地域連携推進センター予算         | 132 |
| 平成29年度共同研究・協定書取り交わし機関一覧    | 133 |
| 平成29年度地域連携推進センター活動統計（教員）   | 134 |
| 平成29年度地域連携活動記録表（教員）        | 135 |
| 平成29年度地域連携推進センター活動統計（学生団体） | 152 |
| 平成29年度地域連携活動記録表（学生団体）      | 153 |
| 地域連携研究投稿規程                 | 171 |



## 巻頭言「学生を活かし、大学を活かし、社会を活かし」 ～帝京科学大学における地域連携活動の実践と成果～

### 花園誠(地域連携推進センター)

平成28年に続いて、「地域連携研究」第2巻発刊の運びとなった。センターメンバーならびにご寄稿いただいた皆様のご理解とご協力に心からの感謝を申し上げます。

平成28年度、記載された活動総件数は651件で、参加学生の延べ数は4,359人であった。我田引水ながら、この活動実績、中堅大学としては全国でもトップクラスと評価している。そして、本号が報告対象としている平成29年度、記載された活動総件数は実に974件、そして、参加学生の延べ数は7,809人であった。件数にして約1.5倍の、学生数にして約1.8倍の前年度比増である。今や全国でもトップと評価してもよいかもしれない。この活動実績増、何があったのかというと、「活動件数が増えた」というよりは、「潜在していた活動件数が記載されるようになったから」と考えている。「地域連携研究」発刊の効果であろう。「地域連携活動」とは何を指すのか、ようやく学内に認知され始めたのだと解釈している。それが地域連携活動に日々携わる立場からの実感である。

この活動件数と参加学生数の増加であるが、それぞれがこれで上げ止まりか、というと、全くそんなことはない。筆者の認知している範囲に限ってみても「あの先生の」あるいは「あの学生たちの活動は、地域連携活動として記載されてよいのに」記載されてないものが、まだあるのだ。1990年に1学部4学科の理系単科大学としてスタートした本学であったが、2007年よりの改組で、拡充の一途を辿り、今は3学部14学科13コースと多様化したことを考えると、地域連携活動はさらに展開し続け、活動実績はこれからも増えるであろう。この活発な地域連携活動は、紛れもなく、他に類例を見ない本学の特色であると言ってよい。ではなぜ、本学の地域連携活動はこのように活発なのであろうか。第一巻の巻頭言では「地域連携活動の組織化」について解説した。本巻頭言では教員主導で実施した「地域連携活動の活性化」について、その取り組みの一端を紹介する。

2001年4月、バイオサイエンス学科(生命科学の前身)にアニマルサイエンスコースが設置され、一期生124名を迎え入れた。この時「学科活性化のためにすべきことの第一優先は、学生を活かすことである」との信念から、学生を活かすための仕組み作りに取り組んだ。教員が主導して、学科の専門性を反映させた同好会の設立を目指したのである。124名全員を集める全体集いを何度か開催し、臨席の全員から「何をやりたいのか?」と聴き出しキーワードを板書したうえで、学生に確認しながらKJ法的に整理・分類した。そして、全員の意見を動物介在活動・ドッグトレーナー・ビオトープ・野生生物・動物園・馬術・牧場・コンパニオンアニマル・企画広報の9テーマに集約したのである。次に「できることから始めよう!」を合言葉にして、グループごとに同好会を設立するよう働きかけた。学則を参照にして「役員の選出」・「活動内容についての取り決め」・「教務課に提出する書類の作成」を会合毎の作業目標とした。そして一期生が入学して僅か2

か月後の2001年6月、アニマルサイエンス関連の9つの同好会が設立された。動物介在教育研究会は、このときに9団体の代表者連合として設立され、ミニ学園祭と標榜の「親子科学教室(現在の帝京科学の夏祭り)」、地域児童をキャンパスに招き入れる「大学遠足」、そして羽村市動物公園における「動物縁日」などの、各団体が連携した大規模イベント運営の主軸となった。

同好会設立後の次の課題は、活動のための場所の確保であった。翌2002年にアニマルサイエンスコースは学科として独立することが決定されていた。しかし、学内の施設・設備は年次進行での充足が計画されていたので、今からは想像もつかないが、アニマルサイエンスの動物飼育施設は全く未整備だった。器がなければ中身も入れられない。アニマルサイエンスの学生がお世話等で関われる動物は皆無の状況だったのである。やむを得ず、学生のための活動の場所を地域社会に求めた。活動交渉のため出向いた機関・施設は、山梨県庁、山梨県動物愛護指導センター、上野原町役場、老人養護施設、上野原町立病院、市立大和病院、八王子の動物病院、東京都動物園協会、上野動物園、多摩動物公園、葛西臨海水族園等で、出向は延べ20回以上、電話・メールでの交渉はその回数を遥かに超える。学生の面前での活動交渉という、背水の陣を敷いたこともあった。今風に表現するならば正に「学生ファーストの取り組み」であった。

この時、何に腐心したかということ「学生のやりたいこと」と「社会のやってほしいこと」のマッチングであった。それが学生の活動の場を地域社会に確保するための必然の配慮だったからである。この時には特に意識しなかったが、それは学生と社会の「Win-Win」の関係を構築すること」を意味していた。

以上が取り組みのあらましである。要約すると地域連携活動創出のために実施したことは、「目的を共有できる学生の組織化」そして「学生集団の目的と社会のニーズとのマッチング」である。そして、学生の「やりたいこと(活動の目的)」と社会の「やってもらいたいこと(社会のニーズ)」が合致してさえいれば、学生目線からは「やりたいことをやる」ことで「社会から感謝される」ので「地域連携活動は自然に活性化する」のである。

このようにしてスタートした初期の同好会活動のうち、後に部へと昇格し現在も継続しているのは、動物園研究部、ドッグトレーナー研究部、動物介在活動部、野生生物研究部、ビオトープ研究部、猫の目報道部(企画広報)、そして動物介在教育研究部の7団体である。それらの部活動の中からいくつか実例を紹介する。

動物園研究部は、飼育員になりたいとの学生の夢を叶えるべく組織した。そして、動物園で働きたいという学生のニーズは、マンパワー不足の動物園の実状と合致し、動物園での飼育作業や教育普及活動を部活動とすることができた。この部活動はその後には水族館研究部(AQUASHIP)を生み出し、地域の水族館での部活動が始まった。

野生生物研究部とビオトープ研究部は東京西キャンパス内外の生態調査を部活動とした。この2団体の部活動は、その後に環境教育研究部「風の子フースケ」を生み出す基盤となった。そして現在、これら3団体連合により「自然環境保全連携団体」が組織され、カエル・水鳥等の生態調査、鳥獣保護ボランティア等に精力的に取り組んでいる。いずれも自然豊かな東京西キャンパスの地の利を活かした部活動である。

動物介在活動部は、アニマセラピーに関心がある学生により組織された。東京西キャンパス近隣の老人養護施設が部活動の場である。動物を介在させた活動の他、学生のみでのボランティア活動にも取り組み、職員および施設利用者から歓迎されている。

当初、代表者連合として組織されていた動物介在教育研究部は、教務課長の強い勧めでサークル登録し、部に昇格した。東京西および千住キャンパス近隣の小学校、そして、幼稚園・保育園・こども園が活動の場である。質実ともに日本一といってよい教育支援を部活動としている。第一巻の巻頭言でも紹介したが、この部活動が大学としての活動実績となり、理工系大学としては初の教育系学部である「こども学部(現在の教育人間科学部)」の開設に漕ぎつけたのである。

最後に「学生と社会のマッチング」の典型例として、東京西キャンパスの大学祭実行委員会による地域連携活動を紹介する。2015年、ある上野原の有力者より「桂川河川敷公園での音楽フェスティバルにご協力を願えないか」との打診を受けた。「桂川河川敷の音楽フェスティバル」—そういえば、ゴールデンウィーク明けの最初の日曜日に上野原駅前の河川敷に、なにやら特設ステージがつくられ、飲食店ブースがそれを取り囲み、一日限りではあるが、幻のように賑わっていた光景を思い出した。誰の主催であったのか聴くと、上野原市内の「長」の肩書がつく有志による「上野原を活性化させたい」との思いが凝集した音楽祭であったと言う。「桂川フェスティバル」と名付けられていた。「このお祭りを継続させるため是非とも若い力に協力してほしい」とのご希望であった。

この時、マッチングする学生団体として思い浮かんだのが「大学祭実行委員会」である。大学祭を盛り上げるため、協賛のお願い回りで毎年のように苦労している。「彼らを認知してもらうことで協賛のお願いもし易くなるのではないか、何よりもお祭りの運営という目的が合致する」と引き合わせた。まずは毎週の準備委員会の会議に参加させた。「長」がつく立場の社会人による適材適所の役割分掌や、議決の手際など、学生にはとても参考になった筈である。そして本学には「若い力」による協力が期待された。大学祭実行委員会のメンバーを中心に学生100名余が運営協力することになった。

2016年の桂川フェスティバル。当日は好天に恵まれ、運営側も含め1万人近い参加者で賑わった。本学の学生は、駐車場の管理、歩行者の誘導、会場の警備・清掃にと、炎天下にも関わらず黙々とフェスティバルの下支えに携わっていた。その姿は、フェスティバルを運営する委員会のメンバーのみならず、市内からの来場者の目にも留まっていた。筆者が学生とともに場内清掃に努めていた時である。場内の飲食スペースで佇んでいた高齢の女性から「みんなが一生懸命で、とても雰囲気の良いお祭りですね」と声をかけられた。思い返すと地域連携活動に尽力しはじめてから10年余、この時初めて大学と地域社会が全体でかみ合っていることを肌で実感した。

その2週間後、翌2017年の開催に向けての報告会が開かれた。その席上で「帝京科学の学生は実によく動く。それも一人二人ではなく100人全員がだ」、「ひたむきで真面目だ」、「感心した」等々、臨席する地域社会の方から異口同音の称賛をいただいた。「帝京科学大学は地域の活性化に欠かせない。」これが地域社会からの評価である。

「学生を活かし、大学を活かし、社会を活かす」地域連携活動に携わる時の座右の銘としている。桂川フェスティバルは、まごうことなきその具現化であった。そしてこれを契機に「帝京科学大学のために一肌脱ぎたい」という動きが地域社会に生まれ、東京西キャンパスのフィールドミュージアムに結実しようとしている。

地域社会と帝京科学大学の共創は、今まさに本格的に稼働し始めたのである。これをもって地域連携活動の最大の成果としたい。

# 教職員の地域連携活動事例報告



# 上野原特産農作物「キヌア」栽培に関する産官学連携活動の 学術分野からの推進

和田龍一・小林優（生命環境学部 自然環境学科）・谷晃（静岡県立大学）

花園誠（教育人間科学部 こども学科）・永沼充（教育人間科学部 学校教育学科）

田中禅价（臨済宗真福寺住職）・大神田良行・杉本公司（上野原ゆうきの輪）

キーワード：キヌア、オープントップチャンバー、大気汚染物質

## 1. はじめに

キヌア（*Chenopodium quinoa*）はヒユ科アカザ亜科アカザ属植物に含まれ、我々にとって身近な野菜であるホウレンソウ（*Spinacia oleracea*）に分類上近縁とされている。南米アンデス山脈の高地において数千年前から食用として栽培されており<sup>1)</sup>、疑似穀物（アワやヒエといった雑穀に準じる作物でありソバなどが該当）<sup>2)</sup>に分類される。キヌアは良質なタンパク質、鉄やマグネシウムといった多種類のミネラルやビタミンを多く含んでおり、栄養バランスのよい作物として近年ヨーロッパや日本などで注目され、山梨県にて試験的な栽培が行われている<sup>1-3)</sup>。

上野原市においても本学と包括的な連携協定を結び、キヌアの栽培を地域活性化の柱として積極的に行っている。（図1）<sup>4)</sup> しかしながら日本の気候に適した栽培方法が確立されていないことから収穫量が安定せず、またキヌアの大気汚染物質に対する耐性の知見もほとんどない。昨年度の地域連携活動により、大気汚染物質の一種であるオゾンがキヌアの生育に悪影響を与えている可能性を示した。本年度の活動では、継続的に大気汚染物質がキヌアの生育に与える影響を調査し、大気汚染物質の一種であるオゾンがキヌアの生育にもたらす影響に関する知見を得ることでキヌア生産方法の確立に寄与し、産官学地域連携活動を学術的な面から推進する。



図1. 東京西キャンパスにて栽培したキヌア

## 2. 活動報告

以下の活動を行った。

3月～5月（場所：東京西キャンパス実験研究棟）

オープントップチャンバー（OTC）と呼ばれる栽培実験を行うための装置の組み立てと性能評価を実施。

3月9日（場所：静岡県立大学）

OTCを用いた栽培実験に関する検討の議論を実施。

8月2日（場所：東京西キャンパス）

キヌアの苗の鉢への植え替えを実施。除草シート張りを実施。

8月10日（場所：東京西キャンパス 大学裏の圃場）

キヌアの播種を実施。

9月21日（場所：東京西キャンパス）

OTC6台を設置。OTCを用いた栽培実験の開始。

9月21日～11月15日（場所：東京西キャンパス）

OTCを用いたキヌアの生長観察の実施。

11月15日（場所：東京西キャンパス）

生長して子実をつけたキヌアの刈り取りを実施。

11月～1月（場所：東京西キャンパス）

キヌアの新鮮重量、乾燥重量、子実重量、1粒重量の分析を実施。

平成30年4月19日（場所：東京農工大学）

OTCを用いた栽培実験の結果に関する打ち合わせを実施。

4月27日（場所：東京西キャンパス）

報告書の提出。

## 3. 結果と考察

オープントップチャンバー（OTC）と呼ばれる装置を用いて、野外の汚染物質を除去した大気を導入する浄化室と、そのままの大気を導入する非浄化室を設置し、この両室内で植物を生育させることで、野外における大気汚染による植物への影響を評価した<sup>7,8)</sup>。OTCは天蓋部が解放された形になっており、チャンバー下方から導入された大気は天蓋部から排気される（図2）。

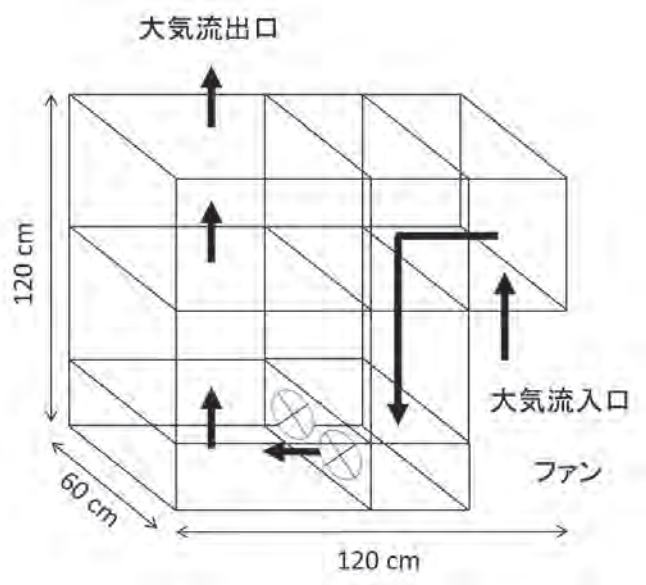


図2. オープントップチャンバー（OTC）の構造

この装置内で生長する植物の環境条件は、大気の浄化、非浄化を除いて同一である。本活動では、OTC を用いてキヌアのおゾンによる可視障害、および生長量・子実収量への影響を実験により評価し、大気汚染物質への耐性に関する知見を得るべく検討を行った。東京西キャンパスにて栽培実験を行った OTC を図3に示す。



図3. 東京西キャンパスにて栽培実験に用いた OTC の写真

浄化 OTC では実験期間中、大気中のオゾンの浄化効率は  $53 \pm 17\%$  であった。昨年度のオゾン除去効率は  $77 \pm 7\%$  であり、今年度のオゾンの除去効率は昨年度の  $69\%$  であった。オゾン除去効率が低下した原因として、設置場所を変更したことにより、環境条件はより良好・均質になったものの、設置場所の地面に凹凸があったことから地面と OTC 底面の隙間から外気に含まれたオゾンが侵入した可能性が考えられた。OTC 設置日（9月21日）からキヌアの刈り取りを行った日（11月15日）までのキヌア草丈の生長観察を行った。浄化 OTC、非浄化 OTC、および OTC を設置せずに生長したキヌアの草丈を図4に示す。これら草丈に、有意な差は確認されなかった。オゾンによる生

理障害により生じる斑点といった可視被害<sup>9-11)</sup>も、浄化 OTC、非浄化 OTC、OTC 外で生長したキヌアに確認されなかった。

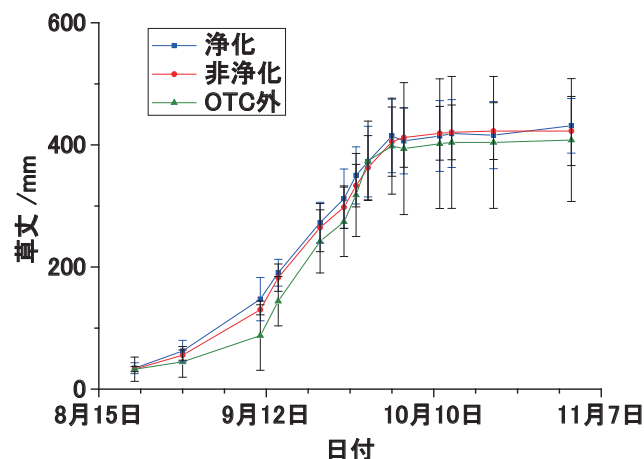


図4. 浄化 OTC、非浄化 OTC、OTC の外で生長したキヌアの草丈

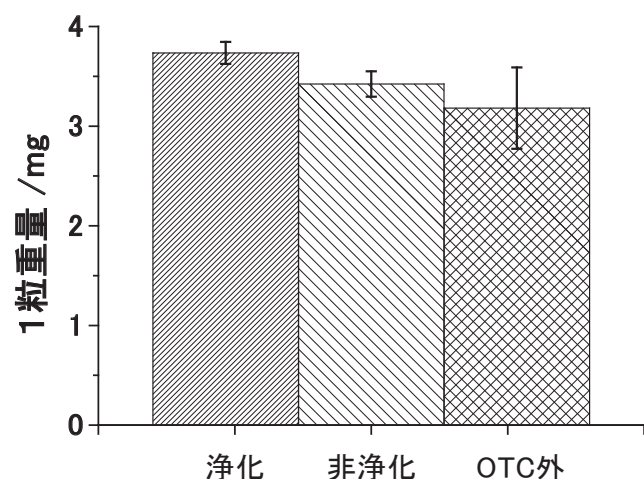


図5. 浄化 OTC、非浄化 OTC、および OTC の外で生長したキヌアの子実の1粒重量

浄化 OTC、非浄化 OTC、OTC 外で生育したキヌアの新鮮重量はそれぞれ  $3.0 \pm 1.0$  g、 $5.7 \pm 1.2$  g、 $4.8 \pm 2.2$  g、乾物重量はそれぞれ  $2.3 \pm 0.5$  g、 $2.8 \pm 0.9$  g、 $3.4 \pm 1.6$  g、全子実重量はそれぞれ  $1.2 \pm 0.4$  g、 $1.6 \pm 0.2$  g、 $1.8 \pm 0.7$  g であり、浄化 OTC、非浄化 OTC、OTC 外で生育したキヌア間で有意な差はみられなかった。一方、1粒重量は、浄化 OTC で  $3.7 \pm 0.1$  mg、非浄化 OTC で  $3.4 \pm 0.1$  mg、OTC 外で  $3.2 \pm 0.4$  mg と得られ、浄化 OTC にて生育したキヌアにて有意に1粒重量が大きかった ( $p < 0.1$ )。1粒重量の結果を図5に示す。大気汚染物質の一種であるオゾンにより悪影響を受け、キヌアの子実1粒の重量が小さくなっている可能性が示された。

昨年度の検討では新鮮重量、乾物重量、全子実重量、1粒重量にて、有意にオゾンを取り除いた浄化 OTC にて生育したキヌアが大きかった。本年度の検討では、1粒重量のみ浄化 OTC にて生育したキヌアにて大きい有意な結果が得られた。新鮮重量、乾物重量、全子実重量では浄化 OTC、非浄化 OTC、OTC 外で生育したキヌアに有意な差

がみられなかった。実験データのほとんどのないキヌアの大気汚染物質の耐性を評価し、日本でのキヌアの栽培方法を確立するため、継続した検討を実施する。

## 参考文献

- 1) A. Bhargava, S. Shukla, D. Ohri: *Chenopodium quinoa* - An Indian perspective, *Industrial Crops and Products*, 23:73-87, 2006.
- 2) 濱岡未恵: 穀物と疑似穀物の特徴, 東大阪大学・東大阪大学短期大学部教育研究紀要, 2:87-93, 2005.
- 3) 石井利幸: 山梨県におけるキヌア生産に向けた取り組み, 特産種苗, 8:17-20, 2010.
- 4) 上野原市役所: キヌア栽培促進に関する情報, <http://uenohara-job.jp/seminar01/>, 2016.
- 5) 和田龍一, 江野崎雄, 市来裕人, 谷 晃, 花園 誠, 永沼 充, 田中禰价: オープントップチャンバーを用いた活性炭処理空気暴露によるキヌア栽培の試み, 帝京科学大学紀要, 13:251-257, 2017.
- 6) 和田龍一, 齊藤聖明, 谷 晃, 花園 誠, 永沼 充, 田中禰价, 大神田良行, 杉本公司: オープントップチャンバーを用いたキヌアの大気汚染物質耐性評価, 帝京科学大学地域連携推進センター年報, 1:9-11, 2018.
- 7) A. S. Heagle, D. E. Body, W. W. Heck: An Open-Top Field Chamber to Assess the Impact of Air Pollution on Plants, *Journal of Environmental Quality*, 2:365-368, 1972.
- 8) T. Mochizuki, T. Saito, G. Hirai, M. Miwa, T. Yonekura, A. Tani: Development of a reliable method to determine monoterpene emission rate of plants grown in an open-top chamber, *Journal of Agricultural Meteorology*, 71:271-275, 2015.
- 9) H. E. Heggstad, J. T. Middleton: Ozone in high concentrations as cause of tobacco leaf injury, *Science*, 129: 208-210, 1959.
- 10) 伊豆田猛: 植物と環境ストレス, コロナ社, 東京, 2006.
- 11) T. Izuta, K. Takahashi, H. Matsumura, T. Totsuka: *Cultivar difference of Brassica campestris L. in the sensitivity to O<sub>3</sub> based on the dry weight growth*, *Journal of Japan Society for Atmospheric Environment*, 34:145-154, 1999.



# 一人親／生活困窮家庭児童を対象とした学習を含めた大学生によるサポート活動の試行

木村龍平（教育人間科学部 こども学科）

キーワード：学習支援、一人親、保育者養成学科、体験活動

## 1. はじめに

当学科は保育者を目指す学生の人材教育に資するため、現場対応力や人間力を実践的に養成する目的で多くの幼児・小学生と関わる学外体験活動を演習科目で実施してきている。そのような中、学習支援活動の実施可能性について、上野原市母子寡婦福祉連合会<sup>(1)</sup>（以降、母寡連と表記）から平成25年10月に相談を受けた。連合会では長く市内の母子家庭を対象にした福祉活動を展開しており、近年の経済状況の変化（経済格差の拡大）を受けて母子家庭児童の学力維持・向上について問題意識を持っていた。市内では学童保育が各地区で実施されているが、母親の帰宅時間（概ね19時）までの活動が難しいこと、広く一般家庭の児童を対象としているため、何らかの精神的な問題を持ち、指導に工夫が必要な児童に適切な対応がしにくいことが問題点として認識されていた。

近年、保育の現場においては、従来の人材養成教育では想定してこなかった事象が社会的に拡大しつつある。注意欠陥多動性障害をはじめとした発達障害等をもった児の増加；20～30人のクラスでは高い確率でこれに該当する児が1～2人存在し、あるいは、モンスター・ペアレントの登場、児童虐待の増加；100～200人定員の幼稚園や保育所全体を見渡したときには、このような問題を抱える親・家庭が存在することが普通となりつつあること等が挙げられる。そのため新任保育士、幼稚園教諭が最初に戸惑うことの一つは、こうした児や家庭への対処方法である。以上のような背景から、筆者は保育者養成だけでなく教職課程における教師養成教育においても、このような児・親・家庭に対する保育者/教諭の対応力が求められ、在学中に可能な限り知識・実践力を身につける必要があるのではないかと考えてきた。

以上を背景に平成26年5月から母寡連の主催で学習支援活動を開始した。活動を支えるスタッフとして、当学科4年次生を充てた。4年次生必修科目「保育教職実践演習」（通年2単位）の学外ワークの一つとして活動プログラムを準備した。この授業では他に2つの学外ワークが提供されており、全開講回数30回の約半数を活動時間に充当した。本活動は「学習支援活動」として授業で履修学生に説明し、活動従事希望者を募った。その結果、履修者40名前後の内、約半数の20名前後が本活動従事を希望した。活動場所は上野原市役所本庁舎内会議室や展示室である。開始当初は対象とする家庭の児童が5名前後参加（いずれも小学4年生）し、24回実施することができた。1回の活動における学生スタッフは3～5人で、児童1人に対して学生1～2名で指導した。平成27年度からは母寡連が手がけてきたクリスマス会（12月に実施）も本活動に加えた。以上の本活動初期段階の詳細については本学紀要「教職指導研究」<sup>(2)</sup>を参照されたい。

## 2. 研究及び活動方法

### 2-1. 活動主体・体制の変遷

前述のように、活動開始当初の活動主体は母寡連であったが、平成28年度より上野原市社会福祉協議会<sup>(3)</sup>（以降、社協と表記）が主体となって活動を推進することになった。社協の本活動に対する方針は、「潜在的なニーズが大きいので本活動を順次拡充していく」というものである。このため平成28年度より、国の補助を得た社協の事業として推進していくことになった。一方で母寡連も従来通り本活動に関与してもらい、以下のような役割分担をした。学習支援活動の活動場所の確保、教材・文具（ワークブック、白板、メモ用紙等）の準備 / 環境整備（参加家庭への連絡、掲示、活動当日の教室内スタッフ常駐、学生以外のスタッフ手配（退職教員等）、活動の管理（名簿 / 名札の準備、児童の出欠管理、情報収集等）は社協が、学習支援活動以外の活動、学習支援活動時の休憩時の飲食物の準備、社協からの連絡を補う地区内の臨機応変な連絡等は母寡連が担うようにした。

### 2-2. 活動対象家庭・児童への周知方法

本活動の対象が母子家庭であり、多くの場合「生活困窮」家庭であることから、市広報等で広く一般にアナウンスすることはせず、当初は母寡連から、また昨年度からは社協から、対象となる各家庭へ直接案内を送付するという方法で周知した。

周知後、希望者の申し出による登録で活動申し込み者名簿を作成し当該年度の活動参加児童の最大人数を把握した。

### 2-3. 活動場所・参加児童・活動スタッフについて

活動場所は社協が市役所本庁舎内1F展示室、及び2F会議室を年間使用予約して活動に使用した。学習支援活動以外の活動は上野原市勤労青年ホームで行った。

参加児童は事前の登録者数は25名であった。その構成は小学1年生から中学3年生までであった。この中には本活動開始当初（当時、小学4年生）より参加している児童が5名おり、現在は中学1年生である。

活動スタッフの構成は、会議室等の使用管理のため市役所職員1名、協議会職員1名、教育委員会委員（市立小学校退職教員）1～2名、ボランティア（他大学大学院生）1名（臨時）、筆者、本学学生5～10名、連合会会員3～4名（地区ごとの当番制）である。社協職員は名簿 / 出欠管理と共に学習指導も一部担った。退職教員は社協の配慮で昨年度より活動に加わった。上野原市立小学校の校長経験者で同校からの活動参加児童は顔見知りであり、本活動の趣旨や対象となる家庭に対する学校としての関わり、その児童の指導に対して経験が豊富である。そのため筆者は随時、活動のあり方などアドバイスを受け、個々の参加児童について配慮すべき特性や家庭の状況等、情報提供を受け

た。他大学大学院生は活動スタッフが不足したり、特に中学3年生の受験指導が必要なときに社協を通して適宜、活動参加してもらった。本学学生は活動従事希望者を3グループに分け、グループ毎に6回連続の活動参加+12月初旬のクリスマス会参加を課した。各グループ人数は年間の活動参加時期が異なるため、就職活動等の制約もあり7～9人の間で個別の事情に配慮して調整した。

### 3. 活動結果・考察

#### 3-1. 活動結果概要

活動は社協が年間活動日程を作成し、この中から当該授業の開講日程・活動充当時間数と整合するよう5月～翌年1月まで全18回（+クリスマス会：12月初旬）を計画（1月下旬から2月にかけて予備活動日を3日設定）した。また活動従事学生の希望により、一部8月の夏期休業中も実施した。その結果、9月に台風、1月（台風による活動中止の予備日）に降雪で活動が中止になった。なお、本活動は社協主催のため、本学の授業期間中を含めた夏期休業中、春期休業中も可能な限り活動を実施している。活動時間は17時～19時で、小学低学年生の参加児童に配慮して17時50分～18時10分の間に休憩時間を設定した。

今年度から年間を通した活動に変化を与え活動参加のモチベーションを高めるために18回の活動の内2回は、活動後半を夕食会とした。この回は勤労青少年ホームで実施した。学生スタッフの半数は同ホーム内調理室で夕食の準備にあたった。食材調達はじめ調理指導等は母寡連会員の手厚いサポートを受けた。参加児童は希望があれば調理の手伝いにも参加可能とした。そのため2～3名の児童は調理に参加した。他の児童は夕食の準備が整うまでは別室で、残りの半数の学生スタッフと通常の学習活動に従事した。夕食時は保護者（主に母親）の参加も可能とし、親子のコミュニケーションが図れるよう配慮した。クリスマス会は従来から母寡連が実施してきており、前述のように本活動への組み込みは平成27年度からである。親子での参加を原則とし、学生スタッフは活動従事者全員の参加を課した。母寡連主催のため、活動は参加親子の他は、母寡連会員（7人）、学生スタッフ、筆者で実施した。会場に9時集合後、調理室で参加者全員で午前中に昼食を準備し、全員で昼食をとった。午後は階上のホールで約1時間を使用して学生が授業の課題として準備したレクレーションを実施した。14時30分に終了した。

#### 3-2. 学習支援の指導状況

活動参加児童は学校の放課後活動、あるいは学童保育を終えて本活動に参加する。放課後活動や学童保育では一部、補修等の学習支援も行っているが、本活動に小学校低学年生の児童も参加していることに配慮して、本活動では学習塾のように集中的な学習指導をするのではなく、児童が持ち寄る日々の宿題、授業で理解できなかった内容について、学生スタッフが色々と児に話しかける中で状況を見極めて、児がそれらの課題解決の必要性を認めたときに指導するようにした。この指導方針は本活動最初期からの方針で、保育者を目指す当学科学生の人間的な特性（自然な形で子どもとコミュニケーションをとり、人間関係を築くこと）を無理なく発揮できるようにすることで、児童にとって、本活動が「勉強の場」とであると共に、放課後の帰宅までの「居

心地の良い」居場所として感じてもらい、活動参加率を高めることを狙った。

以上の考えから、休憩時間は社協で用意したけん玉、ボードゲーム類（オセロ、将棋等）やカードゲーム類（トランプ等）で遊んだり、絵を描いたり自由に時間を使わせた。学習指導時間においても、随時気分転換し集中力を維持するための適当な雑談は許容し、活動後半時間帯では、特に低学年生や長時間の集中が困難な児には、学習以外のクイズ等に誘導し、「落ち着いた時間」を過ごせるよう配慮した。その結果、本学学生が関与しない活動回（11回）と本学学生が参加する活動回（中止2回を差し引き16回）で名簿登録児童（25人）の平均参加率は前者で平均54%（13.4人）、後者で63%（15.6人）と差が生じた。この結果は、児に「居心地の良さ」を感じてもらうことを念頭に児に関わることに配慮したこと、児と年齢の近い十分な人数の大学生が親身に勉強の指導をした結果と考えられる。今年度においても、本活動開始当初からの参加児童が継続的に参加（4年目）していることは特筆に値する。中学進学を機に在宅での学習に移行するのではと考えていたが、本活動への出席率に変化はなかった。

表1. 学習支援活動参加児童数

（表中、実施日項目内「\*」は本学学生不参加活動日）

| 回数 | 実施日     | 小学生人数（人） | 中学生人数（人） | 計（人） |
|----|---------|----------|----------|------|
| 1  | 5/16    | 8        | 6        | 14   |
| 2  | 5/23    | 9        | 7        | 16   |
| 3  | 5/30    | 12       | 5        | 17   |
| 4  | 6/13    | 13       | 8        | 21   |
| 5  | 6/20    | 10       | 6        | 16   |
| 6  | 6/27 *  | 10       | 5        | 15   |
| 7  | 7/11    | 13       | 6        | 19   |
| 8  | 7/18    | 10       | 6        | 16   |
| 9  | 7/25    | 5        | 5        | 10   |
| 10 | 9/26    | 9        | 6        | 16   |
| 11 | 10/10 * | 9        | 6        | 15   |
| 12 | 10/17   | 7        | 5        | 12   |
| 13 | 10/31   | 7        | 7        | 14   |
| 14 | 11/7    | 6        | 8        | 14   |
| 15 | 11/21   | 10       | 4        | 14   |
| 16 | 11/28 * | 10       | 5        | 15   |
| 17 | 12/12   | 10       | 6        | 16   |
| 18 | 12/19   | 8        | 6        | 14   |
| 19 | 1/16    | 7        | 6        | 13   |
| 20 | 1/30 *  | 10       | 7        | 17   |
| 21 | 2/13 *  | 5        | 7        | 12   |
| 22 | 2/20 *  | 8        | 4        | 12   |
| 23 | 3/6 *   | 9        | 4        | 13   |
| 24 | 3/13 *  | 7        | 6        | 13   |

以上の状況を受け、年々、活動参加児童数が増加しており、今年度

は我々が関与した 16 回の活動時は前述のように平均 16 名（最大 21 名）となった。約半数（4～8 人）は中学生である。そのため今年度から中学生クラスは別部屋とし、退職教員を中心とした指導で中間試験、期末試験対策等に力を入れた。学習内容が高度化するため、必然的に密度の高い学習時間が現出するようになった。特に数学や理科では内容的に当学科学生が指導しやすいようで、兄と学生が互いに質問し合い、問題を出し合うなかで和気あいあいと解答を導いていく様子が観察された。雑談時は将来の進路相談に学生が応じる姿も観察され、中身の濃い実のある活動状況が認められた。

### 3-3. その他の活動実施結果

本活動では前述のように学習支援活動に組み込む形で 2 回の夕食会、12 月初旬の土曜日にクリスマス昼食会を実施した。夕食会は初めての試みであったが、社協の連絡を通して活動登録家庭に案内を出した。実施方法は活動場所も含めてこれまで多くの経験のあるクリスマス会とはほぼ同様のため混乱なく実施できた。両活動とも保護者も参加するため、学生は礼儀や節度をわきまえた言動をし、親子とのコミュニケーションに努めなければならないことから、貴重な体験活動となった。

### 3-4. 配慮すべき事

IT 化が浸透した現在、小学生といえどもスマホ等の IT 機器を所持していることが多い。昨年度の活動では、操作やコンテンツ利用に長けて、自在に機器を操る様子が観察された。主に親との連絡や保護者が子の居場所確認のために、こうした機器を兄に持たしていることが筆者指導の過年度卒業研究で明らかになっている。しかし、とすると学習上の「調べ」を行う際にエンターテインメント系コンテンツ（ゲーム等）の使用を始めてしまい、周囲の兄の学習態度・意欲に影響が及んでしまうことが観察された。そのため、今年度からは参加登録受付時に社協を通じて、IT 機器を持ち込む場合はカバンにしまい、活動時間中は使用をせぬよう保護者に兄の指導を依頼し協力をお願いした。同時に、学習活動における「調べ」は内容の信頼性が不確実なネット上の情報を使用するのではなく、教科書や辞書を活用する習慣を身につけられるよう兄の指導に配慮した。

活動参加児童の中には前述のように小学校低学年生や、集中力が長く持続しない兄が含まれ、活動の全時間を学習に集中させることが困難な状況が生じる。そのため、活動の前半（17 時～17 時 50 分）は極力学習に集中させ、20 分の休憩時間でリフレッシュし、後半（18 時 10 分～19 時）は可能な限り学習活動を継続するよう誘導するが、難しい場合は、適宜、兄との会話やその日の学習内容に関連付けたクイズ、描画等で対応し、「落ち着いた時間」を過せるよう配慮した。

担任教諭がおり、規律が重んじられる学校生活とは別の場である本活動では、特に生活習慣について学校や家庭生活との継続性が求められる。本活動では終了時間が 19 時で夕食時間帯にかかるため、活動中に極端な空腹にならぬよう活動開始前までの待機時間に社協が軽食と飲料（麦茶をサーバーで提供）を用意している。また休憩時間には母寡連が菓子を用意している。昨年度まではこれらの摂食の区切りが曖昧で、学習時間中に「食べながら」、集中が低下すると「飲料を

取りに行く」という行動が頻繁に観察された。さらに当初、活動終了後の後片付け、部屋の現状復帰はスタッフが全て行っていたことから、兄がゴミを片付けない、部屋に時計がなかったため時間管理が曖昧、といった要素と合わせて活動全体にルーズな雰囲気が醸成されがちであった。以上を受けて今年度から、部屋に時計を設置し時間割を掲示、ゴミ袋を設置した。そして、活動時間の区切りを明確にし、飲食は学習時間外で済ませ、ゴミは各自で片付けること、時間の切り替えをしっかりとすることを時間の始めに兄に明確に説明し、活動中はスタッフもそのように指導した。さらに終了時の部屋の現状復帰作業に兄も手伝わせた。これらの対策を講じることで、生活習慣・規律において学校生活との連続性を持たせ、帰宅後の家庭生活にも良い影響を及ぼすよう配慮した。

本活動の対象は前述のように母子家庭であり、経済的に（困窮状態を含む）配慮の必要な家庭状況の児童である。そのため、特に児童と会話するときは家庭状況や一般的な経済力を前提とした話題（旅行等）を取り上げるときは細心の注意が必要なことを従事学生には事前指導している。現在まで、これについては問題は発生していないが、どのような話題がこれに関連ついてくるかは予断を許さないため、今後も学生との情報交換や注意が随時必要である。

虐待対応について、これまで件数は少ないが親の養育態度に相当の（育児ネグレクトを含む）問題行動が認められた事例があり、活動中に当該保護者が来場し、不適切発言をしたことがあった。また、参加児童の多くは複雑な家庭環境の影響を受けて、精神的に色々な特性を持っており、関わり方、学習指導方法に工夫と経験が必要である。そのようなケースにおいて事前に社協や退職教員スタッフから情報提供やアドバイスを受けるのだが、学生スタッフはもちろん、筆者も現場経験がないか、少ないため、適切な対応に苦慮する場合がある。特に学生にとってははじめての経験となるため、綿密な事前・事後指導が欠かせない。このことは保育の現場でも共通であるが、正課でこれに関する知識や技能を習得する機会がないため、これまで大きな問題は発生していないが、当該授業での何らかの対策が必要である。

## 4. 課題

活動は平日に実施するので、参加児童は朝から本活動まで一日中、学習に従事することになる。このことは低学年児童の健全な心身の成長にとって問題があるのではと考えている。本活動は来年度以降も継続するが、参加児童数が増加傾向の中、学年分布の状況によっては保護者の要望を調査した上で「学習支援」以外のレクリエーション等のメニュー拡充が求められる。

本活動に従事するにあたって学生への事前指導について、個々の学生の資質にもよるが、活動の趣旨について意識の低い取り組み姿勢（兄と一緒に遊んで遊び（騒ぎ）始める）の者が散見される。このことは前述した兄にとって「居心地の良い」「学習の場」提供という本活動の根幹に関わる部分で慎重な対応が必要である。また、学生同士で談笑してしまう、適切に兄への声かけができない、関わりを持とうとせずに傍観している、安易に活動を欠席する等も見受けられ、参加児童と年齢が近いだけに、学生の兄への影響力が強いと推察されるため、こうした点について意識を高く持ち組むよう指導を強化しなければ

ばならないと考えている。

## 5. まとめ

本活動は平成 29 年度で 4 年目を迎えた。参加児童数は年々増加しており、本活動に対するニーズが大きいことが伺える。本活動に対応する当該科目の学外ワークとしての学生への教育効果についても、カリキュラム中の他科目で取り扱いの少ない内容であり、こうした家庭状況を背景にした特別な配慮を必要とした児童に対する指導力の必要性を実地に認識し、実践力を身につけることのできるかけがえのない機会になっていると考える。

次年度も参加児童数が増加し発展的に継続することを前提に、年度の活動開始前に当該科目の学内授業で事前指導の授業回を設け、社協の本活動担当者、及び本活動にこれまで深く関わっていただいている退職教員に本活動の背景や（配慮が必要な家庭や児について）前述の課題を踏まえた事前指導を行う時間を設ける予定である。

平成 31 年度までは本活動に従事する学生は保育者（幼稚園教諭 / 保育士）を目指す者であるが、平成 32 年度からは当学科新設の「小幼コース」（小学校 / 幼稚園教諭資格取得コース）在学学生も加わるようになるため、コースの人材養成教育に整合した、より良い学外ワークとして提供できるよう、また何よりも参加児童の学力はじめ、児童の生活の質がより良く向上できるよう努力を傾注していきたい。

## 謝辞

本活動を実施するにあたり、日頃より綿密な活動実施体制を準備し実施下さっている上野原市社会福祉協議会 森山氏、上野原市母子寡婦福祉連合会会長 奈良氏、毎回の活動にあたって適切なアドバイス、情報提供とサポートと子供達への指導を頂いている上野原市教育委員会 近藤氏に御礼申し上げます。また活動の細部にわたりきめ細かなサポートを頂いている上野原市母子寡婦福祉連合会の会員の皆様に感謝申し上げます。

## 参考文献

- 1) 「やまなし女性の応援サイト」HP、URL :  
<http://www.pref.yamanashi.jp/challenge/dantaidetail.php?id=210>.
- 2) 木村龍平、「母子家庭児童を対象とした学習支援活動が保育者養成学科学生に与える教育効果に関する考察」、帝京科学大学教職センター紀要、第1巻第1号、pp. 175 - 181 (2016.3) .
- 3) 上野原市社会福祉協議会HP、URL ; <http://uesya.com>

# 全世代横断型昆虫保全教育プログラムの開発と実践

江田慧子（教育人間科学部 学校教育学科）・木場有紀・新家智子（教育人間科学部 幼児保育学科）

キーワード：オオルリシジミ、プラ板、手袋シアター

## 1. はじめに

現在、多くの昆虫が絶滅危惧種となっており、保全保護対策が急務とされている。しかし一方で、多くの子どもにとって、昆虫は初めて触れる身近な生きものであり、その触れ合いから生態への興味を抱くなど得るものも多い反面、保全活動の必要性、活動参加意欲には結び付いていないのが現状である。

そこで、次世代を担う子どもとその保護者を対象として昆虫への興味・関心の向上や、絶滅の状況への理解を深める取り組みが円滑な保全に貢献すると考え、地域の自然環境を活用した自然保護教育プログラムを開発し、本学との包括連携協定を結んでいる足立区のこども未来創造館（通称：ギャラクシティー）において実践した。

上記の活動から、学校教育で行われている自然教育を補完し、社会教育として地域・家庭・学校との連携を図るとともに、現在希薄となっている生きものとの繋がり、大切さを全世代に普及・啓発し、持続可能な社会の構築に寄与することを目指した。

さらに活動が広がり、絶滅危惧種が生息している熊本県でも教育プログラムを実践することができたため、その事例についても報告する。

## 2. 方法

### 2-1. 対象昆虫：オオルリシジミ (*Shijimiaeoides divinus*)

オオルリシジミは大型のシジミチョウであり、1年に1度5月頃に成虫が羽化する（図1）。その後、卵・幼虫期を経て、7月から約10ヶ月間は地中で蛹として過ごす。本種は現在、長野県と熊本県にしか生息が確認されていないことから環境省のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類に指定されている。また、両県ともに県条例で指定希少野生動植物に指定されており、無断で捕獲することが禁止されている。



図1. オオルリシジミ阿蘇亜種

本種は保全活動が活発に行われており、監視活動や食草の人為的な増殖をはじめとした、直接的な保護活動だけでなく、子どもを対象と

した自然教室の実施、企業や行政を巻き込んだ観察会など地域住民を巻き込んだ普及啓発活動が展開されている。

さらに本種の幼虫はマメ科のクララの蕾と花のみを食草としているスペシャリストである。このクララは有毒であるため、牛や馬などの家畜が食草せず、放牧している地域ではクララが優先的に生育する草原環境が維持される。このように人間の生活や農牧業に強い関わりを持ったチョウであるため、本種の特性を伝え、保全に協力してもらうことは保護活動の重要な部分を占めている。

## 2-2. プログラムの開発

### 1) プラ板のオオルリシジミキーホルダー

「プラ板」とは、スチロール樹脂（ポリスチレン）の熱塑性を利用した科学遊びや、その材料を指す。プラスチックの板にマーカーで絵を描いて好きな形にカットし、トースターで加熱すると、面積で4分の1ほどに縮み厚みも出て、材料の状態と比較すると、堅牢なものとなる。加熱する前にパンチ等で穴を開けておくと、チェーンを通すことができ、キーホルダーやアクセサリとして活用することができる（図2）。



図2. プラ板によって作成したキーホルダー

プラ板は小学生を対象とした塑性と弾性を理解させる科学遊びの一種として普及した背景があり、自分自身の書いた文字や絵が縮小されてそのまま反映されるため、子どもの創造力を養うには最適なツールである。また工作道具の使用練習になる側面もある。今回採用した経緯には、時間内に早く制作できた子どもには複数作らせることで時間調整が可能であることが含まれている。

オオルリシジミを題材とした場合、あらかじめオオルリシジミの腹面・背面を印刷しておいたものを使用するが、性別の見分け方、学名について説明し、これらを自身で書き込ませることで、原型サイズの自分だけのオオルリシジミ図鑑をキーホルダーとして手に入れることができる。「自分だけの図鑑」による特別感だけでなく、オオルリシジミは絶滅危惧種・指定希少野生動植物であるため、標本にすることや、標本を無断で譲り受けることができないため、以下のメリットがある。

1. 直接チョウに触れることができない人にもオオルリシジミを知ってもらえるきっかけとなる。
2. 生息地外での活動が容易である。
3. 自作したオオルリシジミ図鑑キーホルダーを持ち帰ることにより、自宅周辺や旅先などでオオルリシジミを観察することが可能となる。
4. キーホルダーをきっかけとして、オオルリシジミ保護のメッセージャーになることができる。

今後は生活環や食草、他の生き物との関係についてのプラ板を制作することで生態学的知見を学ぶ教材にもなりうると考えている。

## 2) 手遊び・手袋シアター

手袋シアターは手袋にアイテムの形に切ったフェルトやビーズを接着してデコレーションを行い話しをする人形劇である。また、乳幼児を対象とする施設では話しをする前に注目を集める方法としてよく使われる保育教材の一つである。手袋シアターの利点としてコンパクトで持ち運びも容易であり、野外での活動でも特別な機材を必要とせずに行うことができる。手袋シアターの元になる手遊びは口伝えで伝承されているものが多く、自由に作品が作られて活用されているため、手袋シアターの利用方法は無限にあるといえる。

今回はその中の「キャベツのなかから」というモンシロチョウを題材とした手遊びを基にオオルリシジミの生態を取り入れた手袋シアターを製作した。(図3・4)。



図3. 作成した手袋シアター

手袋シアターを実演する時の歌とお話の内容も同時に作成した。歌に関しては「オオルリシジミ」や「クララ」という言葉を多用した。また幼虫の成長過程の専門用語を取り入れ、幼児期の子どもが興味・関心を示しやすくした。歌詞の中では「オオルリシジミ」と「クララ」を反復することでオオルリシジミの保全にとって最も重要なワードを繰り返すことにより、子どもへの言葉の定着を図った。



図4. 指に装着するフェルトで作成したオオルリシジミ

## 3. 結果

合計2箇所でのプログラムの実施を行うことができた。

### 1) プラ板のオオルリシジミキーホルダー

日程：2017年8月21日(月) 13:00、15:00から

場所：足立区ギャラクシティ こども未来創造館

対象：小学生

概要：

はじめの15分間で「オオルリシジミを知っている？」というタイトルで生態を学ばせた。パワーポイントで分かりやすく説明をしながらかつ随時質問を投げかけるクイズ形式とした(図5)。参加した子どもたちは手をあげて積極的に答えていた。またパンフレットを作成し、自宅でもオオルリシジミを知ることができるよう工夫した。

次の20分間でプラ板を使ってオオルリシジミのチョウのキーホルダーを作成した。プラ板はオオルリシジミの雄成虫、雌成虫、裏の3枚を配布し、「オオルリシジミ」「雌雄」については必ず書くことを義務づけた。あとはマッキーで自由に絵や文字を書いていいように指示した。学生が書くことに戸惑っている子どもへ補助に入った(図6)。プラ板はトースターで焼く工程があるが、危険が伴うためトースターはすべて学生または教員が扱った。トースターからプラ板を出して図書などで重しをして伸ばす活動は学生・教員と子どもが共同で行った。



図5. オオルリシジミの生態をクイズ形式で説明している様子

最後の10分間でそれぞれ完成した作品を見せながら、今日の学習について感想を話して終了した。作品を作ることができて楽しかった、実際にチョウを探してみるという感想があった。今後は足立区の他施設や区外でも実践し、昆虫に対する意識調査を行いたいと考えている。



図6. オリジナルプラ板を作成している様子

## 2) 手遊び・手袋シアター

日程：2018年3月15日（木）15:00、3月16日（金）

場所：熊本県高森町保育園、南阿蘇えほんのくに

対象：幼児

概要：

熊本県高森町保育園にて作成した手遊び、手袋シアターをプレゼンし、プログラムについて説明を行った（図7）。

阿蘇には園外保育で訪れるなど地域の自然としての認識は高くオオルリシジミが生息していることは知っていたが、詳しい生態までは知らなかった。保育者からは自分たちで改良を加えて、園児たちへ実践してみたい、という好意的な意見が出た。今後は手遊び、手袋シアターについて改良を加え、教材として大量に作成し、配布できるように先生方と協力して連携していくこととなった。



図7. 高森保育園での説明の様子

南阿蘇えほんのくにでは絵本の読み聞かせを行うイベントを多数行っている。そこでプログラムの提案を行い、その日に訪問していた幼児に試験的に見せたところ「よんれいさん」や「じゃくれいさん」と4齢幼虫や若齢幼虫のことを呼ぶ姿が見られ、耳馴染みのない言葉への興味・関心を見せる姿が確認できた（図8）、今後はオオルリシジミの絵本の読み聞かせの前に手遊びや手袋シアターを行い、子どもの注目を集める場面で活用したいという話が出た。また、オオルリシジミが生息している現場で実際に手遊び、手袋シアターを実践してもらいたいという要望があった。

手袋シアターでは幼虫らしい立体感を出すためにアイテムの中へ

綿をつめた。しかし、実演を行っている最中に手の動きが鈍くなった。そこで次回からは綿を入れない作り方に変えるべきであると考察した。また今回の内容はオオルリシジミのみに焦点を当てて作成したが、今後はオオルリシジミが生息している草原環境や牛や馬などの農牧業との関わり、クモやハチ、ハエなどの天敵などの登場人物を増やして、手袋シアターの種類を増やしていきたいと考えている。



図8. 幼児へ行った手遊びの動画の一部

## 謝辞

本プログラムではギャラクシティ こども未来創造館の山本良子氏、熊本県高森町保育園の後藤益子園長、南阿蘇えほんのくにの籾安代氏、高森町在住の井上真希氏、中山千春氏の多大なる協力により遂行することができた。厚く御礼を申し上げます。



# 社会教育施設との連携による教育教材の開発とプログラムの普及

古瀬浩史（生命環境学部 アニマルサイエンス学科）

キーワード：教材開発、社会教育施設、環境教育

## 1. はじめに

帝京科学大学環境教育・インタープリテーション研究室（以下、古瀬研究室）では、地域連携推進センターの助成を受け、学生と教員が協力し、近隣の公園等とのパートナーシップによって環境教育教材の開発やプログラムの実践に取り組んできた。これまでに作成した教材は、主として公園や環境系イベント等で使用する展示中心の教材セットであった。2017年度は、これまでの事業を発展させ、教材の使用場所の想定を水族館等の社会教育施設に拡大するとともに、より広範な普及や活用を目的にインターネットでの普及が可能な教材の開発に取り組んだ。

また、作成した教材の活用と評価・改善のために、水族館および公園施設において教材を使用したプログラムを実践した。本稿ではそれらの経緯について報告する。

## 2. ペーパークラフト教材の開発とプログラム実践

古瀬研究室は2016年に起きた熊本地震の後、被災地支援活動として、海系の環境教育実践者のネットワークである「海辺の環境教育フォーラム」のつながりを活かして、避難所の子どもたちに楽しみながら学べる学習教材を届ける活動を行った。この際に、水族館から提供を受けたペーパークラフト教材が好評であったことから、2016年夏にペーパークラフトのデザイナーを東京西キャンパスに招いてペーパークラフトのデザインに関するワークショップを開催した。この成果として魚（ミノカサゴ）を題材とした教材を制作し、再度被災地の関係者に提供した（図1）。

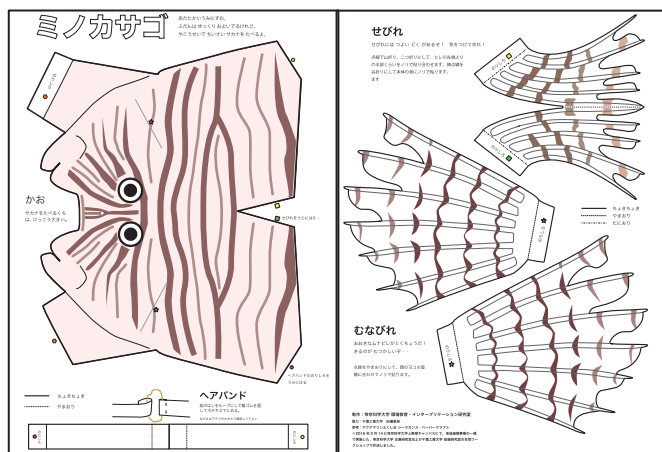


図1. ミノカサゴのペーパークラフト

2017年度は特に水族館での活用を想定して、生態学分野の学習に資する教材の開発に取り組んだ。古瀬研究室所属の山崎が卒業研究で作成した教材は、川での食物連鎖を扱った教材で、鳥（カワセミ）、魚（オイカワ）、水生昆虫（カゲロウ）をモチーフとしており、完成させるとモビールになるようにデザインされている（図2）。また教材を使

ったプログラムを指導する場合の手順や解説項目等をまとめた指導者資料も同時に作成した。この教材の活用と形成過程評価を兼ねたプログラムの実践を、福島県のアクアマリンふくしま（2017年9月）、および山梨県立富士湧水の里水族館（2017年11～12月）にて行った。プログラム制作の過程では、上記2館に加えて、アクアマリンいなわしろカワセミ水族館のスタッフにも多大な協力を頂いた。

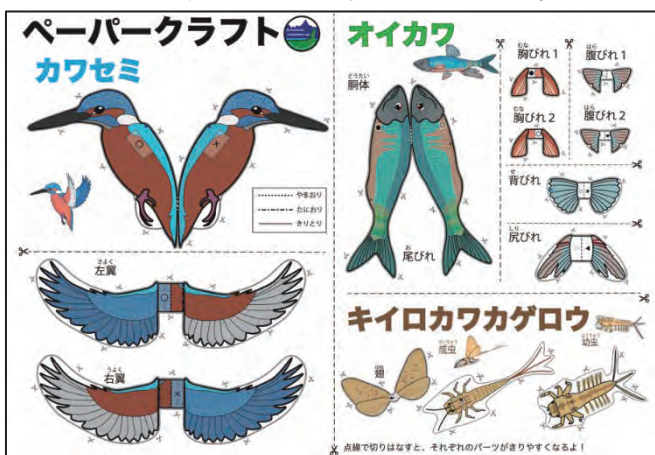


図2. 食物連鎖を学ぶペーパークラフト

山崎は、ペーパークラフト教材の可能性として、ホームページでの配布により、学校等団体が水族館を訪れる際の事前授業、事後事業として活用することなどを挙げている<sup>2)</sup>。教材は古瀬研究室ホームページで公開されている他、水族館での継続的な使用が検討されている。ペーパークラフト教材には様々な可能性があり、今後新たな題材で開発を継続することが期待される。

## 3. 塗り絵教材の開発

塗り絵は、遊びとしてだけでなく、教材としてもしばしば活用されている。筆者もこれまで、サンゴ礁保全に関する学習教材などにおいて、塗り絵の教材を制作してきた<sup>3)</sup>。2017年度は、古瀬研究室が参画している海洋教育の教材開発プロジェクトである『Lab to Class』の教材として、サンゴ礁の自然をテーマにした新たな塗り絵が開発された（当研究室は作成協力<sup>4)</sup>）。また、市川は卒業研究として動物に関する塗り絵教材の事例を調べ、環境学習の場での活用を想定した新たな教材の開発を行った<sup>5)</sup>。塗り絵の学習教材としての優位性は、1.色に着目できる、2.複雑な形や細かな部分に注目できるなどの特性が挙げられる。それらの特性を活かした塗り絵教材、危険な生物（ハチやヘビ）を色の特徴から認識する塗り絵、および類似種（アライグマとタヌキなど）の識別を学ぶ塗り絵教材を作成した（図3）。これらの教材を使用したプログラムは、帝京科学大学と広範な地域連携活動を行っている山梨県立の都市公園である桂川ウェルネスパークで実践が行われた。



— 22 —

# 知的障害のある方への陸上競技の指導支援

岩沼聡一郎（教育人間科学部 学校教育学科）

キーワード：スペシャルオリンピックス、障害者スポーツ、スポーツボランティア、ICT

## 1. はじめに

知的障害のある方へスポーツ活動を提供する、スペシャルオリンピックスは広く世界各地で展開されている。本学千住キャンパスにおいても、2016 年から、認定特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・東京の陸上競技プログラム（練習会）が定期的に開催されている。そこへ、本学学生ならびに教員（筆者）が参加し、支援を続けてきた。本稿では、その活動を報告する。

## 2. 背景

本学にて、練習会が開催されるようになった経緯には、2020 年に開催予定の東京オリンピック・パラリンピックが関連している。上記の陸上競技プログラムは、東京都北区十条にある、東京都障害者総合スポーツセンターを会場に、週1回のペースで、長年開催されてきた。しかし、2020 年の東京パラリンピックを前に同センターの改修が必要となり、それまでの練習場所が使えなくなった。筆者は、15 年以上、指導者、研究者の立場で、スペシャルオリンピックスの活動を支援してきた。そのような関係もあり、本学での開催について、オファーがあった。

本学千住キャンパスには、250 メートルの全天候型の陸上競技トラックがある。グラウンドの入口は限定され、部外者の立ち入りが点や、参加者が無断でグラウンドを出ていく心配がない点など、知的障害のある方を対象にした練習会を開催する上での安全面も整っている。一方、上記のプログラムが開催されてきた、東京障害者総合スポーツセンターでは、他の障害のある方（競技用義足を装着した方など）も多数同じグラウンドで練習しており、衝突等の危険性もあった、という。本学のグラウンドは、1）競技会と同様の全天候型のトラックで練習ができる点、2）選手に目が行き渡る点（行方不明になる心配がない点）、3）他の競技者等と衝突する危険性が低い点、から練習場所として選ばれた。



図1. 千住キャンパス・グラウンドでの練習風景

## 3. 知的障害

知的障害とは、知的機能や適応機能（社会性）に困難を抱える障害である。厚生労働省の発表（文献1）によると、全国にはおよそ74万人の知的障害者がいる。知的障害者の多くは、学齢期に特別支援学校や、一般校の特別支援学級にて就学する。卒業後は、一般企業（特例子会社含む）、作業所（就労継続支援事業所）、生活介護施設等に移行する。学齢期は学校にて身体を動かす機会やスポーツの機会があるが、卒業後はそのような機会が限られる。事実、知的障害者のスポーツ実施率（週1回以上）は19%であり、健常者（40%）よりも顕著に低いことが示されている（文献2）。知的障害者は、障害特性も関連し、自発的な運動実施やスポーツ参加が難しい者が多い。それに伴い、学齢期終了後の肥満や早期老化などの身体面での諸問題を抱える者も少なくない（文献3）。筆者らの調査（文献4）でも、成人知的障害者は骨格筋量や筋機能の低下が見られ、要介護状態に陥るリスクが高いことが明らかとなっている。また、そのリスクは、知的障害の程度（軽度～重度）と関連する。

## 4. スペシャルオリンピックス

スペシャルオリンピックスは、知的障害のある方を対象に、年間を通じてオリンピック形式の様々なスポーツのトレーニングと競技会を提供している。Special Olympic “s” という名称に複数形の “s” が用いられるのは、日常的なトレーニングから競技会までが一貫して提供されていること、また、それが世界各地で実施されていることが理由である。スペシャルオリンピックスでは、活動に参加する知的障害のある方を「アスリート」と呼ぶ。それは、アスリートの継続的にトレーニングする姿勢に敬意を表しているためである。

スペシャルオリンピックスの競技会には、一定期間のトレーニングを積んだ8歳以上の知的障害児・者であれば、障害程度や競技レベルに関係なく参加できる。さらに、予選敗退はなく、全員が決勝に進出し表彰される。競技会では予選でのパフォーマンス、性別、年齢群を基に8名以下のグループに分けられ、決勝が行われる。たとえ競技レベルが低くても、それと同等の競技レベルの方と同じグループの中で競い合う。それによって、アスリートは実力を十分に発揮し、称賛される機会を得る。これらは、世界大会でも同様のルールで行われる。競技レベルの高い選手のみが競い合う、パラリンピックやINAS グローバル競技大会（国際知的障害者スポーツ連盟）等とは異なり、スペシャルオリンピックスは幅広い競技レベルの知的障害者に競技会の機会を提供している。

## 5. 陸上競技の練習会

本学での陸上競技プログラム（練習会）は、月に2回程度のペースで開催されている。練習会には、アスリートが20数名、コーチが5

名程度参加している。そこに、本学の学生数名や教員（筆者）も参加している。アスリートの中には、スペシャルオリンピックスだけではなく、全国障害者スポーツ大会等の競技レベルの高い競技会への参加を目指すアスリートも数名含まれている。スペシャルオリンピックスの指導者資格である、認定コーチの有資格者がコーチとして指導に当たっている。一昨年に本学を会場に開催された指導者養成講習会（コーチクリニック）には、本学の学生（陸上競技部の学生を含む）も5名参加し、認定コーチ候補者となっている。

普段の陸上競技プログラムでは、参加者がグラウンドに到着すると、まずは受付を行い、体調、練習内容等の確認を行う。続いて、ジョギング、ストレッチ等によるウォーミングアップを行う。その後、専門的なウォーミングアップとして、変形スタートや、陸上競技に関連した様々な動き（機能的トレーニング）を行う。その後、短距離、中長距離、投てき系種目の練習・記録測定を行う。また、リレー練習・記録測定を行うこともある。

「2.背景」にて前述したとおり、東京都障害者総合スポーツセンターで練習していた当時は、他の障害のある方の練習が行われる中で、陸上競技プログラムが開催されていた。知的障害の特性上、周囲の雰囲気や動きを見て、自ら安全な行動をとることが難しいことが多い。そのため、投てき系種目と、リレーの練習は断念せざるを得なかった。しかし、本学グラウンドを単独で利用できるようになり、それらの練習をすることが可能になった。これは単に練習内容の幅が広がったということだけではなく、アスリートがより多くの種目にチャレンジできる機会を拡げることにつながった。

投てき系種目の練習にはジャベボールを用いた。ジャベボールとは、ソフトボール大の扁平型のボールに尾翼が付いた物である。正しい投げ方をすると「ヒュー」と音が鳴り、投げ方を覚えることができる。全国小学生陸上交流大会では、2016年から投てき系種目の導入として正式種目に採用されている。そこで、これまで投てき系種目の経験がないアスリートのために、ジャベボールを用いた。また、投げる標的（まと）としてディスクゲッター・フープを用いることで、楽しみながら投げる練習をすることができた。

## 6. ICT デバイスを活用した指導

タブレット端末を主とした ICT デバイスは、スポーツの指導場面で多用されるようになってきた。活用事例としては、動作分析や戦術分析等がある。タブレット端末は撮影、分析、呈示を1台でこなすことができ、スポーツ現場にて即時的にフィードバックできる利点がある。近年では、スポーツ向けのアプリケーションも多数発表されている。例えば、「SloPro」は1秒間あたり1000コマの映像を作成することができ、スーパースロー映像を映し出す。「Hudl Technique」は映像に線や円といった図を書き込むことができたり、コマ送り再生が可能である。また、「Run-DIAS」は AI（人工知能）技術を応用し、ランニング中のフォームを撮影するだけで、関節角度の計測、スティックピクチャーの作成まで行う。

知的障害のある方は、ぎこちない動作を示すことが多い。様々なスポーツ動作を、観点別に評価する指標が、健常者を対象に開発されている。その評価指標が知的障害のある方にも応用できるのか、昨年度、筆者らはランニング動作に着目し検証を行った。その結果、知的障害

のある方を対象にした場合であっても、その観点別評価は有用性が高いことが示された（未発表データ）。

知的障害のある方がぎこちない動きをする理由として、運動イメージ・運動感覚に困難さがあることが挙げられる。アスリートは、日頃、自分の動きを見る機会がほとんどない。アスリートに、タブレット端末（iPad）を用いて、自身のランニングのスーパースロー映像を見せたところ、たいへん驚いていた。知的障害があるとはいえ、コーチから指摘されたことを心がけ、動作改善を意識している者も少なくない。上述のとおり、ランニング動作の観点別評価指標（動きの改善ポイント）が知的障害のある方にも応用可能である。知的障害のある方を対象にしたスポーツ指導場面にてタブレット端末を用いることは、障害特性の一つである運動イメージ・運動感覚における困難さを解決し、動作改善の一助となることを示唆する。



図2. タブレット端末を利用したランニング動作の確認

## 7. おわりに

本活動は、知的障害のある方における陸上競技の練習機会の拡充に貢献することができた。大学がもつ、施設、人材、専門性を活かすことが、参加者の満足度にもつながったと言えよう。また、本活動がきっかけで、他の障害者スポーツの支援についても、筆者に相談が寄せられるようになった。本学が地域の障害者スポーツの拠点形成に貢献する可能性が示された。その実現には、障害者スポーツ支援に関する体制の整備や学生サークルの設立が急務である。障害者スポーツを通じて、本学の学生・教職員と地域の障害のある方々との交流の機会が増えることで、インクルージョン社会の創出に寄与できるものと期待される。

## 参考文献

- 1) 厚生労働省. 平成28年版 障害者白書. 2016.
- 2) (公財) 笹川スポーツ財団. 障害者のスポーツ普及に関する調査研究報告書. 2016.
- 3) 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園. 高機能知的障害者支援のスタンダードをめざして. 2014.
- 4) 岩沼聡一郎 & 鳥居俊. 成人知的障害者におけるロコモティブシンドロームの危険因子と運動実施状況の関連性. 2017.

# 大切なペットを災害から守るための「ペット手帳」の制作と配布 ～足立区行政、地元 NPO 法人との連携～

山本和弘（生命環境学部 アニマルサイエンス学科）

キーワード：ペット、同行避難、防災、東日本大震災、熊本地震、地域連携

## 1. はじめに

アニマルラブフェスタというイベントを行い、この「ペット手帳」の作成に着手したのは、「飼い主の方も動物たちも、どちらも健やかであってほしい」という素朴な願いからであった。

日本は世界まれにみる災害発生国と言われている。数年周期で震度6以上の地震が各地で発生し、震度7以上の関東大震災級の地震は20～30年の周期で発生している記録が残されている（柴田，2017）。つまり、一人ひとりが一生に1～2度、大災害を経験すると言っても決して過言ではない。2011年の東日本大震災では、地震・津波に続く原子力発電所の災害により甚大な被害が生じ、またその後2016年に生じた熊本においても大規模地震が発生し、日本に住む人々にとって大規模災害は、他人事ではなく身近に起こるという経験をさらに印象づけることとなった（ペットの災害対策ガイドライン 2018）。

環境省も東日本大震災を教訓に2013年に「災害時」にペットを避難・保護・救護する方法について多くの人が周知できるようにという意図をもって「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を作成した。しかしながら、その後発生した熊本地震においては、ペットが避難所にいられないため、車中泊を強いられたり、被災した家屋にとどまり、そこが倒壊することによる二次災害に遭われた方もいた。このように「災害が発生してから救護対策」を行っていたのでは十分に対応できないことが浮き彫りとなった。（VMAT 標準テキスト，2017）そこで政府も「災害が生じる前から」人が災害に備えることができるように行政も対策に乗り出すこととなった。2018年3月には「人とペットの災害対策」というタイトルとなり、内容も大幅変更されたガイドラインが環境省から発表され、各自治体がこれに基づいて災害時およびその以前からの準備を官民ともに行うことになった。

今回、「アニマルラブフェスタ」というイベントを行い、帝京科学大学近辺から多くの住民の方が参加してくださり、この中で、シンポジウムや展示を通して災害時にペットたちがどのような被害にあうかを認識してもらうことができた。それだけでなく、今後いかに災害に対して備えるべきか、さらに、その防災に対する認識と理解を継続かつ恒久的に認知し続けてもらえるよう、この「ペット手帳」を制作することとした。

## 2. アニマルラブフェスタ：シンポジウム

アニマルラブフェスタは2014年から毎年、動物愛護週間における帝京科学大学のアニマルサイエンス学科のイベントとして毎年行われている。（図1）2017年度は「災害時の動物の保護」と題して、シンポジウム、展示、グッズ販売、および動物の譲渡会（パネル展示による）などを地元のNPOや民間のアニマルシェルターと共に7月23日に開催され160名以上の方が来場された。

とくにシンポジウムでは、災害についての備える方法や実際にペットをどのようにして守るかが議論され、120名以上の地域の方々にも広く参加いただいた（図2、図3）。



図1. アニマルラブフェスタチラシ



図2. シンポジウムの様子（1）



図3. シンポジウムの様子（2）

シンポジストとして、熊本地震の際に獣医療を用いて被災・負傷動物のペットの保護・治療活動をされた船津敏弘先生、東日本大震災で行政側として避難所での活動をされた亀田由香利先生、そして東日本大震災の時に警戒区域に入られた今本成樹先生を招聘した。各々プレゼンテーションを行っていただき、地域の住民の立場からも現実として何ができるかの意見の交換が行われた。会場からも、複雑かつ回答困難な今後の課題も提示され、これからこの地域が実際にどのように備えるべきかを考える機会とされた。それぞれのシンポジストが語った内容は、災害現場で経験された「生の声」であり、会場の聴衆にとっては、災害に対する新たな知識と経験を蓄える場となったと、後のアンケートで明らかになった。

### 3. ペット手帳の制作

シンポジウムの内容をふまえて、ペットの飼い主にとって何が必要なのか、災害に備えてどのように準備を進めてのよいのかを再考し、制作にあたった。また、制作にあたり、他の市区町村が、行政の立場から書かれたペット防災の出版物を環境省、東京都および市区町村からなるべく多く取り寄せ、内容を精査し、参考にした。

#### 3-1. 制作のコンセプト

他の市区町村のパフレットを収集する際に担当者の方にお話をうかがうと必ず帰ってくる言葉が、「繰り返し見ていただきたい」ということであった。

これらのパンフレットをペットの飼い主の方に見てもらおうと、文字数が多かったり、防災の専門用語が書かれていて内容が難しく理解するのに時間がかかったりするという意見も多くあった。よって、「長く繰り返し使っていただけるにはどのようにすればよいのか」ということが外部調査での課題となった。

そこで、人間の「お薬手帳」や「母子手帳」が一般的になっているように、そのペット防災バージョンの「ペット手帳」という形にして、継続的に使用できる形にしようということに至った。自分の飼っているペットの情報が記載できる、動物病院にももっていける、診察券も入れられる、そして最後は災害に対して備えるための防災に行き着く方法をとることとなった。ペットを実際に飼っている人の意見も取り入れつつ、実際にどのようにすれば、くり返し見てもらえ、長く使用してもらえるかを重視し、最終的にこのような完成形に至った。(図4)



図4. 完成したペット手帳

### 4. 地域との連携

足立区危機管理部、足立区衛生部足立保健所、および足立区広報室シティブロモーション課と連携を取り、内容についての確認を何度も行い、このペット手帳を通して、災害に対する危機管理を行うことができるのか、また、ペットに関する記載で誤った記載はないのかなど、足立区の行政の方々と話し合い、連携しながら作成が進められた。また、NPO 法人あだち動物共生ネットワークのメンバーとともに実際に動物を飼われている立場の視点からの意見を取り入れることができた。さらに、この作成にあたっては帝京科学大学のアニマルサイエンス学科の3年生の学生2名も関わり、原稿の推敲を繰り返し、討議し加筆修正された。

### 5. ペット手帳配布

あだち動物共生ネットワークの方が猫の譲渡会で配布してくださり、たいへん好評を得ることができた(図5)。何よりも、これなら継続的に使ってみたいという意見を聞くことが出来た。



図5. 猫の譲渡会で来場者にペット手帳を贈呈

2018年4月より開業した帝京科学大学付属動物病院に来院される患者の方々にも配布している(図6)。また、他の区や市へもサンプルとしての配布を開始しており、行政の方々もペットの防災に関する意識が高まることが期待できる。そして、帝京科学大学、アニマルサイエンス学科と足立区の行政、地域のNPO 団体で活動されている方々とが協力すればこのように有益な出版物ができること、さらにこれを通して地域の協力体制の大切さを広く知っていただければと願っている。



図6. 付属動物病院に配布されたペット手帳

## 6. 将来への展望

このような出版物を通して、少しでもペット防災に対する意識が向上するよう、このペット手帳は第2版、またそれ以降の出版も準備中である。実際に使用していただいた方々からの意見を取り入れ、さらなるバージョンアップを計る。また、この「ペット手帳」を他の市町村に普及させるためにデータの公開を行うことも進めている。データは「イラストレーター」というソフトウェアで作成されており、最終ページ（15 ページ）と表紙の「足立区」という文字を差し替えれば他でも使用できるように見えない工夫がされている。この「ペット手帳」が普及することにより、さらにペット防災に対する意識が高まり、実際に災害が発生した際にこの手帳をもっている人の役に立ち、ペットや人の命を救う働きにつなげたい。

## 謝辞

足立区危機管理部、足立区衛生部足立保健所、および足立区広報室シティプロモーション課の方々が、年度末の多忙な時期にもかかわらずペット手帳の推敲のために多大なる時間と労をさいてくださり NPO 法人「あだち動物共生ネットワーク」の皆様が情報提供、内容作成をしてくださりました。そして、帝京科学大学地域連携推進センターが印刷のための予算を捻出していただきました。イラストを提供してくださった森永みるくさん、制作の DTP を担当された PISTIS の方々に特別の謝意を表します。

この「ペット手帳」の作成に携わってくださったお一人おひとりに心よりの感謝を申し上げます。

## 参考文献

- 1) 「日本における地震工学の発展」柴田明徳 日本耐震工学研究会 2017
- 2) 東日本大震災被害状況・避難者情報復興 2017.12
- 3) 災害時におけるペットの救護対策ガイドライン 環境省 2013
- 4) 人とペットの災害対策ガイドライン 環境省 2018
- 5) VMAT 標準テキスト Veterinary Medical Assistance Team 災害動物医療研究会、2017
- 6) 東日本大震災被災動物救護活動報告書 社会的使命と深層的課題



# 学生の地域連携活動事例報告



# 千住キャンパス吹奏楽部における地域連携活動の実践

糸井望（千住キャンパス吹奏楽部）

キーワード：演奏、活動

## 1. はじめに

千住キャンパス吹奏楽部では社会とのつながりを持ち、様々な場所で演奏できるように活動している。そのために、自分たちで演奏場所を見つけたり、演奏依頼があれば引き受けたり、Twitter 等の SNS を利用して活動の情報を公開したりして、活動している。千住キャンパス吹奏楽部では部員が中心となり、演奏活動を行っている。時に顧問の先生方や、教務課の方に協力を仰ぎながら、活動している。部活の雰囲気は良く、先輩、後輩の関係は持ちつつ、学年は関係なく部員同士とても仲が良い部活である。活動の場が多く、連携が必要となってくる中、とても連携の取りやすい部活である。

千住キャンパス吹奏楽部は、平成 30 年 3 月現在、3 年生 6 人、2 年生 4 人、1 年生 7 人の計 17 人で活動している部活動である。活動場所は、千住キャンパス 7 号館 2 階の音楽室である。活動日時は月曜日、木曜日、土曜日で、月曜日と木曜日は 18：40～20：30、土曜日と長期休みの月曜日、木曜日は 9：00～18：00 に活動している。平成 29 年度の千住キャンパス吹奏楽部の、1 年間の活動スケジュールは以下の表の通りである。

表 1. 千住キャンパス吹奏楽部 平成 29 年度活動スケジュール

| 月 日  | 行 事     | 備 考                                                               |
|------|---------|-------------------------------------------------------------------|
| 4 月  | 3 日     | レッスン 外部の先生によるレッスン                                                 |
|      | 15 日    | 千桜祭 千住キャンパス本館 1305、1306 教室にて部活紹介                                  |
| 6 月  | 24 日    | レッスン 外部の先生によるレッスン                                                 |
| 7 月  | 8 日     | 老人ホームでの演奏会 千住桜花苑での演奏会                                             |
|      | 23 日    | アニマルラブフェスタ 千住キャンパス本館で行われたアニマルラブフェスタ内での演奏                          |
| 9 月  | 7～9 日   | 夏合宿 千葉県岩州にある民宿にて合宿                                                |
|      | 23 日    | Memorial Rebirth 説明会 東京藝術大学千住キャンパスにて Memorial Rebirth ティーンズ楽団の説明会 |
| 10 月 | 7 日     | Memorial Rebirth ワークショップ① 東京藝術大学千住キャンパスにて、第 1 回目のティーンズ楽団のワークショップ  |
|      | 14 日    | レッスン 外部の先生によるレッスン                                                 |
|      | 21 日    | レッスン 外部の先生によるレッスン                                                 |
|      | 28、29 日 | 桜科祭 桜科祭にて、ステージ演奏、後夜祭に出演。販売も行い、販売中にアンサンブル演奏を行った。                   |

|      |         |                                        |                                         |
|------|---------|----------------------------------------|-----------------------------------------|
| 11 月 | 4 日     | Memorial Rebirth ワークショップ②              | 東京藝術大学千住キャンパスにて、第 2 回目のティーンズ楽団のワークショップ  |
|      | 11 日    | Memorial Rebirth ワークショップ③              | 東京藝術大学千住キャンパスにて、第 3 回目のティーンズ楽団のワークショップ  |
|      | 25 日    | Memorial Rebirth リハーサル                 | 東京藝術大学千住キャンパスにて、Memorial Rebirth のリハーサル |
|      |         | 学校図書館 フォーラムでの演奏                        | 日本図書館学会から依頼があり、7 号館のカフェテリアにて演奏          |
|      | 26 日    | 大巻伸嗣 MEMORIAL REBIRTH 千住 関屋 2017 昼の部参加 | 千住の関屋公園にてしゃボン踊りを演奏                      |
| 3 月  | 12～14 日 | 冬合宿                                    | 栃木県の黒磯にて合宿                              |

今年度は昨年度よりさらに活動の場所を増やしたく、また、様々な曲の演奏ができるように、地域連携推進センターの助成を受けさせていただいた。

## 2. 活動(研究)報告

今年度の活動は、昨年度に比べて多くの場所で演奏させていただいた。千住キャンパス吹奏楽部では、地域連携活動として 4 つの活動拠を行った。

### (1) 老人ホームでの演奏会

7 月 8 日の土曜日に、社会福祉法人聖風会千住桜花苑様の一室を借りて、グループホーム千住さくら様との合同の演奏会を開いた。演奏会では 4 曲を演奏し、この 4 曲の他にアンサンブルを行った。演奏した曲のうち 2 曲は演奏を聴いていただいた千住桜花苑や千住さくらの入居者、スタッフの皆様にご歌っていただいた。40 分の演奏会であったが、とても楽しんでいただけた。昨年度から続けている活動だが、昨年度よりさらに盛り上がっていただけた。



写真1. 老人ホーム演奏



写真4. アニマルラブフェスタ



写真2. 老人ホーム演奏

#### (2) アニマルラブフェスタでの演奏

7月23日の日曜日に行われたアニマルラブフェスタ内で演奏をさせていただきました。20分の演奏を2回行った。曲中にダンスを入れて演出を工夫し、好評をいただいた。



写真3. アニマルラブフェスタでの演奏

#### (3) 日本学校図書館学会 学校図書館フォーラムでの演奏

11月25日の土曜日に行われた日本学校図書館学会の学校図書館フォーラム内で4曲演奏をさせていただきました。曲の中ではロズさんでいただける場面があった。また、フォーラム内では部活の紹介もさせていただきました。



写真5. 図書館フォーラム

#### (4) 「大巻伸嗣 Memorial Rebirth 千住 関屋 2017」昼の部の参加

11月26日の日曜日に、千住の関屋公園にて行われた「Memorial Rebirth」の昼の部にて、ティーンズ楽団として参加させていただきました。「Memorial Rebirth 千住」とは、1分間に約1万個のシャボン玉が出るマシンを使って、いつも見慣れているまちの風景をたくさんのシャボン玉の世界に変え、観ている人を魅了するアートパフォーマンスである。



写真 6. Memorial Rebirth 昼の部の様子

昼の部ではティーンズ楽団として、シャボン玉と一緒に歌ったり踊ったりすることのできる「しゃボン踊り」をビックバンドの方々と演奏した。



写真 7. Memorial Rebirth 演奏の様子

### 3. 結果と考察、まとめ

地域連携推奨センターの助成を受けた結果、今年度は昨年度に比べて、多くの場所で、様々な曲の演奏ができた。また、いろいろな場所から演奏依頼のお声がかかり、千住キャンパス吹奏楽部の知名度が上がっていることを感じた。活動の場が広がったおかげで、部員の演奏技術の向上や演出の幅の広がり、演奏する曲のレベルの向上等の成長が感じられた。千住キャンパス吹奏楽部にとって平成 29 年度は、様々な場所で演奏ができ、成長を感じられた年だった。



# 障がいのある人を対象とした障がい者乗馬の実践 ～ミニ乗馬会と第24回、第25回乗馬会を振り返って～

平田達稔（障がいのある方のための乗馬会「乗る・馬・体験」実行委員会）

キーワード：乗馬体験、レクリエーション

## 1. はじめに

乗馬会を開催するにあたり、約2か月と2週間前から企画会議を始めます。乗手さんに楽しんでいただけるよう、季節ごとのテーマとそれに沿った装飾や企画をします。乗手さん、ボランティア募集を、1か月前には乗手さんに向けた資料作成や郵送をしたり、ボランティアに向けた講習会や打ち合わせなどをします。1週間前には、ご協力いただく馬センターの職員さん、学生スタッフ、先生方とのスケジュール確認をし、当日に臨みます。当日を終えると乗馬会委員と馬センターと先生方を含めた反省会をし、準備期間や当日の反省を次に活かせるよう、話し合います。その後、ご協力いただいた先生方に感謝とご報告も込めて報告書を毎回作成し、お渡ししています。

2016年度は3月にミニ乗馬会、2017年度は7月と12月に第24回、第25回乗馬会の計3回開催しました。以下は、回ごとの内容とアンケート結果と考察を報告します。

## 2. 活動報告

春 ミニ乗馬会（2017年 3月）

### 【活動内容】

3月の乗馬会では、馬事介在活動センター（通称うまセンター）をメイン会場とした“ミニ乗馬会”を開催いたしました。第24、25回に比べ規模は小さいですが、より乗手個人にあったプログラム内容で新しい乗馬プログラムも行いました。

### 【乗手の病名・障がい名】

肥大心筋症 1人 知的障害 1人  
神経管閉鎖障害 1人

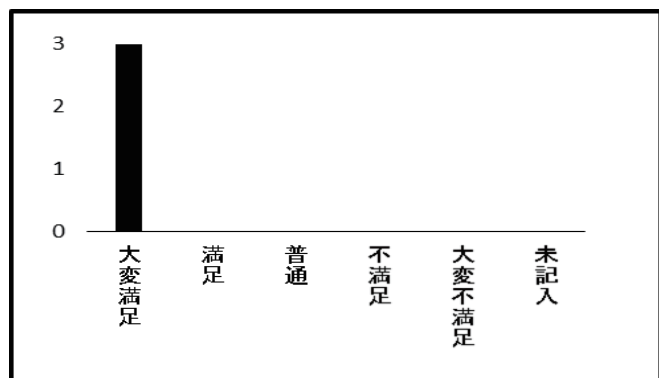


図1. 「今回の乗馬体験はいかがでしたか。」(n=3)

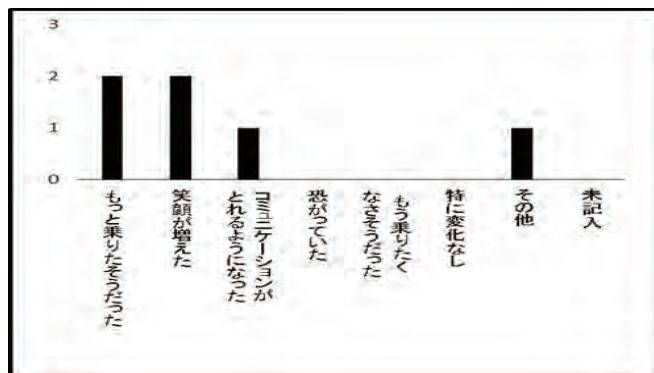


図2. 「乗る前と乗った後のお子さんの変化や感想などありましたら、教えてください。」(n=3)

### 【考察】

春ミニ乗馬会では、参加人数が少ないこともあり、乗馬のみならず人参あげ、絵カードを使った乗馬など、乗手個人に合わせたプログラムを行いました。(図1)より、乗手・親御さんに満足していただけているとわかります。また、(図2)の項目からは、乗馬前後途中の変化があったことが分かります。これは、親御さんに行う事前アンケートにて、乗手の好きなものを把握し、乗馬プログラムに取り入れた成果だと考えられます。

第24回（2017年 7月開催）

### 【活動内容】

初めての試みとして、作業療学科の石井先生にインストラクター、うまセンター職員の喜久村氏にインストラクター補助という形で行いました。新体制での乗馬会がスタートし、初めての試みでしたが、石井先生ならではの乗馬プログラムを行うことができました。乗手や親御さんには「たくさん遊んでもらった」「いつもと変わらずレクリエーションを楽しめた」などのご感想をいただき、実施者含め、ケガなく終わることができました。

また、今回も、広報をアニマルサイエンス学科だけでなく、作業療学科やこども学科、他大学に広げた結果、大学の垣根を越えてボランティアに参加していただきました。

### 【乗手の病名・障がい名】

自閉症 6人 知的障害 2人  
発達障害 1人 大田原症候群 1人

※乗手10名のうち、「てんかん」は3人。

【アンケート結果】

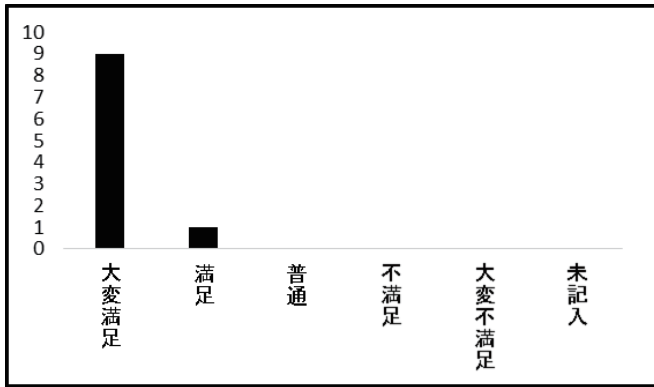


図3.「本日の乗馬会はいかがでしたか。」(n=10)

図3の項目では、ほとんどの方に「大変満足」・「満足」と回答していただきました。

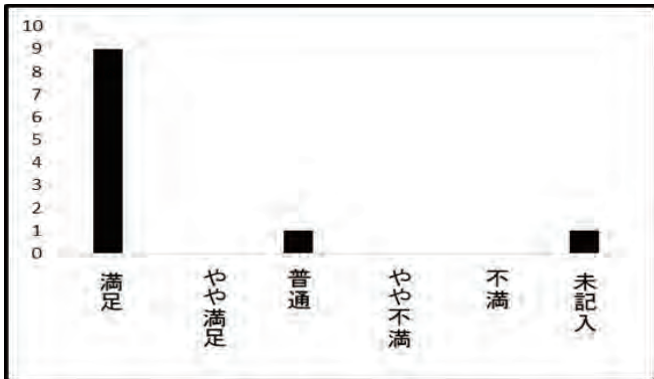


図4.「学生の対応はいかがでしたか。」(n=10)

図4からわかるように、回答者の全員に満足と回答していただきました。自由記述欄に記入してくださった方の中に「とても親切に、友好的であり明るく楽しく接していただきました。」「段差補助など安心してみていられた。」「わかりやすく話しかけてくれた。」との回答をいただきました。

【考察】

第24回は、昨年退職された今野直人氏に代わり、作業療法学科の石井先生にインストラクターをしていただきました。乗手手の安全やインストラクター側の忙しい雰囲気避けるために、1ターンの時間をいつもより長くしました。その結果、(図3,4)より、乗手手や親御さんに安心感、リラックスを与えられたと考えられます。

第25回〈2017年12月開催〉

【活動内容】

今回、本館棟の使用ができなかったため、いこいの広場・大会議室を使い開催しました。限られた範囲でしたが、装飾を冬にちなんだ飾りつけにしたり、実施側がサンタさんの恰好をして乗手手と会話したりと、賑わいある乗馬会となりました。また、参加者に記念として「手作りスノードーム」を贈呈しました。

【乗手手の病名・障がい名】

|      |    |        |    |
|------|----|--------|----|
| 自閉症  | 4人 | 大田原症候群 | 1人 |
| 発達障害 | 1人 | 知的障害   | 2人 |

【アンケート結果】

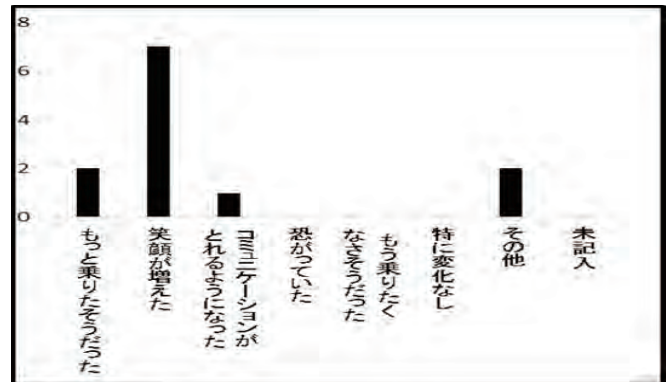


図5.「乗る前と乗った後のお子様の変化や感想がありましたら教えてください。」(複数回答可) (n=8)

図5の質問では笑顔が増えた、コミュニケーションをとれるようになったなどの回答をいただきました。また、「リラックスしているように見えた」「自分から話しかけていた」などのお声をいただきました。

【考察】

第25回は、試みとして、「乗手手と親御さんが同じ空間で乗馬をする」というプログラムを実施しました。親御さんから「貴重な体験ができた」「安心して乗ることができた」などのお言葉をいただきました。(図5)より、「今回は母親が乗馬に参加し、とても楽しく笑顔が多く、リラックスしたように見えました。」と回答していただきました。今回の試みは、『普段、自分は馬に乗っているが、親は見ているだけ』という状況が多かった本乗馬会において、乗手手がリラックスできただけでなく、乗馬中に親子の関係が垣間見え、乗手手・親御さん双方の体験に繋がったと考えられます。

3. まとめと謝辞

今年度から今野直人氏に代わり、馬の管理を喜久村徳淑氏、高野真幸氏、洲上真帆氏。インストラクター・乗手手の査定として作業療法学科の石井孝弘先生にご協力していただきました。新体制になったばかりの乗馬会ですが、乗馬会を支えてくださった関係各位の皆様からご指導・ご鞭撻をいただき、大変ありがたく思います。

当実行委員会は今年で13年目を迎えます。乗馬会のさらなる向上のために、実行委員で会議を進めてきました。その甲斐あり、今年度の3月に開催されるミニ乗馬会では、初参加の方から多くの乗馬希望をいただき、「障がい者乗馬を必要としている人がいる」ことを、委員一同実感しております。これからより一層、参加者が楽しめる、本学ならではの特徴を活かした乗馬会をつくっていききたいと思います。

まだまだ未熟な我々ですが、これからもご支援をよろしくお願い致します。

平成 29 年度障がいのある方のための乗馬会

「乗る・馬・体験」

実行委員会

アニマルサイエンス学科 4 年

|        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 秋山 真裕子 | 浅見 晴香 | 齋藤 智仁 |
| 佐々木 晃大 | 中地 瑞貴 | 林 佑   |
| 平山 ちひろ | 二木 菜月 | 山内 愛実 |
|        | 吉田 泰大 |       |

アニマルサイエンス学科 3 年

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 青木 瞳  | 阿部 匠  | 岩倉 未幸 |
| 上田 桃子 | 白田 智映 | 田口 愛  |
|       | 野田 直子 |       |

アニマルサイエンス学科 2 年

|       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 池谷 尚斗 | 竹内 涼  | 林 姫花   |
|       | 平田 達稔 | 福士 佳寿真 |

アニマルサイエンス学科 1 年

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 浅川 響 | 今泉 彩音 | 佐々木 愛 |
|      | 高橋 涼太 | 山田 玲花 |



## AQUASHIP、2017年度の地域連携活動

見浪僚亮（生命環境学部 アニマルサイエンス学科）・加賀谷玲夢（総合教育センター）

キーワード：山梨県立富士湧水の里水族館、ボランティア、山梨県、環境教育、水生生物

### 1. はじめに

「水と水の生き物の素晴らしさを伝える会 AQUASHIP（以下、AQUASHIP）」は、昨年度に引き続き、「山の中の水族館。」山梨県立富士湧水の里水族館（図1）との連携活動を行うことができた。また、足立区の小学生や障がいを持つ子供たちへの環境教育活動も行った。本稿では2017年の主な活動について報告する。



図1. 山梨県立富士湧水の里水族館でのボランティア説明会

### 2. 2017年度の地域連携活動について

2017年度のAQUASHIPの部としての活動は、①山梨県立富士湧水の里水族館（以下『県立水族館』）におけるボランティア活動、②県立水族館の大学祭出展補助、③県内各地での移動水族館出展補助、④足立区の小学生の遠足での川ブース担当（河川の環境教育活動）、⑤障がい者乗馬会における環境教育ブース担当等がある。また、それとは別に⑥県立水族館の飼育職員さんと合同の採集会、⑦県立水族館の職員さんを招いた勉強会の開催、⑧希望者によるダイビングライセンスの取得イベント開催、⑨水族館めぐりなども実施した。本報告書ではこのうち、地域連携に関係のある①②③④⑤⑥⑦について詳細を以下に記載する。

#### ①山梨県立富士湧水の里水族館におけるボランティア活動

2017年度の湧水の里水族館でのボランティア活動は2017年4月2日から2018年2月25日のうち、原則として日曜日に行われた。活動日は51日であり、のべ196人が参加した。活動に参加した学生は26名であった。このうち、もっとも多かった3名は20回参加し、1度しか参加していない部員は5名いた。

県立水族館までの交通手段は高速バス（上野原～忍野入口）、電車（JR中央線、富士急行線）及び、学生の自家用車などを利用した。キャンパスと離れた場所にある活動であるため、活動においては交通費が大きな課題となる。交通費は、個人負担、部費からの補助と共に、

地域連携推進費を使用した。仮に、のべ200名が全て電車と路線バスを利用すると交通費はおおよそ70万円となり、比較的安価な高速バスの場合でも約45万円かかる計算になる。2017年度は地域連携推進センターより148600円の助成を頂いたため、全体の2割から3割もの金額を負担して頂いたことになる。

ボランティアの主な活動内容は次のとおりである。

#### （1）「二重回遊水槽 餌やり体験」司会・進行・解説

日曜日の午前11時及び午後2時に行われる「二重回遊水槽エサやり体験」の司会、進行、解説を担当させていただいた。「餌やり体験」を行うにあたっての注意点や、やり方を説明しながら司会進行し、餌やりを行う二重回遊水槽の仕組みや、展示されているニジマスやイトウ、チョウザメなどの魚について解説を行った。（図2）



図2. 二重回遊水槽エサやり体験補助の様子

#### （2）「貝殻工作体験コーナー」進行

日曜日の午前10時から午後3時まで行われる「貝殻工作体験コーナー」の進行についても毎回担当させていただいた。この「貝殻工作体験コーナー」は、貝殻・ビーズ・石などを使用して、水に住む生きものを作るイベントであり、進行を担当するメンバーは、参加者に材料の説明や貝殻の枚数の説明、組み立てに使用するグルーガン（ホットボンド）の使用法の説明、工作の補助を行った。

#### （3）給餌、水槽掃除

県立水族館で飼育している魚類や爬虫類、両生類等に、その生き物に合った餌を給餌した。飼育職員の指示に従い、水槽の掃除も行った。30～60cmの小型のものから、水槽の中に入って掃除をする大型のものまで大小様々な種類の水槽を掃除した。水槽に付いている苔を落としたり、砂利の中のフンやゴミなどを取り除いたりする作業を行った（図3）。また水槽の水の入れ換えや人工海水の調整などの作業も行った（図4）。これらの活動は、ボランティアとしての館へ貢献すると

共に、水族館への就職希望の多いAQUASHIP メンバーにとっては、水槽の管理の方法を学ぶ意味においても意義があると感じられた。



図3. ガラス面をスポンジで拭き汚れを落とす



図4. 人工海水の調整

#### (4)「チョウザメタッチング」司会・進行・解説

ゴールデンウィークや夏休みなどの長期休暇に行われるイベントである「チョウザメタッチング」も担当させていただいた。注意点や触り方を説明した上で、お客さんにチョウザメに触れてもらい、サメとチョウザメの違いや、チョウザメの生態なども解説した。(図5)

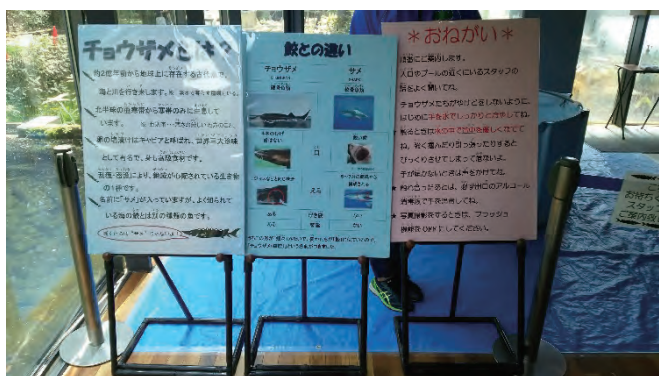


図5. 待っているお客さんにもチョウザメの解説をする

#### ②大学祭における富士湧水の里水族館の出展補助

本学で行われた大学祭(科大祭)に県立水族館が出展し、AQUASHIPはその補助を行った。「ふれあい体験」と称してザリガニのタッチングも実施し、AQUASHIPのメンバーがタッチングの仕方などを来場者に説明した。学生だけでなく外部からも大勢の方に来ていただき、山梨県立富士湧水の里水族館や AQUASHIP の活動に興

味、関心を持って頂く事ができた。

#### ③県内各地での富士湧水の里水族館の移動水族館出展補助

11月18から19日に山梨県甲府市の小瀬スポーツ公園にて開催された山梨県民の日イベントに、富士湧水の里水族館が移動水族館を出展し、AQUASHIPもその補助をさせていただいた。(図6)



図6. 移動水族館でのガラルファ触れ合い

#### ④足立区の小学生を対象とした遠足における河川的环境教育活動

2017年9月6日、7日、8日、11日、14日に上野原市秋山地区を訪れた足立区の小学生の遠足において、AQUASHIPは河川的环境教育活動を行った。バケツを使って川虫などを採取した。今年は採集した生き物にシールを貼るビンゴカードを作るなど、遊び要素も取り入れた。最後に部員から、採集できた指標生物についての解説を行い、この川がきれいかわ、守っていくにはどうしたらいいのかななどを小学生たちと話し合った。

#### ⑤本学の障がい者乗馬会への参加

7月2日に本学で行われた障がい者乗馬会「乗る・馬・体験」にAQUASHIPも参加した。障がい者乗馬会は障がいを持つ子供たちに馬と接する体験を提供し、それを通して生活の向上を目指すことを目的とした活動である。このイベントにおいて、馬だけでなく水生生物を使って何か伝えられることは無いかと実行委員会から話をいただき、参加することになった。水生生物のシルエットクイズや解説、カメへの餌やりなどを行った。(図7)



図7. AQUASHIPが飼育している生き物へのエサやり体験

#### ⑥県立水族館の飼育職員さんと合同の採集会

県立水族館では、県内の動物を飼育展示しており、業務の一環とし

てこれらの採集も行っている。今年度もAQUASHIPメンバー数名が採集の補助を行った。採集した生物は水族館で公開している。(図8)



図8. 職員さんとの生き物採取の様子。採れた生き物は展示する

#### ⑦県立水族館の職員を招いた勉強会の開催

12月5日には本学実験研究棟に県立水族館の飼育員さんをお招きし、AQUASHIPの勉強会が開催された。飼育員という仕事について、また、この職業を目指すための心構えについてなどを熱く語って頂いた。参加したAQUASHIPメンバーも真剣に聞いていた。(図9)



図9. 大学に水族館の職員さんを招いて開催された勉強会

#### 3. 2017年度を振り返って

2017年度も2016年度と同様に、山梨県立富士湧水の里水族館でのボランティア活動などの恒常的活動に加え、足立区の小学校の遠足、移動水族館の出展補助といった環境教育に携わることができ、多くの方に「水と水の生き物の素晴らしさを伝える」ことができたと思う。また県立水族館では水槽の作成(図10)や企画展の準備(図11)、その他様々な経験(図12)をさせていただいた。年々AQUASHIPに任される作業が増えているように感じて、嬉しく感じるとともに、身が引き締まる思いである。

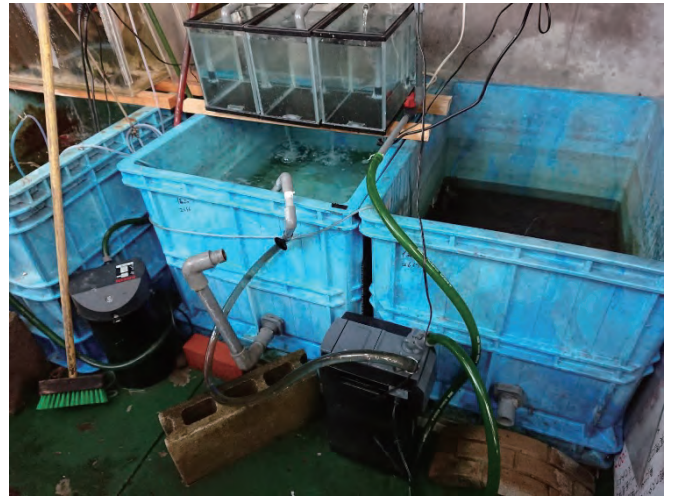


図10. 学生がパイプをつなぎ合わせて作ったオーバーフロー水槽



図11. 企画展 湧き水に棲む生き物たち



図12. 冬には水族館の周りの雪かきをすることもある

#### 4. 今後の展望

今後も山梨県立富士湧水の里水族館と連携して、ボランティア活動が続いていきたいと考えている。採集会などのフィールドワークによって水生生物の生態を直接学び、また飼育職員の方による講演会等を開催することでメンバーの知識、技術のより一層の向上を目指していきたい。そして、様々な方々に、水生生物の魅力を環境教育として伝えていきたいと考えている。

#### 謝辞

「森の中の水族館。」山梨県立富士湧水の里水族館及び、スタッフの方々には、AQUASHIPの活動に対して、またボランティアのメンバーひとりひとりに対して、多大なるご支援、ご指導を賜りましたこと、

深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

また、富士湧水の里水族館がある忍野村は上野原キャンパスから約50kmも離れており、学生団体であるAQUASHIPにしてみれば、富士湧水の里水族館での活動は、とにかく交通手段（すなわち交通費）の確保ができないと維持することが難しく、例年、最大の制限要素となっています。2017年度に交通費の支援をしていただいた帝京科学大学地域連携推進センターには、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

#### 参考文献

- 1) 忍野村観光協会WEBサイト「富士忍野高原 おしのナビ」  
[http://www.oshino.jp/spot\\_sakana.php](http://www.oshino.jp/spot_sakana.php)
- 2) 山梨県WEBサイト「山梨県立富士湧水の里水族館について」  
<http://www.pref.yamanashi.jp/kakinousui/suizokukan.html>

# Sing with Butterfly 夏の信州自然体験キャンプサポート隊

江田慧子・赤池裕成・牛原琴音・今野佑香・根本康平・三山大智（教育人間科学部 学校教育学科）

キーワード：ミヤマシジミ、音楽、生物多様性

## 1. はじめに

帝京科学大学は長野県と信州生物多様性ネットきずなとともに生物多様性に関する包括連携協定を結んでおり、大学は教員の学術的アドバイスと学生の派遣について協力することになっている。今回は協定をもとに絶滅に瀕している蝶のミヤマシジミの保全活動を子どもたちに知ってもらい、実際に体験する2泊3日の自然体験キャンプを長野県伊那市で行った。ミヤマシジミの保全活動に参加したのち、その体験をもとに歌詞を作り、「歌」にまとめた。

蝶の保全活動と歌作りの補助として教育人間科学部学校教育学科2年生が選ばれた。そのため、千住キャンパス内で事前準備を行い、8月のキャンプで子どものサポートを行うこととなった。

## 2. 方法

開催時期：2017年8月9～11日の2泊3日

実施場所：長野県伊那市、上伊那郡南箕輪村

実施対象者：長野県内で募集された4～6年生18名

## 3. 結果

予定通り、実施することができた。日程と内容詳細については下記に示した。

表 1.8/9（初日）のスケジュール

| 時刻          | 活動         | 内容                                                                                                                                         |
|-------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:10-10:30  | 当日準備       | 信州大学農学部ゆりの木にて開会式等の準備を行う。<br>準備品：席札、セロテープ<br>実施者：全員                                                                                         |
| 10:30-11:00 | スタッフミーティング | 最終的な打合せを行い、役割分担、日程等を確認する。<br>準備品：スタッフ用資料<br>実施者：全員                                                                                         |
| 12:00-12:45 | 受付         | （１）各自保険証のコピーを持参するので預かる。<br>（２）参加者を席まで案内する。保護者も引き続き聴講する場合は、保護者席に案内する。<br>準備品：参加者名簿、筆記用具、フラットファイル、穴あけパンチ。<br>実施者：学生<br>注意事項：個人情報の取り扱いには注意する。 |
| 13:00-13:15 | はじめの会      | （１）開会の言葉<br>（２）主催者あいさつ<br>（３）来賓あいさつ<br>（４）閉会の言葉<br>実施者：長野県                                                                                 |

|             |                 |                                                                                                |
|-------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:15-13:30 | オリエンテーション       | 開会式後、スタッフ紹介、日程説明、注意事項等について説明。その後、子どもたちの自己紹介。<br>実施者：長野県                                        |
| 13:30-14:40 | ちょうのお話<br>うたのお話 | 保護者や一般の方も聴講可能とする。<br>江田、湯澤かよこさん（シンガーソングライター）のコラボによるトーク等を行う。<br>準備品：パワーポイント、パソコン<br>実施者：江田、湯澤さん |
| 15:00-15:30 | カンバッジ作り         | 名札も兼ねたカンバッジ作りを行う（図1）。<br>準備品：缶バッジ機械一式<br>実施者：学生                                                |
| 15:30-16:30 | レクリエーション        | 参加者が仲良くなれるようなレクリエーション。<br>児童に怪我がないように配慮する（図2・3）<br>実施者：学生                                      |
| 16:30-16:45 | 大芝荘へ移動          | バスで移動 荷物の忘れ物がないようにする。<br>実施者：全員                                                                |
| 16:45-17:00 | 今日の感想記入         | その日の予定が終了し、コテージに戻り少し休憩したら、「しおり」内にある今日の感想について記入をしてもらう。<br>準備品：しおり<br>実施者：全員                     |
| 17:00-18:30 | 入浴の付き添い         | 各コテージ単位で大芝の湯へ連れて行く。<br>実施者：全員                                                                  |
| 18:30-19:40 | 夕食              | 同部屋の子供を連れていく。スタッフは夕食後、同じ会場で本日の反省及び明日の打合せを行う。<br>実施者：全員                                         |
| 19:40-20:30 | 花火大会            | みんなで花火を行う。<br>準備品：花火、はし、水、ろうそく、ライター。<br>注意事項：子供達が火傷等しないよう注意する。<br>実施者：全員                       |
| 21:00       | 就寝              | 21時には就寝できるよう、子供たちの様子を見る。<br>準備品：ふとん2組（A棟、B棟）<br>実施者：全員                                         |



図 1.3 日間使う名札としたカンバス作り



図 2. レクリエーションの様子



図 3. 友だちづくりの様子

|            |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8:45-9:00  | 出発          | 課外活動に必要な荷物をまとめて、玄関に集合する。バスでチョウの生息地に向かう。忘れ物がないよう声かけを行う。<br>実施者：全員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 9:00-11:30 | チョウとのふれあい体験 | <p>【晴天時】鳩穴公園<br/>中村寛志先生（信州生物多様性ネットワーク会長）や江田の指導のもと、鳩穴公園でミヤマシジミの生態を説明し、その後チョウを観察し、昆虫採集を行う。珍しいチョウは観察するのみで採集してはならない。それ以外のチョウは採集し、名前を調べたと述べる。午後の歌作りに繋がる大事なステップのため、子どもたちに見たときの感情や思い等を聞く（図 4・5・6・7）。</p> <p>準備品：スケッチブック、昆虫網、三角紙、虫かご、救急箱、ドリンク。</p> <p>野外のため、怪我をしないように気をつける。<br/>熱中症に注意する。<br/>実施者：中村先生、江田、学生</p> <p>【荒天時】鳩穴公園 ぽっぽ館<br/>ぽっぽ館で、昆虫クイズ、ミヤマシジミの生態の説明と生息できる環境についてみんなで考える。</p> <p>準備品：スライド機材、資料等、パンフレット<br/>実施者：江田、学生</p> <p>※当日の天候が晴れだったため、「晴天時」のプログラムを実施した。</p> |



図 4. ミヤマシジミについて子どもへ指導している様子（左下はシャーレ内の幼虫）

表 2. 8/10（2 日目）のスケジュール（1）

| 時刻        | 活動 | 内容                                                   |
|-----------|----|------------------------------------------------------|
| 7:00-7:30 | 起床 | 7 時には起床し、着替えを行う。子供たちの体調を聞き取る。<br>実施者：全員              |
| 7:30-8:45 | 朝食 | 大芝荘で朝食をとる。同部屋の子供を連れて、7:30 までに大芝荘の会場までに向かう。<br>実施者：全員 |



図5. ミヤマシジミの生息地で説明を聞いている様子



図6. ミヤマシジミを子どもたちとともに観察している様子



図7. 観察できたミヤマシジミの雌成虫

表3.8/10 (2日目) のスケジュール (2)

| 時間              | 活動           | 内容                                                                                |
|-----------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 12:00-<br>13:00 | 昼食・休憩        | お弁当を配る。子どもたちに水分補給をさせる。<br>準備品：市町村指定のごみ袋<br>注意事項：子供たちの体調を確認する。<br>実施者：全員           |
| 13:00-<br>17:00 | みんなで<br>歌づくり | 10 日は鳥取公園のほぼほぼ館内でおこなう。チョウとのふれあひ活動等を体験し、体験で感じたことを歌にまとめる。班ごとに分かれてスケッチブック等感じたことを書き出し |

|                 |             |                                                                                              |
|-----------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 |             | ながら歌詞を考える（図8）。<br>準備品：スケッチブック、ポスカ<br>実施者：湯澤さん、学生                                             |
| 17:00-<br>17:30 | 大芝荘へ移動      | 実施者：全員                                                                                       |
| 17:30-<br>18:00 | 今日の<br>感想記入 | 戻り次第、「しおり」内にある今日の感想について記入をさせる。<br>準備品：しおり<br>実施者：全員                                          |
| 18:00-<br>19:30 | BBQ 大会      | 大芝のBBQ 場で行う。同部屋の子供を連れて、18 時までには大芝荘の会場まで駆て来る。<br>スタッフは夕食後、同じ会場で本日の反省及び明日の最終打ち合わせ行う。<br>実施者：全員 |
| 17:00-<br>18:30 | 入浴の<br>付き添い | 各コテージ単位で大芝の湯へ連れて行く。<br>実施者：全員                                                                |
| 21:00           | 就寝          | 21 時には就寝できるよう、子供たちの様子をみる。<br>準備品：ふとん 2 組（A 棟、B 棟）                                            |



図 8. 湯澤さんと一緒に歌詞を考えている様子

表4.8/11 (3日目) のスケジュール (1)

| 時間         | 活動       | 内容                                                                                   |
|------------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 7:00-7:30  | 起床       | 7 時には起床し、着替えを行う。子供たちの体調を聞き取る。                                                        |
| 7:30-8:45  | 朝食       | 大芝荘で朝食をとる。<br>同部屋の子供を連れて、7:30 までに大芝荘の会場までに向かう。                                       |
| 8:45-9:00  | 出発       | 課外活動に必要な荷物をまとめて、玄関に集合し、バスで信州大学に向かう。                                                  |
| 9:00-10:45 | みんなで歌づくり | 信州大学内でおこなう。みんなで作った歌詞を並べて、検討する。歌のタイトルを全員で考える (図 9)。<br>準備品：スケッチブック、ポスカ<br>実施者：湯澤さん、学生 |



図9. 子どもたちと歌詞を手直している様子

表5. 8/11（3日目）のスケジュール（2）

| 時間              | 活動                   | 内容                                                                                                                    |
|-----------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11:00-<br>12:00 | 歌練習                  | メロディにのせて、作った歌詞を歌ってみる。発表会に向けて練習を行う（図10）。<br>実施者：全員                                                                     |
| 12:00-<br>13:00 | 昼食・休憩                | お弁当を配る。子どもたちに水分補給をさせる。<br>準備品：市町村指定のごみ袋<br>注意事項：子供たちの体調を聞き取る。                                                         |
| 13:00-<br>15:00 | オリジナル<br>Tシャツ<br>づくり | 信大キャンパス内で行う。10月にアクトスペースで行う発表会の際に着る、オリジナルTシャツを作る。Tシャツに布用クレヨンで絵付けを行う。<br>準備品：Tシャツ、布用クレヨン<br>実施者：長野県、学生                  |
| 15:00-<br>15:30 | おわりの会                | 信大キャンパス内で行う。<br>（1）開会の言葉（長野県）<br>（2）主催者あいさつ、講評（中村先生）<br>（3）10月の発表会について（長野県）<br>（4）閉会の言葉（長野県）<br>児童を保護者に引き渡すときに特に注意する。 |



図10. 子どもたちが歌えるように歌詞を見せてサポートをしている様子

#### 4. 感想

子どもたちに体験を行ってもらった結果、大学生では思いつかない歌詞が生まれた。

子どもたちを預かることは多くの責任が生じることが分かり、また子どもたちとの実際の距離感も分かり大変有意義な活動となった。また、自分たちが生きものについて知っていないと教えることができないと実感した。



図11. キャンプ終了時の学生

#### 5. 謝辞

本キャンプは信州生物多様性ネットきずな主催のもと、共催がミヤマシジミ研究会、協力として長野県自然保護課、長野県望月少年自然の家、特別協賛としてミヤマ株式会社、帝京科学大学、信州豊かな環境づくり県民会議、後援として伊那市、南箕輪村、信州大学にご協力いただき無事終了することができた。厚く御礼を申し上げる。

# 学校教育学科公認サークル SAT

島田悠暉（学校教育学科公認サークル SAT）

キーワード：地域貢献活動、学校ボランティア

## 1. はじめに

SAT とは、「学生教育研修生」の英語表記、Student Assistant Teacher の略であり、教員を目指す学校教育学科の学生で構成された学科公認サークルである。

SAT の目標は、教員を目指す私たち学生が、近隣地域の教育現場や様々なボランティアなどの地域貢献活動を通して、教員に求められる「社会性・コミュニケーション能力・企画調整力」を高めるとともに、教員になる意欲向上につなげることにある。

学校教育学科の学生たちには、「子どもたちに勉強を教えたい」、「子どもたちを対象としたイベントがしたい」、「たくさん子どもたちとふれあいたい」などの様々な要望がある。一方、近隣の小中学校や高校からの学習支援を含めた様々な学校ボランティアの要請や足立区教育委員会や近隣地域からの様々な教育活動の要請がある。そこで、SAT は自らも率先して活動の担い手になるのはもちろんのこと、学生たちと地域からの活動要請の「橋渡し」をする役割も担う。

教員を目指す上で必要な資質・能力を養うことを大切にして、大学内外を問わず、それぞれの学生が主体的に活動内容を吟味・企画して自発的に取り組んでいる（図1）。



図1. 新入生に向けた SAT スタッフによる活動紹介の会合（SAT 会）

## 2. 今年度の活動報告

SAT は年間を通して様々な活動を行っている。そこで、今年度を実施した、学外を活動の場とした『学習支援ボランティア』と『地域貢献活動』、学内を活動の場とした『オープンキャンパス』、『体験！一日大学生』、『夢の体験教室』をそれぞれの主な活動として取り上げ、その活動状況を以下に紹介する。

## ①学習支援ボランティア

### 【場所・期間】

|                            |                         |         |
|----------------------------|-------------------------|---------|
| 葛飾区立東金町小学校                 | (2016 年 5 月)            | ～ 現在継続中 |
| 足立区立大谷田小学校                 | (2016 年 11 月)           | ～ 現在継続中 |
| 足立区立花畑北中学校                 | 2017 年 6 月              | ～ 現在継続中 |
| 東京都立青井高校                   | (2016 年 5 月)            | ～ 現在継続中 |
| 足立区教育委員会主催「大学生による夏休み宿題応援隊」 |                         |         |
|                            | 2017 年 8 月 (3、4、24 日以外) |         |

### 【目的】

近隣の小学校・中学校・高校側からの要請を受けて実施する活動である。教育実習の前に教育現場を体験し、学校現場での教員の授業補助や児童・生徒とのふれあいを通して学習の支援を行うことにより、教員を目指す上で必要な資質・能力を養う。

### 【活動内容】

授業補助、理科実験準備、放課後の補習活動の支援、特別支援教室での生徒の活動支援、夏休み中の各種施設での宿題や学習の支援。



図2. 高校での学習支援（数学・英語の補習指導）



図3. 小学校での学習支援（漢字検定、算数検定の支援）

## 【評価】

2016年4月のSAT設立当初から継続的に行っている活動である。学科や教職センターでの支援の下、学校ボランティアに必要な事前講習を受けるとともに、ボランティア要請校である相手校での事前面接をへて活動を行なった。

教育現場における教員の仕事の様子を間近に見学でき、また、実際に教員の指示の下で様々な授業や教科外活動を体験できた。

さらには、児童・生徒と直接触れ合えるので、教育実習前の就業体験として貴重な機会となった。

## ②地域貢献活動

## 【場所・期間】

アリオ西新井での遊び体験：「codomoDEnetのあそびのフリマ」

2017年 5月20日、11月18日

東綾瀬公園での地域教育活動：

「オフスクールパーク：公園 de サイエンス」

2017年 7月1日

長野県「伊那谷子ども村」での「Summer Camp 2017 in 南信州」

2017年 8月23~26日、29~31日

東京都赤十字血液センターによる本学での「献血バス」

2017年 10月28日

## 【目的】

子どもたちをはじめとして、青少年の育成活動に関わる様々な世代や職種の地域の方々との交流を行う。また、イベントの内容を企画・実施する上で、参加学生の取りまとめや各コースの協力体制をつくるなどの活動を通して、社会性・コミュニケーション能力を養う。

## 【活動内容】

- ・「伊那谷子ども村」：（一財）野外教育研究財団主催、長野県阿智村・同教育委員会後援での小・中学生対象の青少年育成キャンプの補助。
- ・東京都赤十字血液センター・葛飾事業所の「東京葛飾献血バス」が本学に來学した際の献血活動の支援・補助（図4）。
- ・商業施設「アリオ西新井」で開催された足立区教育委員会主催による子どものための遊びや工作などの体験イベントの補助。
- ・「オフスクールパーク」：東綾瀬公園指定管理会社主催のイベント。來園した子どもたちを対象とした体験学習の企画、運営（図5）。



図4. 本学本館での「赤十字社献血」支援（昨年度の活動の様子）



図5. 東綾瀬公園での「オフスクールパーク」の各コース別活動

（上段右：受付、上段左：「しぜんアートをつくろう」、下段右：「体育お悩み解決大作戦」、下段左：「固めてトロける面白実験」）

## 【評価】

都立公園指定管理会社と協力した地域教育活動、足立区教育委員や教育委員会・教育研究機関と連携した子どもたちへの遊び体験活動の提供や支援を行った。学外組織の職員、子どもや保護者との様々な交流活動を通して、幅広い年代の地域の方々とのコミュニケーション能力を養うきっかけとなった。

## ③オープンキャンパス（本学教育人間科学部学校教育学科）

## 【場所・期間】

本学千住キャンパス7号館（&本館）

2017年 6月25日、7月30日、8月20日、

9月24日、10月15日、3月11日

## 【目的】

教員と連携して運営学生を統括しつつ、説明会などの活動を実施することで、教員の指導力に必要な企画調整力や実行力、協調性を養う。

## 【活動内容】

当日の学生の人員配置や役割分担決め。本学科の特色、大学生生活、SATの活動などについての学生主体の各種説明会・キャンパスツアー・模擬授業・個別進路相談などの活動の企画・運営（図6）。

## 【評価】

SATオープンキャンパス・リーダーの下、全体の進行状況に配慮しつつ各活動が滞りなく進むように運営した。学生同士や教員と協力して活動する上で必要なチームワークや協調性、来学者との応対に必要な「相手を思いやる力」や「他者と関わる力」を養う機会となった。



図6. オープンキャンパスでの学生による体育の模擬授業（上）と来学者に対する個別進路相談（下）

#### ④体験！一日大学生

##### 【場所・期間】

本学千住キャンパス7号館（2階）理科実験室 2017年7月1日

##### 【目的】

中学生にとって魅力ある理科教育に関する模擬授業を企画・運営し、わかりやすい説明を心がける他、生徒への接し方や指示の仕方を学ぶ。

##### 【活動内容】

足立区内の中学生を対象とし、大学での講義や大学生活を体験してもらうために毎年実施している足立区教育委員会と本学の連携事業。

本年度は本学科中高理科コースが担当。理科教育法の授業で実際に行った複数の教材づくり（図7）をテーマにした模擬授業の企画・事前準備・運営。



図7. 「体験！一日大学生」での理科教材づくりの模擬授業  
（上：洗濯ばさみシューター、下：荷造り用ロープを使ったわらじ）

##### 【評価】

中学生や保護者を対象とした講座の企画・運営を通して、講義内容や理科教育、理科教材へ理解を深めた。

さらに、来学者へわかりやすく伝える表現力、教材づくりの指示・支援に不可欠な技能・態度やコミュニケーション能力、教材を通して理科に対する興味を引き出す力を養った。

#### ⑤夢の体験教室

##### 【場所・期間】

本学千住キャンパス7号館およびグラウンド 2017年7月22日

##### 【目的】

小学生を対象として、様々な“夢のある”体験講座を企画・運営し、各講座の教員やスタッフとして児童への接し方や指示の仕方を学ぶ。

##### 【活動内容】

足立区内の小学校5～6年生を対象に毎年実施している足立区教育委員会と本学の連携事業。

学校教育学科の各コースの特徴を生かし、工作・音楽など教科や図書館体験（小学校コース）、柔道や陸上競技などスポーツ関連の講義・実習（中高保健体育コース）、科学実験（中高理科コース）などの各種講座の企画・事前準備・運営。



図8. 「夢の体験教室」での一コマ（上段：開会式前の集合場所での様子、中段：教室内的模擬授業、下段：グラウンドでの模擬授業）

## 【評価】

SAT 1 年生が中心となり、基礎ゼミの授業の一環として学生全員が参加した。小学生を対象とした講座の企画・運営を通して、授業の担い手として小学生に「教え伝える」という難しさ・面白さを実際に体験することで、教育職を目指す意欲を高め、かつ必要な資質・能力を養った。

## 3. おわりに

SAT ができて 2 年が経つ。この 2 年間で学内や地域と連携した教育活動の幅は大きく広がり、様々な活動を行えるようになった。

本年度は、本学の地域連携活動団体の助成を受け、活動の様子を画像の形で記録できるようになった他、地域の方々向けに SAT の活動を発信するためのパンフレット（図 9）の作成・配付などの広報活動も行うことができた。

**SAT (Student Assistant Teacher: 学生教育研修生) とは?**  
 ～帝京科学大学・教育人間科学部・学校教育学科公認の学生サークル～  
 様々な教育活動を学生たち自らが企画・実行!

□ **目的** : 活動を通して、教員に求められる以下の資質・能力や社会人としての基礎能力を育成

- 教職に対する情熱・子どもに対する責任感など教員になるための意欲や基礎的能力!
- 社会性・コミュニケーション能力・自己表現能力・企画調整力・課題解決能力!
- 学校の教員や学生たちとの一体感と仲間意識!
- 地域貢献活動の一役を担い、地域社会との関わり方や社会人となる豊かな人間性!

□ **組織** : 学校教育学科 2 年生 (約 6 割)、1 年生 (ほぼ全員) が参加!! (随時募集中)

- 役員・委員・コース・係ごとの学生リーダー → 各自は希望する係内のプロジェクトで活躍!
- 学生主催の広報 (HP や掲示版) や報告会を開催 → SAT の活動を学内外へ PR!
- 学科や教職センターに担当教員を配置 → SAT 担当教員が学生の活動を支援!

□ **活動** : 1) 大学および地域に貢献する活動 (教育を含めた学内及び学外の貢献活動)

- ◇ 学科行事のオープンキャンパスや足立区全小学校高学年児童対象の「夢の体験教室」運営
- ◇ 大学オープンキャンパス、「体験! 1 日大学生」、権利寮などの学内イベントの企画運営
- ◇ 足立区教育委員会主催の各種地域貢献活動・地域教育活動
- ◇ 地域の悲話に基づいたボランティア (警察の安全・防犯教育、近隣町内会の行事など)
- ◇ 公共性の高い施設での子ども対象イベントの企画・実施 など

2) 学校インターンシップ活動 (学校体験活動: 教育実習前に学校での基礎体験の機会を提供)

- ◇ 近隣の小中学校での授業内及び放課後や長期休暇中の学習指導の補助
- ◇ 豊休みの水泳指導、部活動や事務作業など授業以外の学校・学級運営の補助
- ◇ 遠足・校外学習・運動会などの学校行事の実施補助
- ◇ 外国人や特別な配慮の必要児童生徒の支援 など

学生役員: 会長: 島田 悠暉 (理科コース・2 年)  
 副会長: 松本 康平 (小学校コース・2 年)・水越 健太 (保健体育コース・2 年)・松山 裕斗 (理科コース・2 年)  
 書記: 月井 紗羅 (中道理科・2 年)

1 年生: リーダー: 金子彩人 (理科コース)、副リーダー: 藤原恭兵 (保健体育コース)、長谷川 優太 (小学校コース)  
 ○ 1 年生コース別リーダー: 上野皓紀 (小学校)、松本 夏海 (理科コース)、藤本 悠平 (保健体育コース)

図 9. SAT 広報用パンフレット

次年度は、学生が主体となる地域貢献活動・地域連携活動を更に増やし、教員になるために必要な、より多くの「学び」を得られるサークルにしたい。また、3 年生から 2 年生へと SAT の引継ぎを行い、今後 SAT が継続して地域連携教育活動を行えるように運営していきたい。

## 和太鼓の演奏における地域交流を対象とした地域連携活動の実践

恩田翔央・菊池康平・山田春菜・吉岡和香・長谷川優太・岩崎舞・豊田輝（和太鼓サークル J-DRUMS）

### 1. サークル紹介

本サークルの活動目的は、和太鼓の演奏を通し地域や他の和太鼓団体との連携を図り、地域の活性化に寄与するとともに和太鼓の良さを広く周知することである。

この活動目的を達成するために、サークルメンバー全員で毎週水曜日の16時30分から20時45分の間、演奏会に向けた基礎練習や曲練習を行っている。尚、平成29年度本サークルメンバーの構成は、1年生が2名、2年生が2名、4年生が2名（自然環境学科、理学療法学科、幼児保育学科、学校教育学科、アニマルサイエンス学科）の計6名である。

### 2. 曲紹介

#### 2-1. 「水駆」

中太鼓3台 締め太鼓1台 大太鼓1台で演奏する曲となっている。水駆の曲イメージは、葉から一粒の雫が水面におち、それが川となり上流から下流へ流れ、それが、海へ広がっていくイメージとなっている。本曲は、本サークルメンバーのひとりがこれまで和太鼓指導を受けてきた方から本サークル発足時に提供いただいた曲であり、本サークルメンバーが最初に修得する基本の曲となっている。

#### 2-2. 「旋風」

中太鼓5台、締め太鼓1台、大太鼓1台で演奏する曲である。旋風の曲イメージは、はじめは小さい旋風がまわりを巻き込み、次第に成長していくという状況を表現している。本曲が作曲された当時は、太鼓もなくサークルメンバーも少ない状況であった。この状況において、地域を活性化できるような活力のある和太鼓サークルを目指すため、学科や学部、大学という枠を超えて多くの人を巻き込みながらサークルを発展させたいという願いを込めてサークルメンバーが作曲した。

#### 2-3. 「双星」

中太鼓2台 締め太鼓1台から演奏できる曲となっている。双星の曲イメージは、二つの音が互いに競い合い高めあうライバルのような関係性を保ちながら互いに成長していく姿を表現している。尚、本曲も本サークルメンバーが本サークルの発展を祈念して作曲したものである。

### 3. 平成29年度活動報告

#### 3-1. 目的

学校行事や地域のイベントでの和太鼓の演奏を通して地域の活性化や交流を深めることを目的として活動した。

#### 3-2. 活動内容

主な活動として、第3回桂川フェスティバル（山梨県上野原市）、ミルディス音楽祭2017（東京都足立区）、桜科祭（東京都足立区）、我孫子イートヨーカドー主催催し物（千葉県我孫子市）の4つのイベントにて演奏を行った。

#### <第3回桂川フェスティバル>

午後のステージで和太鼓の演奏を行った。当日の演奏に参加できたメンバーが3名であったが、3名でどのように演奏すれば観客に喜んでいただけるかを考え練習したため、演奏直後、観客から大きな拍手をいただいたことは忘れられない経験となった。また、本サークルにおいて初めての野外演奏となり、和太鼓の音色を野外で多くの観客に届けるために必要なことや今後の練習方法などを検討する良い経験になったと考えている。



図1. 桂川フェスティバルでの演奏風景

#### <ミルディス音楽祭2017>

北千住駅前のOIOIの前で用意された特設ステージで演奏を行った。トップバッターだったが、駅前ということもあり多くの方々が足を止めて演奏を聴いていただいた。また、平成29年度入学生である1年生が初演奏であり、本年度の本サークルメンバーによる連携が試される良い機会となった。



図2. ミルディス音楽祭2017 演奏風景

#### <桜科祭>

北千住キャンパスで開催される桜科祭にて、特設ステージと教室での演奏を合わせて4回行った。2日目には、「鈴鹿音信太鼓」の方たちにゲスト出演いただき、共演を行った。学内での開催であったが、多くの地域の方々に来場いただき演奏することできた。また、来場いただいた方からは「太鼓の音色が良かった」、「久しぶりに和太鼓演奏を聴けて嬉しかった」など多くの方々に喜んでいただけた。



図3. 桜科祭での演奏風景

#### 謝辞

平成29年度本サークル活動が「帝京科学大学地域連携推進センター」ならびに多くの本学教職員の皆様のご支援により展開できたことに感謝致します。

#### <我孫子イトーヨーカードー演奏会>

「鈴鹿音神太鼓」の方々と共演させていただいた。我孫子市にあるイトーヨーカードー内に特設されたステージにて多くの方々の前でこれまでの練習の成果を十分に発揮した演奏ができた。



図4. 我孫子イトーヨーカードー演奏後の集合写真

#### 4. 今後の目標

平成29年度は昨年度に比べ、地域からの演奏依頼件数が増えたことは、本サークル活動が発展している証であると考えている。また、他団体との交流機会も多く、共演することによりサークルメンバーがサークル外部からの刺激を自らの成長機会として捉えることができたことは有意義な年度であったと感じている。平成30年度は、より多くの地域住民や団体と関わる機会を設定し、サークルメンバー全員がより大きく成長していく機会としていきたい。また、更なる地域からの演奏依頼に対応するため、サークルメンバーを増員しながら、演奏のレパートリーも広げていきたいと考えている。

# 足立区における飼い主のいない猫を減らすための地域連携活動と情報発信の実践

三井香奈（理工学研究科 先端科学技術専攻）

畠山豊・中山瑞紀・篠原樹里・加隈良枝・大辻一也（生命環境学部 アニマルサイエンス学科）

キーワード：野良猫、地域猫、足立区、情報発信

## 1. はじめに

平成28年度の環境省の調査によると、全国の自治体における猫の引取り数の85%（約6万2千頭）が所有者不明の野良猫となっている。飼い主のいない野良猫の対策として、1997年に横浜市磯子区で地域住民が野良猫問題を地域の問題として管理していこうという動きから始まった「地域猫活動」が一部の自治体でも行われている。しかし、環境省のアンケート調査では、地域猫活動の住民の理解や認知度は低く、啓発活動が課題となっている。

本学千住キャンパスがある足立区内でも、15年以上前から飼い主のいない猫をなくすために保健所やボランティア、獣医師会の三者で議論されている。区内では「地域猫活動支援モデル事業」や「猫の不妊去勢手術費助成制度」を実施してきたが、地域猫活動の住民の理解や認知度は未だに低く、モデル事業を行っているのは265町丁のうち2地区のみとなっている。

そこで、私たちが野良猫の実態について学びながら専門的な知識や技術を活用し、地域の実際の問題に取り組むことができないかと考え、昨年に引き続き野良猫調査と地域猫活動啓発のための情報発信を行った。

## 2. 活動のねらい

- 1) 足立区内の野良猫の数や生態を把握すること。
- 2) 地域の飼い主のいない猫を減らすための活動を行うこと。
- 3) 学外のコミュニティとの交流を通じて、動物福祉や動物愛護の現状を知り、情報発信すること。

## 3. 団体構成

野良猫調査隊は、動物福祉サークル「アニマルライフ」に所属しているメンバーの中で構成され、千住キャンパスのアニマルサイエンス専攻・学科の大学院生2名と学生25名が所属している。運営は去年と同様に、3部署（運営・調査・総務）に分かれて行った。

## 4. 活動報告

今年度の主な活動としては、活動のねらいである1)と2)の区内2か所の野良猫調査を引き続き行い、3)の学外コミュニティとの交流を去年よりも強化した。以下に詳細を記す。

### 1) 野良猫調査

昨年と同様、調査実施に先立ち調査方法の勉強会を開き、月1回／年10回の定例会議を行って運営方針の決定を行った。調査方法は、三井ら（2017）と同様であった。同年の7月から、午後16時～18時

で1日に1回行った。

調査日程は表1の通りであった。大学周辺は31日間、N地域も31日間調査し、昨年よりも多く実施できた。表1の括弧内は午前か午後のみ調査した日程を示した。悪天候で調査できなかった場合や調査技術を磨くための練習のために予備日を設けた。

表1. 調査日

| 年    | 月    | 日                  | N 地域        |
|------|------|--------------------|-------------|
|      |      | 大学周辺               |             |
| 2017 | 4    | (11)、(17)、22、24、28 | 3、6、12      |
|      | 5    | 18、25、29           | 2、11、18     |
|      | 6    | 22、24、28           | 9、13、15     |
|      | 7    | 17、27、31           | 17、19、31    |
|      | 8    | 14、18、31           | 22、25、30    |
|      | 9    | 6、15、22            | 6、15、26     |
|      | 10   | 11、18、23           | 20、23、30    |
|      | 11   | 10、13、22           | 13、27、30    |
|      | 12   | 8、11、13            | 8、18、25     |
|      | 2018 | 1                  | 11、15、19、27 |
|      |      | 5、12               |             |

### 2) その他の活動

学内へ情報発信することを目的として、西東京キャンパスの猫の目報道部の学内情報誌「ネコノメ Vol.22」の取材を受けた。2017年6月3日16時～17時に、3年2名と院生1名が千住キャンパスで猫の目報道部からインタビューや写真撮影をしていただいた。

また、学外へ情報発信することを目的として、足立経済新聞の取材（未掲載）を受けた。2017年7月27日9時～10時半に本学周辺の調査地（千住キャンパス）にて4年1名と院生1名が取材に対応した。大学周辺の野良猫調査の見学およびインタビューと写真撮影を行った。

そして、同様の目的と動物福祉や動物愛護の現状を知るために、一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンブルの主催のANIMAL WELFARE SUMMIT2017～動物と人の笑顔のために～で、ボランティアの運営補助をした。2017年8月27日10～17時、28日10～16時に東京大学（弥生キャンパス）にて1、2年生5名と院生1名が参加した。

さらに同イベント内の「みんなのアニマル・ウェルフェア～動物と人が幸せに暮らすための自由研究～」で活動紹介をした。野良猫調査隊の活動の狙いや活動紹介・内容のポスターをプロジェクトメンバー

(3年生3名と2年生の3名、院生1名)で協力し作成した。

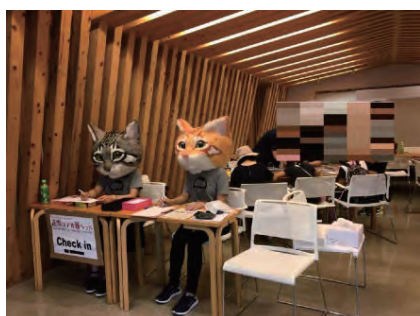


図1. イベントの様子



図2. ポスター展示

## 5. 結果と考察

### 1) 野良猫調査

大学周辺で見つかった成猫は合計 116 頭、子猫は 27 頭であったのに対し、N 地域の成猫は 102 頭、子猫は 0 頭であった。成猫と子猫の割合をみてみると、大学周辺の成猫は 77%、子猫は 23% に対し、N 地域の成猫は 100%、子猫は 0% となった。これにより去年に引き続き、去勢避妊手術の割合の高い N 地域が大学周辺よりも一時期にみられる猫の個体数が少ないことが分かり、特に子猫の数に違いが見られた。以上の結果の一部は博士研究の一部に活用された。

### 2) その他の活動

学内と学外の取材協力では、私たちのサークル活動をいかに正しく相手に伝えるかを学んだ。同時に、西東京キャンパスの野良猫に関する情報や足立区内で地域猫活動を広める手段について、インタビューを通じて情報交換ができた。取材で野良猫調査隊のルートを中心に歩き、途中で地域住民の方に声をかけられ、野良猫被害の状況を聞いたことも貴重であった。普段の調査では、地域住民に話しかけられても余り時間がとれないため、今後も調査以外に歩くことも野良猫の情報収集には必要だと考えられた。また、ルート外の野良猫の情報を知ること野良猫調査には必要であろう。

ANIMAL WELFARE SUMMIT2017 への参加により、実際のイベントの実施方法を体験したほか、動物福祉・愛護の普及啓発や資金収集の方法について学んだ。二千名以上の来場者があり、「アニマル・ウェルフェアを日本に広めるための有意義な 2 日間となった。

「みんなのアニマル・ウェルフェア～動物と人が幸せに暮らすための自由研究～」は、イベントの 2 日間ポスターを展示し、約 30 作品が展示されていたなかで、来場者の投票により、学生部門賞を他 1 団体と共に受賞した。2 日目の最後に、表彰式で院生が賞状と贈呈品を授与された。他の団体や個人活動の自由研究で、様々な視点(芸術・商品開発など)からアニマル・ウェルフェアをよくする工夫を知ることができ、今後の活動の参考になった。



図3. 表彰式

## 6. まとめ

野良猫調査の結果の一部を、情報発信して地域や地域外へ還元することにより、サークル内での学生の調査に対する意欲が高まった。イベントで学生部門賞もいただいたことも、今後の活動の励みとなった。

来期から、イベント参加や野良猫マップ作成により、学生及び一般への動物愛護や動物福祉の普及啓発へより力を入れていく予定である。動物福祉サークルのアニマルライフとさらなる活動協力をし、新体制になることも検討中である。さらに野良猫調査の実施地域を増やすことで、地元のボランティアや地域住民と協力し、地域猫活動を広げていく一助になれば、我々の目的である地域の飼い主のいない猫を減らすことに繋げられる。今後も、足立区の野良猫の現状を把握し情報発信することにより、人と猫が共生できるような地域へ貢献していきたい。

## 7. 謝辞

顧問の大辻先生、加隈先生、あだち動物共生ネットワーク様、クリステル・ヴィ・アンサンプル様の協力により今年度はたくさんの調査や活動を行うことができた。活動を支援して下さった地域連携推進センターの皆様にご心より御礼を申し上げる。

## 参考文献

- 1) 環境省 (2016) : 犬・猫の引取り及び負傷動物の収容状況 <[https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2\\_data/statistics/dog-cat.html](https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/statistics/dog-cat.html)> 2018.4.24 参照
- 2) 環境省 (2010) : 住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン . <[https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2\\_data/pamph/h2202.pdf](https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2202.pdf)> 2018.4.24 参照
- 3) 環境省 (2011) : 飼い主のいない猫の繁殖制限について. <[https://www.env.go.jp/council/14animal/y143-19/mat07\\_1.pdf](https://www.env.go.jp/council/14animal/y143-19/mat07_1.pdf)> 2018.4.24 参照
- 4) 三井香奈, 田中翔優, 加藤翼, 山本美月, 加隈良枝 (2017) : 足立区における飼い主のいない猫を減らすための地域連携活動の実践 地域連携研究帝京大学地域連携推進センター年報第 1 巻, pp. 51-52.

# 上野原自然探検隊部 2017 年度の活動報告

笹竹溪太（生命環境学部 自然環境学科）

キーワード：自然体験、上野原市

## 1. はじめに

私たち上野原自然探検隊は上野原市の小学生を対象として、9 月と 12 月を除いた年間 10 回の活動を実施している。主な活動内容として上野原市内の山野と溪流をフィールドとした自然体験である。これからの社会を担っていく子どもたちが、環境に対して意識の高い大人に成長できる一つのきっかけづくりとするのがねらいである。

帝京科学大学の学生は、活動のサポーターとして参加し、自然体験プログラムを企画・運営している。企画を立てるに際しては、企画会議を週 2, 3 回の頻度で開催する他、入念にフィールドを実地調査し、自然体験の万全を期している。

## 2. 活動目的

子どもたちが楽しく継続的に自然体験できる場を提供することで、以下のことを目的とした。

- 1) 次世代を担う子どもたちの環境に対する意識を高める。
- 2) 自然に対する感性を培い、豊かな心を育てる。
- 3) 季節を感じ、上野原市のフィールドで友達と楽しむことや自然の大切さを実感する

## 3. 活動内容

### 1) 班構成

班構成は 4 年生 1 人・5 年生 1・6 年生 1 人。サポーター 2 人を一班とし、全体を四班の小班構成として、子供たちの活動しやすさと、他学年との関わりに配慮した。

| 日程                    | 活動内容                                |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 4 月 9 日               | 説明会・自己紹介・ネームプレート作り・アイスブレイク・根木山ハイキング |
| 6 月 10 日              | カエルとホタルの観察・夜の森探索                    |
| 7 月 8 日               | 樹海探索・自然探索・富士山科学研究所見学                |
| 8 月 17、18 日           | キャンプ・野外調理・川探索・ネイチャーゲーム・自由遊び         |
| 9 月 30 日、<br>10 月 1 日 | 冒険ハイク・高原散策・プラネタリウム・自由遊び             |
| 1 月 13 日              | 水鳥の観察・林間での自然体験                      |
| 2 月 3 日               | ネイチャーゲーム・アウトドアクッキング                 |
| 3 月 3 日               | 1 年間の振り返り、卒団式                       |

今年度は雨天のため 5 月、6 月の活動を行うことができなかった。

### \*アイスブレイク・ネイチャーゲーム・自然体験

4・8・10・1 月、での活動は、アイスブレイク・ネイチャーゲーム・自然体験を通してサポーターや他学年・他学校との関わり・子どもたちが環境に対する意識を高められるような展開を積極的に取り入れ

ようと考えた。例えば、ネイチャーゲームを行い班対抗のゲーム展開を毎月実施し、他者との関わりや協力を取り入れた。

また 7 月には富士山の溶岩樹形を観察し、自然に対する関心を引くことができた。また、10 月には班ごと登山を行うため学年による体力の差による歩くスピードや休憩のタイミングを高学年が低学年を配慮できるようサポーターからの声掛けの方法も意識しながら行動した。1 月には月尾根キャンプ場で林間でのレクリエーション、自然体験、自由遊びを行った。



### \*キャンプ

8・2 月での活動は、8 月に一泊二日のキャンプを行いゆずり原少年自然の家で川遊びや野外炊事を中心に実施した。2 月にはディキャンプを行い同様のフィールドでネイチャーゲームや野外炊事を行った。8 月では火付けや飯盒炊飯を行い飯盒でのお米の炊き方を体験させ、キャンプスキルを修得させた。魚さばきでは、実際に生きている魚をさばいてもらいさばき方を身につけさせた。さらに普段生活する上で食べるために自分たちの手で命を奪うことはない。我々も含め、そんな子どもたちが食べるために魚さばきを行った。子どもたちは生きている魚を見て驚いていたが、一人一人が真剣に命について考えながら取り組むことができた。川遊びではザイルを使用して水に流されることや、飛び込みを行った。自由遊びを中心に子どもたちが主体となり遊びを考え、実践していた。川遊びでは、具体的な企画は行わなかったが子どもたちが自由遊びや観察を行う事で自然への興味・関心をより深めることができた実感した。

2 月は雪がたくさん積もったため用意していたレクリエーションを止めて、雪遊びをメインに行った。子どもたちには特に縛りを与えずに自由に雪遊びをしてもらった。子どもたちも自然と鎌倉作りや持参していたそりでそり遊びをしていた。子どもたちのいるところにサポーターは散らばり安全に活動を行うことができた。



8月 班ごとの火おこしの様子



2月 ゆずりはら少年自然の家での雪遊びの様子

#### \* 観察活動

6・1月で観察活動を実施した。6月では室内でカエル（4種）とホタル（2種）の勉強会を行い、勉強会後に仲山川での観察会を行った。1月では大野貯水池の水鳥（10種）の観察・クイズを行った。各フィールドで観察できる動物を図鑑にまとめ、子どもたちに配布した。図鑑の内容としては学名・体長・食性・住処・雄雌の違いを記載した。6月の活動では、パワーポイントでカエル・ホタルの基礎的な知識をまとめ、子どもたちと室内で勉強会を行った。1月では野外での活動だったが例年通りの図鑑を用いての観察だけでなく、水鳥の特徴的な行動が書かれたビンゴカードを作り、子どもたちに配布し、特徴を見つけたら埋めるビンゴを行った。例年は大学生の口頭での水鳥の特徴の説明を行っていたが、ビンゴカードを用いたことによって、子ども自身に動物の行動をよく観察してもらえた。また、双眼鏡の使い方を説明し観察に役立てた。

どちらの活動も勉強会で学んだことや観察中に気づいたことがあれば、フィールドノートにメモを取る様子が見られた。さらに、昨年度も活動に参加していた子は、昨年メモをしたノートや図鑑をもって観察を行っていた。これは、子どもたち自身が動物に興味を持ち、勉強したことを今後の活動に生かしているということがわかる。この事

を通して今後、我々もより環境や動物について考え・勉強していかなければならないと感じた。



6月 カエルとホタルの観察会の勉強会の様子



1月 水鳥についてのビンゴを埋める様子

#### 4. まとめ

今年度は5月、11月の活動が雨天のため中止になり、合計8回の活動を行う事ができた。子どもたちの入団者数も21人と最大人数で活動を行う事ができ、帝京科学大学の学生12人（男子：6人、女子：6人）で子ども一人一人の様子を見ることができた。上記の活動報告のように登山やキャンプ・観察活動を通して同じ学校以外の子とも関わり、自然についての意識を高めることができた。3月の活動ではパワーポイントで作った映像での一年間の振り返りを行った。さらに、活動をまとめた文集も制作し子どもたちに配布した。文集には子どもたちが書いた作文が含まれており、楽しかった事や感じたことの感想が書かれていた。この文集により、子どもたちが求めている体験や活動の在り方を改めて確認することができる。子どもたちから生の感想が聞けるこの文集はとても意味のあるものとなっており、来年度の活動にも以下ことのできる大切なものである。

#### 5. 自己評価・反省

今年度の活動は学生12人と子どもたちの安全管理十分な人数で企

画・運営を円滑に進めるためことができた。しかし、来年度も同じ人数の学生が集まるかは定かではない。毎年行っている企画を当たり前と思わずに、学生の人数を考え安全第一で企画・運営を今後も行っていきたい。さらに上野原・山梨県には素晴らしいフィールドがたくさん存在している。毎年参加してくれている子どもたちもいるため、企画場所も毎年同じでなく7月、10月などでは変えていけるところは変えていくようにしていきたい。新しい今後も上野原・山梨県のフィールドで子どもたちと自然観察を行っていきたいと考えている。



## ねこの目報道部の2017年度の地域連携活動について

中村さえ（生命環境学部 アニマルサイエンス学科） 加賀谷玲夢（総合教育センター）

キーワード：フリーマガジン、WEBサイト、上野原市、情報発信、動物、デザイン、地域情報

### 1. はじめに

2017年度の「ねこの目報道部」の活動は、①アニマル系課外活動団体説明会の企画・運営、②先輩による新入生向けの講演会「僕らの体験記」の企画・運営、③フリーマガジン「ネコノメ」Vol.22制作・配布、④フリーマガジン「ネコノメ」Vol.23制作・配布、⑤フリーマガジン「ネコノメ」Vol.24制作・配布、⑥「広報うえのはら」記事作成などが挙げられる。

① アニマル系課外活動団体説明会は、毎年4月に新入生向けに開催されるイベントである。いわゆるアニマル系の活動との出会いの場として用意されている。これらの団体の活動は地域に根差したものも多く、新入生にとっては地域との関わりの一歩ともなる。

(図1)

② 僕らの体験記も、新入生向けに開催されるイベントである。熱心な先輩たちのこれまでの体験や活動を紹介し、これからの大学生活への参考としてもらう講演会で、5～6月頃に開催している。

①、②はいずれもアニマルサイエンス学科の基礎ゼミに組み込まれている。



図1. 活動団体説明会（2018年4月）

本報告では主に、より地域連携活動に関連の深い③、④、⑤、⑥について、以下に詳しい内容を記載する。

③ フリーマガジン「ネコノメ」Vol.22制作・配布（図2、図3）

製作期間：2017年1月～7月

発行：2017年7月28日

目的：学内の情報発信

活動内容：企画、取材・記事作成、学内・周辺地域での配布

発行部数：1000部

予算：地域連携推進費



図2. 「ネコノメ Vol. 22」表紙（右）、目次（左）

地域連携特集「猿橋を訪ねて」



図3. 「猿橋を訪ねて」の特集ページ

日本三大奇橋として有名な大月市の猿橋を取材した。

その他の記事一覧

- ・特集 登ろう！高尾山
- ・NEKONOME×NEWS
- ・CAT COLLECTION 2017
- ・上野原の鳥たち ～とりとりクエスト～
- ・～上野原キャンパス～ 先生方のお勧めの一冊！
- ・〇研 Shimada Lab.
- ・日本の郷土料理 ～青森編～
- ・編集後記

主な配布場所（カッコ内は部数）

上野原キャンパス（100）、千住キャンパス（50）、上野原市役所（100）、秋山温泉（100）、上野原動物病院（20）、ぴりゅう館（20）、桂川ウェルネスパーク（75）、中華スバル（20）

## エピソード

特集である高尾山に取材をした時、四季それぞれの植物や、高尾山で見られる動物を教えていただき、その後何度か高尾山を訪れることがあったが、違う目線でより楽しめるようになった。

## 自己評価・反省点

フリーマガジン「ネコノメ」Vol.21の制作期間が延びてしまったため、着手が遅くなってしまい、年度を超えての発行になってしまった。どの施設の方々も快く取材を受けてくださったおかげで、学内や山梨県内の施設にとどまらず、県外の施設へも取材をさせてもらうことができた。

## ④ フリーマガジン「ネコノメ」Vol. 23 制作・配布（図4、図5）

製作期間：2017年5月～11月

発行：2017年12月4日

目的：学内の情報発信

活動内容：企画、取材・記事作成、学内・周辺地域での配布

発行部数：1000部

予算：地域連携推進



図4. 「ネコノメ Vol. 23」表紙（右）、目次（左）

## 地域連携特集「桂川フェスティバル」

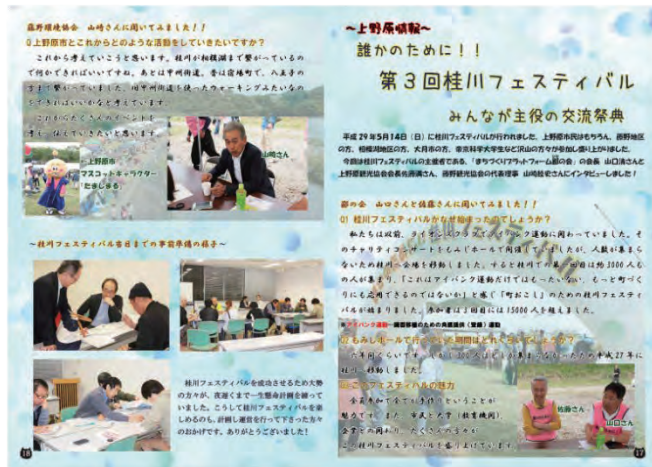


図5. 「桂川フェスティバル」の特集ページ

主催者や上野原観光協会の方などからお話を聞くことができた。

## その他の記事一覧

- ・特集 千住と上野原の部活動紹介
- ・News Neko
- ・ペット紹介
- ・フレッシュャーズキャンプ特集
- ・注目!!秋の恐怖体験
- ・肉菜工房うしすけ
- ・日本の郷土料理 ～鹿児島編～
- ・〇研 Kondo Lab.
- ・編集後記

## 主な配布場所（カッコ内は部数）

上野原キャンパス (100)、千住キャンパス (50)、上野原市役所 (100)、秋山温泉 (100)、上野原動物病院 (20)、びりゅう館 (20)、桂川ウェルネスパーク(75)、中華スバル(20)

## エピソード

この号で新入生は上級生と一緒に初めて記事を作った。慣れない作業ながらもそれぞれの担当となった記事を上級生と相談しながら、一生懸命に作っていた。

## 自己評価・反省点

学内での取材が多かったため、様々な学生や先生と関わることができた。一方で、新入部員が多かったこともあり、デザインや文章構成に少し物足りなさがあった。

## ⑤ フリーマガジン「ネコノメ」Vol. 24 制作・配布（図6、図7）

製作期間：2017年12月～2018年1月

発行：2018年2月5日

目的：学内の情報発信

活動内容：企画、取材・記事作成、学内・周辺地域での配布

発行部数：1000部

予算：地域連携推進



図6. 「ネコノメ Vol. 23」表紙（右）、目次（左）

地域連携特集「秋山ふしぎ発見」



図7.「秋山ふしぎ発見!」の特集ページ

秋山にある秋山温泉を取材した。

その他の記事

- ・ホンDIGツネって知ってる？ 散歩道に潜む野生
- ・ゆずもぎに行こう!!
- ・NEKONOME×NEWS
- ・障がい者乗馬会
- ・日本の郷土料理 ～秋田編～
- ・手作り! ペットごはん。
- ・NekoTube
- ・〇研 Kadota Lab.
- ・編集後記

主な配布場所 (カッコ内は部数)

上野原キャンパス (100)、千住キャンパス (50)、上野原市役所 (100)、秋山温泉 (100)、上野原動物病院 (20)、びりゅう館 (20)、桂川ウェルネスパーク(75)、中華スバル(20)

エピソード

秋山温泉に取材に行った際、とても気さくに話してくださったため、用意していた質問よりも多くの情報を得ることができた。

自己評価・反省点

特集を考えていた施設との連絡が間に合わず、特集を組むことができなかった。だが、特集がなかった分いつもより多くの記事を作ることができた。

⑥ 「広報うえのはら」版ネコノメ作成 (図8、図9、図10)

掲載号: 平成29年4・6・8・10・12月号

平成30年2月号

目的: 学内外への上野原市の情報発信

内容: 企画、取材及び記事作成

記事内容

- ・平成29年4月号【上野原で感じる春】
- ・平成29年6月号【新入部員に聞きました! あなたが思う上野原】

- ・平成29年8月号【自然豊かな上野原で行われたホテル観察会】
- ・平成29年10月号【『秋山ふしぎ発見!』での『動物介在教育研究部』】

- ・平成29年12月号【科大祭と上野原駅周辺についてのインタビュー】

- ・平成30年2月号【広報うえのはら版ネコノメ おすすめ記事紹介 自己評価・反省点

地域と帝京科学大学の団体が、関わる行事を中心に取材をした。その際に、上野原市民の方にインタビューをする機会が多く、生の声を聞くことができ、それを記事とすることができた。

多くの記事が学内の団体が行っている活動を紹介するものになってしまっていたので、これからは地域の方にも踏み出していきたいと思っている。



図8. 平成29年4月号 (左) 平成29年6月号 (右)

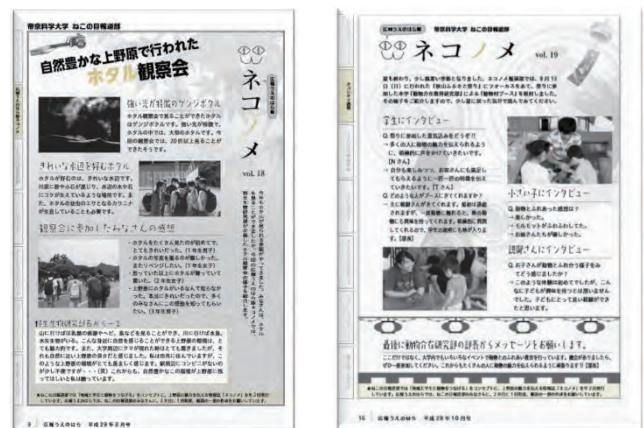


図9. 平成29年8月号 (左) 平成29年10月号 (右)



図 10. 平成 29 年 12 月号 (左) 平成 30 年 2 月号 (右)



図 11. 桂川フェスティバルの取材中

## 2. 今後の展望

2016 年度に引き続き 2017 年度も、学内のみならず学外でも取材を行い、記事として取り上げることができた (図 11)。そのことにより上野原市内だけでなく、より広い地域にねこの目報道部の存在や帝京科学大学の活動を認知していただくことができたと思っている。学内外の様々な人たちに、学内の魅力的な活動やそこで活躍する人々について知ってもらいたい。今後もフリーマガジン「ネコノメ」や「広報うえのはら」はもちろん、しばらく更新が止まっていたねこの目報道部のホームページも活用し、「地域」や帝京科学大学で行われている魅力的な活動を発信していきたいと思う。

## 謝辞

上野原市及び上野原市企画課の方々、また上野原市民の方々には、貴重な広報誌のページを頂きましたこと、ねこの目報道部の活動に対して多大なるご支援、ご指導を賜りましたこと、深く御礼申し上げます。

また、今年度快く取材にご協力くださいました多くの方々に感謝しております。

フリーマガジン 1000 部の印刷代金は高額であり、学生団体である「ねこの目報道部」の部費のみで負担することは困難です。2017 年度に印刷代のご支援をして頂いた帝京科学大学地域連携推進センターには、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

## リンク

上野原市 WEB サイト「平成 29 年度 広報うえのはら」

<https://www.city.uenohara.yamanashi.jp/gyosei/docs/2124.html>



図 12. 開封の儀

完成したフリーマガジン「ネコノメ」は、大学に隣接する工業団地内の印刷会社まで自分たちで受け取りに行き、みんなで開封する。

# 上野原市内における動物介在活動の実践 ～うさぎの介在を中心に第11、12、13、14回を振り返って～

池谷尚斗・岡崎拓実・注連育美・平元良河・平田達稔・渡辺美乃里

(生命環境学部 アニマルサイエンス学科)

キーワード：ウサギ、動物介在、高齢者、認知症、上野原市

## 1. はじめに

2014年から上野原市内の高齢者を対象に動物とのふれあいを企画・実施する部として動物介在活動部が発足しました。2016年まで外部ボランティアの協力を得て、ふれあいに参加頂ける動物の依頼を行ってきましたが、ボランティアとのスケジュール調整が難しいこともあり、2016年にうさぎ(1羽)を介在動物として迎え入れることとなりました。そこで、今年度はうさぎの飼育、トレーニング、ふれあいの実施に力を入れて活動しました。

## 2. 活動場所

「地域密着型特別養護老人ホーム 桜の里」では現在29名の高齢者が暮らしており、多くの方が認知症と診断されています。施設内は10名ほどからなる3つのユニットと、入居者さんごとの個室が設けられており、入居者さんはおもいおもいに生活されています。

## 3. 活動形態

大まかに分けて二種類の活動があります。メインになるのは二か月に一度、動物を連れてのふれあいを目的とした動物介在活動です。活動の日程調整からどの動物に参加してもらうのかなど部員で会議を開きすべて学生が企画、実施しています。動物に関しては外部団体に依頼し犬を同伴してもらうことや、自分たちが飼育しているうさぎを連れていくなどしています。会議を重ねることで反省点を次回に活かすよう心掛け工夫しています。工夫の一つとして活動に参加していただく入居者の方にはマーク付きの名札を付けていただいています。マークには手が不自由であることやイスが苦手などの意味があります。これにより普段の生活を知らない外部団体員も、どの入居者の方は動物が苦手なのかといった情報が一目でわかり、個々の入居者の方への対応が可能になっています。もう一つの活動は約一週間に1度、学生だけで施設を訪問するというものです。学生だけで訪問する理由には学生の存在を施設の方に知っていただく為や直接会話することで部員自身が入居者の方について理解することなどを目的としています。

## 4. 今年度の活動報告

桜の里での動物介在活動は5月、7月、11月、12月の計4回を企画し実行しました。

○5月21日(日) 参加者：入居者10名、学生21名

動物や入居者さんの体力などを考え、30分セットとして前半と後半で入居者さんをグループ分けしたところ、昨年度よりスムーズに活動を進行できました。ドッグダンスでは、多くの参加者の方が笑顔をうかべていました。ダンスの後は、犬に触れたり、ウサギを見たり、

学生と話したりなど思い思いに楽しんでいました。

○7月29日(土) 参加者：入居者12名、学生20名

花火や夏祭り風の装飾、盆踊りの曲を流すなど夏をテーマにした企画を実施しました。中でも、学生が画用紙と磁石で作成した金魚釣りブースは、釣り上げる動作を楽しむ参加者が多くとても好評でした。この日は、部で飼育しているウサギの「ごま」が初めて活動に参加しました。初参加であったため介在内容としてはごまの様子を見ていただくだけにとどめました。

○科大祭 10月7日(土)、8日(日)

今年は、展示と物販を行いました。展示では、自分たちの活動内容や動物介在活動とは何か、部で飼育している介在動物であるウサギのごまの説明などをパネルにして展示しました。ほかにも、大学祭へごまを同伴し一般のお客様にもふれあいを体験してもらいました。そして物販では、ごまをモチーフにしたフェルトストラップとごまの写真やイラストのシールを販売しました。ごまの同伴があったおかげでお客様の目に留まりやすく、また動物介在活動の認知にも貢献できたと思います。

○11月12日(日) 参加者：入居者10名、学生21名

テーマは秋で蚕と犬、うさぎとのふれあいを行いました。今回はじめてドッグトレーナー研究部の学生が飼っている犬に協力を依頼しました。小型犬であったため膝の上に乗せるなどが可能で、参加者に好評でした。また、上野原市では養蚕業が盛んであったこともありその時の思い出を話してくださいました。

○12月17日(日) 参加者：入居者14名、学生20名

冬やお正月をテーマに雪だるまなどを折り紙で作成し装飾しました。犬2頭とうさぎのふれあいを行いました。書道ブースを設け、入居者の方に体験していただきました。真剣な表情で取り組んでいらっしゃいました。

## 5. 施設への訪問活動

今年度は5月から12月の間で計26回実施しました。1月から3月の期間は感染症予防のため活動は控えました。また、昨年度までは訪問先への移動を学生の車に頼っていたため、日程調整がうまくいかず訪問活動の頻度が不安定であるという課題を抱えていましたが、今年度から訪問先である桜の里と本大学が協定を締結し、施設の方に送迎をしていただけることになりました。その結果、移動手段による訪問活動中止を防ぐことができました。訪問活動では一度に学生4、5名程度で施設を訪れ、自由に学生が各ユニットを回り1時間程度入居者の方とお話しをする時間を設けています。認知症の方も多いため学生は毎回自己紹介を行ってからお話をしています。話す内容は自由ですが

その方の思い出話や季節の事柄についてなどが基本です。高齢者の方とお話する上で耳や目が不自由である方には大きな声でゆっくり話すようにすることや、筆談で会話するなどしています。入居者の方から返答がないことも多々ある中でどのようにコミュニケーションをとればいいのか頭を悩ませることもあります。しかし、記憶にはなくとも帰るときには「また来てね」と笑顔を向けていただけることや一緒に歌ってみるといった工夫から名前を覚えてもらえたといったことが学生の励みになっています。そういった出来事に対しての学生の感想や会話した内容は学生同士で共有できるようノートにまとめています。その情報をもとに動物が苦手かどうか、話す時は左右どちらに立てば聞こえやすいのかなどといった介在活動時の対応に活かしています。また、施設の方からも世代を超えて若者と交流を持てるのは新鮮であるといった声をいただくこともあり入居者以外の方からも私たちの活動が認知されることにつながっています。

## 6. 部の介在動物について

活動の継続にあたり、昨年度から介在動物としてうさぎの飼育を始め、普段の飼育環境見直しから介在活動に向けたハンドリングやトレーニングを行っています。うさぎを活動に導入するにあたり、学内で実際の介在を想定したシミュレーションや実際に施設へうさぎを連れていき場慣れを行うなど、うさぎのストレスをできる限り減らすために試行錯誤し取り組んできました。現在まで4回うさぎを介在した活動を行いました。参加した入居者の方からは「昔、うさぎを飼っていた。」「かわいい。」などの会話を聞くことができ、過去を思い出すきっかけとしても活躍してくれています。また、部では一つの大切な命を扱っているという認識から、協力してお世話にあたることはもちろん、うさぎの体調管理や部員同士の情報共有について何度も会議を開くなど、うさぎの飼育が部員の結束を高めているように思います。



写真1. 介在前に場慣れをするうさぎの「ごま」

## 7. 外部セミナーへの参加

外部で催される高齢者に関するセミナーや動物介在活動に関わるセミナーへの参加を部員に呼びかけ、有志で参加し知識を深めました。今年度は9月上旬に甲府市内で開かれた介護講座に申し込み参加しました。また、9月下旬に行われた日本臨床獣医学フォーラム年次大会にも参加しました。

## 8. 今年度の活動反省と来年度の展望

私たちの活動はただ動物を連れてふれあいを行っているだけではないと考えています。もちろん言葉を介さない動物とのふれあいは入

居者の方への刺激になり、実際、人とのコミュニケーション時には見られないような生き生きとした表情を見せていただいています。しかし、そのふれあい活動を行うまでの学生との交流にこそ意味があるのだと感じます。「顔見知りの学生が会いに来てくれる」、「自分の名前を呼んで待っていて下さる入居者さんがいる」。その人のことを楽しみに思って過ごす時間やその人のために頑張る活動を準備する時間が生き生きとした表情につながっているのではないかと気づかされるからです。

今年度はこれまでの課題であった移動手段の確保、施設職員の方との連携に力を入れ解決することができました。このことで活動の頻度が安定することや、学生だけではなく施設職員というプロの目線からの意見もいただけるなど着々と動物介在活動部の基盤はできつつあります。基盤ができることで部員たちが動きやすくなり、動物介在活動部としても目の前にあることだけでなく先を見る余裕が出来始めたと感じています。現時点では桜の里の入居者の方のみが対象ですが、今後の展望としては活動頻度を増加させることや対象者を地域の方へと拡大していきたいと考えております。そうすることで学生と上野原市民との交流から「その人のための活動」でありお互いが生き生きと過ごせる場を生み出せるのではないかと思います。

## 参考文献

- 1) 山梨県上野原市 公式サイト URL :  
<http://www.city.uenohara.yamanashi.jp/>  
閲覧日：2018年2月25日
- 2) さくらの里 URL :  
[http://www.jsyamanashi.jp/ryokusuikai/03\\_sakuranosato.php](http://www.jsyamanashi.jp/ryokusuikai/03_sakuranosato.php)  
閲覧日：2018年2月25日

## 自然環境保全連携団体活動報告 ～イノバのすゝめ～

### 植竹優美香（自然環境保全連携団体）

キーワード：環境教育、自然体験、環境整備、生物調査

#### 1. はじめに

自然環境保全連携団体は、野生生物研究部・ビオトープ研究部ならびに環境教育研究部風の子フ〜スケの3つの組織が連携している。野生生物研究部・ビオトープ研究部は調査研究を担当し、環境教育研究部風の子フ〜スケは環境教育活動を担当している。

連携による活動としては、数年前から行っている八ツ沢地区にある耕作放棄田（通称：イノバ）の整備を行っている。

野生生物研究部は、身近な野生生物への生息地環境の一端を明らかにすることを目的として、大学周辺の野生生物の生息数などの調査をし、過去のデータと比較している。

ビオトープ研究部は、調査で得た情報を外部へ発信することや、生物の生息できる環境を知ることなどを目的として、ビオトープ池の管理をし、学内のビオトープ池のカエルや水生生物の調査をしている。

環境教育研究部風の子フ〜スケは、自然に触れることで自然環境への興味、関心をもってもらい、自然環境を大切に思う気持ちを育むことを目的としている。上野原市内の小学生や親子を中心に、観察会、ネイチャークラフトなどの環境教育活動を実施している。また、地域の人々に身近な自然を見つめ直してもらえるように、調査研究で得た成果を地域に発信している。

#### 2. 活動報告

##### 1) 調査研究

##### ①大野貯水池・桂川における鳥類調査

日時：月2回

目的：両調査地を利用する水鳥（主にカモ類）の種数・個体数の経年変動を調査

活動内容：区画に分けられた調査地点に調査員を配置し、一定時間内で定点観察・ラインセンサス法を用いて調査を行う。集められたデータは資料として蓄積している。集められた調査データは、NPO 法人バードリサーチに発信している。



図1. 鳥類調査の様子

##### ②大学内ビオトープ池を利用するカエル類、水生生物の調査

日時：カエル調査は週1回、水生生物調査は月2回

目的：ビオトープ池を利用している生き物を調査することで、情報発信やビオトープ池の整備に役立てる

活動内容：その日の天気・気温・湿度、ビオトープ池の水温・地温・水位、調査参加者を記録後、ヤマアカガエルやモリアオガエルなどのカエルを目視で探して捕獲する。その後、捕獲した個体の個体識別番号、体長、体重、胃の内容物を記録していく。また、ビオトープ池を利用するカエルの産卵状況やヤゴやミズカマキリなどの水生昆虫の種数、個体数を調査している。その結果から、ビオトープ池の利用状況や環境などの考察し、池の環境整備の参考にしている。また、ビオトープ池付近に設置した看板での生き物紹介にも役立てている。環境整備として、底の泥の掻き出しや外来種の駆除など行っている。



図2. 池整備の様子

## 2) 環境教育活動

### ①上野原小学校 春の観察会

日時：2017年5月30日、6月7日、13日

目的：自然と触れ合う楽しさを知ってもらい、自分から身の周りの自然に遊びに行くきっかけにしよう。

対象：上野原小学校1年生

活動内容：生き物の観察のほかに、草遊びなどを取り入れたネイチャーゲームを行った。



図3. 裏山探検の様子 その1



図4. 裏山探検の様子 その2

夜夜によくみられる生き物、また夜にしか体験できないことを自然観察を通して知ってもらい、もう一度夜の観察に行くきっかけにしよう。

展示朝・昼・夜それぞれの時間帯ごとに観察できる生き物が変化することを知ってもらい、それぞれの時間帯に出現する危険な生き物の紹介から、自然観察に行く上での生き物に対する注意を促す。

対象：上野原在住の親子（小学生から中学生とその親）

活動内容：朝・昼・夜の観察会と室内での展示を行った。野外では親子が外に出るきっかけとなるように、安全面や手軽さを重視し虫捕りやミッション形式の生き物探しなどの観察会を行った。

室内では大学周辺の自然環境を紹介し、観察スポットやコツなどを参加者に伝えられるような展示を行った。



図5. 朝の観察会の様子



図6. 昼の観察会の様子

### ②北都留郡教育委員会 『明日の風』

日時：2017年7月30日

目的：朝/朝の時間帯に活動する生き物をじっくりと観察することで、朝ならではの楽しさや自然の不思議さを知ってもらい、身の周りの身近な生き物に興味を持てよう。

昼/川にはたくさんの生き物がいることと川遊びの楽しさを知ってもらい、また川へ行くきっかけにする。



図7. 夜の観察会で仕掛けたトラップにやってきたカブトムシ

### ③帝京科学大学学園祭

日時：2017年10月7、8日

対象：上野原市民をはじめとする来学者

#### I ビオトープ研究部

目的：帝京科学大学ビオトープ池に生息する生き物、部の活動を知ってもらう。

活動内容：大学ビオトープ池に生息するカエルや水生昆虫の生態展示をし、詳しい生態や調査データをまとめた解説を行った。また池や池周辺環境の模型を用いてビオトープが何かを理解してもらえよう説明を行った。



図8. ビオトープ研究部 室内展示の様子)

#### II 野生生物研究部

目的：野生の生き物を知り、身近に感じてもらう。

活動内容：標本展示とアクセサリー販売を行った。標本展示では動物の頭骨や毛皮を展示し、実際に見て触ってもらうブースを作った。また、動物の食痕なども見せながら説明をすることで野生生物について理解し、興味・関心を持ってもらえるようにした。アクセサリー販売では鳥の羽を使ったアクセサリーを作って販売し、少しでも動物を身近に感じてもらえるようにした。



図9. 野生生物研究部 室内展示の様子

#### III 環境教育研究部 風の子フ〜スケ

目的：様々な班を通して、それぞれの生き物の魅力を知ってもらう。

活動内容：生体展示や標本展示、クイズ形式の生き物紹介等を行った。ヘビのふれあいやドカ리를観察出来るブースもあった。それぞれの班が工夫を凝らし生き物の魅力をより伝えられるようにした。



図10. 風の子フ〜スケ 室内展示の様子 ヘビ班)

### ④上野原小学校 裏山探検

日時：2017年10月18、30日

目的：・秋の生き物を通して、子供たちから春との違いを見つけてもらえるようになってもらう。

・裏山にある自然の、感覚を使った楽しみ方を知ってもらう。

対象：上野原小学校 1年生

活動内容：上野原小学校の裏山にある山に地図を持って登った。自然の中にある様々な触り心地・匂いのものを探してもらうという感覚を使った内容で行い、ミッション形式で自ら積極的に探してもらうことで、プログラム後も印象に残るように工夫した。



図 11. 裏山探検の様子 その3 落ち葉プール

### 3) 連携団体としての活動

連携による活動としては、数年前から行っている八ツ沢地区にある耕作放棄田の整備を行った。

この活動は、人の手が加わらなくなり荒れてしまった田んぼを整備することで環境のビオトープ化を目指し、田んぼのある環境での観察会の実施を目標とするものである。

田んぼと通路の草刈りや水路の整備、耕し作業を行って田んぼを管理したが、今年度も獣害にあってしまい、お米を収穫することが出来なかった。生き物が戻ってきたという証拠でもあり、中型哺乳類の足跡などのフィールドサインが見られる回数も増えてきた。



図 12. イノバ整備中に出会ったアズマヒキガエル

## 3. 結果と考察、まとめ

### 評価

#### 1) 調査・研究

- ・野生生物研究部内で調査データの発表を行い、調査の良質化を考える場を作れた。
- ・田んぼの生物を調査することで、今後予定する観察会に情報を活用することが出来ると考えられる。

#### 2) 環境教育活動

- ・参加者に楽しんでもらえるよう展示物を工夫できた。
- ・自分達で整備した田んぼを利用した観察会が出来た。
- ・初めて参加する地域での企画に参加できた。

### 反省

#### 1) 調査・研究

- ・調査の参加人数が少ない状況が続いたため、部員全体での、調査目的の共有、意識の向上が必要。
- ・もっと多くの人に知ってもらえるように、ビオトープ池の看板の更新頻度を増やしていく。

#### 2) 環境教育活動

- ・部員数が不足していた為、観察会の安全管理が不十分であった。
- ・調査結果を反映した企画が少なかった。

### 今後の展望

地域の人や観光客を対象にしたイノバでの自然観察会を行い、地域の大切な資源である田んぼの有効活用をしたいと考えている。

また、今後は八ツ沢だけでなく、上野原市内の名の場所での環境整備活動も視野に入れ、このような活動がより地域に根付いたものとなるように、一層の努力をしていきたいと思っている。

更に、今年度は例によって獣害の被害にあったり、作業に来る人、積極的に参加してくれる人が少なかったりしたため、お米を収穫することが出来なかった。その上、農具の老朽化や故障のため思うように作業を進めることが出来なかったので、来年度は買い替えたり、修理をしたりしてもっと効率よく農作業が出来る様になればいいなと思っている。

イノバでの活動は生き物を身近に感じ、自然の偉大さを痛感することの出来るとてもやりがいのある活動であると思っている。

農作業をやってみたい方、野生動物に関わってみたい方、環境整備に興味がある方、農業の知識のある方、等々より多くの人の助言、参加をお待ちしております。

Let' s イノバ！！

# 動物介在教育研究部 平成 29 年度 地域連携研究報告

## 副島立（動物介在教育研究部）

### 1. 活動団体の紹介

まず、始めに私たち動物介在教育研究部の紹介をします。動物介在教育は英語で表現すると Animal Assisted Education と称され単語のそれぞれの頭文字を取って AAE とも呼ばれています。動物介在教育研究部は動物を介在させることにより、子どもたちに「命の教育」を行う動物介在教育活動の実施とその研究をしている団体です。（以後、動物介在教育研究部を AAE と称させていただきます。）

AAE では、世代間交流の中で学習機能を向上させ、子どもの情緒の健全な発達を促す事を目的としています。

また、AAE には3つの目標があります。（図1）

動物を通して子ども達に、生きているということ伝える「命の教育」、その活動で使う動物が人にとって安全なように、また動物にとってのストレスの軽減にもなるよう「人に慣れた動物の育成」、世代が違う学生と子どもとが交流を持ち、学生からの一方的アプローチではなく、子どもの意思を大切に「世代間交流」の3つが目標です。



図1. AAE の目標

### 2. AAE で飼育している動物たち



図2. AAE で飼育している動物たち

AAE では、以上の動物を飼育しています。（図2）

これらの動物は部員が毎日お世話をしています。そして、これらの動物でふれあい活動（命の教育）を行っています。例外としてウズラは直接ふれあうことはしません。

カイコは常に飼育しているわけではなく、活動でカイコを使用する時のみ、その1週間ほど前から幼虫を育て、ふれあい活動を行います。

### 3. 活動内容

上記したとおり主に動物とのふれあいを活動内容としています。動物とのふれあい以外だと以下のようなブースがあります。

#### I. 心音ブース（図3）

心音ブースとは聴診器を用いてモルモットの心臓の音を子どもたちに聞いてもらうブースです。



図3. 心音ブース

## II. 塗り絵ブース (図4)

動物の塗り絵をします。塗り絵の下絵は学生が製作しています。

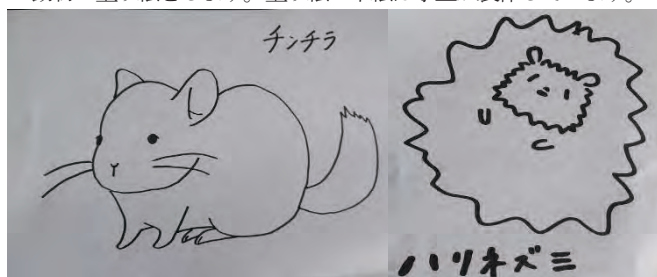


図4. 塗り絵ブース

## III. 繭クラフト (図5)

カイコの繭を使って工作を行います。グルーガンを使うときや繭を切る時などは子どもたちにさせるのではなく学生が担当します。



図5. 繭クラフト

## IV. スナネズミの行動観察 (図6)

スナネズミの行動を観察するのに適した、自作の「スナタワー」という物を作りその中にスナネズミを入れ行動観察をします。子どもたちに行動を観察してもらい、その後スナネズミがどんなことをしていたかを聞きます。



図6. スナネズミの行動観察

## V. 頭骨 (図7)

動物の頭骨を使い学習をするブースです。子どもたちに頭骨を見て何の動物の頭骨かを当ててもらおうクイズもします。

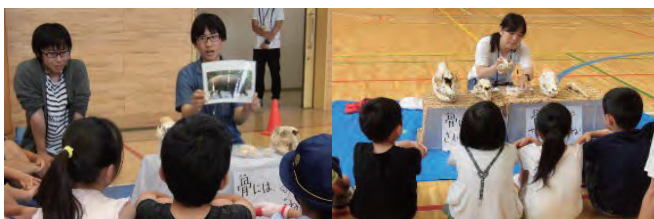


図7. 頭骨

## VI. 動物クイズ (図8)

その名の通り動物のクイズを行います。



図8. 動物クイズ

## VII. ウズラ

ウズラの卵と酢を使いウズラの卵の模様は酢によって落ちることや、ウズラについての学習をします。

## 4. 活動形式

AAEの活動形式は大きく分けて2つに分類されます。(図9)

学生が小学校や幼稚園に訪問して活動を行う「訪問型」と子ども達が大学側に遠足として来る「遠足型」に分けられます。訪問型にはお祭りやイベントの一角に出店して活動を行う「イベント型」が含まれています。

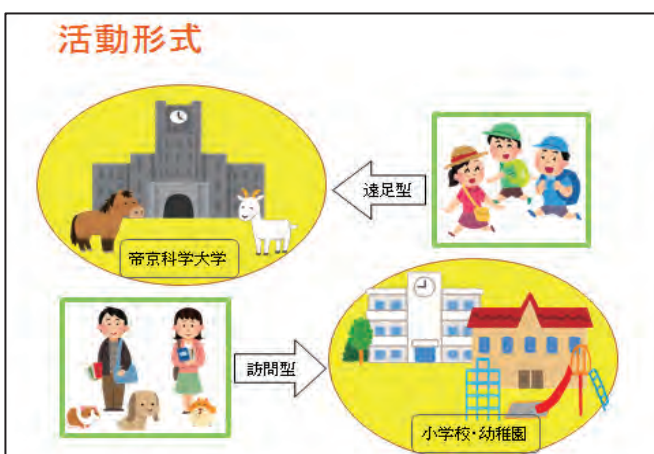


図9. 活動形式

## 5. 29年度活動実績

29年度の年間活動回数は74回(平成29年4月~平成30年1月までの期間)となりました。グラフは活動回数を月別にまとめたものです。(図10)

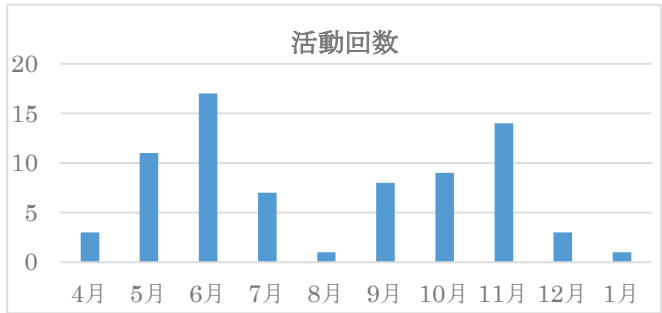


図 10. 活動回数

## 6. 活動内訳

活動場所は本学がある山梨県か千住キャンパスがある東京都がほとんどを占めています。(図 11)

### ● 山梨県での活動

小学校訪問 12 回、幼稚園・保育所訪問 9 回、大学遠足 5 回、ことぶき勸学院 1 回、乗馬会ブース 2 回、科学の祭典 1 回、ロープレ 1 回、足立区遠足 6 回、湧水の里 1 回、秋山ふるさと祭り 1 回、桂川フェスティバル 1 回、大鶴楽生園 1 回、明日の風 1 回、談合坂 SA1 回、など

### ● 東京都での活動

小学校訪問 13 回、渋谷 DE どーも 1 回、多摩動物公園遠足 1 回、帝京めぐみ幼稚園 11 回

### ● その他

埼玉県の小学校訪問 1 回

※集計上の関係で活動内訳をすべて足しても 74 回になるわけではありません。



図 11. 活動内訳 (前期 (左)・後期 (右))

## 7. 29 年度活動事例報告

### 【小学校訪問】

#### 事例 1：足立区における動物ふれあい教室(13 回)

日時：打ち合わせ時に小学校側の都合の良い日程に合わせ、主に午前中に行いました。

目的：動物に触れることで、『生の関係性』を築く、また大学生と小学生との異世代間での交流を図ることです。その上で、各校の要望に応えられるようなプログラムを実施しました。

内容：東京都足立区の小学校において、AAE で飼育している小動物、爬虫類、鳥類、蚕などを用いたふれあい活動。その他、動物の頭骨を用いた骨の説明、行動観察やクイズや心音など、動物の生態・行動などの知識教育をしました。ドッグトレーナー研究部やアニマルシップと連携して犬のふれあいやドッグショーを行うこともあります。ブースの数は 6 つで以上の中から各校の要望にそぐように、抜粋します。

また、足立区活動は千住 AAE と合同で企画をしています。

当日の動き：小学校の体育館を使用して実施しました。子どもたちを 6 班に分けブースを 1 つ 1 つローテーション形式で回らせました。班ごとに学生を数人つけ子どもたちと一緒に行動する役割を「班付き」、ふれあいなどを担当する役割を「ハンドラー」と言います。また、時間管理をし、トランシーバーで伝達する役割を「タイムキーパー」と言います。タイムキーパーは学生ではなく花園先生が担当する時もあります。(図 12)

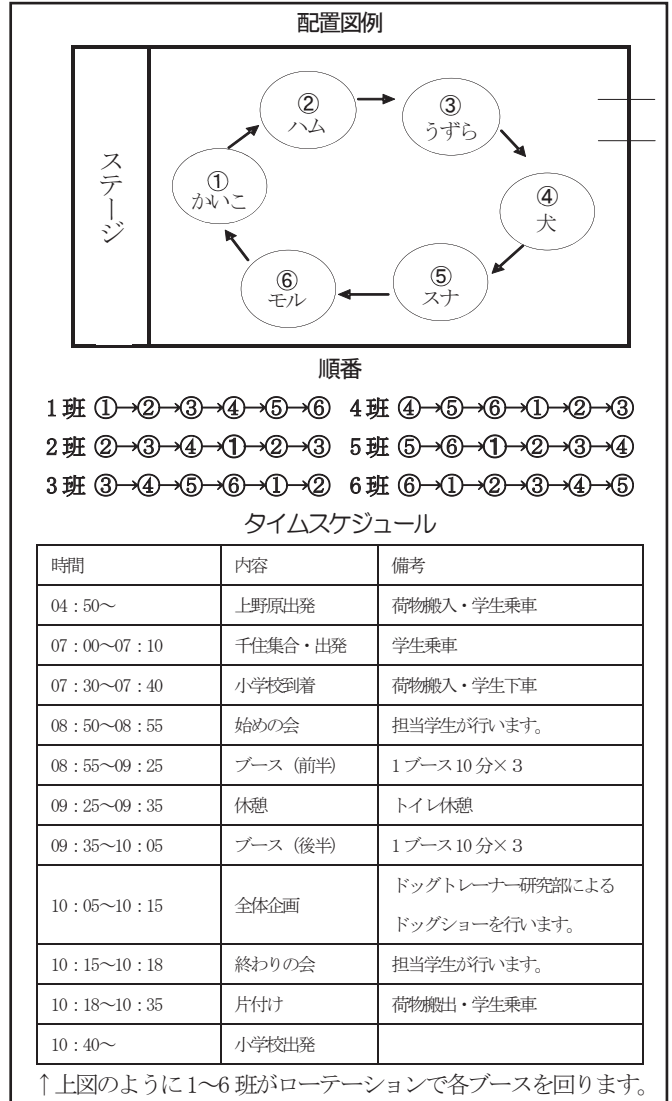


図 12. 当日の配置図例・順番・タイムスケジュール

#### 事例 2：飼育体験(3 回×3 校、全 9 回)

日時：同上 加えて、動物を預ける前後に事前・事後活動を行いました。

目的：生き物を飼う大変さを学んでもらい、命について考えるきっかけを作ることです。

内容：AAE で飼育しているハムスター、モルモットを貸し出し、1~2 週間程度児童が飼育をしました。動物を貸し出す前に事前活動(どうしたら動物を大切にできるか・動物の飼い方や解説)を行った。また、お世話日誌を子どもたちに書いてもらいます。事後には振り返りの活動も行いました。

当日の動き：飼育体験は 3 回の活動からなり、1 回目は動物がされる

と嫌なこと、されたら嬉しいことを話し合っ子どもたちの意見を学生が模造紙にまとめたり、モルモット、ハムスターのふれあいをしたりしました。(図13)

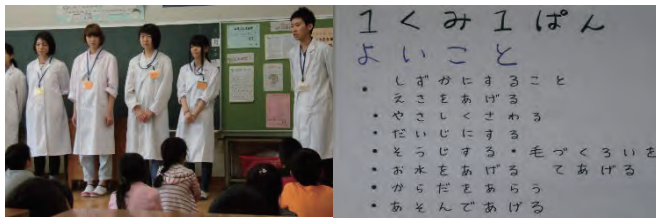


図 13.1 回目の様子

2 回目はお世話の方法を説明し、動物を預けます。(図14)



図 14.2 回目の様子

3 回目は預けた動物を引き取りに行き、事後活動を行います。(図15)

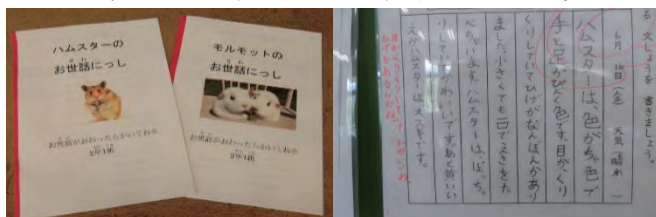


図 15.3 回目の様子

#### 【幼稚園・保育所訪問】

幼稚園・保育所に訪問して行う活動はいくつかあるが特に回数が多い帝京めぐみ幼稚園における活動を事例3とする。

#### 事例3：帝京めぐみ幼稚園(11回)

日時：火曜日に行いました。

目的：早期から動物と触れ合うことにより、動物に親しみをもつきっかけを作ることです。

内容：年少から年長まですべてのクラス・組で行い、それぞれ年齢に合ったプログラムを計画します。主に、小動物のふれあいやクイズなど行いました。

他の活動と比べて異なる点が2つあります。

1 つ目が子ども学科の学科飼育が主体となっていて、AAE はそのサポートをすることです。そのため、活動に使用する動物も主に学科飼育の動物を使用します。AAE では飼育していないデグーを用いるときもあります。また、子ども学科の学生が毎回指導案を作り、その案に沿って活動を進めます。

2 つ目は活動プログラムが年間を通して行なわれることです。毎回同じ園児たちを対象に行うので今回はモルモットのふれあいとクイズ、今回はハムスターのふれあいとクイズ、といったようにプログラムを分けて行うことができます。

当日の動き：1 クラスあたり、2 ブース展開で活動を行います。園児た

ちを2つの班に分け前半と後半でブースをローテーションします。1 クラスあたりの学生は3人で2人が各ブースを担当し、1人がタイムキーパー兼班の誘導係をします。(図16)



図 16. 帝京めぐみ幼稚園での活動の様子

#### 事例4：本学を用いた小学生・幼稚園児の遠足支援(大学遠足)年5回

日時：打ち合わせ時に依頼側の都合の良い日程に合わせ、主に午前中からお昼を挟み2時くらいまで行いました。

目的：自然に囲まれた中で活動する事で、人や動物に対する思いやりを知り、協調性を育むこと、また大学生と子どもとの異世代間での交流を図ることです。

内容：馬センターと連携して活動を行いました。AAE では小動物、爬虫類、鳥類、カイコのふれあいなどを実施、馬センターでは乗馬や馬房掃除や、えさあげ体験を行いました。児童は5〜7人程度の班行動で、各班に学生を1〜2人つける形態にしました。

当日の動き：主に活動場所は馬センターで行いました。当日の動きは、午前中は乗馬や馬のふれあいなど馬関連のことをし、お昼休みを挟み子どもたちと一緒に弁当を食べ、午後はAAE担当で、ふれあい活動を行います。午後の活動は時期によっては動物の負担等を考え室内で行うときもあります。(図17)



図 17. 馬センターでの活動の様子

#### 事例5：旧桜井小学校及び周辺を用いた足立区の小学生4年生の遠足支援(足立区遠足)年6回

日時：打ち合わせ時に依頼側の都合の良い日程に合わせ、主に午前中からお昼を挟み2時くらいまで行いました。

目的：自然の中で自然体験活動を行うことで人や動物に対する思いやりを知り、協調性を育むこと、また大学生と子どもとの異世代間での交流を図ることです。

内容：上野原市内にある廃校、旧桜井小の校舎及び、その周辺で活動を行いました。自然を利用した自然体験活動を実施、また、AQUASHIPと連携して川を利用した自然体験活動を行いました。屋外での活動に

なるので悪天候を考慮して、晴天時、小雨時雨天時の3パターンの活動を計画しました。

ブースは、湧水について学ぶブースやベイトトラップをしかけそれにかかった昆虫を観察するブース、杉の木・檜の木の違いを学ぶブースなどがあり、どれも豊富な自然を生かしたブースとなっています。当日の動き：子どもたちを6班に分け班ごとに班付きを数人つけて各ブースを回りました。ブースの回り方は、班ごと決めておき班同士が重ならないようにしました。午前午後に分けてあり、お昼ご飯を挟みます。当日の動きとしての注意点は活動する範囲が広いのでブース同士での時間管理や伝達には特に注意を払いました。(図18)



図 18. 旧桜井小学校での自然体験活動の様子

#### 事例 6：上野原小学校の2年生へ向けた多摩動物公園遠足の企画 年1回

日時：5月11日 9:45~14:00

目的：普段の生活では見ることのできない動物を観察し、命について考えてもらうこと、また、団体行動を通じて協調性を学ぶことです。  
内容：多摩動物公園で遠足を実施しました。子どもたちを班ごとに分け学生が各班に数人班付きとしてつき一緒に園内を散策しました。散策は基本的には自由に回る順番等も決まっています。園内の動物を見るだけではなく、クイズや解説も行いました。

当日の動き：内容で明記したので詳しい動きは割愛

お昼休みを挟むので子どもたちと一緒に弁当を食べます。(図19)



図 19. 多摩動物公園での遠足の様子

#### 【イベント型】

##### 事例 7：NHK 渋谷 DE どーも

日時：5月3日・4日

目的：動物の命にふれ、命やそれを取り巻く環境について楽しく学んでもらうことです。

内容：渋谷にあるNHK放送センターで行われている「渋谷DE どーも」というイベントに参加し、そこで来場者にモルモット・ハムスター・

犬のふれあい、ドッグショー、塗り絵を行いました。また、千住 AAE と合同の企画でアニマル総選挙という来場者の方々に投票してもらうブースを実施しました。

当日の動き：5月で気温が高くなってきているため、動物の管理に気をつけました。動物の匹数をたくさん持って行き、ローテーションで休憩させながらふれあいに使用しました。(図20)



図 20. NHK 渋谷 DE どーもでの活動の様子

##### 事例 8：科学の祭典

日時：11月17日~19日

目的：科学の不思議さ・おもしろさを来場者の方々に知ってもらうことです。

内容：山梨県にある山梨県立科学館で行われている、科学の祭典というイベントに参加し、来場者の方々に向け主に科学に関するブース企画・実施しました。また、この活動はAAEで唯一の泊りの活動でもあります。

当日の動き：静電気ブースや液体窒素ブースやDNAブースや岩石標本ブースなどのブースを実施しました。参加者の学生の役割を決め、ブースを分担して行いました。(図21)



図 21. 科学の祭典での様子



# 東京都多摩動物公園と横浜市立金沢動物園での教育普及活動

佐々木陸志（動物園研究部）

キーワード：動物園、教育普及、ボランティア

## 1. はじめに

動物園研究部では、動物園について学ぶことを目的として、勉強会や教育普及活動に取り組んでいる。

このうち教育普及活動は、原則として毎月第2・4日曜は東京都多摩動物公園で、第1・3・5日曜は横浜市立金沢動物園で、ボランティアとして活動している。学生が主体となって動物園で教育普及活動を行うことによって、動物園という現場を学ぶと同時に、伝えることの難しさや楽しさを学び、さらに人前で話す力を身につけることができる。また勉強会では、外部講師を招いた講演や学生自身による発表を通じて、動物園に対する理解を深めている。この他にも金沢動物園では、動物病院において傷病鳥獣の飼育補助もさせていただいている。

今回は、これらの活動のうち、2カ所の動物園で行っている教育普及活動について紹介する。

## 2. 東京都多摩動物公園での活動

多摩動物公園では2004年から継続して、学生を主体とした教育プログラム「おえかきっず！」を実施させていただいている。実施メンバーは動物園研究部所属の学生で、プログラムのテーマ・目的・目標は以下のとおりである。

テーマ：身近な生き物でも面白くて知らないことがあることに気づく。

目的：参加者は企画の観察を通し、生物の特徴を自ら見つけることができる。

目標：・生き物を観察する楽しさを知ってもらう。

- ・馴染みのあるバッタでもでも知らないことが沢山あると自分で気づく。
- ・生き物を観察しに外に行きたくなる。
- ・バッタ以外の生き物でも知らないことがあるのではと観察したくなる。

### ① 活動内容

開始時間までは、多摩動物公園で飼育展示している動物に関連したクイズ（多摩クイズ）を行う。これは実施待ち時間の解消と雰囲気づくりを目的としている。

続いて、企画の最初に紙芝居「ばったのびよんこちゃん」の朗読を行う。その後、1回目のお絵かきに切り、何も見ない状態で絵を描いてもらう。この時、学生は質問の対応や書き方のポイントなどの声掛けを行う。

1回目が終了したらバッタを各テーブルに配布し、2回目のお絵かきに移る。この時、学生は1回目同様、質問の対応や書き方のポイントなどの声掛けを行う。

最後に、バッタの生態や身体的特徴について解説し、プログラムを終了する。



紙芝居

お絵かき



解説

### ② 今年度の活動成果

今年度の活動参加者は586名で、前年度より50人ほど増加した。

この際、平成28年度から導入した保護者へのアンケートを継続するなどして改善点の把握に努め、以下の改善を行った。

- 学生全員の自己紹介を開始前に行うことで親しみやすい雰囲気を作り、子供たちがまた来たいと思えるような学びやすい環境を作った。
- 紙芝居と解説の際、マットを使用することで子どもたちに見やすく参加者の一人ひとりが学生の助言を得ながらバッタについてより深く観察し、考えられるようにした。
- 月1回程度の練習会を行うことで、活動意義や伝えたいことを考えるようにした。これによって、自分自身を客観的に見る機会ができ、その都度改善していくことで、自己の成長を感じられるようになった。
- より細かい観察を目的として導入した虫眼鏡の活用を継続した。
- バッタの顔の解説パネルが老朽化していたので補修した。
- 紙芝居が見えづらいとの意見を受け、サイズを一つ大きくした。

### ③ 「おえかきっず！」の教育効果に関する考察

冒頭述べたとおり、本プログラムは「参加者は企画の観察を通し、生物の特徴を自ら見つけることができる」ことを目的とし、「生き物を観察しに外に行きたくなる」「バッタ以外の生き物でも知らないことがあるのではと観察したくなる」といった目標を掲げて活動してきた。これを確認するため、アンケートでは過去にも参加した人を対象

に、前回参加してからの変化を尋ねる項目を設けていたが、実際にはほとんどの人が初参加で、これを検証することが難しいことが分かった。

そこで改めて、参加者、動物園、大学のそれぞれにとっての本プログラムの意義を検証すると、以下の意義があると考えられた。

- 参加者にとって) 楽しく、本物をじっくり見る貴重な機会であり、身近な生き物を、詳しく、わかりやすく説明してもらえる。
- 動物園にとって) 学生という外部の人材を育成しながら、教育活動を充実させている。具体的には、想像してから観察することで、集中して観察してもらう機会を提供している。
- 学生と大学にとって) 動物園において実践的な知見を得ながら、子供との関わりを楽しみ、やりがいを感じ、さらに良いものを求めて活動する中で、学生の成長につながっている。

以下、このような視点に立って、今年度の活動を振り返る。

- 解説と紙芝居の際、学生数人が子どもたちと同じマットの上に座り一緒に話を聞くことで、子どもたちに素早く対応できるようになった。これにより子供たちの解説への集中を高めることができると考えられる。今後は、子どもたちへの解説の内容をよりわかりやすく、印象に残るように工夫したい。
- 多摩クイズに関しては始まる前の雰囲気づくりに大きく役立ち、目的の一つである観察眼を養うきっかけになっていると考えられる。しかし、担当したことのある学生に限られており、クイズの目的が完全に共有できていないため、学生の間で伝えたいことを共有し、練習に取り組む必要がある。
- ルーペを使用することでバッタの一つの部位を細かく見たり、何度も異なる角度で観察することで様々な視点で子どもたちが観察を楽しめるようになった。ただし、正しく使用できる子供が少ないため今後も継続するか検討する必要がある。
- 練習会については、参加した学生は各自で課題を見つけ改善することができている。自身が工夫した解説で子どもたちが楽しむことで学生はやりがいを感じている為、更なる向上を目指し練習会の内容や雰囲気を改善していく。

この他、机の配置変更や、自己紹介の開始により参加者との距離が精神的にも物理的にも近づき、子どもとの会話が増え、子どもに気づいてもらう機会が増加した。このことは学生側の伝える意識向上につながるものであり、学生自身のコミュニケーション能力の成長を期待したい。

### 3. 横浜国立金沢動物園での活動

金沢動物園での活動は、大きく分けて定例活動とイベントがある。今年度の定例活動は「オカピクイズ」「オカピのいる森」「コアラになろう」「バククイズ」「オリックスものがたり」の5つで、イベントとしては「アメリカ祭り」「夏祭り」「文化祭」「バレンタイン」の4つに参加した。

いずれも、学生が主体となり、積極的に企画の改善や制作に取り組んでいるのが特徴であり、来園者へのアプローチの仕方を身につけ、参加者に動物の観察を促し、動物を守るために何ができるかを考えてもらうことを目的に活動している。

以下、それぞれの活動について紹介する。

#### ① 定例活動とイベントの内容

##### (1) オカピクイズ【定例活動】

パネルを用いたオカピに関するクイズである。オカピの体の形態を知ってもらうことで、体の細かい部分までじっくり観察するように促すことを目的とする。対象は3歳以上の子どもとその親で、所要時間は約10分である。クイズは食性・模様・分類についての全3問あり、難易度が異なる。年齢の低い子どもは親と一緒に考える場面がよく見られた。

##### (2) オカピのいる森【定例活動】

野生のオカピが生息する環境や生態に関するパネルシアターである。オカピを通して、ヒト・動物・森の繋がりについて知ってもらうことを目的とする。対象は7歳以上の子どもとその親で、所要時間は約20～30分である。所要時間が長く、途中で集中力が切れる子どもがいたため、物語中に参加者に前に出してもらうなど参加型にする改良をした。この結果、子ども達の反応もよくなり、最後まで集中してくるようになった。

##### (3) コアラになろう【定例活動】

パネルと衣装を用いたコアラに関するガイドである。有名であるにも関わらず、あまり知られていないコアラの雌雄の違い、ヒトとの違いをコアラの衣装を着てもらうことで体感しながら理解を深めてもらう。対象は3歳以上の子とその親で、所要時間は約10分である。コアラに変身する過程で、雌雄の違いを探してもらう際や解説を聞いて反応があった際に、親との対話を重視した。最初は衣装を着ることを恥ずかしがっていた子どもも、親との対話を交えることで興味を持ってくれることが多かった。

##### (4) バククイズ【定例活動】

パネルを用いたバクに関するクイズである。バクの生態を知ってもらうと同時に、奇蹄目が少ないことを知ってもらうことを目的とする。対象は7歳以上の子とその親で、所要時間は約10～15分である。奇蹄目の説明が難しく、子どもたちにあまり伝わっていなかったため、バクの足の骨格の絵が描かれたパネルを導入した結果、理解してくれる子どもが増えた。

##### (5) オリックスものがたり【定例活動】

野生のアラビアオリックスの現状に関する人形劇である。アラビアオリックスの形態と生態、生息地の現状について伝え、私たちにできることを考えてもらうことを目的とする。対象は3歳以上の子とその親で、所要時間は約10～15分である。この企画では「野生復帰」について触れるが、子どもには難しかったので登場人物や背景を変える工夫をした結果、場面展開がはっきりし、伝わりやすくなった。



オカピクイズ

オカピのいる森



コアラになろう

バククイズ



オリックス物語

#### (6) アメリカ祭り【イベント】

「アメリカ」をテーマとしたイベントで、5月13日・14日・27日・28日に参加した。アメリカに関する出店やワークショップが多数あったが、私たちはアルファベットを用いた動物のカルタをした。7歳以上の子どもを対象としたが、知らない英単語も多いと考え、ふりがなと意味も記載した。子どもたちの様子から、カルタを通して動物の特徴や英語の勉強にもなったようだ。

#### (7) 夏祭り【イベント】

毎年夏に開催されるイベントで、8月11日・12日・13日に参加した。私たちは、実際に金沢動物園でコアラに与えているユーカリを用いた「ユーカリスタンプ」というワークショップを行った。これはこれまでも様々なイベントで実施した企画で、ユーカリを知ることによってコアラの特徴も学ぶことができる。コアラがユーカリを食べていることは知っていても、実際にユーカリを触ったことがない子どもも多く、興味を持ってもらうことができた。

#### (8) 文化祭【イベント】

毎年文化祭の季節に開催されるイベントで、10月9日に参加した。私たちは、他団体が実施する4つのワークショップ（首飾り作り・しおり作り・象形文字でお絵描き・新種の動物作り）の補助に入った。ワークショップの数が多く、子どもたちは様々な体験ができて楽しんでいた。私たちも他団体との交流を通して、子どもとの接し方や企画

の構成について学ぶことができた。

#### (9) バレンタイン【イベント】

「バレンタイン」をテーマとしたイベントで、2月10日・11日・12日に参加した。当部活は「求愛行動」に関するカードを用いた組み合わせゲームを行った。ゲームの難易度は3段階に分け、参加者の年齢に応じたものを用いた。「求愛行動」という言葉を知らない子どもが多かったため、多くの子どもたちにとって新しい発見になったようだった。

#### ② 金沢動物園での今後の展開

現在、新しい定例活動として、カピバラに関する企画を作成しているが、これは従来実施している企画とは異なる新しい形になる予定である。作成中の企画だけでなく既に実施している企画にも共通して言えることは、まだまだ改善点があるということである。これからも実践と試行錯誤を繰り返し、動物のことを分かりやすく伝えられる企画としていきたい。そして、私たち自身のスキルアップを目指して、定例活動だけではなく、イベントにも参加して経験を積んでいきたい。

#### 4. 活動回数と参加人数

今年度の定例活動の回数と参加人数は、以下のとおりである。

| 2017年度 活動回数と参加人数 |     |      |             |             |
|------------------|-----|------|-------------|-------------|
|                  | 回数  | 延べ人数 | 多摩活動        | 金沢活動        |
| 4月               | 3回  | 22人  | 2回<br>14人   | 1回<br>8人    |
| 5月               | 4回  | 30人  | 2回<br>15人   | 2回<br>15人   |
| 6月               | 4回  | 39人  | 2回<br>16人   | 2回<br>23人   |
| 7月               | 5回  | 34人  | 2回<br>15人   | 3回<br>19人   |
| 8月               | 2回  | 16人  | 0回          | 2回<br>16人   |
| 9月               | 2回  | 18人  | 0回          | 3回<br>18人   |
| 10月              | 4回  | 31人  | 1回<br>8人    | 3回<br>23人   |
| 11月              | 4回  | 33人  | 2回<br>16人   | 2回<br>17人   |
| 12月              | 3回  | 26人  | 1回<br>8人    | 2回<br>18人   |
| 1月               | 4回  | 32人  | 2回<br>16人   | 2回<br>18人   |
| 2月               | 4回  | 31人  | 2回<br>16人   | 2回<br>15人   |
| 3月               | 2回  | 14人  | 1回<br>7人    | 1回<br>7人    |
| 合計               | 41回 | 326人 | 15回<br>131人 | 25回<br>197人 |

8月と9月は、会場の都合により多摩動物公園では活動できなかったが、その他の月は安定して活動できており、部員が積極的に参加していることが分かる。

## 5. 今後の展望

動物園での教育普及活動を通して、動物園の現場で実践的な経験を  
得ることができた。また、来園者と関わることで、コミュニケーション  
能力が向上するなど、学生のスキルアップにつながったと考えてい  
る。

多摩動物公園と金沢動物園では活動内容が大きく違うので、来年度  
はお互いの良さを取り入れ、活動内容の向上を目指したい。また、動  
物園研究部は部員数も多いので、活動希望者を人数調整で制限してい  
る現状があることから、さらに活動場所を広げることも検討してい  
きたい。

## 謝辞

多摩動物公園、金沢動物園の職員の皆様には、多大なるご支援、ご  
指導を賜りました。深く御礼申し上げます。

## その他の研究・報告



## 山梨県富士・東部保健所実習を通じた地域公衆衛生学の習得と地域連携

渡邊利明（医療科学部 柔道整復学科・医学教育センター）・佐藤光浩・市ヶ谷武生・鎌塚正志

佐野秀明・舟喜晶子・富田圭佑・杉浦加奈子・竹内仁・昇寛・樽本修和（医療科学部 柔道整復学科）

キーワード：保健所実習，地域保健，地域貢献，公衆衛生学、レポート抽出法、パレート分析

### 1. はじめに

公衆衛生学は地域保健活動や国単位の保健活動を通じて、地域住民や国民の健康保健を向上させる学問であるが、特に柔道整復師は他の理学療法士や作業療法士と異なり、その業において「患者との初対面での評価・診断」を求められる特徴から、公衆衛生学は国家試験において必須出題科目である。ここでこの柔道整復学科を含む本学東京西キャンパスの医療科学部は、山梨県地域医療における医療・保健・福祉についての医療資源として養成することが目的の一つであり、当然当該地域の医療における公衆衛生学的内容の実践が柔道整復師養成において連携されなければならない。したがって、地域医療人養成系学部における公衆衛生学の講義実習の地実研修を充実させ、また地域保健を理解するために、その地域医療の中核たる保健所における地実研修・見学は必要なことである。また、柔道整復師は開業から閉業の際、保健所への申請や査察等、大変重要な申請業務に保健所がかわり、非常に保健所業務とは関連が深い。また、保健所側としても保健所業務のうち、保健所の一般広報業務や上記地域医療者養成機関や医療従事者に対する広報活動も行う必要があった。しかしながら、本学東京西キャンパスと当地域担当の山梨県富士・東部地域保健所では、現在まで地域医療実践に必要な地域保健所の実践的見学・実習や学術的連携を行ってこなかった。そこで、当柔整学科では、2年時に開講する公衆衛生学および関連するフレッシュセミナーⅡの講義時間を使用して、1コマ(90分)の事前講義の後、3コマの保健所見学実習を行い、公衆衛生学で習得する保健所業務、環境衛生業務をはじめとする一般保健所業務に加えて、当山梨県富士・東部保健所管轄独自の公衆衛生業務・環境衛生業務についてレクチャーを受け、実際に保健所内での地実見学研修を行った。

### 2. 目的

本学本学科の公衆衛生学教育は2年時前期に行われ、特に6月半ば以降の後半は行政保健、環境保健、地域医療の分野であり、この保健所見学実習は事前講義で示した地域医療や環境保健の学問上の理論を検証し、再構築する上で欠かせない教育方法である。また、保健所としても広報活動や地域保健に従事する医療従事者の養成において貢献するという相互連携を行う欠かせない機会である。そこで、今回行った見学実習の成果を分析し、今後の公衆衛生学的内容の取得と、我々教員側の大学公衆衛生教育と保健所との地域保健業務を介した両者の連携推進に役立てたい。

### 3. 方法

1) 対象：平成27年度入学の柔道整復学科2年生全25名

### 2) 見学実習の構成

①日時 平成29年6月27日 13:00-16:00

②場所 山梨県富士・東部保健福祉事務所(山梨県富士・東部保健所) 会議室および所内

### ③見学実習の目標

公衆衛生学見学実習の基本方針として、一般的保健所業務の知識の習得、山梨県東部地域における医療従事者の社会医学活動の様子を実地で公衆衛生活動を行う保健所幹部等から講義を受け、見学を行うことによって理論上の公衆衛生学の学習の習得をより深める。最終的には地域保健を担うべき医療従事者の養成を助長する。

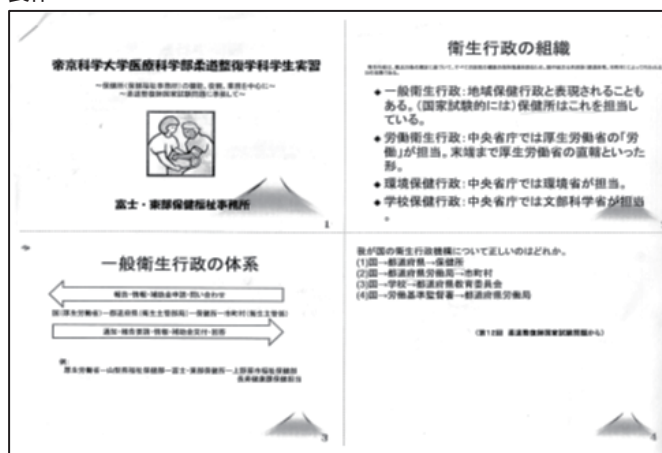
### ④見学実習のプログラム

短時間の中での保健所の機能を理解させるために、保健所担当者に見学実習の趣旨・目標を伝え、プログラムを作成していただいた。(表1-1：平成29年度帝京科学大学医療科学部柔道整復学科 富士・東部保健所見学実習プログラム) 特に、Bにおける保健所(保健福祉事務所)の機能、役割、業務を中心に、当方の希望を組んでいただき、学生の当面の目標である国家試験問題に準拠してプログラムを構成・プリントしていただいた(表1-2)。

表1-1. 実習見学プログラム

|                                                 |  |
|-------------------------------------------------|--|
| 平成29年度帝京科学大学医療科学部柔道整復学科<br>山梨県富士・東部保健所見学実習プログラム |  |
| A. 導入講義                                         |  |
| 1. 山梨県富士・東部保健所の概要・職務内容について：嶋津主任                 |  |
| B. 保健所長講義：櫻井保健所長                                |  |
| 2. 保健所(保健福祉事務所)の機能、役割、業務を中心に<br>＜国家試験問題に準拠して＞   |  |
| ①衛生行政体系 ②人口統計 ③保健所業務内容                          |  |
| ④管轄区域 ⑤保健所・保健センター ⑥危機管理                         |  |
| ⑦学校保健 ⑧保健所歴史 ⑨産業保健 ⑩保健所の将来                      |  |
| ⑪保健所トリア ⑫地域保健法体系 ⑬保健所の医療資格者                     |  |
| ⑭衛生保健 ⑮保健所の組織                                   |  |
| C. 保健所内見学(重点見学課)                                |  |
| ①福祉課→②長寿介護課→③衛生課→④地域保健課→⑤健康支援課                  |  |

表 1-2. 公衆衛生学国家試験準拠の講義プリント(全 22 項目): 保健所長作



### 3) データの収集・分析

保健所見学実習施行日から 3 日後に行い、すぐに回収したレポート課題 (表 2) の文章から、より内容として具体的な項目である①保健所長の講義で印象に残った項目 (表 1-1 保健所長講義項目①-⑮の項目別) を数量限度なしで記入させた。②保健所見学実習全体 (研修のまとめ) での印象に残った項目 (自由項目) を数量限度なしで記入させ、すべて抽出し解析した。

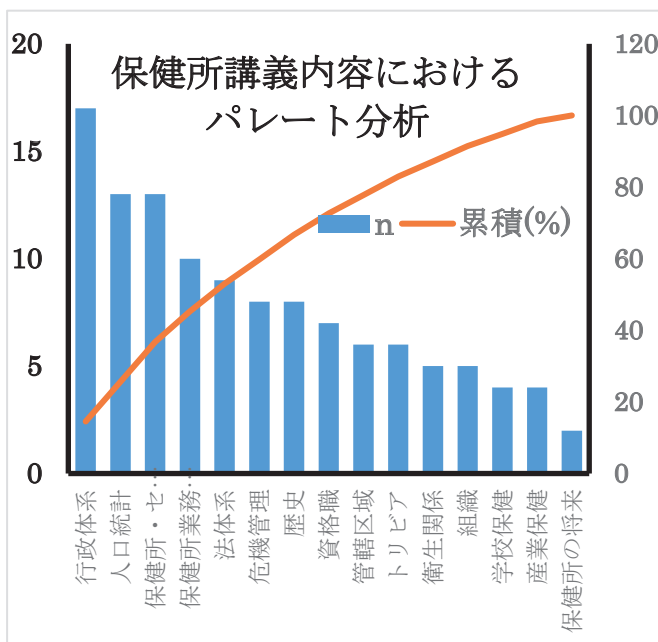
解析方法は、レポート各項目別の頻度数(n)からの平均値を算出し、分散分析およびパレート分析を行った。

表 2. レポート用紙

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 平成 29 年度 公衆衛生学 保健所実習 レポート |    |
| 帝京科学大学 医療科学部 柔道整復学科       |    |
| 番号                        | 氏名 |
| 1. 日時 :                   |    |
| 2. 実習場所 :                 |    |
| 3. 研修内容 :                 |    |
| ①保健所の概要 ②保健所長の講義 ③保健所内施設  |    |
| 4. 研修のまとめ                 |    |

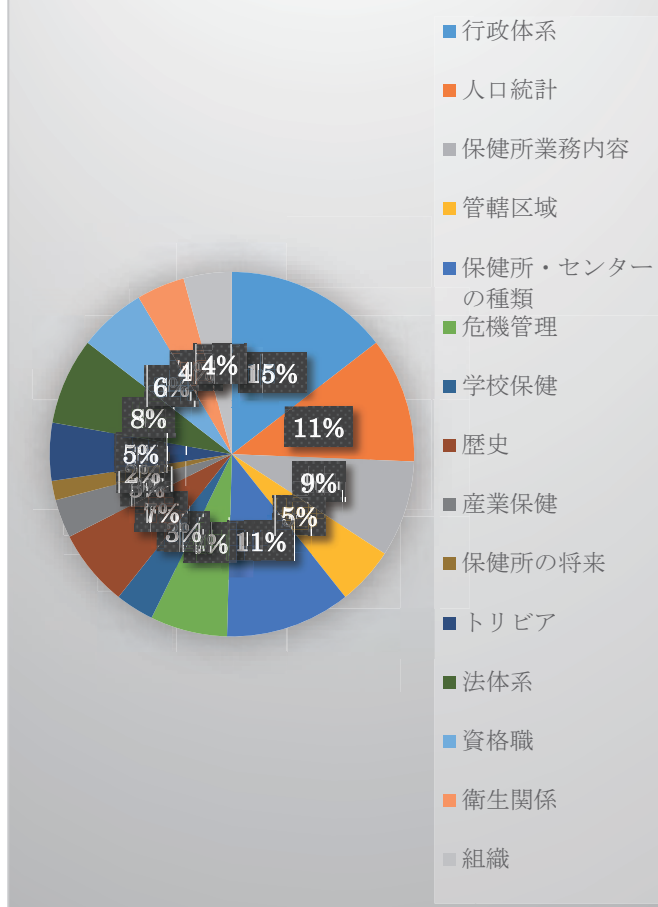
グラフ 1 各項目キーワード累積数および頻度% (累積数×100/総数(=117))

(1)保健所内講義の印象



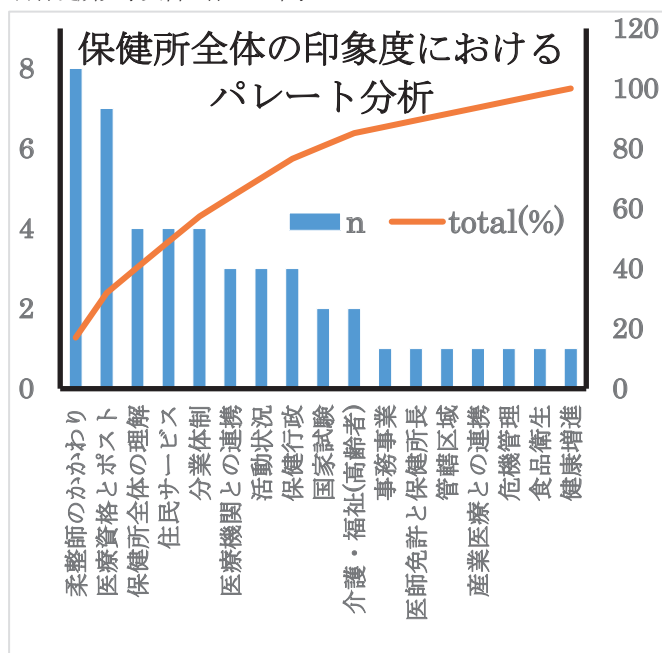
グラフ 1-1-1. 各項目の累積数 (n) およびパレート分析

### 保健所講義での印象度 (%)

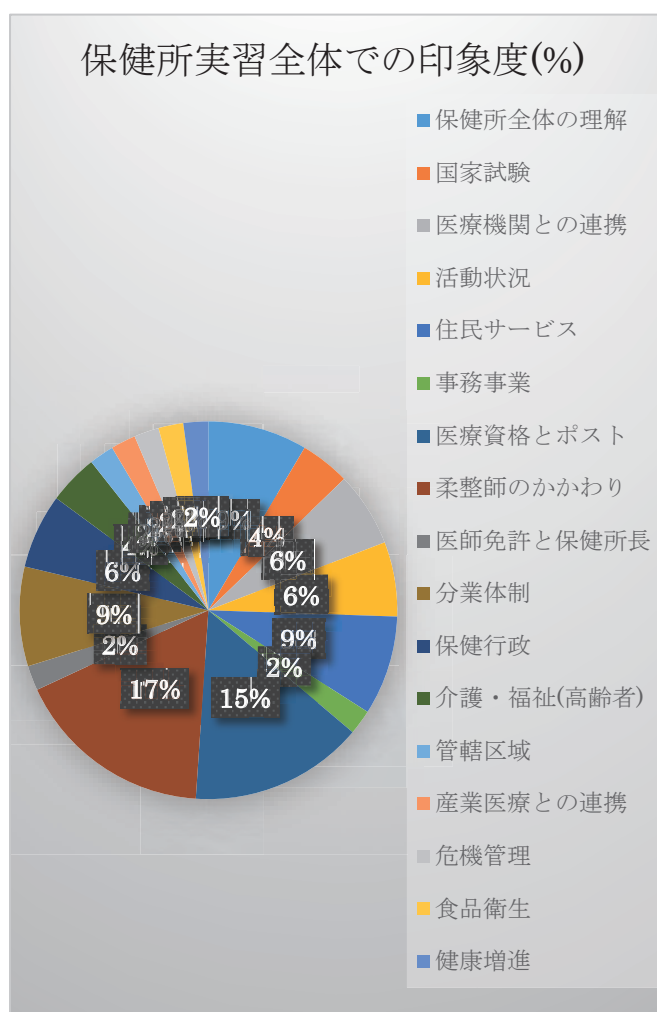


グラフ 1-1-2. 保健所講義での印象, 各項目の頻度 (%)

## (2)保健所見学実習全体での印象



グラフ1-2-1 保健所見学実習全体での印象、各項目の累積数(n)



グラフ1-2-2 保健所見学実習全体での印象、各項目の頻度(%)

## 4. 結果

## ①保健所長の講義に関して

グラフ1-1-1より各項目別の値から、合計117、項目15であり、項目平均値は7.8であったので、7.8以上の累積値を示す上位7項目(行政体系、人口統計、保健所・センターの違い、保健所業務、地域保健法体系、危機管理、保健所トリビア)であった。これらの累積頻度(%)はグラフ1-1-2より全項目の66.6%を占めていた。また、これらのパレート分析(グラフ1-1-1 累積曲線)での70%成分項目でもあった。しかしながら、この母集団上では分散が大きく、標準偏差は4.06であったので、変動係数((平均値/標準偏差)×100)が高く(52%)、これらの値の散布幅が大きいので、この母集団内での特異的・代表的な項目とは考えられない。この結果、これら上位7項目のなかで、母集団平均値の区間推定を行える両側検定を用いると、最上位代表項目境界値が平均値+(標準偏差/2)=7.8+2.03=9.83となり、最上位項目は9.8以上の4項目(行政体系(17)、人口統計(13)、保健所・センターの違い(13)、保健所業務(10))となった。( )内は項目ごとの累積数を表す。以下同様。この4項目の全体に占める累積頻度(%)は45.2%であった。

## ②保健所見学実習全体に関して

グラフ1-2-1より各項目別の値から、合計47、項目17であり、項目平均値は2.8であったので、2.8以上の累積値を示す上位8項目(柔道整復師と保健所の関連(8)、医療資格と保健所内ポスト(7)、保健所全体の理解(4)、住民サービス(4)、保健所内分業体制(4)、医療機関連携(3)、保健所市中活動(3)、保健行政(3))であった。これらの累積頻度(%)はグラフ1-2-2より全項目の76.6%を占めていた。た、これらのパレート分析(グラフ1-2-1 累積曲線)での70%成分項目でもあった。この母集団上では分散が大きく、標準偏差は2.14であったので、変動係数((平均値/標準偏差)×100)が高く(76%)、これらの値の散布幅が大きいので、この母集団内での特異的・代表的な項目とは考えられない。この結果、これら上位8項目のなかで、母集団平均値の区間推定を行える両側検定を用いると、最上位代表項目境界値が平均値+(標準偏差/2)=2.8+1.07=3.87となり、最上位項目は3.9以上の5項目(柔道整復師と保健所の関連(8)、医療資格と保健所内ポスト(7)、保健所全体の理解(4)、住民サービス(4)、保健所内分業体制(4))となった。この5項目の全体に占める累積頻度(%)は57.4%であった。

## 5. 考察

事前講義で示した公衆衛生学上の保健所項目が、保健所見学によりどのように具現化されて理解されたかを考察する。

## ①保健所長の講義に関して

結果①により、学生が保健所見学実習において印象に残った最上位4項目で全体の45%を占めていた。これらの項目は、行政体系(17)が最多であり、人口統計(13)、保健所・センターの違い(13)が同数、保健所業務(10)であった。

まず、保健所長の講義の内容が、「国家試験に準拠して行われた」と、および「地域の名称がふんだんに出現することによる地域への親しみやすさ」が基本的には講義全体の印象を決定したと考えられる。

これまでの座学による公衆衛生の内容による保健所講義では、国家試験内容はほとんど取り入れず、テキストの用語中心であったのに対し、国家試験内容を取り入れたことによる緊張感と身近な地名が出現する地域を見据えての講義には、学生の学習意欲への刺激が加わったのではないかと考えられる。

ここで、「保健所や衛生行政」が最多の印象を受けた理由として、保健所長の講義の際の最初の項目として出現しており、実際にも国家試験の公衆衛生学の範囲での出題順序も最初であることが多く、この理由として「地方行政や厚生労働省の保健所としての位置付けが、国家試験の重要な出題要件である」という保健所長の講義内容が、最初に学生の印象を深くしたのではないかと考えられる。やはり講義の内容順序の構成の仕方が素晴らしく効果的であると考えられる。また、彼ら学生にとって未知の役所である保健所が、大卒からの身近な職場として映り、「保健所に就職したい」という希望を持つ学生があらわれたことも保健所実習が医療家を目指す彼らに「健康を維持する保健所」としてのインパクトを与えた結果であると考えられる。

続く「人口統計」の項目が多く出現した理由としては、本保健所での講義において「保健所が管轄する人口動態統計は、がん検診、予防接種、乳幼児健診、母子手帳等々の健康と向き合っていく様な仕事は、保健所が最終的に責任を持つ生と死に結びつく」という「診断や予防と生や死についての関連性のある役所」という講義内容をされた結果、学生は印象に残り、知識としても蓄積されると考えられる。また、大学での事前講義として母子手帳や母子保健法の講義を行ったことも学生の印象度が高い一因となっているが、若年人口の増減とともにこれら地域に関して関心が高いことが示されたと考えられる。

「保健所と保健センターの違い」については、本学の学生（特に本学科の学生）の3/4は山梨県の出身であることを踏まえたうえで、地域保健法とともに講義を行い、なぜ「保健センターなのか」「保健センターは保健所の下部組織ではない」旨の講義と山梨県富士・東部地区の保健センターがどこにあるかを具体的に人口の増減等とともに示しながら講義されたことによって、上記「人口統計」同様に身近な地域保健の在り方を学生なりに興味を示している結果であると考えられた。

## ②保健所実習全体の印象について

保健所実習全体では、5種類の項目が挙げられた。このうち、柔道整復師と保健所の関連(8)および医療資格と保健所内ポスト(7)、保健所全体の理解(4)、住民サービス(4)、保健所内分業体制(4)のなかで、累積頻度としても柔道整復師と保健所の関連(8)および医療資格と保健所内ポスト(7)がその他の2倍程度の累積数を示していたので、この2項目について考察する。

緒言でも述べたように、柔道整復師は他のパラメディカル資格である理学療法士や作業療法士と比べると、市中で「開業できる」医療従事者であり、学生のはほとんどは将来の希望として「市中での開業」を望んでいる。また、同じく緒言でも述べたように国家試験の中に公衆衛生があるメディカル資格は厚生3師（医師、歯科医師、薬剤師）を除くと、看護師、保健師、柔道整復師であり、保健所の出題頻度が高いのは柔道整復師であるだけに、国家試験内容および開業する際の保健所との関連は学生としても非常に興味の湧くところであったと考

えられる。そのせいもあって、当日講義後の学生からの保健所長への質問の中に「なぜ、保健所のポストに理学療法士があって柔道整復師がないのか」という質問があり、「学生としても柔道整復師に誇りをもって勉強しているのですね」という所員の方の感想をいただきました。その裏を返せば、学生としても将来「柔道整復師として」保健所での地域社会貢献をして自分の力を出したいという意気込みが感じられたことは、保健所や地域保健を実際に行っている場所である保健所に行き感じることによって、座学では得られない地域に根差した「将来へのモチベーションをもった」学習効果が出現したと考えられる。

## 6. まとめ

公衆衛生学の学習を目的とした保健所見学のよって以下のことがまとめられた。

- ①保健所機能の中での地域性のある項目（人口統計、保健センターと保健所の違い）について学習効果が高く出現した。
- ②保健行政がもたらす地域的保健能力を発揮する将来の職場としての関心が高い。
- ③検診や予防接種等の地域の健康に不可欠な項目、その効果に対する保健所のフィードバック検索の役割についての関心があった。
- ④地域の健康保健に関する核としての保健所を地域連携の場として考えることへの関心があった。

## 謝辞

この保健所見学実習は、山梨県富士・東部保健所のご厚意によって実現させていただきました。所長櫻井先生には講義と講義用に編集してくださいましたプリントを作成していただき、またこの報告書に転載させていただきました。厚く御礼申し上げます。また、主任嶋津先生には種々の手続きや保健所内のご案内をいただきました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

## 地域包括ケア推進を目指し多職種で取り組んだ「健康フェスタ in せんじゅ」

定村美紀子・糸井和佳・佐藤亜月子・野田義和（医療科学部 看護学科） 永田あかね（大内病院）  
吉賀成子（医療科学部 医療福祉学科） 小島尚・小林和生（生命環境学部 生命科学科）  
濱野佐代子（生命環境学部 アニマルサイエンス学科） 上田玲子（教育人間科学部 幼児保育学科）  
浅見恭史・霜越千裕（足立区薬剤師会） 山川百合子（茨城県立医療大学）

キーワード：地域包括ケア、多職種連携、ヘルスプロモーション

### 1. はじめに

少子高齢社会が進む中、千住キャンパスが所在する足立区千住地域においても高齢者の独居世帯が増加する傾向にある。そのような中で平成27年度より毎月一回、本学3号館1階ホールにおいて看護学科教員と足立区地域包括支援センター千住本町の職員がボランティアと共に「せんじゅカフェ」を運営している。カフェは認知症の方やその家族が気軽に参加でき地域の人々が認知症に関する理解を深める場であり、認知症に携わる専門職が参加者を対象に健康教育を実施するなど学生の実践的な学びの場となっている。本事業は、これまでの活動を発展させて大学と地域との連携を深め地域包括ケアを推進するための基盤づくりを行うことを目指して実施した。

### 2. 企画したプロセス

地域包括ケアの推進において重要なことは、住民の主体的な参加とそれを支える多職種の連携である。災害などの社会問題は、当該問題のステークホルダーと科学者が協働して取り組むことが重要で大学が地域に果たす役割が大きい<sup>1)</sup>と言われている。本企画は、足立区薬剤師会と本学との連携<sup>2)</sup>など地域活動で培ったネットワークをもとに住民の健康意識の向上を図ることを目指して保健・医療・福祉・教育の現場で活躍する人々と知恵を出し合いながら動き始めた。楽しみながら健康づくりに取り組める企画というコンセプトをもとに準備を進める中で協力者の輪が広がっていった。学内においても看護学科、生命科学科、アニマルサイエンス学科、幼児保育学科、医療福祉学科など所属を超えて協力を得ることができた。多様な意見を取り入れ話し合う中で実施する内容が具体的になり平成30年3月18日（日）に千住キャンパス7号館で本事業を実施することを決定した。

### 3. 活動内容

#### 1) 広報活動

「住み慣れた地域で安心して健やかに暮らし続けるために保健・医療・福祉の専門職と認知症の予防や健康づくりについて考えてみませんか？入場料無料、予約なしでどなたでもお気軽にお越しください」見守り、助け合い、多職種連携、「健康フェスタ in せんじゅ」というテーマで高齢者以外の方も参加できる内容のチラシ（図1）を作成し千住キャンパスのある地域を担当する足立区地域包括支援センター千住西の協力を得て各世帯に配布した。また、2月のせんじゅカフェの参加者に実施する内容をアナウンスした。大学周辺の薬局や高齢者施設、地域包括支援センター千住本町のスタッフにもチラシの掲示や配布を依頼して広報活動を行った。



図1. 健康フェスタ in せんじゅのチラシ

#### 2) 協力者の背景

足立区薬剤師会、茨城県立医療大学、アロマセラピストなど日ごろ連携をとっている専門家に本企画について相談し専門とするテーマの展示や健康測定の内容や健康相談の担当を依頼するなど学内外の様々な方に協力を求めた。また、事前の準備や当日ボランティアとして参加できる方を紹介してもらうなど運営スタッフの要請を行った。一方、学生にもボランティアを呼び掛け、本学看護学科の学生や近隣の薬局で実習を行っている薬学部学生なども含めて約50名の方から協力が得られた。協力者の背景[職種（人数）]を（表1）に示す。

表1. 健康フェスタ in せんじゅ協力者の背景

|                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 医師 (2)、薬剤師 (9)、看護師 (5)、保健師 (2)、助産師 (1)、理学療法士 (1)、作業療法士 (1)、管理栄養士 (1)、獣医師 (1)、精神保健福祉士 (1)、アロマハンドセラピスト (4)、フลาวースタ일리スト (4)、水引講座講師 (1)、小学校教諭 (2)、薬学部学生 (9)、看護学生 (4)、その他 (2) |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 3) 実施内容及び参加者の状況

プログラム(図2)に示すように、7号館の7204教室で「高齢者とアニマルセラピー(動物介在介入)」「薬物乱用防止(医薬品適正使用を含む)」「臨床工学士」の紹介や「アロマハンドマッサージ」「水引講座」「健康測定」「健康相談」の体験コーナーを設けた。健康測定の内容としては、血管年齢を調べる「脈波」や「骨密度」「筋肉量」「認知機能テスト」を行い、結果をもとに薬剤師、看護師、栄養士が相談に応じた。7205教室では、足立区薬剤師会とのこれまでの連携について「研究発表」<sup>3)</sup>や医師による「健康教育」を行った。7201教室では、認知症予防に効果があると言われている「フラワーアレンジメント」を講師の指導のもとで午前と午後それぞれ20名ずつ体験することができた。学生も、受付の補助や参加者の誘導、スタッフの昼食の準備や会場設営・片付けなど当日の運営がスムーズに運ぶように協力してくれた。当日の参加人数は62名で高齢者がほとんどであった。知り合いどうしで参加する方や単身の方もいた。「お花に癒された」「アロママッサージが気持ちよかった」「楽しかった、またやってほしい」等の感想が聞かれた。栄養相談コーナーに来られた高齢の女性は、最近夫を亡くして食事を作る気持ちにならない、一人で食べる食事はおいしくないと話されるなどひきこもりがちな生活が伺えた。病気や障害があっても高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには、身体面だけでなく他者と交流する場づくりなど心理面や社会的側面への支援が必要である。このような場が身近にあることで日々の生活を振り返るきっかけとなったのではないかと思います。



図2. 健康フェスタ in せんじゅ プログラム

### 4. まとめ

未来を担う人材を育成する場である大学は、地域に開かれ地域の人々と相互に影響し合いながら発展することが重要である。短い準備期間ではあったが、生命科学、アニマルサイエンス、薬学や栄養学、看護、福祉の専門性をもつ教員や多職種とともに地域の住民を巻き込みながら超学際的な組織をつくり本事業に取り組むことができた。このような活動を展開できたのは、「持続可能な社会の発展」という理念のもとで地域貢献に取り組む本学の教育のあり方や教育や研究活動を支える人材など充実した設備や施設を備えた大学という場があったからだと考える。本事業を通して多様な背景や専門性をもつ人々と組織的に協働する意義や大学が地域連携活動を推進する必要性を再認識できた。御協力していただいた方々に心より感謝申し上げます。

本事業は、平成26年～平成29年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)『トランスディシプリナリアプローチによる看護師と薬剤師の在宅医療連携システムの構築』の助成を受けて実施した。

### 参考文献

- 1) 森士一：トランスディシプリナリティに関する調査研究(科学者とステークホルダーの超学際協働について) 科学コミュニティとステークホルダーの関係性を考える第二報告書(DISCUSSION PAPER No. 105-2)：2014
- 1) 小島尚：薬剤師会と連携による薬物乱用防止教室の指導者養成のための情報提供 地域連携研究 帝京科学大学地域連携推進センター年報 第1巻：17-18, 2017
- 2) 定村美紀子, 糸井和佳, 佐藤亜月子：「健康寿命を延伸させるための薬との上手な付き合い方」をテーマに実施したワールドカフェの取り組みについて：帝京科学大学紀要 第13巻：221-226, 2017

# 千住エリアにおける地域連携活動－医療福祉学科の取組み－

浅沼太郎（医療科学部 医療福祉学科）

キーワード：日常生活圏域、地域セーフティネット

## 1. はじめに

本報告は、2017年度に医療福祉学科で実施した「地域連携活動」の実績数をまとめ、若干の考察を行うものである。本学科では2年次の必修科目「健康福祉科学セミナーⅠ」と連続して、地域連携活動の時間を設けている。大学周辺の千住エリアを中心に活動を開始し、学生と教員で試行錯誤を重ねてきた。

地域連携活動の目的は「行政・地域団体組織・住民の協力のもと、学生と教員が足立区、とくに千住地域を中心とした生活の場（日常生活圏域）に継続的にかかわり、地域セーフティネットづくりに参画すること」<sup>1)</sup>である。社会福祉専門職を目指す学生として、地域の実情に触れること、日常的な交流を通して住民の方々の要望や期待に応えることが、貴重な経験になると考えている。

本学科で取得可能な国家試験受験資格（社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士）の実習は、法制度に規定された事業所で行われる。制度化されたサービス内の対応にとどまらず、生活実態に目を向けることは、学生自身の社会をとらえる視点を養い、福祉職以外の進路等においても活かされるだろうと期待している。

## 2. 2017年度の主な活動内容と実績数

2017年4月～2018年3月の延べ活動回数は【112回】であった。

学生の延べ活動人数は【565人】であった。主に授業期間中、数人の小グループに分かれて、週2回活動した。

2017年度の活動拠点と主な活動内容は、次の通りである。

○公営住宅集会所における居住住民との交流、レクリエーションの実施【計24回】

団地集会所をおかりして、住民の方々との交流会を実施し、レクリエーション等を行った。

○地域包括支援センターと連携した近隣住民との交流会「千住カレッジ」等の開催【計7回】

地域包括支援センターが広報と受付窓口を担ってくださり、住民の方々との交流会「千住カレッジ」を月1回実施した。2018年2～3月には、大学本館にある調理実習室において、食事づくりを通じた交流を行った。

○住区センター、民生委員等と連携した学習会等の実施【計7回】

住区センターの夕食会やクリスマス会への参加を通じた交流のほか、民生委員と近隣の商店街への聞き取りを行い、学習成果報告会を実施した。

○高齢者グループホーム入居者との交流、外出等の活動支援【計19回】

学生が定期的に訪問し、入居されている住民と交流する他、映画鑑賞会に同行するなどの活動支援を行った。

○映画鑑賞会の実施、地域住民との交流【計17回】

近隣の住民をはじめ、高齢者グループホーム入居者が参加し、映画鑑賞を通して交流をはかった。

○精神障害者グループホーム入居者との交流、日常生活の支援【計38回】

学生が定期的に訪問し、精神障害のある入居者と交流する他、バーベキューなどイベントへの参加を行った。2018年2月には「（入居者による）大学を見てみたい」という要望に応じて、大学内での交流会を実施した。

○地域団体・機関・住民との交流イベント「カレー甲子園」の実施【2017年7月8日】<sup>2)</sup>

## 3. 今後に向けて

2017年度の地域連携活動は、本学科にとって初めての試みであった。学生が積極的に活動を展開したことによって、想定していなかった活動にもつながった。

「千住カレッジ」は2018年9月から実施しているが、地域ケア会議への参加等をきっかけに始まった。地域包括支援センターの社会福祉士による協力を得て、参加者は増加しており、交流を通して学生は地域の実態に触れた。

住区センターでは定期的な活動に結びつかず、活動内容を摸索し続けた拠点もあった。住区センターを通して、千住エリアの民生委員をご紹介いただき、商店街の聞き取りを含めて身近な地域について学習を深めた。

緒に就いたばかりの地域連携活動であり、今後取り組むべき課題も残されている。たとえば団地集会所では継続的に交流会を実施し、頻繁に参加する住民とは馴染みの関係ができた。一方で、当初考えていた「団地で困っている（公的サービスの利用がない）住民」には、まだ直接働きかけることができていない。

他にもグループホームへの訪問、映画鑑賞会等の実施など、活動の継続によって、千住エリアにおける認知も高まっていくだろう。教員間で課題と方向性を共有し、学生による地域連携活動を進めていきたい。

## 参考文献

- 1) 拙稿「日常生活圏域における生活課題への接近－千住地域における地域連携活動－」『地域連携研究 帝京科学大学地域連携推進センター年報』第1巻。
- 2) 上記1) 拙稿と重複するため、内容については割愛する。



# 教育ボランティア活動参加学生に対する意識調査 ー足立区立東加平小学校「ワクワクウェーブ」参加学生へのアンケートを通じてー

村野芳男（教育人間科学部 学校教育学科）

キーワード：開かれた学校づくり協議会、ワクワクウェーブ、ボランティア活動、授業づくり、教職観

## 1. はじめに

足立区立東加平小学校（以下、東加平小）では、「ワクワクウェーブ」という活動を行っている。この活動は、学校の休業日（土曜日の午前中、年間8回）に、地域ボランティア、PTA ボランティア、学生ボランティアと東加平小教諭が連携・協力して、同校児童を学年別少人数に分けて学習指導を行うものである。

本学教育人間科学部児童教育学科学生は、平成26年度より4年間継続してこの教育ボランティア活動に参加している。本稿は、この間の同事業の概要並びに平成29年度に参加した学生への意識調査を通じて、教育ボランティア活動の有効性について考察することを目的とする。

## 2. ワクワクウェーブの概要

ワクワクウェーブは、「東加平小学校開かれた学校づくり協議会（会長 青木勝江氏）」が運営主体となって行っている事業で、平成14年度から継続している。活動内容は、学生ボランティアが事前に東加平小教員と指導内容や指導方法を相談したうえで、国語と算数の補充授業を行っている。授業中は、地域ボランティア、PTA ボランティアの方も教室で授業を参観し、授業の進行に応じて学習支援に加わる。また、東加平小教員も参観する。休業日の活動なので、希望する児童を学年別少人数にわけて行う。平成29年度の場合、低学年は2クラス、中・高学年は1クラスずつ開講された。人数は各クラス5名～15名程度であった。約150名の参加児童のうち、皆勤賞を得た児童が8割近くおり、充実した活動が展開されていることがわかる。

授業後に行われる反省会では、その日の授業について振り返り、教員からアドバイスを受けて次回の授業づくりに生かすようになっている。

学生ボランティアは近隣の大学（文教大学、東京成徳大学、十文字大学、未来大学、帝京科学大学等）の教員希望者が参加している。本学児童教育学科の学生が参加したのは平成26年度が最初で、以後、年々増えている（表1）

表1. 参加学生人数と学年

|        | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|----|
| 平成26年度 |     |     | 1   | 1  |
| 平成27年度 |     |     | 2   | 2  |
| 平成28年度 | 2   | 1   | 1   | 4  |
| 平成29年度 |     | 9   | 2   | 11 |

## 3. ボランティア学生への意識調査

平成29年度にボランティアに参加した学生11名に対してワク

クウェーブ閉室式（平成30年2月3日）終了後、以下のようなアンケートへの協力を依頼した。回答者は10名であった。

- ワクワクウェーブへの参加動機（複数回答可）
  - ボランティア活動をしたい
  - ワクワクウェーブの趣旨に賛同
  - 小学生の実態を見たい
  - 小学校の様子を知りたい
  - 授業づくりを通して実践的指導力を身に付けたい
  - 教職に対する自分の適性を知りたい
  - その他
- ワクワクウェーブへの参加回数
- ワクワクウェーブへ参加して良かったこと（二つまで選択可）
  - 授業づくりと授業実践をたくさんできた
  - 授業づくり・授業実践に創意工夫ができて充実感を覚えた
  - 児童との触れ合いができて楽しい（充実した）時間となった
  - 授業後に東加平小の先生方からご指導を受けることができ、参考になった
  - ボランティアの保護者や地域の方の助言やご指摘を受け、参考になった
  - 仲間の学生（他大学の学生も含めて）から刺激を受けた
  - 1年間やり遂げた自分に自信が持てた
  - 自らの教職観を深めることができた
  - その他
- ワクワクウェーブへの参加で、残念であったこと、思い通りできなかったこと、期待と違っていたこと（二つまで選択可）
  - 十分な回数の授業実践が出来なかった
  - 配属の学年が自分の希望と違った
  - 授業後の振り返りで、東加平小の先生方からご指導が得られなかった
  - 授業準備が十分でせず、思うような授業ができなかった
  - 児童理解が進まなかった
  - 毎回の授業準備で大変だった
  - その他
- ワクワクウェーブへの参加で、以下の点に影響がありましたか？
  - 教育実習に向かう姿勢
  - 大学での授業を受ける姿勢
  - 自らの児童観（児童理解に関する考え方や児童を観る視点・姿勢）
  - 教職に対する自らの思い
- ワクワクウェーブに参加してみて、大学と地域との連携の在り方についてどのように考えましたか。（複数回答可）

- ア. ワクワクウェーブのような活動（地域からの要請）に学生を多く送り出すべきだ
- イ. 大学はボランティア先を開拓し、学生に紹介・推奨すべきだ
- ウ. 「夢の体験教室」のような催し物をたくさんやった方がよい
- エ. 大学の施設を地域に開放すべきだ
- オ. 大学の人的資源（教員や学生）を地域にアピールし、地域に貢献すべきだ
- カ. 特別なことをする必要は感じない
- キ. わからない

#### 4. 学生意識調査の結果と考察

##### 1) 参加の動機

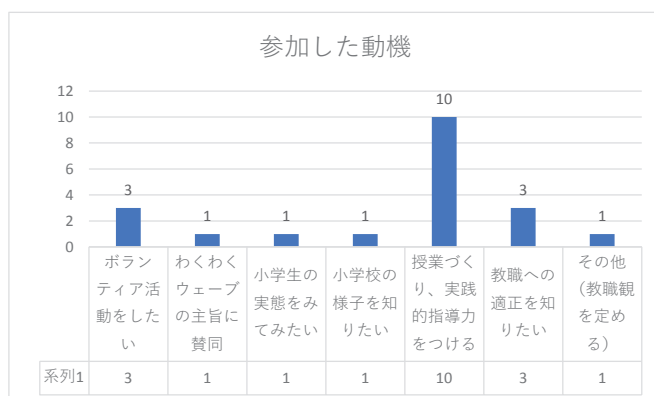


図1. ワクワクウェーブに参加した動機（複数回答可）

##### 2) 参加回数

表2. 参加回数（全8回）

| 学生個人番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 平均  |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|-----|
| 参加回数   | 6 | 6 | 5 | 7 | 7 | 7 | 5 | 7 | 6 | 8  | 6.4 |

##### 3) 参加して良かったこと

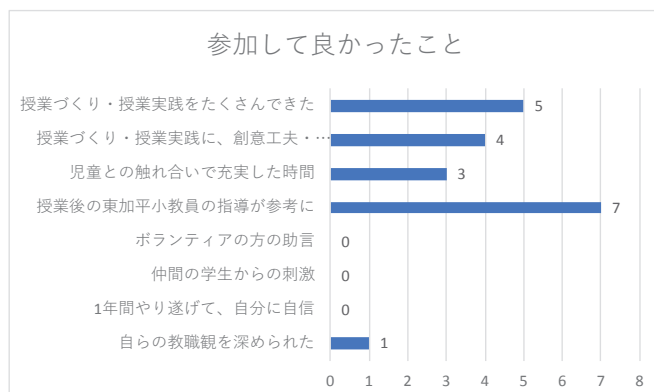


図2. ワクワクウェーブに参加してよかったこと（二つまで選択可）

##### 4) 残念だった、思うようにいかなかった、期待外れなど



図3. 残念だったこと、思い通りできなかったこと、期待外れだったこと（二つまで選択可）

##### 5) 考察1

学生のワクワクウェーブへの参加動機（図1）は、回答を寄せた10名全員が「授業づくりを通して実践的指導力を身に付けたい」を選択している。二つ目の選択は分散しているが、「小学校の様子や児童の実態を知りたい」、「教師への適性を見極めたい」、「教職観を定める」を6名が選択している。このことから教職に就くことを目指す学生と「東加平小開かれた学校づくり協議会」の思惑が一致していることが読み取れる。年間8回のワクワクウェーブへの参加回数は平均6回である（表2）。教育実習中の欠席1を考慮に入れると半数近くの学生はほぼ毎回参加していることが読み取れ、学生の興味・関心の持続、責任感を読み取れることができ、参加学生の教職への思いの強さを感じることができる。実際、参加して良かったことを見ると（図2）、「授業後の振り返りで東加平小の先生方からご指導をいただいた」（7名）、「授業づくり・授業実践をたくさんできた」（5名）、「授業づくり・授業実践に創意工夫ができて充実した」（4名）とあるように、実際に授業ができて良かったと指摘している。一方で、残念だった、思い通りできなかった、期待と違ったなどを聞いてみた結果（図3）は、「準備が大変だった」（5名）が一番多い。また、「準備不足で思うような授業が出来ず」、授業づくりの大変さ、難しさを実感している。「児童理解が進まなかった」（2名）も含めて、大学での学びだけではわからないことの一端を、このボランティア活動で実感したことと思われる。さらに、本学の学生・他大学の学生合わせて20名近くの学生が参加する事業であったため、授業回数が少なくて物足りなさを感じた学生も2名おり、参加学生の期待の大きさの裏返しと読み取れる。

ワクワクウェーブで行われる授業は復習が中心であるとは言え、プリントを配って復習問題を解かせ、「マルつけ」をするだけの授業で終わるのではない。授業後半に練習問題を行う学習過程が含まれているが、東加平小の教員との事前打ち合わせを経て、学生自身が教材研究を行い、教材を作成し、導入を工夫し、学習の目当てを考えるなどの学生自身の創意工夫が求められている。授業後の先生方のご指導や地域ボランティア・PTAボランティアの方々からの感想もうかがえるなど、学生にとっては、貴重な学びの場である。何よりも児童の反応を直接感じることができることは、学生にとっては厳しいけれど「ワクワク」する授業実践の場であると言える。

## 6) ワクワクウェーブへの参加による自分への影響

表3. 教育実習への影響

| 学生番号 |                                                                                      |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 1    | 授業に臨むのに自信が持てた。ワクワクウェーブで活かした指導、よかった指導を実習で活かそうと考えることができた。様々な自分の実践をやってみようと思うことができた。     |
| 2    | 授業づくりに対しての考え方が変わった。それにより、いかに児童の視点から見て考えることが大切なのか、準備が重要なのかを学んだ。                       |
| 3    | 教育実習の時に初めての授業ではなかったので、ワクワクウェーブをしてよかったと思った。                                           |
| 4    | 教育実習前に授業の組み立て方を学ぶことができた。模擬授業では相手が大学生でしたが、ワクワクウェーブは児童相手なので、授業の難しさとやりがいを実感することができた。    |
| 5    | 教育実習前にワクワクウェーブで授業づくりや子供と触れ合うことでよいスタートをきることができ、充実した実習を送ることができた。                       |
| 6    | 指示や指導についてはすべて意図があることを知り、意図を持つようになった。                                                 |
| 7    | 児童への授業への声かけや授業づくりが実習の前に経験できたため、一からではなく経験をもとに、人数が増えたらどのようにすれば良いのかなど様々なことに目を向けることができた。 |
| 8    | 多少の自身にはなった。                                                                          |
| 9    | 4月から教員になるにあたって、今の自分の力量を知り、ボランティアを通して授業の見学に積極的に参加するよう前向きになった。                         |

表4. 大学での授業を受ける姿勢への影響

| 学生番号 |                                                                           |
|------|---------------------------------------------------------------------------|
| 1    | 教科教育法系が楽になった。自信が持てるようになった。                                                |
| 2    | 指導案作りや模擬授業の際に、実際に児童の前で授業したことの内容や様子を思いながら考え、取り組むことができた。                    |
| 3    | 模擬授業の時は参観する視野が広がった。                                                       |
| 4    | 大学の講義で行っている内容を実践することができるので、意欲的に取り組むことができた。                                |
| 7    | 児童のことを思い浮かべながら模擬授業の内容を考えることができ、大学の講義も今まで以上に想像しやすく、頭に入ってきたため、集中し、積極的に参加した。 |
| 8    | 模擬授業に出る意欲が減った。                                                            |
| 9    | 児童を理解するために、発達障害について学ぶようになった。                                              |

表5. 児童観への影響

| 学生番号 |                                                                                                            |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1    | 元々、「児童により授業が作られるべきだ」と考えていたが、その考えが強まった。児童が少ない分、一人が欠けてしまうと空気が違い、「授業は生き物だ」ということを思い知った。                        |
| 2    | 学習における児童理解は、月に一度という頻度で学ぶことができる。どこからがつまづくポイントでみんなが苦手とするとところなのかということ、回数を重ねると自然に授業準備の際に着目し、その部分で工夫して試みようと思える。 |
| 3    | 児童の板書の書くスピードや理解の差を実感した。                                                                                    |
| 4    | 児童一人ひとりの考え方を知るために、授業内で自力解決の時間を作り、机間指導を行い、支援のポイントを見極めるようにしました。                                              |
| 5    | 少人数での授業であるものの、できる子とそうでない子の差を実感するとともに、それぞれの対応の仕方を学ぶことができた。                                                  |
| 6    | 自分が心を開かなければ子どもたちも開いてくれないことを知り、自ら心を開くようになった。                                                                |
| 7    | どのように児童と接することで信頼関係を築くことができるのか、児童との信頼関係を築くために、授業内容を工夫することも必要だと思うようになった。                                     |
| 8    | 一人ひとりの児童によって考え方、感じ方が違う。                                                                                    |
| 9    | 児童は「わかった、できた」と思える時が一番楽しそうに見える。そのために、的確な指示ができるように心がけるようになった。                                                |

## 7) 考察2

ワクワクウェーブに参加したことによる教育実習への影響を尋ねると、ほとんどの学生が肯定的な評価をしている(表3)。とくに、実習での授業づくりに参考になったと多くの学生が指摘している。ワクワクウェーブで得られたことを実習にも取り入れた(学生番号1)、児童の視点から授業づくりをすることが必要であることを学んだ(学生番号2)、大学生を相手にした模擬授業とは異なり、児童相手の授業づくりの難しさとやりがいを実習前に実感できた(学生番号4)など授業づくりの場面における肯定的な影響を述べている。また、(教員の)指示や指導には意図があるということを知り、(実習中に)意図をもつようになった(学生番号6)とあるように、教育活動は意図的、計画的に行うものであることを知識としてだけでなく実感として捉え、教育実習に臨んだことが読み取れる。

教育実習後に学生の大学での学ぶ姿勢が変わるとはよく言われることである。同じことが、ワクワクウェーブへの参加でも見られたことが表4から指摘できる。とりわけ、大学での模擬授業に対する取り組み方に表れている。ワクワクウェーブで児童の前に立てたことを思い出しながらの模擬授業に取り組んだ(学生番号2)、模擬授業参加の視野が広がった(学生番号3)、模擬授業に意欲的に取り組めた(学生番号4・8)。さらに、発達障害について学ぶようになった(学生番号9)とあるように、大学での学びが発展したとの指摘は注目に値する。

学生自身の児童観（児童理解に関する考え方や児童をみる視点や姿勢）については、多様な考えが綴られている（表5）。少人数授業なので一人でも児童が欠席したことで空気が違った（学生番号1）、児童のつまずきや苦手とするところを見届けた授業づくり・授業準備を回を重ねるごとに意識するようになった（学生番号2）。児童は一人ひとりみな違う（板書のスピード、学力差、考え方・感じ方等）ことを実感した（学生番号3・5・8）。児童の心を開くために自らが心を開くようにした（学生番号6）、児童との信頼関係を築くために授業内容を工夫する必要性を悟った（学生番号7）、児童は「わかった、できた」と思えた時が一番楽しそうに見える（学生番号9）など、児童と直接触れ合う体験をしたからこそ得られた児童観だと考える。

表6. 教職への思い

| 学生番号 |                                                                                                         |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1    | 子どもたちと触れ合う中で、「楽しい、やっぱり教員になりたい」と思うことができた。子どもたちとのかけあいこそが授業だと思った。子どもたちに学ぶことが多くあった＝喜びにつながり、教員への思いが高まった。     |
| 2    | 授業を行う難しさを感じるとともに、児童に教える楽しさを知ることができる。どうすればよかったのか、現職の先生にアドバイスを聞き、次はこうしようと意欲が高まる。始める前よりも教師を志す気持ちが固まった気がする。 |
| 3    | 毎回、授業準備が難しく辛いと思った時もあったが、授業をすると楽しく毎回やりがいを感じた。                                                            |
| 4    | 難しいこともあるが、それをどう改善し、乗り越える楽しさや、児童が「わかる」・「できた」ときの喜びの顔が自分も面白く、早く教職に就きたいと思っています。                             |
| 5    | 教職を目指すか迷っていた中、実際の現場に触れることで「なりたい・目指したい」と思えるような達成感があった。                                                   |
| 6    | とても難しい仕事だと思った。でもなりたいと思った。                                                                               |
| 7    | 実際に子どもたちと触れ合ったり、先生方からご指導を頂けたことで、教師になりたいと思う気持ちが強くなるとともに、未来のビジョンを鮮明に思い描くことができるようになった。                     |
| 8    | 現場に実践に立ち教職に就きたい。                                                                                        |
| 9    | 児童の将来を建てる大切な仕事であり、重い責任があることがわかりました。より一層なりたいと思った。                                                        |
| 10   | 自分で授業の準備をして児童が理解してくれた時はすごく嬉しかった。だが、それ以外の児童理解等が出来ておらず、自分は教員に向いていないんだと思った。                                |

ワクワクウェーブに参加したことで教職に対する意識はどのように変化したのだろうか（表6）。もともと、教職に就きたいとの思いがあった学生がボランティアに参加したのであり、その気持ちを強くしたと答えている。子どもたちに学ぶことが多い（学生番号1）、授業を行う事の難しさと楽しさを知ることができた（学生番号2・3・4）、現職の先生のアドバイス・ご指導が次への意欲につながり、教師になりたい気持ちが強くなった（学生番号2・7）、教職を目指すか迷っていたが「なりたい」と思えるような達成感があった（学生番号5）、子どもの将来に関わる仕事・責任あることがわかり、より強くなった（学生番号9）など、教室で体験した様々な事柄が、学生の気持ちを後押ししたことが読み取れる。自分には教職は不向きと思った学生（学生番号10）も、自分の準備した授業で児童が理解してくれた時の喜びを述べており、ワクワクウェーブでの体験は、ボランティア学生一人ひとりに大きな影響を与えていることは間違いない事実である。



図4. 算数の授業（1年生）



図5. 算数の授業（3年生）



図6. 国語の授業（2年生）

## 8) 地域連携の在り方

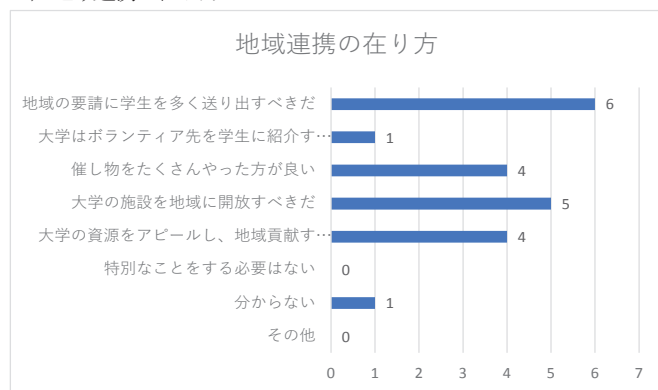


図7. 地域連携の在り方（複数選択可）

図7は、大学と地域との連携の在り方について、学生の考えを調査した結果を示したものである。図7を見ると地域との連携事業に否定的な考えは見られず、大学は地域との連携活動を推し進めるべきだとの意見をほとんどの学生が支持している。

学生のワクワクウェーブ参加の動機は、自らの実践的指導力を身に付けたい、自分の教師としての適性を見極めたいなどであった（図1）。その観点からアンケートを読み取るとそれなりの成果を上げていると学生は捉えている。そして、その成果のよりどころは、授業実践を通じた子どもたちとの触れ合いであったり、東加平小の先生方のご指導であったり、授業準備などにかけた自分自身への評価であったりする。つまりは、ワクワクウェーブでの授業実践活動に参加して良かったという事である。では、そのことと地域連携活動への肯定的な評価とはどう関係するのだろうか。「(大学は) 地域からの要請に学生を多く送り出すべきだ」(6名) は、自身がワクワクウェーブに参加して得られた充実感・達成感を他の多くの学生にも経験させて良いのではないかと考えたと推測される。しかしそれだけであろうか。ワクワクウェーブでは多くの地域ボランティア、PTAボランティアが参加して成り立つ事業である。実際、学生の授業には地域ボランティアの方が参観し、一緒になって児童への支援・指導にあたっていた。このようにして、ワクワクウェーブは成り立っていることを学生自身も十分認識していたものとする。つまりは、地域ボランティア、学生ボランティア、東加平小教員の三者が一つになって、児童のために行う活動の意義を認めた結果とも考えられる。それゆえに、「大学の施設を地域に開放すべきだ」(5名)「大学の人的資源をアピールし、地域に貢献すべきだ」(4名)「(児童教育学科が取り組み、学生自身も関わったことのある「夢の体験教室」のような) 催し物をたくさんやった方がよい」(4名) など大学と地域との連携に肯定的な意見が支持されたと考えられないだろうか。この点、今回のアンケート調査結果では検証されておらず、今後の課題となる。

## 5. 終わりに

本稿は「足立区立東加平小学校開かれた学校づくり協議会」が主催する「ワクワクウェーブ」に学生ボランティアとして参加した学生へのアンケート調査の結果を踏まえて、学生の教職観・授業観・児童観確立への影響等について考察し、学生ボランティアの有効性について

報告することを目的としていた。

その結果、①学生は実践的指導力や児童理解を深める目的で学習ボランティアに参加した、②授業実践や児童との触れ合いの場を得ることができ、さらには現職の先生からのご指導を受けたことで充実した時間となった、③教育実習や大学での学修にも前向きになり、④教職に就きたい気持ちが高まったなどの自己評価が見られた。そうした経験から⑤大学の地域連携活動に対しても肯定的な評価をしていることが分かった。ただ、質問紙によるアンケート調査には、絶えず質問内容の吟味が必要であり、今回の読み取りにも一定の留保が必要であることも認識しておかないといけない。また、東加平小児童や教員、地域ボランティアの方々からもご意見を伺うなどその精度を上げてゆくことも必要であり、今後の課題である。

教員養成系の学部・学科では、実践的指導力の基礎を身につける学びの場として、各教科教育法での模擬授業や教育実習がある。しかしながらこうした大学での学修には限界がある。教育ボランティアや学校インターンシップ等への参加により、実践的指導力を身につけることの必要性が言われているし、学生自身もそうした機会を求めていることが今回の調査からも言える。ただし、ボランティアへ参加しさえすれば良いというわけではない。今回の調査は、大学生の教育ボランティア活動について、多少なりともその有効性が見いだされたと考えている。

## 謝辞

足立区立東加平小学校のワクワクウェーブ事業へ本学学生が参加したことで、学生にとって充実した体験ができたことを感謝します。今後とも大学と「東加平小平開かれた学校づくり協議会」の協力・連携活動が続くことを切望します。また、アンケートに協力してくれた学生に感謝します。



# 足立区立小学校における生活科授業支援実践

二木菜月（生命環境学部 アニマルサイエンス学科）・青木直樹・花園誠（教育人間科学部 こども学科）

キーワード：ふれあい動物教室・生活科・実践記録・学習指導略案

## 1. 2017 年度の「ふれあい動物教室」の改変

2017 年、上野原キャンパスのこども学科に小学校教員養成課程が開設され、幼稚園教諭一種免許と保育士資格が取得できる「幼保コース」と、幼稚園教諭一種と小学校教員免許が取得できる「小幼コース」の

2 コース体制となった。「ふれあい動物教室」にはその実践に参加することで、児童相手のスキルが上達する仕組みがある。そこでこの機に「初等教育実践」と名付けた通年科目を新設、両コースの新入生に履修を勧めた。授業概要は以下の通り。

2006 年に教育基本法が改正され、「一成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする」（第七条）と、大学の使命として社会貢献が明文化された。本学は、2001 年のアニマルサイエンス学科の創設時より地域貢献に取り組み、学士力の涵養に活用してきた。この多岐にわたる社会貢献活動の中で室・実ともに最も充実していると評価できるのが「初等教育支援」であり、今年年間 80 件程度の要請に込んでいる。具体的には、動物園の遠足支援、生活科の授業支援、校外学習支援等である。これらの支援活動に参加することの学修的意義は大きく、学生は「初等教育の実際」を体得的に学ぶことができる。正に「習うより慣れろ」を実践する科目である。本科目は、学年毎に通年設定されている。1 年次の初等教育実践演習Ⅰでは、初等教育の風土に親しみ、児童との一対一のコミュニケーションスキルを体得的に学修することを目的とする。

そして、到達目標は「1. 初等教育の風土、文化を体験し、小学校教諭としての資質を醸成する」ことおよび「2. 組織的に行動し、職務分掌

することの意味を体得的に理解する」こととし、通年 30 回の授業予定のうち、7 回を「ふれあい動物教室」の実践参加に充てた。

## 2. 2017 年度の概要(表 1)

表 1 は 2017 年度の概要である。全 14 回(14 校)の実施であった。

表 1. 2017 年度の概要

| 月  | 日  | 所※1  | 対象者(人)※2            | 運営スタッフ(人)※3              | 動物※4            |
|----|----|------|---------------------|--------------------------|-----------------|
| 4  | 22 | 入谷   | 1 年 26・2 年 19       | 千 4・上 38(こども 1 年 21)     | ハム・モル・蚕・アオ・フト   |
| 5  | 13 | 長門   | 1 年 41 名・2 年 44     | 千 4・上 33(こども 1 年 28)・ア 2 | ハム・モル・蚕・スナ・鶉    |
|    |    | 弘道   | 1 年 55・2 年 49       | 千 5・上 33(こども 1 年 19)     | ハム・ヌード・蚕・スナ     |
| 6  | 10 | 中川   | 2 年 85              | 千 5・上 33(こども 1 年 22)     | ハム・モル・スナ・アオ・フト  |
|    |    | 扇    | 2 年 46              | 千 3・上 35(こども 1 年 20)・ア 2 | ハム・モル・スナ・蚕・犬    |
| 7  | 8  | 亀田   | 2 年 135             | 千 3・上 36(こども 1 年 23)・ア 2 | ハム・モル・スナ・鶉・犬    |
|    |    | 花畑   | 2 年 60・支援 7         | 千 5・上 25(こども 1 年 21)     | ハム・モル・スナ・蚕・鶉    |
| 9  | 9  | 古千谷  | 1 年 89・2 年 102      | 千 9・上 47(こども 1 年 36)・ア 2 | モル・スナ・蚕・アオ・フト   |
| 10 | 14 | 皿沼   | 1 年 39・2 年 54       | 千 4・上 17(こども 1 年 12)・ア 3 | モル・スナ・蚕・鶉・犬     |
|    |    | 辰沼   | 1 年 85・2 年 76       | 千 8・上 27(こども 1 年 21)     | モル・スナ・鶉・犬・アオ・フト |
|    | 21 | 栗原   | 2 年 71              | 千 2・上 27(こども 1 年 24)・ア 3 | モル・スナ・蚕・鶉・犬     |
| 11 | 11 | 関原   | 1 年 64・2 年 59・支援 12 | 千 8・上 34(こども 1 年 26)・ア 1 | ハム・モル・スナ・蚕・鶉    |
|    |    | 宮城   | 2 年 92              | 千 5・上 28(こども 1 年 19)・ア 2 | モル・スナ・蚕・犬       |
| 12 | 9  | 花畑第一 | 1 年 66・2 年 59       | 千 9・上 35(こども 1 年 21)・ア 2 | ハム・モル・スナ・蚕・鶉・犬  |

脚注※1: 全て足立区立の小学校。※2: 「1 年」は 1 年生・「2 年」は 2 年生・「支援」は特別支援学級。略号後の数字は人数。※3: 「千」は千住キャンパス・「上」は上野原キャンパス所属の学生・「ア」はアニマルシップ社員。「数字」は人数。※4: 「ハム」はハムスター・「モル」はモルモット・「ヌード」はヌードモルモット・「アオ」はアオダイショウ・「フト」はフトアゴヒゲトカゲ・「スナ」はスナネズミ。

## 3. 2017 年度の実践内容

2017 年度の実践から、スナネズミ・ハムスター・モルモット(心音)・イヌブースについて、指導略案の書式に合わせ録画画像から書き起こした実施内容の実例を以下に示す。スナネズミ・モルモット(心音)・

犬・蚕は6月10日の扇小学校、ハムスターは11月11日の関原小学校の実践内容である。録画画像より、いずれも時間通り順調にふれあい動物教室が進行と判断した実践の記録である。

## 1) スナネズミブース

| 時間   | 段階 | 活動内容                                | 児童の動き・反応                                                                                                                                                   | 指導者(班付・ハンドラー)の動き                                                                                                                                                                                                                                                                              | 配慮留意点                                                                                               |
|------|----|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10 秒 | 挨拶 | 挨拶をする。                              | ブルーシートの前に一列に並んで立っている。<br>「よろしくお願いします。」礼。<br><br>その場に座る。                                                                                                    | 【班付】児童が一列になるのを確認し、挨拶の号令。「きをつけ、礼、よろしくお願いします。」<br>【ハンドラー】ブルーシートの上に対面して立っている。<br>「よろしくお願いします。」礼 その場に座るように指示。                                                                                                                                                                                     | 児童がきれいに並べるように、班付がサポートをする。                                                                           |
| 1 分  | 導入 | スナネズミに対する興味を引出し、スナネズミブースでのルールを確認する。 | 女の子1「スナネズミ！」<br><br>それぞれ大きさを表す。<br><br>女の子2「ある！」                                                                                                           | 【ハンドラー】「お姉さんの横にあるこれ(スナタワー)になにか入っているんだけど、なにかわかる？」<br><br>【ハンドラー】「正解。じゃあスナネズミはどれくらいの大きさかわかる？」両手で大きさを表すよう促す<br><br>【班付】児童達と一緒に大きさを表す。<br>【ハンドラー】「正解はこちらです(スナタワーにかかっているシートをはずす)。みたことある？」                                                                                                          | 端から端まで、全体に伝わるように伝える。                                                                                |
|      | 約束 | スナネズミブースでの約束を伝える。                   | ハンドラーの話を聞いている。                                                                                                                                             | 【ハンドラー】「今からスナネズミを観察してもらうんだけど、その前に注意事項があります。この中(スナタワー)の中には動物さんが入っているので、たたいたり揺すったり(ジェスチャーで表現)するとびっくりしてしまうのでやらないでください。」<br>【班付】注意がそれてしまう子に、話を聞くように促す。                                                                                                                                            | やってはいけない事をしっかりと、分かりやすいように伝える。                                                                       |
| 3 分  | 観察 | スナタワーの中にいるスナネズミの行動を観察。              | 班付の指示に従い二組にわかれ、スナタワーの周りに近づく。<br>スナタワー囲み中を覗き込む。<br>観察しながら、スナネズミの行動を口々に声に出して言う。<br>「なんか食べてる!」「のぼった!」各々見えやすい所へ移動しながら、観察を続ける。<br><br>元の位置に戻る。<br><br>一斉にその場に座る | 【ハンドラー】「最後にスナネズミのクイズを出すので、よく観察しておいてください。」児童達を二つの組に分けて観察開始。<br>【班付】児童を二つの組に分け、スナタワーに近づくように誘導する。<br><br>【班付】児童と一緒に覗き込みながら、児童に問いかける。<br>「なにしてる?」「尻尾とかはどう?」<br><br>【ハンドラー】3 分後「はいじゃあ観察はここまでです。元の位置に戻ってください。」<br><br>【ハンドラー】児童がきれいに並べたのを確認した後「座っていいよ」<br><br>【班付】児童が元通りに戻れるようにサポートする。児童と一緒にその場に座る。 | 見るだけになってしまわないように、クイズを出すことをあらかじめ伝え、観察意欲を掻きたてる。<br><br>見つけた行動を口に出して言ってもらうことで、周りとも共有でき、全体で観察を行うことができる。 |

足立区立小学校における生活科授業支援実践

|      |    |                                   |                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                               |
|------|----|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 分半 | 学び | クイズ形式で<br>スナネズミに<br>ついての知識<br>を学ぶ | <p>誰も手を挙げない。</p> <p>全員手を挙げる。</p> <p>ハンドラーと一緒に拍手。少し<br/>笑みが見える。</p> <p>誰も手を挙げない。</p> <p>誰も手を挙げない。</p> <p>全員手を挙げる。</p> <p>誰も手を挙げない。</p> <p>一斉に手を挙げる。</p> <p>半分ほどが手を挙げる。</p> <p>残り半分が手を挙げる。</p> <p>ハンドラーの動きをじっと見<br/>ている。</p> <p>口々に「紙コップ！」</p> <p>首をかしげる</p> | <p>【ハンドラー】「スナネズミのことちゃんと観察できたかな？じゃあ<br/>スナネズミに関するクイズを出していきたいと思います。」「スナ<br/>ネズミさんの前足の指の数は何本でしょう。」「まず 1 番、3 本だ<br/>と思う人。」指で 3 を表す。</p> <p>【ハンドラー】「次 2 番、4 本だと思う人。」4 を表す。</p> <p>【ハンドラー】「おお、みんな？じゃあ最後、5 本だと思う人。」5<br/>を表す。</p> <p>【班付】手を挙げる。</p> <p>【ハンドラー】「お兄さんお姉さんだけ？」「正解は、、4 本です！」<br/>児童に向けて拍手。</p> <p>【班付】児童と一緒に拍手。</p> <p>【ハンドラー】「じゃあ次に後ろ足の指の数は何本でしょう」「1 番 3<br/>本だと思う人。」指で 3 を作る。</p> <p>【ハンドラー】「2 番 4 本だと思う人。」4 を作る。</p> <p>【ハンドラー】「3 番 5 本だと思う人。」5 を作る。</p> <p>【ハンドラー】「正解は 5 本です！みんなすごいね！」児童に向けて<br/>拍手。</p> <p>【班付】ハンドラーと一緒に拍手。</p> <p>【ハンドラー】「次にスナネズミさんのしっぽの長さはどれくらいで<br/>しょうか。」「体より短いと思う人。」両手の人差し指で長さを作る。</p> <p>【ハンドラー】「体より長いと思う人。」先ほどより長い幅を作る</p> <p>【ハンドラー】「正解です！」児童に向けて拍手。</p> <p>【班付】ハンドラーと一緒に拍手。</p> <p>【ハンドラー】「じゃあ次に難しい問題を出します。」「スナネズミさ<br/>んはみんなと同じように夜寝て、昼に元気に動いていると思う人」<br/>自身の片手をあげて、わかったら手を挙げるように促す。</p> <p>【班付】児童に問いかける「どうおもう？」</p> <p>【ハンドラー】「じゃあ反対に昼寝て夜動いてるよって人」手を挙げ<br/>るように促す。</p> <p>【ハンドラー】「正解は、みんなと同じ夜に寝て昼に動いています。<br/>だから、いまこうして動き回っています。」</p> <p>【ハンドラー】後ろからスナネズミがかじった紙コップを持ってくる。</p> <p>【ハンドラー】「最後に、これは何だと思いますか？」</p> <p>【ハンドラー】「破れているのはなんでだと思う？食べてるのか<br/>な？」</p> <p>【ハンドラー】「これはスナネズミさんが玩具として、かじっている</p> | <p>集中が切れ始めて<br/>いる子や、クイズに<br/>あまり参加しない<br/>子に対して、班付が<br/>積極的に声をかけ、<br/>クイズに参加する<br/>よう促す。</p> |
|------|----|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|

|      |    |                       |                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                  |
|------|----|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
|      |    |                       |                                                                                 | んです。あとはかじってお家を作ったりしています。」                                                                                                                                                                                                                                                                              |                  |
| 1 分半 | 確認 | クイズで学んだことを、実物を見て確認する。 | <p>一斉に立ち上がり、勢いよくタワーの周りに近づき、覗き込む。</p> <p>一斉に元の位置に戻る。</p> <p>「ありがとうございました。」礼。</p> | <p>【ハンドラー】「最後にまだ時間があるので、もう一度観察しましょう。」前足の数と後ろ足の数とか確認してみてください。」</p> <p>【ハンドラー】時間をみて「ここまでです。元の位置に戻ってください。」スナタワーにシートをかけ、中を隠す。児童と対面して立つ。</p> <p>【班付】児童と一緒に覗き込みながら、さっきクイズで教わったところに注目するように促す。</p> <p>【班付】児童がきれいに並べるようにサポート。児童がきれいに一列に並んだのを確認した後、挨拶の号令。「きをつけ、ありがとうございました。」礼</p> <p>【ハンドラー】「ありがとうございました。」礼。</p> | しっかりと並べ、挨拶させること。 |

## 2) ハムスターブース

| 時間   | 段階    | 活動内容                                   | 児童の動き                                                                                                                               | 指導者(班付・ハンドラー)の動き                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 配慮留意点                           |
|------|-------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 30 秒 | 挨拶    | 児童・ハンドラー間で初めての挨拶を行う。                   | <p>ブルーシートの前に一列に並ぶ。</p> <p>「よろしくお願いします」礼。</p>                                                                                        | <p>【班付】児童を一列に並ばせる。</p> <p>【ハンドラー】児童がブルーシートの前にきれいに並べるようにサポートをする。児童と対面して立つ。</p> <p>【班付】児童がきれいに並んだのを確認し、挨拶の号令。「きをつけ、礼、よろしくお願いします。」</p> <p>【ハンドラー】「よろしくお願いします。」礼。</p> <p>【班付】児童を4班に分ける。</p> <p>【ハンドラー】班付のサポートを行いながら、児童を4班に分ける。</p>                                                                                                                                                                       | 挨拶はしっかりと行う。                     |
| 1 分半 | 導入・約束 | ハムスターへの興味を引き出す。<br>ハムスターブースでのルールを確認する。 | <p>ロープの前に座る</p> <p>小さくうなづく。</p> <p>女の子1が手を挙げる。</p> <p>「優しく触る」</p> <p>女の子2と男の子1が小さく手を挙げる。</p> <p>「大きな声を出さない。」</p> <p>男の子1言葉に詰まる。</p> | <p>【ハンドラー】児童に指示を出す。「ここからここまでの子は、ロープの所まで来て座ってください。」手でロープを示す。</p> <p>【ハンドラー】児童と一緒に、対面する形で座る。児童の顔を見ながら「今からハムスターさんの事について話します。(自身の名札をもって)私の名前はNと言います。よろしくお願いします。」</p> <p>【ハンドラー】「これからみんなにはハムスターに触ってもらうんだけど、その前に1番初めの3つの約束(自身の指で3を作る)覚えてる?」「なんだっけ?」</p> <p>【ハンドラー】「はいどうぞ」</p> <p>【ハンドラー】「そう。一つ目は優しく触るだったよね。」</p> <p>【ハンドラー】「はいどうぞ」女の子2をさす。</p> <p>【ハンドラー】「そう、大きな声を出さない。」</p> <p>「じゃあ、最後いえるかな?」男の子1を指す。</p> | 数字など、ジェスチャーで表すことの出来る表現は、身体でも示す。 |

足立区立小学校における生活科授業支援実践

|    |      |                      |                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                       |
|----|------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
|    |      |                      | <p>女の子1が手を挙げる。</p> <p>男の子1 ゆっくり「お兄さんお姉さんの話を聞く」</p> <p>数名手を挙げる。</p> <p>男の子1「噛んじゃうから」</p> <p>頷く。</p>                                                                                                                                    | <p>【ハンドラー】「誰のいう事を聞くんだっけ？」男の子1に助け舟を出す。</p> <p>【ハンドラー】女の子1は指さず、男の子1が考えているのを待つ。</p> <p>【ハンドラー】「そうそう！お兄さんお姉さんの話を聞く。この3つのお約束してくれたと思うんだけど」全体にむかって「ここでは四つ目の新しいお約束があります。ハムスターさんのお口の前には絶対に指は出さないでください。なんでだと思う？」</p> <p>【ハンドラー】男の子1を指す。</p> <p>【ハンドラー】「そう、ハムスターさんはみんなより目が悪いので、口の前に何かあると餌かな？と思って確認のために噛んでしまうかもしれません。なので、お口の前には手を出さないようにしてください。」</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 理由を伝え、悪い印象を受けないように注意する。               |
| 2分 | ふれあい | ハムスターとふれあいながら、観察を行う。 | <p>話を聞いている。</p> <p>男の子2 そっとハムスターに触れる。</p> <p>男の子2 手を止める。</p> <p>男の子2 頷く。</p> <p>女の子3 もそっとハムスターに触れる。</p> <p>2人ほど手を挙げる。</p> <p>女の子3 手を止める。</p> <p>女の子3 頷く。</p> <p>女の子2は3回ほどハムスターを撫でて手を止める。</p> <p>女の子2 頷く。</p> <p>その後の3人も3回ほど撫でて終了。</p> | <p>【ハンドラー】「ではハムスターを連れてきます。」立って、後ろにハムスターを取りに行く。</p> <p>【班付】待っている児童に話しかける。「楽しみだね」等。</p> <p>【ハンドラー】ハムスターを透明なかごに置いて、児童たちの前に持ってくる。</p> <p>【ハンドラー】「今日は、みんなにハムスターさんに触ってもらうんだけど、あとでクイズもやりたいと思うので、触るだけではなく、よく観察もしてください。身体の向きをかえながら「じゃあこっちのお友達から順番に触ってもらいたいと思うんだけど、触るときは頭からお尻にかけて優しく触ってください（実際に触り方を見せる）」</p> <p>【班付】順番を待っている子に声をかける。「観察してみて」</p> <p>【ハンドラー】「上手！」触り方をほめる。</p> <p>【ハンドラー】「もう大丈夫？」</p> <p>【ハンドラー】次の女の子に体を向ける。</p> <p>【班付】触り終わった子に感想を聞いている。</p> <p>【ハンドラー】女の子3が触っている間に、待っている子に対して質問する。「ハムスターさわったことある？」</p> <p>【ハンドラー】「お。いるね」</p> <p>【ハンドラー】「もういい？」</p> <p>【ハンドラー】次の子に移る。</p> <p>【ハンドラー】「もういいの？」</p> <p>【ハンドラー】次に移る。</p> <p>【ハンドラー】最後の子が終わり、身体を中央に戻す。「みんなどうだった？触ってみて」</p> | クイズをするため、しっかり観察するように伝える。              |
|    |      |                      |                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 班付は待っている子や、触っている子の集中が途切れないう、児童に話題をふる。 |

|        |                        |                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                               |  |
|--------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|        |                        |                                                                                                                                                                                                                                                  | ロ々に「気持ちよかった」「かわいかった」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 【ハンドラー】「じゃあ今からハムスターさんのクイズに移りたいと思うんだけど、最後良く見て、どんなお顔してるかなとか、どんなしっぽかなって。」ハムスターを児童たちの前に持っていく。<br><br>【ハンドラー】「では、ハムスターさんをお家に返します。」ハムスターを後ろのケースに戻す。 |  |
| クイズ・学び | クイズ形式で、ハムスターの知識を身につける。 | それぞれ頷く。<br><br>全員手を挙げる。<br><br>班付の事をみるが、誰も手を挙げない。<br><br>表情を変えず、あまり反応しない。<br><br>ハンドラーの顔をみながら頷く。<br><br>パネルを見る。<br>頷く。<br><br>女の子2「4!」<br>それぞれ頷く。<br><br>誰も手を挙げない。<br><br>班付の事をみるが、誰も手を挙げない。<br>全員手を挙げる。<br><br>全員手を下げる。<br><br>表情を変えず、あまり反応しない。 | 【ハンドラー】パネルを2枚持って自身の後ろに隠す。<br>「みんなハムスターのお尻見た？」<br>「じゃあクイズを出します。」<br><br>【ハンドラー】「ハムスターさんのお尻には尻尾がありましたか、ありませんでしたか。」児童の顔を見ながら。「ある、ないで聞いていくよ。あと思う人！（自身の片手をあげ、児童に手を挙げるよう促す）」<br><br>【ハンドラー】「ほんとに？無いと思う人！」<br>【班付】手を挙げる。<br>【ハンドラー】「お兄さんだけ？」<br><br>【ハンドラー】「じゃあ正解を見ていきます。」後ろからパネルを取り出す。「正解は、ちっちゃな尻尾がありました！みんなよく観察できてたね」児童にむけて軽く拍手。<br><br>【ハンドラー】「実はハムスターはネズミの仲間です。今日ここにモルモットも来てるんだけど、モルモットもネズミの仲間です。でも、モルモットさんのお尻には尻尾があるのかな？無いのかな？ここでは言えないんだけど、ハムスターのお尻には尻尾があったというのは覚えておいてください。」<br><br>【ハンドラー】「では、次の問題に移ります。」パネルを1枚めくる。<br>「実は、ハムの後ろ足の指は5本あります。（子供に見やすいようにパネルをうごかしながら）みんなの足の指も5本だよね？」<br><br>【ハンドラー】「じゃあ前の足の指は何本でしょう。3本でいくよ？1番3本、2番4本、3番5本。かんがえて。」<br><br>【ハンドラー】「じゃあ聞いていくよ。1番の3本だと思う人。」<br><br>【班付】手を挙げる。<br><br>【ハンドラー】「お兄さんは3本だと思う。じゃあ2番の4本だと思う人。」<br><br>【ハンドラー】「みんな4本？3番の5本だと思ひと」<br><br>【ハンドラー】「正解は（パネルを裏返す）みんな大正解、前の足の指は4本です。」 | 選択肢を先に提示し、選んでもらう。                                                                                                                             |  |

足立区立小学校における生活科授業支援実践

|      |    |                      |                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |
|------|----|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
|      |    |                      | <p>い。</p> <p>女の子2、手をあげて喜ぶ。他の子も少し表情がにこやかに変わる。</p> <p>頷く。</p> <p>パネルの写真を見て、少し驚いた表情。</p> <p>頷く。</p> <p>一斉に立つ。</p> <p>各々手をごしごしする。</p> | <p>【ハンドラー】「前の足の指が4本で、後ろの足の指が5本、みんなとはちょっと違うね！よくハムスターの事を観察してたね。」</p> <p>【班付】児童を褒める「良く見てる！」</p> <p>【ハンドラー】「最後、(パネルをめくる)ハムスターのこれ(パネルの写真を指差す)、よく見ると思うんだけど、ほっぺふくふくだよね。」</p> <p>【ハンドラー】「これはほお袋っていっておやつがいっぱい入ります。実はここに映っているおやつが全部入ります。」</p> <p>【ハンドラー】「ハムスターはこんなに小さいのに、ほっぺにはこんなに大きな袋を持っているよってことも覚えて帰ってください。」</p> <p>【ハンドラー】「立って消毒をします。」立って、パネルを後ろに戻す。</p> <p>【班付】立った児童からウェルバスを手に吹き付ける。</p> |                |
| 30 秒 | 挨拶 | 児童、ハンドラー間で終わりの挨拶を行う。 | <p>ブルーシートの前に一列に並ぶ。</p> <p>「ありがとうございました。」礼。</p>                                                                                    | <p>【ハンドラー】「挨拶をするので、最初の位置に戻ってください。」<br/>「児童と対面して立つ。」</p> <p>【班付】児童がきれいに並ぶのを確認、挨拶の号令。「きをつけ、礼ありがとうございました。」</p> <p>【ハンドラー】「ありがとうございました。」礼。</p>                                                                                                                                                                                                                                         | 終わりの挨拶もしっかり行う。 |

3) 心音ブース

| 時間   | 段階 | 活動内容              | 児童の動き                                                            | 指導者(班付・ハンドラー)の動き                                                                                                                                                                                                                                                                | 配慮留意点                              |
|------|----|-------------------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 10 秒 | 挨拶 | 児童・実践者間で初めの挨拶を行う。 | <p>ブルーシートの前に一列に並ぶ。</p> <p>「よろしくお願いします。」礼。</p> <p>ヒモの前まできて座る。</p> | <p>【ハンドラー】児童と対面して立つ</p> <p>【班付】児童がきれいに並んだのを確認、挨拶の号令。<br/>「きをつけ、礼。よろしくお願いします。」</p> <p>【ハンドラー】「よろしくお願いします。」礼。</p> <p>【班付】児童を2つの班に分ける。</p> <p>【ハンドラー】ブルーシートの上のヒモの所まで来るように誘導。</p> <p>【ハンドラー】児童と対面して座る。</p> <p>【班付】児童の端に座る。</p> <p>【ハンドラー】自己紹介をする「(名札を児童に見せながら) Aです。よろしくお願いします。」</p> | 初めの挨拶はしっかりと行う。                     |
| 1 分  | 導入 | 心臓の音に対する興味をひきます。  | <p>「しんぞうのおと？」</p> <p>聴診器を見る。</p>                                 | <p>【ハンドラー】「じゃあ、これからモルモットさんの心臓の音を聞いてもらいたと思います。」</p> <p>【ハンドラー】「そう。自分の心臓の音わかる？」自身の左胸に手を当てる。<br/>「どきどきする音を聞くので、これを使いたと思います。」横から聴診器を出す。</p>                                                                                                                                         | 児童にまず自分の心臓の音を感じてもらうと、心拍について説明しやすい。 |

|    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                           |
|----|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5分 | 体験 | <p>実際に聴診器を使い、モルモットの心臓の音を聞く。</p> <p>モルモットに注目。「ピンク！」<br/>「かわいい」</p> <p>女の子1 聴診器を耳に当てる。</p> <p>女の子1 うなづく。</p> <p>他の子は女の子1の様子をじっと見ている。<br/>女の子1 じっと聞いている。<br/>他の子は口に指をあて、「しー」という動作を見せる。</p> <p>女の子1 笑顔でなづく。ほかの子も笑顔になる。</p> <p>女の子1 モルモットを指して、「こっちのが早かった。頭なんでピンクなの？」</p> <p>男の子受け取ってすぐに聴診器を耳にあてる。<br/>女の子1 が、ハンドラー側の聴診器を手に取り、ハンドラーに渡す。</p> <p>周りの子が男の子の顔を覗き込む。<br/>男の子、一点をみつめ、聞くことに集中している。</p> <p>一斉に驚く「わー——」<br/>ハンドラーの様子を笑いながら見ている。<br/>新しいモルモットを見て「(頭の色を指し) きれい」</p> <p>男の子小さい声で「きこえた」</p> | <p>【ハンドラー】「では、端から順に聞いてもらいたと思います。」後ろからモルモットをかごに入れて持ってくる。</p> <p>【ハンドラー】 端の女の子1に聴診器の片側を渡す。<br/>「では、これを耳にかけてください。」</p> <p>【ハンドラー】 自身ももう片方側を耳に当てる。「行きまーす、小さい音なのでよく聞いてね」</p> <p>【ハンドラー】 モルモットの心臓部分に聴診器をあてる。</p> <p>【ハンドラー】 聴診器を耳からはずし、「どう？聞こえた？」</p> <p>【ハンドラー】 聴診器を女の子1から受け取り、アルコールシートで耳の部分をつく。</p> <p>【ハンドラー】「自分の心臓の音とどっちが早かった？」</p> <p>【ハンドラー】「みんなおなじだから、これで分かるようにしてるの。」<br/>女の子1の目をみながら。<br/>聴診器の片側を次の男の子に渡す。</p> <p>【ハンドラー】 女の子1から聴診器の片側を受け取り、耳にあてる。<br/>【班付】 児童と一緒に覗き込む。</p> <p>【ハンドラー】 (モルモットが「キー」となく。)モルモットを後ろに戻し、別のモルモットをかごに入れる。</p> <p>【ハンドラー】 新しいモルモットの心臓部分に聴診器をあて、男の子の反応を見る。</p> <p>【ハンドラー】 自身と男の子の聴診器をはずし、耳の部分をアルコールシートでふき、女の子2に聴診器を渡す。</p> | <p>聴診器の取り扱いについて、約束をする。</p> <p>班付は、児童が大きな声で話さないよう、注意する。</p> <p>児童の反応を見ながら、聞こえているか確認する。</p> |
|----|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|

足立区立小学校における生活科授業支援実践

|      |    |                               |                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                    |
|------|----|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
|      |    |                               | <p>女の子 2 聴診器を受け取ってすぐに耳に当てる。笑顔。</p> <p>「聞こえた」女の子 2 自ら聴診器を外す。</p> <p>女の子 3、聴診器を受け取り、耳にあて、真剣に聞いている。</p> <p>女の子 3 うなずき聴診器をはずす。</p> <p>女の子たち口々に「聞こえた！」</p> <p>男の子首をかしげる。</p> <p>男の子聴診器を耳にあてる。</p> <p>男の子うなずく。「ドクドクって」</p> <p>聴診器をはずす。</p> | <p>【ハンドラー】自身も聴診器を耳にあて、モルモットの心臓部分に当てる。</p> <p>【ハンドラー】耳の部分アルコールシートで拭き、女の子 3 に聴診器を渡す。</p> <p>【班付】終わった児童と小声で会話をしている。</p> <p>【ハンドラー】女の子 3 の反応をみながら「聞こえた？」</p> <p>【ハンドラー】自身の聴診器をはずし、「みんな聞こえた？大丈夫？」</p> <p>【ハンドラー】もう一度男の子に聴診器を渡す。</p> <p>【ハンドラー】男の子に向かって「聞こえた？」</p> <p>【ハンドラー】聴診器を受け取り、横にしまう。</p> <p>【班付】児童にむかって「どうだった？」</p> |                                    |
| 2 分半 | 学び | <p>パネルを使い、心拍に対する知識を身につける。</p> | <p>身を乗り出して、パネルを見る。</p> <p>パネルを指指しながらハンドラーに質問する。</p> <p>一斉に立ち上がる。</p>                                                                                                                                                                 | <p>【ハンドラー】パネルをとりだし、子供たちに見せる。「今聞いてもらった心臓の音を心拍数っていうんだけど」</p> <p>【班付】児童と一緒にパネルをみる。</p> <p>【ハンドラー】もう一枚パネルを取り出す。「ドクドクする回数が、動物さんによって違います。」</p> <p>【ハンドラー】児童の質問に答える。「心臓のドクドクが早いと、命の時間が短いです。」</p> <p>「じゃあ終わりにします。」いいながら立ち上がる。</p> <p>【班付】児童と一緒に立ち上がる。</p>                                                                     | <p>内容が難しいため、丁寧に、言葉を選びながら説明をする。</p> |
| 10 秒 | 挨拶 | <p>児童、実践者間で終わりの挨拶を行う。</p>     | <p>最初の位置にきれいに並ぶ。</p> <p>「ありがとうございました。」礼。</p>                                                                                                                                                                                         | <p>【班付】児童がきれいに並んだのを確認し、挨拶の号令</p> <p>【ハンドラー】児童と対面してたつ。</p> <p>【班付】「きをつけ、ありがとうございました。」礼。</p> <p>【ハンドラー】「ありがとうございました。」礼。</p>                                                                                                                                                                                             |                                    |

– 104 –

足立区立小学校における生活科授業支援実践

|    |      |                                                                       |                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                   |
|----|------|-----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
|    |      |                                                                       | <p>数名、自分の手をパーにする。</p> <p>一斉に全員手を挙げる。</p> <p>Bと一緒に手をグーにしてパーにする。</p> <p>男の子が1人手を挙げる。</p> <p>犬が前に来ると「ワー」大きなお声をだし、身を縮める。</p> <p>女の子「ちょっと苦手」<br/>女の子と男の子2人が立ち上がりKのいる端に移動する。</p> | <p>【ハンドラー】B 児童に向かって「今のわかった人（自身の片手をあげる）」児童に手を挙げるよう促す。</p> <p>【ハンドラー】B 児童にむかって「手をグーで（自身の手をグーにする）次は、パー（自身の手をパーにする）」</p> <p>【班付】自身の手をパーにして、児童に見せる。</p> <p>【ハンドラー】B 児童に向かって「今のわかった人（自身の片手をあげる）」児童に手を挙げるよう促す。</p> <p>【班付】児童と一緒に手を挙げる。」</p> <p>【ハンドラー】B 児童にむかって「手をグーで（自身の手をグーにする）次は、パー（自身の手をパーにする）」</p> <p>【班付】児童と一緒に手をグーにしてパーにする。</p> <p>【ハンドラー】B 立ち上がる「ワンちゃんにがてなひとー！（自身の手を挙げ、苦手な人がいたら、手を挙げるように促す。）</p> <p>【ハンドラー】B こどもにむかって「ワンちゃんもし苦手だなー来てほしくないなーって思ったら、その場でタマゴになりましょう（その場でうずくまる）。こうしていればワンちゃんがそのまま通りすぎてくれます。」</p> <p>【ハンドラー】A 犬のリードを持ったまま、Bの横を通り過ぎる。犬もBの横を通り過ぎる。</p> <p>A はBの周りを一周する。その際、児童の前も通る。</p> <p>【ハンドラー】B 立ち上がる「なので犬が近づいてきたときは、その場でゆっくりタマゴさんになってください。」</p> <p>【ハンドラー】B「これから3つの班に分かれてもらいたと思います(指で3を作り児童に向ける)」</p> <p>【ハンドラー】B「ワンちゃん苦手だったり、アレルギーあるよってこいる？」児童に問いかける。</p> <p>【ハンドラー】B「ちょっと苦手な子はこっちのKっていうワンちゃん触ってもらおうと思うので、ちょっとこっちに移動します。(手で移動するよう促す。)</p> | <p>犬が苦手な子が、大きな反応をしないように、注意する。</p> |
| 7分 | ふれあい | <p>4人ほどのグループにわかれ、犬との触れ合いを行う。</p> <p>ふれあい中に犬の飼い主が雑談を交えながら犬の知識を伝える。</p> | <p>立ち上がる。</p> <p>3組に分かれ、指示を待つ。</p> <p>立ったまま手をおわん型にしてウェルパスを吹き付けてもらったあと、乾くまでこすり合わせる。</p> <p>その場にすわる。</p>                                                                     | <p>【ハンドラー】B「はいじゃあ3組に分かれてください。」</p> <p>【班付】立ち上がって、児童を3組に分ける。</p> <p>【ハンドラー】ハンドラー達も犬と一緒にスタンバイする。</p> <p>3組に分かれた児童の前に犬を1匹ずつ連れて行く。</p> <p>【ハンドラー】犬を連れていないハンドラーが、児童の手にウェルパスを吹き付ける。</p> <p>【班付】児童と一緒にウェルパスで手指を消毒する。</p> <p>【班付】児童に消毒液が乾いたか確認する。</p> <p>【ハンドラー】A「それじゃあその場に座ってください。」</p> <p>【班付】児童と一緒に座る。</p> <p>【ハンドラー】児童に犬への挨拶の仕方を確認する。「さいしょなんだっけ」</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                   |

|      |    |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                            |
|------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
|      |    |                                                                                                               | <p>自分たちの手をグーにして前に差し出す。</p> <p>手をグーにしたまま待っている。</p> <p>にこにこしながら、犬の事を見ている。</p> <p>笑顔で犬に触れる。</p> <p>犬とハンドラーを見ながらずっとなでている。</p> <p>首をかしげる<br/>女の子「50 歳くらい」</p> <p>「えええええ——」驚き顔を見合わせる。その間も犬に触っている。</p> <p>ハンドラーと話しながらずっと犬に触れている。</p>                 | <p>【班付】児童と一緒に自身の手をグーにする。</p> <p>【ハンドラー】「グー！そうですね！じゃあ挨拶しに行きます。待っててください。」</p> <p>犬を児童の方へ誘導する。</p> <p>犬が児童の手を順番に嗅ぐように誘導する。</p> <p>【ハンドラー】犬が全員の手を嗅いだことを確認して、「はい、挨拶できました！そしたらパーにして優しく触ってあげてください。」</p> <p>【班付】児童と一緒に犬をなでる。</p> <p>【ハンドラー】犬のリードをしっかりともち、児童を見ている。</p> <p>犬の紹介をしていく「この子はゴールデンレトリバーという種類の C 君です。」</p> <p>【ハンドラー】「何歳くらいだと思う？」</p> <p>【ハンドラー】「50 歳くらい！？この子は5 歳です。」</p> <p>【ハンドラー】児童に向けて質問をする「他に犬触ったことある？」等ふれあいをしながらコミュニケーションに努める。</p> | <p>班付も積極的に触りながら、児童に示す。</p> |
| 30 秒 | 挨拶 | <p>児童、実践者間で終わりの挨拶を行う。</p> <p>手を止めて、立ち上がる。</p> <p>各々手をごしごしする。</p> <p>最初の位置にきれいに並ぶ。</p> <p>「ありがとうございました。」礼。</p> | <p>「そろそろ終わりにします。」いっいながら立ち上がる。</p> <p>【班付】児童と一緒に立ち上がる。</p> <p>【ハンドラー】「立って消毒をします。」</p> <p>【班付】立った児童からウェルバスの手にかける。</p> <p>【班付】児童がきれいに並んだのを確認し、挨拶の号令</p> <p>【ハンドラー】児童と対面して待つ。</p> <p>【班付】「きをつけ、ありがとうございました。」礼。</p> <p>【ハンドラー】「ありがとうございました。」礼。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                            |

5) 蚤ブース

| 時間   | 段階 | 活動内容                                            | 児童の動き                                                 | 指導者(班付・ハンドラー)の動き                                                                                                                                            | 配慮留意点                       |
|------|----|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 10 秒 | 挨拶 | <p>児童、実践者間で初めの挨拶を行う。</p> <p>「よろしくお願いします。」礼。</p> | <p>ブルーシートの前に一列に並び、きをつけをする。</p> <p>「よろしくお願いします。」礼。</p> | <p>【班付】児童がきれいに並んだのを確認し、挨拶の号令。</p> <p>【班付】「お兄さんお姉さんによろしくお願ひしますをしましょう。よろしくお願ひします。」礼。</p> <p>【ハンドラー】「よろしくお願ひします」礼。</p> <p>【ハンドラー】児童の方へ近づき、「じゃあここからここのお友達、僕</p> | <p>挨拶中は、しっかり並び、大きな声で行う。</p> |

足立区立小学校における生活科授業支援実践

|     |               |                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                |
|-----|---------------|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
|     |               |                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | のところまで来てください。」2班に分ける。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                |
| 1分半 | 導入<br>・<br>約束 | カイコに対しての興味はじきだし、カイコブースでの約束を確認する。 | <p>ハンドラーの誘導で半分に分かれて、それぞれのハンドラーの前に近づいていく。<br/>一斉にロープの前に座る。</p> <p>ロープのぎりぎりまで近づいていく。</p> <p>ハンドラーの顔を見ている。<br/>「よろしくお願いします」</p> <p>首をかしげる。</p> <p>お互い顔を見合わせながら、考えている様子。「おぼえてない」</p> <p>女の子「かいこ」</p> <p>箱の中を覗き込む。<br/>笑顔。「かわいい」</p> <p>一斉に手をお椀型にして、ハンドラーの方に手を出す。</p> <p>ハンドラーの真似をして、自分たちの手をこすり合わせる。</p> <p>各々手のひらをハンドラーに向ける。</p> | <p>【ハンドラー】座りながら、「それでは、このロープの前に座ってください。」ロープの場所を手で示す。</p> <p>【ハンドラー】「もうちょっと近くにおいで」ロープの近くまで来るように手招きする。</p> <p>【班付】児童の後ろ、あるいは端にすわる。</p> <p>【ハンドラー】自己紹介を行う。「このブースを担当します、Mです（名札を児童に見えやすい高さまでもっていく）。よろしくお願いします。」</p> <p>【ハンドラー】横にある箱を手に取りながら、「今日紹介するのは、この箱の中にはいるものなんですけど、（箱を児童に見せる）なんだと思う？」</p> <p>【班付】児童に問いかける「なんだと思う？」</p> <p>【ハンドラー】「なんでしょうか？」<br/>自身の片手をあげて、分かったら手を挙げるように促す。</p> <p>【班付】「わかる？ さっきお姉さんがいったものだよ。」</p> <p>【班付】笑いながら「おぼえてない？」</p> <p>【ハンドラー】箱を指さしながら「ここにはいるものだよ」</p> <p>【ハンドラー】「おおー」【班付】「おおー」</p> <p>【ハンドラー】箱のふたを開けながら、「蚕さんが中にいます。」箱の中を児童に見せていく。</p> <p>【ハンドラー】「今日はこの蚕さんをみんなに触ってもらおうと思います。」</p> <p>【班付】「触れる？ どう？」</p> <p>【ハンドラー】いったん箱を横におき、ウェルパスを持つ。「みんなに消毒をしてもらいます。」いったんウェルパスを横に置き、自身の手をお椀型にする。「みんな手をお椀型にして」</p> <p>【ハンドラー】端から順に児童の手のウェルパスをかけていく。<br/>「そしてよく乾かして」自身の手をこすり合わせる。<br/>「で、乾いたらみせて」自身の手のひらを児童に向ける。</p> <p>【ハンドラー】「かわいい？」</p> <p>【ハンドラー】蚕のはいった箱を持ちながら「これから、触ってもらうんですけど、その前に最初の3つのお約束覚えてるかな？」</p> | <p>虫が苦手な子も多いため、いきなり見せてびっくりさせないように、あらかじめ、何に触るかを児童に伝える。</p> <p>数字などは、なるべく手やジ</p> |

|    |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                    |                     |
|----|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
|    |         |                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <p>少し笑いながら首を傾げ考えている。</p> <p>女の子「大きな声を出さない」</p> <p>男の子控えめに手を挙げながら「優しく触る」</p> <p>考える</p> <p>興味は箱の中に入っている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>「一つ目は？」</p> <p>【班付】「一つ目は？」児童に問いかける。</p> <p>【ハンドラー】「そう、大きな声をださない。」</p> <p>【ハンドラー】「二つ目は？」</p> <p>【ハンドラー】「そう優しく触る」【班付】「そうそう」</p> <p>「3つ目は？」</p> <p>【ハンドラー】自分をさしながら「お兄さんお姉さんのいうことを聞きます。」【班付】頷く。</p> | <p>エスチャーでも表現する。</p> |
| 2分 | ふれあい・観察 | <p>実際にカイコに触り、どういう生き物かを、体感し観察する。</p> <p>カイコがそばにくると小さく身を引く。</p> <p>恐る恐る指の先で蚕に触れる。</p> <p>触った子は笑顔になる。</p> <p>順番に指先だけで蚕に触れ始める。</p> <p>男の子うなづく</p> <p>順番にカイコの先の方を指でさす。</p> <p>各々うなづく。</p> <p>カイコに顔を近づけ、うなづく。</p> <p>カイコの顔をみる。</p> <p>一斉に身を引いて「えー」「やだー」</p> <p>女の子カイコから逃げないように、体を後ろにずらす。</p> | <p>【ハンドラー】「じゃあみんなに触ってもらいたと思います」カイコを箱から取り出す。「触りたい人！」児童に手をあげるように促す。</p> <p>【ハンドラー】カイコを1匹手のひらに乗せて、端から児童に近づけていく。</p> <p>「触ってごらん」児童に触るよう促す。</p> <p>【ハンドラー】「やわらかいでしょ」</p> <p>【ハンドラー】順に児童に蚕を近づけながら「ふわふわしてるでしょ」</p> <p>【ハンドラー】全体に向かって「かいこさんのお顔ってどこにあると思う？」</p> <p>【ハンドラー】「ここ？この黒いところ？」カイコの先の方を指さしながら児童に確認。</p> <p>【ハンドラー】「実はカイコさんのお顔はこの茶色い小さいところわかる？」もう一度カイコを児童に近づける。</p> <p>カイコの先端をゆびさしながら「ここなんだよ」</p> <p>【ハンドラー】「カイコさん持ってもらおうと思うんだけど。」</p> <p>【ハンドラー】「大丈夫、大丈夫だよ」と言いながら児童にカイコを近づける。</p> <p>【班付】「手の上にのせるのは？」自身の手をお椀型にする。</p> | <p>班付やハンドラーが、積極的にさわり、児童に示すことが重要。</p> <p>肯定的な印象を与える表現に努める。</p> <p>触れない子にカイコを近づける際は、児童を良く観察しながら。</p> <p>カイコの習性</p>                                                                                   |                     |

足立区立小学校における生活科授業支援実践

|     |        |                          |                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                      |
|-----|--------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|     |        |                          | <p>繭を一斉に見る。</p> <p>「もってる」「家にある」</p>                                                                                                                                                                                                                                      | <p>【ハンドラー】横から繭を取り出しながら「カイコさんはね、糸をはくんだけど、この子が作った糸でできた繭です。」繭を児童に見せる。</p> <p>「この中で大きくなって蛾になるんだよ。」</p> <p>「細い糸見える？」カイコの乗った手で繭を持ちながら児童に近づける。</p> <p>【ハンドラー】「この糸はお父さんとかがネクタイに使ってるんです。」</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>や、人との関わりを伝える事により、カイコを身近に感じ、さわれるようになることも多い。</p>                                    |
| 4分  | クイズ・学び | クイズ形式でカイコに対する知識を身に付けていく。 | <p>繭に顔をよせ、細い糸を見る。</p> <p>体を少しずつもどしながら。体を後ろにずらしていた子も完全にもとの位置に戻る。</p> <p>顔を見合わせながら考えている。</p> <p>「100」「50」「70」</p> <p>「20」「10」「5」</p> <p>あまりピンと来ていない表情。</p> <p>カイコを一斉に見る。</p> <p>女の子「12日間？」</p> <p>手をお椀型にする。</p> <p>自分たちの手をごしごしする。</p> <p>ハンドラーに手のひらを向ける。</p> <p>一斉にたつ。</p> | <p>繭をみせながら（カイコはまだ手に乗っている）、「この細い糸を1本に伸ばすとどのくらい長いでしょうか」</p> <p>【ハンドラー】「どのくらいだと思う？東京タワーわかる？東京タワー何個分だと思う？」</p> <p>【班付】「何個分だと思う？わかる？」児童に発言するように促す。</p> <p>【ハンドラー】「もうちょっとすくないな」</p> <p>【班付】「もうちょっとすくないって」</p> <p>【ハンドラー】「5個分くらい、そのくらいの長さになります」</p> <p>【ハンドラー】カイコをみせながら、「この子が東京タワー5個分の糸を出すんだよ。すごくない？」</p> <p>【ハンドラー】「では、もう一つクイズだします。カイコは大人になると蛾になるんだけど、その蛾はいったい何日生きられるでしょう」</p> <p>【ハンドラー】「せいまい！すごいね！」【班付】「すごいね！」</p> <p>【ハンドラー】「ではそろそろじかんなので」カイコを箱に戻す。消毒をします。</p> <p>【ハンドラー】端から順にウェルパスをかけていく。</p> <p>【班付】「ごしごししてね」自身の手をこすりあわせながら。</p> <p>【ハンドラー】「乾いた？みせて」自身の手のひらを児童の方にむけ、児童にも手のひらを見せるよう促す。</p> <p>【ハンドラー】全員の手のひらが乾いたことを確認し、「じゃあたつてください」と立つように促しながら、じぶんも児童と対面して立つ。</p> | <p>クイズ形式にすることで、楽しく知識をつけることができる。</p> <p>班付が積極的にクイズに参加することにより、場が盛り上がり、児童も発言しやすくなる。</p> |
| 10秒 | 挨拶     | 児童、実践者間で終わりの挨拶を行う。       | <p>「ありがとうございました。」礼。</p>                                                                                                                                                                                                                                                  | <p>【班付】「お兄さんの方を向いてください。」</p> <p>こどもがきれいに並んだのを確認し、挨拶の号令。</p> <p>【班付】「教えてくださったお兄さんお姉さんに挨拶をします。きをつけ、ありがとうございました」礼。</p> <p>【ハンドラー】「ありがとうございました。」</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <p>最後の挨拶もしっかりと行い、メリハリをつける。</p>                                                       |



# NHK 環境キャンペーンイベントへの出展を通じた社会貢献活動の報告 2017

榊原健太郎（総合教育センター）・堀米陽太・花園誠（教育人間科学部 こども学科）

藤咲舞（生命環境学部 アニマルサイエンス学科）

動物介在教育研究部・ドッグトレーナー研究部

キーワード：社会貢献活動、いのちと環境、ライフスタイル、多世代交流、継続性のある活動、社会的還元

## 1. はじめに

本学の地域連携推進センターでは、2017 年度の活動の一つとして、NHK 主催イベント「渋谷 DE どーも 2017」への出展を通じた社会貢献活動を実施した。本報告では、本活動の概要や出展内容などについて報告する。

## 2. 活動の概要

### 2-1. 活動の期日

本学の地域連携推進センターの社会貢献プロジェクト（社会貢献関連分野）では、2017 年 5 月 3 日（水・祝）・4 日（木・祝）・5 日（金・祝）に東京・渋谷の NHK 放送センターで開催された NHK 主催イベント「渋谷 DE どーも 2017」における「体験！エコゾーン」と称する出展エリア（正面玄関前広場）にて、「帝京科学大学 動物ふれあい教室」を出展した。本学は、この期間のうち、5 月 3 日及び同 4 日に出展した。出展時間は両日ともに 10:00 開始、17:00 終了であった。

### 2-2. イベントの概要など

「渋谷 DE どーも 2017」は、NHK 主催による一般来場者向けの参加型イベントである。（なお、「渋谷 DE どーも」の初回開催は 2005 年である。）

このイベントは、子どもから大人まで多世代で楽しめる公共放送のテーマパークイベントとして構成されているが、NHK の人気番組等の各種特設ショーをはじめ、環境キャンペーンの一環として環境について学べるワークショップ（「体験！エコゾーン」）の展開などにも特徴がある。例年、イベント開催日には、NHK 総合テレビにて、イベントの様子やコンテンツの魅力などを伝える生中継番組が放映されている。（参考：図 1）

### 2-3. 活動の主体

2017 年度の本活動の主体は千住・上野原両キャンパスの動物介在教育研究部及びドッグトレーナー研究部の部員たちを中心とする学生たち（31 名）であった。なお、出展内容の一部については、関係する卒業生（社会人）（2 名）による協力や助言を得ることができた。

## 3. 活動の経緯

本学の同イベント「体験！エコゾーン」エリアへの出展は、(NHK 環境キャンペーンイベント「ECO パーク」への同趣旨の出展を含め) 今回で 6 回目を数える。前報においても触れた通り、本センターにおける継続性のある活動の一つとなっている。

同エリアの趣旨やその展開は、私たちが広く生活の中での「環境やいのち」との関わりについてのヒントや気づきを得ること、また（特に東日本大震災以降において）「ライフスタイル」を見直すきっかけ

くりなどを大切にするなどであるが、これは本センター並びに参画学生一同にとっても、特に日頃の教育・研究、あるいは学修や地域活動等のあり方やスタイルを見直しつつ、一般来場者へ向けてそうした大学の活動内容や知的資源の一部を社会的に還元する貴重な機会となってきた。



図 1. イベント会場の風景

## 4. 出展内容の概要

### 4-1. 出展コンセプト

本出展では、前年度に引き続き出展コンセプトに「「どうぶつ」のいのちに触れ、いのちやそれを取りまく環境の大切さをたのしみながら学びませんか」を定め、同イベントの公式案内にこれを示した。

あわせて、私たちが身の回りのいのち（生きものたち）とが取り結ぶ関係（環境）や人間のライフスタイルなどを見つめ直すきっかけとなる出会いの場を分かち合ひましょう、とのメッセージをこれに添えた。

### 4-2. 出展プログラム

出展プログラムは、動物たちとのふれあい（モルモット、ハムスター、カイコ、ドッグほか）、ドッグショー（以上、5 月 3 日実施）、クラフト（どうぶつ塗り絵、繭クラフト、どうぶつお面づくりなど）（以上 5 月 4 日実施）、及びいのち・環境・教育といったコンセプトに関わる、帝京科学大学の教育・研究・地域連携活動の一般来場者向けの紹介や活動照会対応（以上、両日実施）などであった。

出展のタイムテーブルについては、10:00 開始、17:00 終了のイベント開催時間において、両日とも、基本的に 30 分ごとに出展内容を展開する形式（ハムスター⇒モルモット⇒大学紹介等⇒カイコ⇒ドッグ（5 月 3 日）、繭クラフト⇒どうぶつ塗り絵⇒大学紹介等⇒どうぶつお面づくり（5 月 4 日））にて実施した。

#### 4-3. 出展の企画・運営

出展に関わる企画・運営・管理などについては、出展各期日のタイムテーブルや学生スタッフの担当シフト等の作成を含めて、参画した本学学生スタッフにおいて全て分担した。特に、現場における時間管理や（主催者サイドとの連絡・報告を含む）状況判断、ミーティングの設定・実施、学生スタッフへの指示出しなど含むマネジメントについては、企画の責任者である学生2名が担当した。なお、教員が従事した役割は、出展全体の責任・監修及び出展現場の安全管理などが主なものであった。

以下の図（図2 - 図7）は本出展の様子的一端を示したものである。また、大学のWebサイトには（過年度の報告と合せて）活動報告や写真が掲載されている。ご参考頂ければ幸いである。



図4. ドッグショーの一コマ



図2. ミーティングの風景



図5. モルモット、カイコ等の動物ふれあいの様子



図3. 一般来場者向けに帝京科学大学を紹介する参画学生



図6. どうぶつクラフトの風景



図 7. 来場した子どもたちへの声かけや交流の様子

## 5. 出展を終えて

### 5-1. イベントの成果等の側面から

主催者発表によると、イベント全体への来場者は3日間で6万9千人超を数え、(本学が出展した)3日・4日の来場者に限っても4万4千人を超えた。このような来場者数については、一般来場者の方々の本イベントへの関心や有効な宣伝による効果はもちろんのこと、主催者の優れた運営力などの条件なくして成立しないものである。来場者の中には、本学のWebサイトでの本出展の告知や過年度の活動記録を閲覧して来場された方々もいた。結果として本学は、一般来場者に対して本学をアピールする貴重な機会を得ていることは確かであろう。(なお、来場者から主催者へ回答されたイベントや個別出展についてのアンケート結果等については、帰属に関する点などを考慮して本報告では直截には取扱わない。)

### 5-2. 参画学生から見た成果と課題の側面から

参画した学生が示した成果と課題について、その概要を以下に示す(括弧内は、学年と所属キャンパス)。

#### 【成果／良かった点】

- (1) 部活動の一つとしてNHKのイベントでの社会貢献活動があることわかり、部活動の多彩な活動を理解することにつながった。(1年・千住)
- (2) 他の出活動にたずさわっているひとたちと、活動を通して互いの活動について情報交換できたり、雑談できたりしたことが、たのしく感じられた。(2年・千住)
- (3) NHK職員の方たちが、きびきびと指示している姿をみて、スタッフの一人として学ぶことがあった。(3年・上野原)
- (4) 千住と上野原のそれぞれのキャンパスの部員が社会貢献という共通のテーマで活動できることに意義があると感じた。(4年・上野原)

#### 【課題／改善する余地がある点】

- (1) 先輩や卒業生の方々に甘えてしまって面があったかもしれない。反省したい。(1年・千住)
- (2) 動物の退避スペース(涼しい場所)を確保したい。(3年・千住)

(3) 大学について質問されたときに、うまく答えられないときがあった。大学の基本情報について、多面的に情報を理解しておかなければならないだろう。(3年・上野原)

(4) この活動には、大学の他の部活などの参加も可能な面があるのではないかと感じた。出展コンテンツを多彩にすることにもつながるとおもう。(4年・上野原)

## 6. 活動の総括

### 6-1. 出展の企画・運営の観点からの評価

「渋谷DE どーも」における「体験！エコゾーン」への出展については、一般来場者向けの出展として、企画・運営面における精度や練度がより高まっていることが窺える。ここには、過去6回(6ヵ年)における同出展の成果と改善点についての継承と発展を見て取ることができる。例えば、主催者のコンセプトと本出展のそれとのあいだにある「環境やいのち」や「ライフスタイル」などを通じた調和や共鳴関係の形成、あるいは、現役の参画学生と本学の卒業生(社会人)とのあいだに生じた世代をこえる協力関係、出展現場での一般来場者の誘導手順の安定化などは、その一展開であるとしてよいだろう。

他方、課題も散見する。一般来場者からの大学についての質問にうまく答えられないときがあったという点である。大学の基本情報を多角的に理解するための、事前レクチャーなどを実施するなどの対策を講じる必要があるだろう。上掲の「【課題／改善する余地がある点】」の「(3)」が、この課題の所在を指摘していたと思う。特に、参加学生のメンバー構成が毎年変化する活動である点から見ても、毎年丁寧に、また確実に実施する必要があるだろう。

### 6-2. 所属キャンパス・学科を超えた学生間交流の観点からの評価

前報においても触れた点であるが、学生間の交流の観点から本活動を評価することができる。例えば、同じく上掲の「【成果／良かった点】」の「(4)」がこの点を指摘している。他方で、更なる改善案として、上掲の「【課題／改善する余地がある点】」の「(4)」も傾聴に値するだろう。部活動同士の交流や所属キャンパス・学科・学年という枠をこえた、学生間の関係づくりに資する活動として本活動をさらに展開させることも可能ではないだろうか。他方、本活動を通じた社会的経験がキャリア形成の資源としてもつ価値についても指摘したい。

いずれにせよ、本活動はこのような総括や報告をふまえ、引き続きより優れた水準の社会貢献プログラムや活動を通して、本学の知的資源を社会的に還元できるよう、また本活動の主体である学生たちにとってより魅力的な社会活動資源となるように努めてゆくことが求められていると考える。

## 謝辞

イベント主催者であるNHKの関係者の皆様、本活動の推進にご協力・ご助言くださった皆様へ、この場をお借りして御礼申し上げます。



# 廃校を活用した環境教育支援実践の2017年度の成果

花園誠・青木直樹（教育人間科学部 こども学科）・榊原健太郎（総合教育センター）

キーワード：環境教育、足立区教育委員会連携事業、廃校

## 1. はじめに

足立区教育委員会と提携して足立区立小学校の4年生を対象とした環境教育支援事業(通称「大学遠足」)が始まったのは2010年(平成22年)からである。2017年度は全5回実施し、5校を受け入れた(表1)。

表1. 2017年度の受け入れ校

| 回 | 月日(曜日)   | 小学校名    | 児童数 |
|---|----------|---------|-----|
| 1 | 9月17日(木) | 平野小学校   | 65名 |
| 2 | 9月18日(金) | 千寿常東小学校 | 87名 |
| 3 | 9月11日(月) | 中島根小学校  | 75名 |
| 4 | 9月14日(木) | 宮城小学校   | 64名 |
| 5 | 11月9日(木) | 千寿小学校   | 86名 |

## 2. ねらい

- 1)秋の里山を散策し、自然と人間との関わりを学ぶ。
- 2)体験活動を通じて大学生や社会人との交流を楽しむ。

## 3. 活動の概要

- 1)往路(現地到着まで):「めざせ上野原。冒険地図」

中央高速に乗り、上野原インターを降りるまでの車窓から見つけられるランドマークを示す地図を各自に配布。そのランドマークから現在位置を知る。ガイドブック裏表紙の地図を活用。

- 2)現地:「指示(ミッション)に従った体験活動」

自然観察(体験)のための散策エリアを限定した『探検!発見!ガイドブック』を使って、大学生と一緒にウォークラリー形式で実施。状況に応じ、以下の3パターンからどれかを実施。

- ①晴天等でコンディションが良く、川に降りられる場合(晴天プラン)
- ②小雨等で川は利用できない場合(小雨プラン)
- ③豪雨等で野外は利用できない場合(豪雨プラン)

## 4. 活動プランの詳細

- 1)活動の基本的な考え

体験活動の場所は、「山」・「川」・「廃校舎」・「体育館」の4カ所。ベストの体験活動になるように、状況に応じて利用する場所を取捨選択する。

- 2)晴天プラン

1～6班「山」(体験学習)→「川」(昼食)→「廃校舎」(体験学習)

7～12班「廃校舎」(体験学習)→「川」(昼食)→「山」(体験学習)

- 3)小雨プラン

1～6班「山」(体験学習)→「体育館」(昼食)→「廃校舎」(体験

学習)

7～12班「廃校舎」(体験学習)→「体育館」(昼食)→「山」(体験学習)

※体育館で昼食の場合、移動に時間がかからないので昼食の時間配分を少なくし、その分「山」・「廃校舎」の体験学習に時間を多く配分する。

- 4)豪雨プラン

1～6班「体育館」(体験学習)→「体育館」(昼食)→「廃校舎」(体験学習)

7～12班「廃校舎」(体験学習)→「体育館」(昼食)→「体育館」(体験学習)

※体育館で昼食の場合、移動に時間がかからないので昼食の時間配分を少なくし、その分「山」・「廃校舎」の体験学習に時間を多く配分する。

## 5. 活動内容の記録について

班付きの学生はデジタルカメラを携行、生徒の求めに応じて、「人物・風景・動植物」等を撮影する。データ(SDカード)は、帰路につく直前にお渡しします。まとめ学習等にご活用して下さい。

## 6. タイムスケジュール

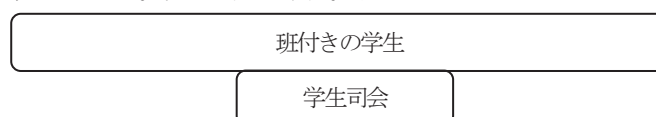
- (1)遠足当日

- ①到着から始めの会

9:40 バス到着

10:00 はじめの会(体育館で実施。)

班ごとに整列。引率の学生を紹介。(以下の図を参照)



1・2・3・4・5・6班・・・7・8・9・10・11・12班

※5.班ごとに生徒の名簿を事前にください。

※6.以下のどれかにあてはまる生徒がいる時は、名簿にその旨を記載してください。

- 1)動物や植物に対するアレルギーのある生徒。
- 2)けがなどで足が悪い生徒。
- 3)その他、特別な支援が必要な生徒。
- 4)写真撮影不可の生徒。(活動記録・報告用に活動中の写真を撮る。)

## ②「晴天プラン」の体験学習

### 1・2・3・4・5・6班のタイムテーブル

| 時間          | 内容                                                                                           |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:10～11:00 | 活動1「山」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班がミッションに従って体験活動を開始。学生の案内に従う。 |
| 11:15～12:15 | 昼食「川」班ごとにまとまって昼食。                                                                            |
| 12:30～13:20 | 活動2「廃校舎」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班が学生の引率に従い校舎内で体験学習。        |
| 13:30～13:40 | 帰り支度・トイレ                                                                                     |
| 13:40～13:45 | 終わりの会(体育館で実施)                                                                                |
| 13:45～13:50 | 写真撮影                                                                                         |
| 13:50～      | バスに乗車                                                                                        |
| 14:00       | 出発                                                                                           |

### 7・8・9・10・11・12班のタイムテーブル

| 時間          | 内容                                                                                           |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:10～11:15 | 活動1「廃校舎」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班が学生の引率に従い校舎内で体験学習。        |
| 11:25～12:05 | 昼食「体育館」班ごとにまとまって昼食。                                                                          |
| 12:15～13:20 | 活動2「山」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班がミッションに従って体験活動を開始。学生の案内に従う。 |
| 13:30～13:40 | 帰り支度・トイレ                                                                                     |
| 13:40～13:45 | 終わりの会(体育館で実施)                                                                                |
| 13:45～13:50 | 写真撮影                                                                                         |
| 13:50～      | バスに乗車                                                                                        |
| 14:00       | 出発                                                                                           |

### 7・8・9・10・11・12班のタイムテーブル

| 時間          | 内容                                                                                           |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:10～11:00 | 活動1「廃校舎」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班が学生の引率に従い校舎内で体験学習。        |
| 11:15～12:15 | 昼食「川」班ごとにまとまって昼食。                                                                            |
| 12:30～13:20 | 活動2「山」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班がミッションに従って体験活動を開始。学生の案内に従う。 |
| 13:30～13:40 | 帰り支度・トイレ                                                                                     |
| 13:40～13:45 | 終わりの会(体育館で実施)                                                                                |
| 13:45～13:50 | 写真撮影                                                                                         |
| 13:50～      | バスに乗車                                                                                        |
| 14:00       | 出発                                                                                           |

## ④「豪雨プラン」の体験学習

### 1・2・3・4・5・6班のタイムテーブル

| 時間          | 内容                                                                                     |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:10～11:15 | 活動1「体育館」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班が学生の案内に従い体育館内で体験学習。 |
| 11:25～12:05 | 昼食「体育館」班ごとにまとまって昼食。                                                                    |
| 12:15～13:20 | 活動2「廃校舎」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班が学生の引率に従い校舎内で体験学習。  |
| 13:30～13:40 | 帰り支度・トイレ                                                                               |
| 13:40～13:45 | 終わりの会(体育館で実施)                                                                          |
| 13:45～13:50 | 写真撮影                                                                                   |
| 13:50～      | バスに乗車                                                                                  |
| 14:00       | 出発                                                                                     |

## ③「小雨プラン」の体験学習

### 1・2・3・4・5・6班のタイムテーブル

| 時間          | 内容                                                                                           |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:10～11:15 | 活動1「山」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班がミッションに従って体験活動を開始。学生の案内に従う。 |
| 11:25～12:05 | 昼食「体育館」班ごとにまとまって昼食。                                                                          |
| 12:15～13:20 | 活動2「廃校舎」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班が学生の引率に従い校舎内で体験学習。        |
| 13:30～13:40 | 帰り支度・トイレ                                                                                     |
| 13:40～13:45 | 終わりの会(体育館で実施)                                                                                |
| 13:45～13:50 | 写真撮影                                                                                         |
| 13:50～      | バスに乗車                                                                                        |
| 14:00       | 出発                                                                                           |

### 7・8・9・10・11・12班のタイムテーブル

| 時間          | 内容                                                                                     |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 10:10～11:15 | 活動1「廃校舎」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班が学生の引率に従い校舎内で体験学習。  |
| 11:25～12:05 | 昼食「体育館」班ごとにまとまって昼食。                                                                    |
| 12:15～13:20 | 活動2「体育館」(体験学習)。各班に分かれて行動。<br>6班(小学生は7or8人)に分かれる。各班につき学生3名が引率。<br>各班が学生の案内に従い体育館内で体験学習。 |
| 13:30～13:40 | 帰り支度・トイレ                                                                               |
| 13:40～13:45 | 終わりの会(体育館で実施)                                                                          |
| 13:45～13:50 | 写真撮影                                                                                   |
| 13:50～      | バスに乗車                                                                                  |
| 14:00       | 出発                                                                                     |

※7.遠足の標準装備をご指導ください。

1)各自の持ち物

①すいとう

②体験バック

③リュックサック

中身は、おべんとう・タオル・ティッシュ・雨合羽(集団の自然散策で傘は危険。)レジャーシート(ビニールシート。広げた上でお弁当をいただく)など。

リュックサックは、はじめの会終了後、班ごとにひとまとめにして、一時預かり。昼食前後の活動時は、「すいとう・体験バック」をもって行動。

自然を楽しむ心

※8.活動時の服装：野外体験活動は「肌の露出を避ける」が基本。

①ズボン・長そでの上着・ジャンパー等(けっこう寒いです)

肌の露出は避けてください。野外体験活動では必須です。虫除け、そして、雑草により肌に傷がつくのふせぐため。

②日よけの帽子。

③運動靴 履きなれた、汚れてもよいもの。

こちらに来る時は、全員、「そのまま野外体験できる服装」でくること。着替え時間の節約のため。

※9.子どもたちに以下の事を念押しする。

「長そで・長ズボン・運動靴・ぼうし。すいとう・体験バックは肩にかけ、両手は必ず空けること。」

※10.「探検!発見!ガイドブック」

大学で用意し、郵送。子どもたちに事前配布。

※11.往路では以下のタイミングで連絡をもらう。

1)花園携帯は 080-7798-5553。

2)おそらく石川パーキングエリアでトイレ休憩をすることになる。石川パーキングエリアを出るタイミングで一度連絡。

3)最後にもう一度、上野原インターチェンジを出るタイミングで連絡。

※12.バスの運転手に以下を伝達。

グラウンドに入るスロープは傾斜が急で、大型バスの乗り入れは難しいとのことなので、バスは旧桜井小学校前の県道 35 号線に一時停車していただきます。

※13.降車時の注意

一時停車時に降車するので、到着次第、速やかに降車できるよう、身支度してください。降車後は学生の誘導に従ってください。「始めの会」会場に案内いたします。

※14.バスの運転手に伝達。

旧桜井小学校前の公道(35 号線)をそのまま西進したところにある「YLO 会館」の駐車場を利用していただきます。現地までは学生が先導いたします。上野原市から駐車許可をいただいているので、無料でご利用いただけます。ただ、会館周辺はコンビニ等のお店は一軒もありません。飲食物はご用意ください。

トイレ:女子は廃校舎一階、体育館のトイレを使用。

男子は体育館のトイレを使用。

※15.アンケートにご協力ください。

体験活動をより実りあるものにするために、体験活動前と後に参加児童を対象としたアンケートにご協力をお願いいたします。回答内容の

前後比較から体験活動の効果を判定、今後の参考にさせていただきたいと考えております。

## 7. 実施内容

### 1)「山」体験学習

以下(1)・(2)・(3)の各ブースの滞在時間は 晴天プラン 10 分、小雨・豪雨プラン 15 分 とする。

#### (1)グラウンドブース

①フィールドサイン 散策するフィールドにはシカ・イノシシ等が出没する。それらが残したサインを提示し、自然の豊かさについて解説。

②森林の水源涵養 散策するフィールドにはいくつか湧水がある。それを教材にして、森林の水源涵養について解説。

#### (2)お墓ブース

①里山の杉・檜 里山の景観と植林事業について説明。杉と檜の有用性を解説。

#### (3)桜井山ブース

①里山の自然 旧桜井小学校裏の山から見える特異な地形と、町並みが教材。自然と共生する人間の暮らし(里山の暮らし)を提示、人と自然環境の結びつきに気づかせる。

### 2)昼食「川」(含む観察学習)

#### (1)昼食

秋山川水面より 2m 程度上にある林間で班ごとに昼食。

#### (2)秋山川の景観

昼食後、上流域の川の景観と流水の働きについて移動しながら解説を聴く。

### 3)「廃校舎」体験学習

旧桜井小学校の校舎内を使用する(図 1 を参照)。

以下(1)～(6)の滞在時間は

晴天プラン 50 分、小雨・豪雨プラン 65 分 とする。

開始は 1・7 班が(1)、2・8 班が(2)、3・9 班が(3)、4・10 班が(4)、5・11 班が(5)、6・12 班が(6)よりとし、時計回りでローテーション。

#### (1)音楽室「富岡の棚田」

秋山川を挟み対岸の山の斜面には、棚田が広がる。景観が美しい。秋山一の米どころである。先人の苦労と、棚田に灌漑するしくみについて解説。

#### (2)4 年生教室「秋山の野生動物」風の子フ〜スケ担当

模型を使いながら野外における生物の観察法について体験的に学ぶ。

#### (3)理科室「淡水のプランクトン」

フィールドには、いたるところに池、たまり水が点在。そこにいる多種多様な水生プランクトンが教材。ミジンコ等の、かろうじて肉眼で確認できるものを実体顕微鏡で観察。目に見えない世界を提示することで、目に見えることだけが真実ではないことを気づかせる。

#### (4)2 年生教室「里山と農業」

秋山の農業は、里山の恵みにより支えられている。生態系と人の生

活のつながりを解説、自然環境の恩恵に気づかせる。

(5)3年生教室「森林と酸素循環」

液体窒素を用い、酸素を視覚化する。そして、酸素供給における森林の重要性を解説、自然環境保全の重要性に気づかせる。

(6)図工室「上野原の養蚕文化」

養蚕に使用した古民具を提示しながら、かつて養蚕で栄えた上野原の歴史について解説。

4)屋内ブース 配置図(旧桜井小学校校舎内)

校舎内の「屋内ブース」配置予定は以下の通り。

廊下、階段等には校舎内に保管してある「昔の教材」を展示している。それらについても解説パネルを設置。

| 旧桜井小学校 |            |             |                    |                   |                   |
|--------|------------|-------------|--------------------|-------------------|-------------------|
| 3階     | 音楽室        | 6年生         | 5年生                | 4年生               | 理科室               |
|        | 富岡の棚田      | 馬がいた<br>暮らし | 上野原の<br>水棲動物       | 上野原の<br>陸棲動物      | 淡水の<br>プランクトン     |
|        | 常設展示       | 常設展示        | 常設展示               | 常設展示              | 常設展示              |
|        | (単眼鏡使用)    |             |                    |                   |                   |
|        |            |             | AQUA<br>SHIP<br>担当 | 風の子<br>フヘスケ<br>担当 |                   |
| 2階     | 図工室        | 図書室         | 3年生                | 2年生               | 家庭科室              |
|        | 上野原と<br>養蚕 | カイコ<br>ふれあい | 秋山の<br>民話          | 森林と<br>酸素循環       | 里山と<br>農業         |
|        | 常設展示       |             | 常設展示               | 常設展示              | 常設展示              |
|        |            |             | (実体<br>顕微鏡<br>使用)  | (液体<br>窒素<br>使用)  |                   |
| 1階     |            | 1年生         | 校長室                | 職員室               | 多目的室              |
|        |            |             |                    | 本部                | スタッフ<br>控室<br>実習室 |

図1. 屋内体験ブースの配置図

5)体育館の「動物ふれあい教室」

豪雨等の悪天候により1)「山」体験学習が実施できない場合の代替体験プログラム。

(1)ブースレイアウト例

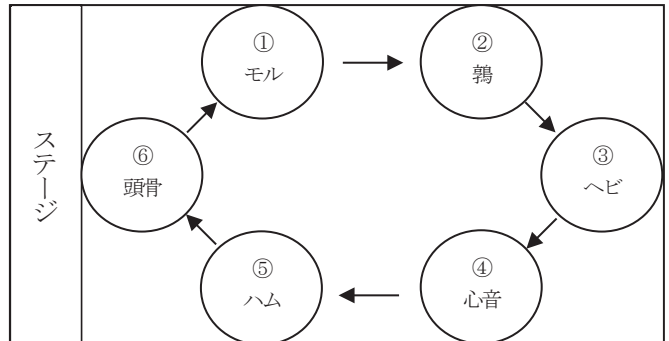


図2. 体育館内のブース配置例

①モル：モルモットのふれあい

②鶉：卵の実験

③ヘビ：ヘビのふれあい

④心音：モルモットの聴診

⑤ハム：ハムスターのふれあい

⑥頭骨：動物の頭骨と食性について解説

(2)タイムテーブル

表2は、体育館で実施する「動物ふれあい教室」の標準的なタイムテーブルである。

表2. 活動のタイムテーブル

| 時間          | 内容       | 備考                 |
|-------------|----------|--------------------|
| 10:10~10:15 | 始めの会(前半) | 企画担当学生が実施          |
| 10:15~11:15 | 前半       | 1ブース9分×6回<br>(移動込) |
| 11:25~12:05 | 休憩       | 昼食                 |
| 12:15~12:20 | 始めの会(後半) | 企画担当学生が実施          |
| 12:20~13:20 | 後半       | 1ブース9分×6回<br>(移動込) |

(3)動物ふれあい教室の進行

児童は全体を6班に分け、6ブースに散り、一斉にローテーションする。

(4)ブースローテーション

開始は1・7班が①、2・8班が②、3・9班が③、4・10班が④、5・11班が⑤、6・12班が⑥よりとし、時計回りでローテーション(図2を参照)。

各班には「班付き」役割の学生が配置され、ローテーションを促すとともに、適宜、ふれあいの介助に立ち回る。

(5)各ブースの運営

動物のハンドラーは動物の取り扱いに熟達した学生が勤める。各動物のふれあいの実施前には、それぞれの動物の特性に応じたふれあい

の方法、そして注意しなければならないことを伝える。

#### 6)秋山を楽しむための約束

以下の約束についてはガイドブックに掲載するほか、始めの会でも確認する。

#### 秋山を楽しむための七カ条

- その一 あいさつは、しっかりあかるく元気よく
- その二 先生の話しをよくききしっかり守る
- その三 みんなでなかよく班行動
- その四 自然をそのまま大切に
- その五 観察は、ことば静かに落ち着いて
- その六 自然を感じる・見る・聞く・触れるそして嗅ぐ
- その七 自然を楽しむ心をわすれずに、楽しい思い出持ち帰る

### 8. 実施の成果

#### (1)平野小学校

初めの会は体育館で実施した。そのほうが天候を気にせずともよいので、精神的に余裕がもてる。受け入れ側としては、気持ちの余裕をもつことが「リスクマネジメント」に直結するので、今後もこの方針を踏襲する予定である。

野外体験コースは、海拔 300m から 330m ほどの高低差を上り下りする。今年度も真福寺の境内が散策路である。住職のご厚意により、自由に使用させていただいている。お寺の境内とはいえ、起伏に富む山間の地形は都会の、特に平坦な地形である足立区の子どもたちにとって新鮮な驚きとして受け止められる。それ故に散策それ自体が刺激的な体験となっていた。

コースの各所に設ける体験ブースは、毎年、季節性(初秋であること)に配慮したブース展開とするが、今年度は春先より天候が不順で、季節の歩みが遅く、例年ならばとくにピークを過ぎている山百合の花がまだ咲いていた。そこで、今年度は通底するコンセプトを「自然の豊かさ」とし、実体験できることに留意した。各所で実物を手に取りながら説明を聴かされることが、児童にはとても印象深く、また新鮮な驚きをもって受け取られた様子であった。

川観察コースは、小班ごとに学生の引率に従って、校舎前の県道を横断し、約 50m ほど九十九折の小道を降りていく。かつては対岸にわたる唯一の道であった。当時はウマを使用して物資の運搬をしていたそうである。道端には馬頭土がある。そこで行き倒れた馬を慰霊するために設置したそうである。そのことをこども達に聴かせるよう指導した。そのことを聴き、中には手を合わせてなにやらブツブツと吊いの言葉をとなえる児童もいた。

川では、事前に配布した冊子にあるとおりの「生き物探しでビンゴゲーム」を実施。同伴した教諭も実にはたのしそうに生き物探しに没頭していた。このところ、「川に入れない」川体験活動を実施しているが、児童の反応を見ると、石をひっくり返して生き物を探すことが、それこそ当たりはずれのあるゲームのようで、十分に楽しそうである。終わりの会は体育館で実施。全く遅滞することなく、予定通りに終了した。

予定よりやや早めのバス到着。時間に余裕をもてたので、始めの会の開始前に「念のため」トイレに行く時間を設けた。到着前に石川サービスエリアでトイレ休憩の時間をとっているの、トイレに立つ児

童はそんなにいないだろうと思っていたが、一人立つとつられるのか、次々にトイレに立ち始め、予想より時間がかかった。次回より、時間的な余裕があったとしてもトイレ休憩は始めの会が終了して、班行動に移ってからにしたほうがよいと反省した。その他事前の打ち合わせ内容は以下のとおり。平野小学校 4 年主任の渡辺先生(女性)は、環境教育にかなり詳しく非常に稀有な存在。聴くと東京農業大学を経て、通信で小学校の教員免許を取得し、今日に至るとのこと。東京農業大学では林学を学び、野生動物にも詳しい。小菅の多摩源流大学の立ち上げにかかわり、ネイチャーゲーム等の知識・経験もある。

- 1.こどもたちの呼び方:男女ともに「名字さん」/学生の呼び方「名字先生」
- 2.名札:ラベルシールに当方で印字。当日にこどもに配布。
- 3.気になるこども:足の悪い子が一名。介護の北野先生が付きそう。
- 4.外部公開用の写真撮影の可否:不可のこどもはそれと分かるように帽子にリボン等の目印をつける。
- 5.水筒:肩掛けの水筒を持ってない子もいる。その無場合は、こどもの手をあげるため、学生があずかる。
- 6.バスの分乗:先頭 1 号車 1 班から 6 班、2 号車 7 班から 12 班
- 7.持ち物:軍手は学生が班の人数分を携行する。防虫スプレーは子どもに持参させるが、学生も携行する。
- 8.体験学習に関すること(以下全て渡辺先生からです)
  - ①学年の目標は自主性を育むこと。
  - ②これから社会科で地形の勉強をする。地図記号は 3 年で学習。
  - ③足立区の小学生は大抵の場合、4 年の 1 学期に東京都水道局の「水道キャラバン」の出前授業を受けた。内容は「水のろ過実験(上水道の水ができる仕組み。水道局の HP で閲覧可。)水源テーマの学習はタイムリー。蛇口をひねればいくらでも水が出てくると思っているので、水のでき方・湧き出し方のテーマは至極適当。今年は洪水で沢の水が少ないということもよい勉強になる。
  - ④足立区の小学生は大抵の場合、3 年の理科でカイコの飼育体験をしている。
  - ⑤足立区の小学校でフールがあるところは、プール清掃をするときに、自然発生した水生昆虫を集めて競うコンテストをしている。ただし、平野小学校はプールが屋上にあるため、水生昆虫の発生が思わしくなく、ヤゴをみたことがない。
  - ⑥フィールドサインを見つけたときは、その周囲に目を配れるようになってほしい。
  - ⑦都会にも身近な自然があることを、この体験をきっかけに気付いてほしい。
  - ⑧自然の中には人の生活に役立つものがあることを知ってほしい。
  - ⑨杉・ヒノキのブースには大変期待している。
  - ⑩地図の読み方の授業にも期待している。
  - ⑪ベイトトラップで虫を集めていただけるのはありがたい。
- (2)千寿常東小学校

朝から小雨模様。小雨プログラムとするか、それとも天候の回復を見込んで晴天プログラムとするか、しばし考えた。準備に影響するし、体験活動の満足度にも関わる。インターネットでの雨雲の動きでは、「必ず晴れる」とは言い切れなかったが、雲の動き・風の強さなどを観て、小雨が降りやまぬ中であつたが、晴天プログラムを決行するこ

とした。到着時は、まだ小雨がぱらついていて、校長先生に「晴天プログラムで行けると思うので、決行します。」と了解を求めた。校長先生からは一言「お任せします。」とお応え。体育館で始めの会を実施。そのうちに雨は上がり、曇り空に。その後、だんだんと薄日が見えようになり、お昼ごろには雲間から青空と太陽が見えるようになり、気温も上昇した。しかし13時を過ぎたあたりから、再び空模様が怪しくなり始め、全員を体育館に引き上げ、早めに終わりの会を始めることとした。そして終わりの会の最中に体育館にあたる雨音で声がかき消されるほどのゲリラ的な豪雨となった。小雨→曇り空→晴れ→豪雨と目まぐるしく天候が移り変わる体験活動であったが、野外活動と川観察の全てを予定通り実施することができた。

後日、千寿小の先生より以下のお手紙をいただく。

「8日の大学遠足では大変お世話になりました。最後の大雨も含めて子供たちには大変印象深い体験になったようです。私も縁あって大学遠足に3回参加することができましたが、北千住の子供と同じく、あまり自然に親しんだことがなく育ったこともあり、最初に秋山で体験させていただいた時は驚くことばかりでした。その後も3回とも新しい発見があり、個人としても楽しみな行事の一つでした。観光とは違い、日常で触れることのできる自然について、学生の方のいろいろと教えてもらえるのが子供たちにとって良かったのではと思っています。本当にありがとうございました。」

以下、児童からの感想である。

「大学遠足では、山に行って川に行きました。山ではイノシシの食べのこがありました。あ鹿の足あとや水のこをせつ明してくれました。巨大なハチの巣を望遠きょうでみました。トンボもいっぱいいました。川ではカゲロウやサワガニもいました。川に行く前にくま注意というかん板がありました。そしてこわくなりました。でも熊も出ずに川で楽しくできました。あと学校のある所ではたぬきのふんがありました。山もすごくきれい見えました。はちの巣はかんのん様の手にさげているかばんかと思うくらいでかくて中には、黄色いスズメバチがいました。秋山は自然がいっぱいでした。」

見せて聞かせたことの一つ一つがとても印象的であったことが読み取れる感想である。

終わりの会は体育館で実施。各クラスより児童1名が代表にたち、学生にお礼を述べた。全く遅滞することなく、予定通りに終了した。待を寄せていた。その他、事前に小学校に出向き打ち合わせをした内容は以下の通り。

1. こどもたちの呼び方: 男女ともに「名字さん」/ 学生の呼び方「名字先生」
2. 名札: 小学校で使用のものを持参。
3. 気になることも: とくにいない。
4. 外部公開用の写真撮影の可否: 不可のこどもはそれと分かるようになにか目印をつけるなど、当日に伝達。その他、どうととてもよい班をつくった。
5. 水筒: 肩掛けの水筒を持ってない子もいる。その場合は、こどもの手をあげるため、学生があずかる。
6. バスの分乗: 先頭1号車1班から6班、2号車7班から12班
7. 持ち物: 軍手は学生が班の人数分を携行する。防虫スプレーは子どもに持参させるが、学生も携行する。バスをおり、体験が始まる前に

スプレーさせる。

#### 8. 体験学習に関すること

- ① 今年には言葉の聞き分けの悪い子が多い。中にはぼんやり聴いているこどもがいるので、2～3年生を相手にするような声掛けをしてほしい。
- ② 楽しくなると周りが見えなくなる子がいる。「ダメなときはダメ」と、後を引くことはないので、厳しく接してほしい。
- ③ こどもには学生を「名字先生」と呼ばせたい。これはかならず。調子にのると歯止めが利かなくなるおそれあり。

#### (3) 中島根小学校

3年連続の参加である。おとしは豪雨のため初めて全ての野外活動を断念、昨年は小雨のため川体験ができなかった。今年は幸いにも天候に恵まれ川体験活動ができることとなった。そのことを告げると3年連続で引率の校長先生は「3年越しで念願の川体験がようやくできる」と喜んでいて。

引率の学生は、過半が2度目の大学遠足である。ブース内容は前週の平野小・千寿常東小と同様であったので、前回の経験が活き、非常に円滑に体験活動を支援していた。また、前回に色々と子ども達から質問されたことについても事前に答えを用意してきたようで、手際よく対応していた。

プログラム考案のために8月の1ヵ月はほぼ毎日準備に費やしているが、今年には小学校のグラウンドに初めてシカ・イノシシの足跡を確認。日ごろ地域の情報収集でお世話になっている方々に聴いてみたが「今までそんなことはなかった。聴いたこともない。」とのことだった。そこで今年は野生動物をキーワードに、自然の恵みや豊かさを体験的に学んでもらうことを主要テーマとした。教材には、グラウンド上にはっきりとこの足跡と、補助教材として野生動物の頭骨や食痕等の様々なフィールドサインを上野原小学校の校内ミュージアムより校長先生のご厚意で貸し出していただいて使用した。動物そのものではないが、野生動物の姿を身近に具体的にイメージできるのか、子ども達の関心を大いに惹きつけていた。

川観察では、引率学生の手慣れた支援で、次々と「生き物探しでビンゴゲーム」に掲載された水棲動物を発見、中には、「何匹みつけられたか」と数を競う様子も見られた。同伴した教諭も、子どもたちに交じり、たのしそうであった。「川に入れない」川体験活動であっても、内容的には十分であることが再度確認できた。

終わりの会は体育館で実施。各クラスより児童1名が代表にたち、学生にお礼を述べた。全く遅滞することなく、予定通りに終了した。

ほぼ予定通りにバス到着。上野原インターを降り、桂川を渡って県道にアクセスするが、新天神トンネルを抜けてから大型バスでやっと通れる狭さの交通の難所があった。距離にして250mほどであるが、一方通行ではないブラインドのカーブがあるので、地元の自家用車と鉢合わせすることがしばしばであった。3年をかけて迂回路新設の工事が進んでいたが、ようやく仮設道路が完成。9月に入ってから迂回路が使用できるようになり、利便性が増した。その他、事前に小学校に出向き打ち合わせをした内容は以下の通り。

1. こどもたちの呼び方: 男子「名字くん」・女子「名字さん」/ 学生の呼び方「名字先生」
2. 名札: ラベルシールに当方で印字。当日にこどもに配布。

3. 気になることも: とくにいい。
4. 外部公開用の写真撮影の可否: 不可のこどもは、アンケートで確認。当日に連絡。
5. 水筒: 肩掛けの水筒を持ってない子もいる。その場合は、こどもの手をあけるため、学生があずかる。
6. 班行動: 学生の引率にまかせる。
7. 体験学習に関すること: 全ておまかせします。今年こそ川体験ができるよう願ってます(校長先生談、おとしは豪雨・昨年は小雨)。

#### (4) 宮城小学校

宮城小学校 4 年主任の先生(女性)は、理系指向(特に生物系)で、環境教育にかなりの関心のある方であった。先生たちは、「この大学遠足は絶対に子どもたちのためになる」と強い信念をもとても期待して楽しみにしていた。子ども達は 3000 円平均のバス代を支払う。その出元は保護者で、時には「3000 円は高い」とのクレームもあるそうである。しかし、先生たちはそう言う保護者を説得して、実現に漕ぎつけているとのことである。学生には事前に先生たちの苦労と期待を聴かせ、「いつもより増して一期一会の精神で」活動に取り組むよう事前に申しあわせた。中島根小学校の実施から中 2 日を念入りの準備にあてた。

今年度は、例年になく天候が不順であった。特に少雨の影響が大きい小学校のグラウンドの片隅にある「岩壁の湧水」が、いつもは湧き水が勢いよくほとばしるのに、水道の蛇口より小出しされている程度にまで水量が落ちていた。90 歳近い古老に聞くと、「今までこんなに水が少なかった。初めてだ。」とのこと。グラウンドにイノシシやシカなどが進出したこともあわせ、昨年までとは色々とプログラムの変更が必要となり、運営にはいつも以上に気がつかった。岩壁の湧水のブースは「大地の恵み命の水」と表題を変え、水量のかぼそきから水の大切さが伝わるようにと内容を変更した。蛇口をひねるといつでも簡単に手に入る水が、水源をたどるとこんな少量から始まるという演出は、こどもにもとどいた様子がうかがえた。

川観察は、9 月 7 日平野小学校、8 日千寿常東小学校、11 日中島根小学校について期間を開けず今年度 4 回目の実施となった。2010 年からの大学遠足事業であるが、雨降り等で、今まで 4 回連続しての川観察は実施したことがなかった。川の生物の現状を心配したが、各回とも「キャッチ&リリース」を徹底したことが奏功したのか、採集できる生き物の種類・数ともに連続して実施の影響は感じられなかった。子どもたちは、引率学生の手慣れた支援で、次々と「生き物探しでビンゴゲーム」に掲載された水棲動物を発見していた。子どもたちの歓声に引率の宮城小学校の先生たちも満足そうであった。

終わりの会は体育館で実施。各クラスより児童 1 名が代表にたち、学生にお礼を述べた。全く遅滞することなく、予定通りに終了した。ほぼ予定通りにバス到着。その他、事前に小学校に出向き打ち合わせをした内容は以下の通り。

1. こどもたちの呼び方: 学生さんが呼びやすいように好きにやってください。こだわりはありません。/ 学生の呼び方: 名字先生。
2. 名札: 子どもたちに名札を自作させて持参。
3. 気になることも: とくにいい。
4. 外部公開用の写真撮影の可否: 不可のこどもは分かるようになにか目印をつける。

5. 水筒: 肩掛けの水筒を持ってない子もいる。その場合は、こどもの手をあけるため、学生があずかる。
6. 班行動: 学生の引率に任せる。
7. バスの分乗: 先頭 1 号車 1 班から 6 班、2 号車 7 班から 12 班
8. 持ち物: 軍手は学生が班の人数分を携行する。防虫スプレーは子どもに持参させるが、学生も携行する。
9. 体験学習に関すること(以下全て主任の先生から)
  - ① キャリア教育も兼ねた体験にしたい。学生さんには自分の好きなこと・関心のあることをどんどんこども達に話してほしい。「勉強はきらいだったけど、好きなことをやりたりので、頑張って大学に入学した。」などの体験話などは、宮城小学校のこどもには、勉強の動機づけになるのでありがたい。
  - ② 理科が大好きな子どもが多い。対比して社会科はきらい。
  - ③ 昆虫との出会いに期待。色々な生き物を見せたい。自然科学系のウンチクは色々と言ってほしい。
  - ④ 植物が好きな子、育種に関心のある子、図鑑ばかり見ている子など、特定のことに強い関心とかなりの知識を持っている子がいる。専門的な話を聴かせたい。
  - ⑤ キッザニア東京に行き、職業の体験学習をしてきた。そのために申請書を書いて予算をもらった(このエピソード、普通の小学校の先生にはなかなかできない。教育に熱心な子どもに寄り添った先生であることが伝わる。)
  - ⑥ 自然体験に行かない・関心がない家庭の子どもが多い(今回の遠足の実現に向けて保護者対応に苦労した模様)。休日はショッピングモールで過ごすような子どもが多いので、この機会に自然に関心を持つようになってほしい。
  - ⑦ それとは反対に自然体験に強い関心をもつ家庭もあるので、両極端。

#### (5) 千寿小学校

千寿小学校の校長先生は理科教育がご専門で、環境教育にも強い関心がある。大学遠足については「本物の自然にふれられることの子供に対するインパクトの大きさ」を高く評価していた。11 月 18 日に帝京科学大学の千住キャンパスで開かれる動物介在教育・療学会に「活動を受け入れる(依頼する)立場(足立区教育委員会)」と「活動を実行する立場(帝京科学大学)」の代表として花園ともども講演することになっていたが、講演が大学遠足実施後 10 日と空けてないので、リアルな話題提供ができるであろうということで、話題提供の一つに取り上げることとしていた。

9 月の活動は、少雨の影響で、ブース内容に改変を加えたが、その後、各地で水害を及ぼした豪雨が続き、岩壁の湧水の水量は完全復活していた。さらに、この豪雨時に秋山川の水位が平常時よりも 3 メートル程度上昇、川の形を変えるほどの濁流と化した。11 月の活動時には水位はほぼもとどおりにながっていたが、川べりに浸食等の増水の痕跡や上流から押し流されてきたらしい転石が目についたので、5 年生の理科の単元にある「流水のはたらき」の教材として活用することとした。そのため、晴天であれば、全員が川べりにおいて、昼食をとり、その後川の景観を観察するプログラムとした。また、11 月の気温低下を考慮に入れ、全部を野外とするのではなく、廃校舎内の体験ブースも晴天・雨天に関わらず活用する組み立てとしたので、時間を確保するために、いつもは 6 ブースを展開する野外体験を 4 ブースと数

を減らし、さらに順路をいつもの三分の二程度になるよう短縮、移動時間を削減した。

川の景観観察に際しては学生には理科の単元内容を解説するとともに、現地まで事前に赴き観察のポイントを伝えた。初めての試みであったが、濁流時の写真を提示すると眼前のきれいな流水とのギャップと、そこいらじゅうで確認できる流れる水の力強さがずいぶんと印象的な様子であった。

また、引率の学生も含め 100 名超の児童・学生が川べりでお昼ごはんを食べるスペースを確保するため、河原から 2 メートル程度上の雑木林を整地した。雑木林の所有者を秋山の青年会を通じて特定、整地の許可を取り付けた。草刈り、小木の伐採から始まる整地には 1 週間程度かかった。当日は、木洩れ日が気持ちよく、川の景観を眺めながら昼食がとれ、児童と引率の先生、そして引率の学生にも好評であった。

廃校舎内では、液体窒素を使用した「液体酸素の演示」が大好評だった。校長先生からも「完璧な演示」との好評をいただいた。また、初めての試みとしてカイコの孵化の瞬間も観察させた。以下は児童の感想である。

「〇〇〇先生木曜日は大学遠足ありがとうございます。たのしい遠足になりました。たのしかったです。カイコの生まれるしゅんかんや液体窒素とかおもしろかったです。川の前でごはんもおいしかったです。とくにうれしかったのはりすのくみの食べかけがうれしかったです。またいきたいです。」

ほぼ予定通りにバス到着。その他、事前に小学校に出向き打ち合わせをした内容は以下の通り。

- 1.子ども呼び方:男女とも「苗字 さん(例:田中さん) / 学生の呼ばせ方「苗字 先生(例:鈴木先生)」
- 2.子どもの名札:データをいただくので、当方でシールに印字し、当日に配って貼ってもらう。
- 3.気になる子ども:特にいない。
- 4.足の悪い子ども:いない。
- 5.アレルギー:後日、名簿に記載して知らせる。
- 6.写真:データを学校にわたすもの(班付きの学生がとる写真)は自由に撮って構わない。HP 等に乗せる場合は不可の子どもがいるので注意。わかるように帽子にテープを貼るなど目印をつける。

終わりの会もグラウンドで実施。何名かの児童に感想を述べてもらった。最後に児童全員からのお礼の言葉をいただいた。全く遅滞することなく、予定通りに終了した。

## 参考文献

- 1) 花園誠, 金子智恵理, 河合樹菜, 蛭田多美慧, 青木直樹, 榊原健太郎, 古瀬浩史 (2015). 「足立区の小学生を対象とした環境教育の実践と成果」. 『帝京科学大学紀要』, 11, pp201-213.
- 2) 花園誠, 木村龍平, 青木直樹, 榊原健太郎, 古瀬浩史 (2015). 「足立区の小学校 4 年生を対象とした環境教育の実践と成果」. 『帝京科学大学教職指導研究』, 1 (1), pp237-244.

# 「大学遠足」による児童養護施設の支援実践と成果

花園誠（教育人間科学部 こども学科）

石木めぐみ・石出渉・副島立（生命環境学部 アニマルサイエンス学科）

榎原健太郎（総合教育センター）

キーワード：児童養護施設、足立区教育委員会連携事業、大学遠足

## 1. はじめに

本学の児童養護施設に対する支援活動は、2004年から始まる。とある研究会で本学のアニマルサイエンス系サークル「動物介在活動部」の老人養護施設における（いわゆる）アニマルセラピー活動を知った関東圏内の短期大学教員の申し入れが契機であった。保育士資格取得のため、実習先として関東圏内のとある児童養護施設に学生を送り出す、学生と施設児童との人間関係で色々と問題噴出、悩んだ末の申し入れである。「助けてほしい。動物が介在することで入所児童の心のケアができれば、人間関係は好転するかもしれない。」今になって思い返すと、藁にもすがる思いの切実な打診であったろうと、その心情を察することができる。

そして、動物介在活動部の学生による定期的な訪問ボランティア活動が始まった。何度目かの訪問活動のあとである。今度は、当の動物介在活動部の学生が筆者に助けを求めてきた。曰く「手に負いかねる」。だが、そんなに深刻な問題とは受け止め「られ」なかった。当時の筆者は、というと本学に着任するまでの細胞工学系の研究を色濃く引きずって、配属された学生には細胞工学系の卒業研究を指導していたし、アニマルサイエンス実習では動物細胞の培養実習の指導を一手に引き受け、いわば「真正の理系教員」だったからである。すなわち児童養護施設をめぐる諸相について、当時の筆者は、全くの門外漢であった。なんの事情も知らぬまま「動物介在活動部の学生の課外活動の場所が維持できればいい。」と、学生に誘われるまま、当時は新興であった「動物介在教育研究会（後の動物介在教育研究部）」の学生と、ボランティア活動に、それこそ「ボランティアのボランティア気分」で出かけたのである。

## 2. 問題の始まり

さて訪問して目にしたのは、動物介在教育研究会の活動を通じて知っていた子どもたちとは「明らかに違う子どもたち」であった。我々は彼らにしてみたら、全く見知らぬ訪問者であるはずなのに、なんの躊躇もなく対人距離を詰めてくる。そうかと思うと、今度はスイッチが切れたように対人関係を、それこそ一方的に、切ってしまう。全く振り回されてしまった。なるほど「手に負いかねる」。

帰路につき、動物介在教育研究部の学生と議論した。「何が問題の根なのだろうか。」そして、2005年、大学院に進学したアニマルサイエンスの1期生もメンバーに加え、動物介在教育活動に用いる小動物を持ち込み、再度の訪問にチャレンジした。しかし、子どもたちの態度は、変わらない。ただ、この時は、事前に施設職員より「今の児童養護施設」がかかえる問題についてレクチャーを受けての訪問であった。「親がいるのに親と暮らせない子どもが過半」。我々の子どもたちに

対する印象は変わっていた。

## 3. 支援企画の立案まで

大学院の授業で「児童養護施設の問題」を取り扱うことにした。講義ではそれぞれが体験したことを持ち寄り「子どもたちの心情を読み解くべく」議論を重ねた。ちょうどよくアニマルセラピーがご専門で精神科医の横山章光先生が本学に着任したばかりの時、児童の心理についてのレクチャーも受けた。我々がすべきことはなんだろう。何ができるだろうか。そして導いた結論が、入所児童に「自己肯定観」をもってもらえるような訪問活動である。「たとえるならば、雨が降ろうが雪が降ろうが、とにかく無償の訪問活動を続けること。何も見返りを求めず訪問し続けることで、彼らは自分自身のそうされる価値に気づくときがくるのではないか。それは自己肯定観の芽生えとなるに違いない。」それは、幻想にも似た甘い考えかもしれないが、とにかくそのようにして今に続く支援活動が始まったのである。以下は、その当時の窓口となった教員に充てた筆者からの質問メールに対するその教員からの回答である。

（筆者より）Q1. 先日の学内の反省会で、帝京科学大学より4団体が個別に参加するという形式ではなく、帝京科学大学が1まとまりで参加するという形式のほうが動きやすいし大学内の連絡も密にとれるので好ましいという結論になりました。ボランティア参加人員はなるべく固定し月代わりで色々なメニューを提供、必要場合は適宜スペシャリスト（例えばストリートダンス）をゲストとして招くといった運営方式です。この場合、参加人員がゲストの分かさみますが、構わないでしょうか？

A1. いいですね、この方法ですと、参加する学生さんの運営意識が高まる点、施設の子どもの認知度が高まる点、双方にメリットがあり、とてもいいのではないかと思います。ただ、遠方ですので固定する学生さんの負担が大きくなりませんか心配です。

（筆者より）Q2. 今度8月28日に環境教育が予定されていますが、来週、主担当の学生が現場に視察に行きます。ついでにその学生に施設の先生と環境教育の運営方法について打ち合わせをさせたいのですが、構わないでしょうか？日にちは来週の3、4、5日のいずれかを考えています。

A2. よろしく願いいたします。打ち合わせ日程は施設と調整してください。私は28日～〇〇学会で〇〇に行くので拝見できなくて残念です。

（筆者より）Q3. 2と関連して、これからの施設とのやりとりですが、もしお許しいただければ、施設の担当の方と直接連絡をとりたいと考え

ているのですが、いかがでしょうか?もちろん、そのやりとりの内容は先生にもお知らせいたします。いかがでしょうか?

A3. よろしく願いいたします。施設側の帝京科学大学受け入れ担当は男児棟主任の〇〇さんです。〇〇さんと事前訪問日程も相談してください。そろそろ職員が交替で夏期休暇を取るので、花園先生や学生の希望日とうまく合致するかどうか懸念されますが・・・。

(筆者より)Q4.3と関連して、これからの本学の窓口ですが、帝京科学大学として1まとまりにしたいので、窓口は1つにする予定です。とりあえず、〇〇君が花園のどちらかということにしておきます。

A4. ありがとうございます。花園先生と〇〇さんがとてもよくしてくださるので、すっかりお任せできて私も助かります。

#### 4. 2006 年、支援活動の展開

この支援活動に参加していた学生の発案により、児童養護施設の小学生・中学生・高校生の全員と職員を学園祭に招待する企画が持ち上がった。大型バスをチャーター、費用は大学の負担である。あわせて、子どもたちには学園祭で自由に飲食できるようにと、学園祭出店ブースで限定して使用できるクーポン券を一人一冊プレゼントした。引率は、訪問ボランティア学生の役回りである。およそ3~4人に2人の割合で学生がついた。そして、この間、施設職員の皆様には「フリー」となっていた。およそ2年間にわたる継続しての支援が奏功し、入所している子どもと学生の間には信頼関係が芽生えるとともに、施設職員も好意的に我々を迎えてくれるようになっていたのである。

学園祭開始にあわせ、朝10時に大学着、引率の学生が歓待した。帰路につくのは午後3時。滞在時間はおよそ5時間程度であったが、子どもたちはそれぞれが存分に学園祭を楽しんだ。後日、施設職員から帰路の車中で高校生が「大学っていいなあ。進学してみたい。でも無理かな」と半ば嘆息するように独白していたと聞かされた。入所している児童は、中学、高校と進学し、その先はお退所して自立である。それ故に入所している児童は、高校卒業後の進路は当然のように「就職」と決めていて、高校に在籍中は、仕事を覚えるためと自立のための資金作りのためにアルバイトするのが習いであって、勉強は、というとおそろかになりがちなのが課題であった。施設職員はその独白を受け「無理なことはない。勉強しさえすれば、大学進学の道もある。」と励ましたそうである。この時以降、入所している子どもたちの中に将来の進路として大学進学も意識も芽生える。「大学は自分達とは関係のない世界」と当たり前のように進路から除外していた子どもたちの、施設職員の方に言わせると、「とてもありがたい気持ちの変化」であった。この気持ちの変化は現実のものとして実を結ぶ。この施設より実際に大学に進学する高校生が現れ始めた。2017年には国立大学の進学者も輩出する。毎年の学園祭招待が思いもかけず「キャリア教育」になったのである。

#### 5. 足立区教育委員会との連携事業「大学遠足」の新展開

2010年に試験的に始まり、2011年からは正式に事業化された「大学遠足」も2017年度で7年目を迎えた。この間、窓口は学校教育課から体験学習課にと変わり、学校の教育現場を離れての支援も模索され始めていた。

2015年7月と11月、足立区は貧困対策を目的として「子どもの健

康・生活実態」を調査した。対象は足立区全小学校69校に通う1年生5,355人の児童の保護者である。本調査では「生活困難家庭」の定義を以下の3項目「(1)世帯年収300万円未満、(2)生活必需品の非所有(子どもの生活に必要な物品や5万円以上の貯金がないなど)、(3)過去1年間に水道・ガスなどのライフラインの支払いが困難だった経験がある」のいずれかに該当する世帯とした。

その結果、「生活困難」は実に24.8%となることが判明、この支援が急務となった。

2017年、「大学遠足」の何回かをこの対策の一環として実施できないかとの打診を受けた。通常の「大学遠足」では、バスチャーター代は、人数割りで保護者負担であるが、「支援企画の性質上、チャーター代は保護者負担とはせず事業予算からの捻出としたい」との提案である。課題は、どうやって対象家庭を絞り込むかであったが、募集方法は発案の担当者に一任とし、提案を受け入れることとした。いざ実施となった場合、子どもたちを預かる立場としては、通常の「大学遠足」と同様に環境教育支援のために活用している桜井小学校を拠点とした自然体験で受け入れるつもりでいた。

提案を受け入れたものの、7月になっても対象が決まらず、どうするのだろうと心配していたところ8月も下旬に入り「児童養護施設を対象としたい」との連絡を受けた。以後、メールで10回を超えるやり取りがあり、実施日は11月25日(土曜日)と決定した。

「児童養護施設が対象か」とどのように支援するかと考えながらのやり取りを重ねるうちに、通常の「大学遠足」ではなく、10年を超える実績がある「学園祭招待方式」もあると考え始めた。ただ、腹案のままとして、11月10日の児童養護施設職員と足立区の担当職員が一堂に会する「最後の詰めの会議」まで留め置き、その場で代替案として提示した。「遠足の目的地を秋山の桜井小学校とするのではなく、上野原キャンパスではどうか。半日滞在できるのであれば、上野原キャンパスは周囲の自然が豊かで、地元の小学校等の人気の遠足スポットとなっているし、大学と自然の両方が体験できる。」

実施日まで2週間を残すのみの時点での企画変更の提案であったが、受け入れていただいた。受け入れ準備する立場からすると、キャンパス内であればたとえ準備期間が短くなったとしても充実した内容を提供できるとの自信があった。

#### 6. 大学遠足による「児童養護施設」支援

##### 1) 参加者

支援対象の児童・生徒は19名の予定であったが、体調不良等で2名が欠席、17名対象の活動となった。全体を3名ずつ(1班のみ2名)の6班編成とした。班員構成は施設職員にお願いした。施設からは職員6名が引率のために参加した。さらに児童養護施設の支援は、今回が初めての試みということで、事業の有効性を見届けるために足立区役所の関係部署より職員6名が参加した。

学生は千住キャンパスより9名、上野原キャンパスより25名が参加した。千住キャンパスの9名は、足立区内のバス会社より大学がチャーターした53名乗りの大型バスに添乗、上野原キャンパスまでの道中を児童とともにした。

## 2) 活動の概要

体験活動の場所は、「いこいの広場」・「本館棟2階」・「学生食堂」・「うまセンター」・「実験研究棟」の5カ所である。活動プランは「晴天等でコンディションが良く、屋外が利用できる場合(晴天プラン)」と「雨等で屋外は利用できない場合(雨プラン)」のどちらかを基本とし、ベストの体験活動になるように、状況に応じて利用する体験活動の場所を取捨選択する柔軟性を持たせた。そして、時間帯ごとに体験活動のエリアを限定したうえで、大学生と一緒にスタンプラリー形式とした。

活動時は、班行動を原則とするが、児童・生徒に一人に一人の学生を引率役とするマンツーマンの支援体制としたので、児童・生徒の意思を最大限尊重する「ゆるやかな班行動」とした。

班付きの学生はデジタルカメラを携行、児童・生徒の求めに応じて、「人物・風景」等を撮影する。撮影データ(SDカード)は、帰路につく直前にプレゼントとして渡し、まとめ学習等にご活用してもらうこととした。下さい。

## 3) 活動スケジュール

### ①到着から始めの会まで

10:00 バス到着

10:10 はじめの会(晴天 いこいの広場/雨天 本館棟2階講義室)班ごとに整列。上野原から合流する引率の学生を紹介。

### ②晴天プラン」の体験学習

10:15～10:30 「ウエルカムドッグショー」(いこいの広場)

ドッグトレーナー研究部の学生と犬によるパフォーマンスを見学。

10:35～12:35 「科学の祭典 in 上野原キャンパス」(本館棟2階・いこいの広場)。本館2階の体験して学べる科学実験及び工作ブースを自由に巡る。いこいの広場では11時20分ごろまでドッグショーを継続。

12:40～13:20 「学食体験」(学生食堂) 班ごとにテーブルにつき、学生といっしょに昼食。学食利用のために児童・生徒の全員に一人500円の食券を配布した。

13:30～15:00 「ふれあい乗馬体験」(うまセンター) (うまセンターまでは大型バスで移動)2班が1組になり、「乗馬体験」・「ふれあい動物教室」・「自然観察」を3ブースローテーション。

15:10～15:05 終わりの会(うまセンター前広場で実施)

15:05～15:10 写真撮影

15:20～ バスに乗車

15:30 出発

### ③「雨プラン」の体験学習

10:15～12:15 「科学の祭典 in 上野原キャンパス」(本館棟2階) 本館2階の体験して学べる科学実験及び工作ブースを自由に巡る。

12:25～13:05 「学食体験」(学生食堂) 班ごとにテーブルにつき、学生といっしょに昼食。

13:15～14:15 「ふれあいキャンパス見学」(実験研究棟) 班ごとに学生の案内で大学の施設内の見学およびふれあい動物教室を体験。

14:30～15:00 「ふれあいうま世話体験」(うまセンター) (うまセンターまでは大型バスで移動)3班が1組になり、「ふれあいうま世話

体験」・「自然観察」を2ブースローテーション。

### ④終わりの会から出発まで

15:10～15:05 終わりの会(晴天:うまセンター前広場で実施、雨天:うまセンター前広場に設営した大テント内で実施)

15:05～15:10 写真撮影

15:20～ バスに乗車

15:30 出発

11月25日は好天に恵まれ、「晴天プラン」での実施となった。

## 4) 午前の体験内容

### ①ウエルカムドッグショー(いこいの広場)

ドッグトレーナー研究部の学生が担当した。オビディエンス(服従訓練)の実演から始まり、ドッグウォーク・Aフレーム・チューブトンネル・ハードル・シーソー・ウィービングポールを配置したアジリティ(イヌの障害物競争)、そしてディスク競技(frisbeeをハンドラーが投げイヌがキャッチ)と、日頃の鍛錬の成果を披露してもらった。

### ②科学の祭典 in 上野原キャンパス(本館棟2階)

・工作コーナー(201教室) 動物介在教育研究部の学生が担当。発泡スチロール蝶々(薄くスライスした発泡スチロール板を蝶々型に切り、滑空させて遊ぶ)・ペットボトルジャイロ(ペットボトルを輪切りにして投擲体をつくり、的宛てをしてあそぶ)・ダンゴムシ迷路(ダンゴムシの交替制転向反応を利用した迷路工作)・繭クラフト(蚕の繭で作る人形工作および蚕とのふれあい体験)。

・イヌのふれあい(202教室) ウエルカムドッグショーで活躍してくれたイヌとのふれあい体験。

・ふれあい動物教室(203教室) 動物介在教育研究部の学生が担当。足立区小学校の生活科授業支援で活躍するハムスター・モルモット・ウサギ・スナネズミ・アオダイショウ・フトアゴヒゲトカゲ・ギリシアリクガメ、そしてガラルファ(ドクターフィッシュ)とのふれあい体験と動物の習性・生態の学習。

・不思議!体験!科学の世界(アニマルサイエンス第一実習室) 動物介在教育研究部の学生が担当。岩石標本作り(上野原市内産の堆積岩・火成岩・変成岩による自分だけの岩石標本作り)・スライム(PVA洗濯糊とホウ砂で作る)・超低温の世界(液体窒素を使った凍結実験と超電導実験など)・台所でできるDNA抽出実験(ブロッコリー・食塩・中性洗剤・薬局で購入の無水エタノールによる簡単なDNA抽出実験)・台所雑貨で作る極小カミナリ(プラスチックコップ・ストロー・アルミホイルで作る帯電体と塩化ビニールパイプによる静電気実験)・台所でできる風船実験(食酢と重曹により二酸化炭素を発生させ風船を膨らませる実験)・微生物の世界(実体顕微鏡、倒立顕微鏡で観察する淡水プランクトンの世界)

・休憩コーナー(204教室) ジュース・お茶・コーヒー・お菓子などでおもてなし。

以上の5教室で時間いっぱい自由行動とした。工作物は全て持ち帰ってもらった。

## 5) 昼休みの体験内容

・学食体験(学生食堂) 児童・生徒にこの日だけ利用できる500円分の食券をプレゼント。そば・うどん・ラーメン・カレーライス・定食等

の定番メニューから好きなものを選んで食べてもらった。

#### 6) 午後の体験内容

- ・乗る・うま乗馬体験(ウマセンターの馬房・馬場内) 乗馬体験(うまセンター職員指導による乗馬体験:図1)・引馬体験(うまセンター職員指導による引馬体験)・ウマとのふれあい体験(えさやり、ブラッシングなどの体験)・馬房掃除(馬のお世話体験)
- ・自然観察(うまセンター前広場で確認できる足跡:図2、食痕など野生動物のフィールドサインの観察)
- ・アウトドアクッキング(うまセンター前広場で焚火して、焼き芋づくり、パン焼き体験、マシュマロ焼きなど:図3)
- ・自然工作体験(ススキでつくるフクロウの工作:図4)
- ・迷路遊び(うまセンター前のススキ野原を刈り込み、中に複雑に入り組んだ小道をつくる。その中で鬼ごっこ等の遊びをする。)

たき火の回りには長椅子を並べ、適宜、休憩できるようにした(図5・図6)。また、たき火のそばにはテーブルを配置し、お茶・お菓子・コーヒー・ココアなども用意して、自由に利用できるようにした。



図1. 乗馬体験



図2. うまセンター前広場で確認できたイノシシの足跡



図3. アウトドアクッキング



図4. 自然工作体験



図5. うまセンター前の様子



図6. 児童・生徒を見守る。

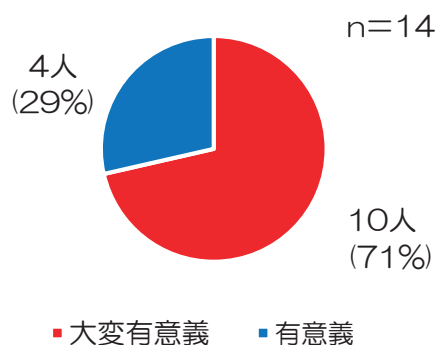


図10. 参加した学生の感想「有意義だったか」

## 7. 実践の成果

### 1) 実践後にいただいた感想の集計

図7～10は、実践後にいただいた感想の集計である。参加しての感想は、児童・生徒の17人中16人が「とても楽しかった」と感想を述べていた(図7)。また、大学生と過ごしての感想は、17人中15人がとても楽しかったと感想を述べていた(図8)。引率の職員、そして受け入れた学生については、全員が「たいへん有意義」あるいは「有意義」と感想を述べていた(図9、図10)。

### 2) 児童・生徒の感想

以下は、参加した児童・生徒から寄せられた感想である。

「楽しかったです!!またいきたいです。」(小学校低学年)

「えんそくに行けてよかったです。楽しく工作ができました。ありがとうございました。」(小学校低学年)

「とても楽しいことよういしてくれてありがとうございました。またこんどもいきたいです。」(小学校低学年)

「いろいろな人と話せて楽しかった。また行きたいと思いました。」(小学生高学年)

「モルモットがいちばんかわいかったです。大学の人になりたいです。」(小学校高学年)

「自然がいっぱいあってすごく良いと思いました。いろいろな体験ができて楽しかったです。私が大きくなったら大学に行きたいと思いました。」(中学生)

「また行きたいです。実験をしたいです。DNAの抽出が楽しかった。また家でやってみたいです。」(中学生)

### 3) 施設職員の感想

以下は施設職員から寄せられた感想である。

「科学から自然、人のふれあいまで盛りだくさんで楽しかったです!」

「たくさんの経験をすることができ、また学生たちの手作り感が温かく歓迎されている感じがあって感動しました。」

「ヘビやトカゲまでこれまで触れたことがなかったのでよい経験になりました。(中略)全ての活動において学生さん、先生、区の方の子どもたちへの気持ちが伝わってきました。(中略)楽しい一日を本当にありがとうございました。」

「子供たちの興味関心を引き出すと共に、人のつながりの大切さや、手作りの温かさを感じられる企画でした。機会があれば是非また参加

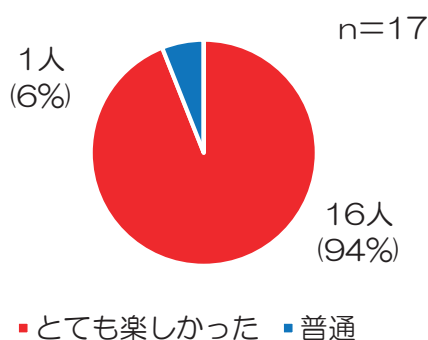


図7. 参加した児童・生徒の感想1. 「参加してどうだったか」

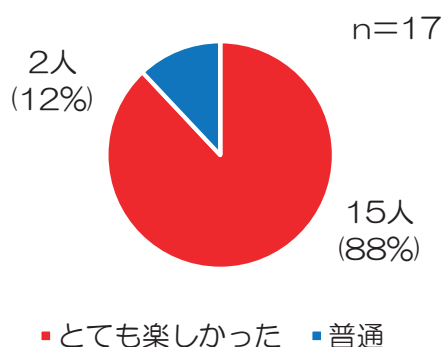


図8. 参加した児童・生徒の感想2. 「大学生といっしょにいてどうだったか」

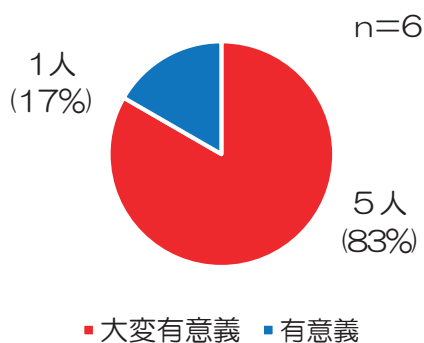


図9. 参加した施設職員の感想「有意義だったか」

させていただきたいと思います。」

「楽しそうに様々なものにチャレンジする子どもの姿がみられて何よりも嬉しく思いました。ありがとうございました。」

「今回、この企画のお話を下さり、ありがとうございました。継続的に実施できると小学生のいい自立支援プログラムになると思うので、今後とも是非よろしく願いいたします。」

お礼の色紙に合わせ、施設職員よりお手紙を頂戴した。

「帝京科学大学花園先生学生の皆さん

先日は、大学遠足ありがとうございました。子どもたちはもちろんのこと、職員にも大好評で、とても楽しい一日を過ごさせていただきました。子どもたちからも「また行きたい」という声が大変多く聞かれています。ぜひ継続的に実施できたらと思っています。子どもたちと職員でお礼状をつくりました。よろしければ学生の皆さんと一緒にご覧ください。」

## 8. 今後の展望

児童・生徒、施設職員、足立区職員、そして支援参加の学生の全てから好評の活動であった。ただし、全く反省点がなかったわけではない。往路・復路ともに千住キャンパスの学生を添乗としたが、施設職

員からは「バスレク(バス内のレクリエーション)があるとよかった」との意見があった。

2018年度は当初に予定していた「生活困難家庭」を招待することも計画されている。児童養護施設からは継続が希望されているので、必然的に回数を増やさなければならない。11月はスケジュールが過密なので、実施時期をいつにするか、今後の課題である。

## 9. 謝辞

本実践を行うにあたり、ご協力いただきましたうまセンターの喜久村徳淑先生ならびに洲上真帆先生そしてうまセンターの学生の皆さんに心からの感謝を申し上げます。また、活動にご参加くださいました児童養護施設の皆様、ご協力くださいました足立区職員並びに帝京科学大学地域連携室職員の皆様、そして大学遠足の実践に携わったドッグトレーナー研究部ならびに動物介在教育研究部の学生の皆様、花園研究室の皆様に心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



図 11. 児童・生徒そして職員から寄せられたお礼の色紙

資料



平成29年度地域連携推進センター構成員一覧

|             |      |
|-------------|------|
| 地域連携推進センター長 | 花園 誠 |
|-------------|------|

|              |       |
|--------------|-------|
| 地域連携推進センター副長 | 古瀬 浩史 |
|--------------|-------|

|                 | 上野原・山梨市 |        |         | コーディネーター | 千住     |          |             |
|-----------------|---------|--------|---------|----------|--------|----------|-------------|
|                 | 氏名      | 学部     | 学科      |          | 氏名     | 学部       | 学科          |
| 教育連携・学生参画プロジェクト | ○       | 並木 美砂子 | 生命環境学部  | ○        | 濱田 淳   | 医療科学部    | 東京柔道整復学科    |
|                 |         | 佐藤 光浩  | 医療科学部   |          | 杉本 信   | 教育人間科学部  | 幼児保育学科      |
|                 |         | 舟喜 晶子  | 医療科学部   |          | 小泉 亜希子 | 生命環境学部   | アニマルサイエンス学科 |
|                 |         |        |         |          | 東 克己   | 生命環境学部   | 生命科学科       |
| 産・官・学等の連携プロジェクト | ○       | 石井 孝弘  | 医療科学部   | ○        | 榎原 健太郎 | 総合教育センター |             |
|                 |         | 森 恭一   | 生命環境学部  |          | 江田 慧子  | 教育人間科学部  | 学校教育学科      |
|                 |         | 和田 龍一  | 生命環境学部  |          | 眞鍋 克博  | 医療科学部    | 東京理療法学科     |
|                 |         |        |         |          | 加隈 良枝  | 生命環境学部   | アニマルサイエンス学科 |
| 社会貢献プロジェクト      | ○       | 小川 家資  | 生命環境学部  | ○        | 岡村 千鶴  | 医療科学部    | 看護学科        |
|                 |         | 田中 和哉  | 医療科学部   |          | 橋本 慎治  | 生命環境学部   | 自然環境学科      |
|                 |         | 吉川 和幸  | 教育人間科学部 |          | 宮下 智   | 医療科学部    | 医療福祉学科      |
|                 |         | 上野 良平  | 生命環境学部  |          |        |          |             |

|    |         |       |
|----|---------|-------|
| 事務 | 上野原事務室長 | 村田 正一 |
|    | 管理係長    | 山口 敬美 |

|    |               |  |        |
|----|---------------|--|--------|
| 事務 | 企画評価・地域連携推進室長 |  | 岡本 忠典  |
|    | 地域連携係         |  | 箕田 都起子 |
|    |               |  | 佐藤 仁紀  |

# 平成29年度 地域連携推進センター予算

| 大項目               | 中項目              | 小項目(活動名)              |
|-------------------|------------------|-----------------------|
| A 教育連携・学生参画プロジェクト | (1)教育連携プロジェクト    | 『羽村動物園 動物緑日(都内)』      |
|                   |                  | 『夏休み親子教室』             |
|                   |                  | 『科学の祭典(甲府)』           |
|                   | (2)学生参画プロジェクト    | 『多摩動物公園遠足支援』          |
|                   |                  | 『帝京めぐみ幼稚園(幡ヶ谷)』       |
|                   | 学生の課外活動活用        | 『学生の地域連携活動助成』         |
|                   | 動物維持費            | 『都市農業公園動物維持費』         |
|                   |                  | 『上野原動物維持費』            |
|                   | 都市農業公園環境整備       | 『都市農業公園環境整備費(動物関係除く)』 |
| B 産学官等の連携プロジェクト   | (1)地域社会連携プロジェクト  | 『地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援』    |
|                   | (2)地域産業連携プロジェクト  | 『共同開発商品・サービス』         |
|                   |                  | 『受託研究共同研究』            |
|                   |                  | 『特許ビジネス推進』            |
|                   | (3)地域活性化プロジェクト   | 『上野原活性化事業①アニマルセラピー事業』 |
|                   |                  | 『上野原活性化事業②環境教育事業』     |
|                   |                  | 『情報配信』                |
|                   | (1)学生の社会貢献プロジェクト | 『地域の教育支援事業』           |
|                   |                  | 『NHK 渋谷DEどーも出展』       |
|                   |                  | 『子育てブレイルーム事業』         |
| C 社会貢献プロジェクト      | (2)教員の社会貢献プロジェクト | 『障害者乗馬会』              |
|                   | (3)大学の社会貢献プロジェクト | 『ふれあいの日』              |
|                   |                  | 『動物介在教育アドバイザー講習会』     |
|                   |                  | 『ペット同行避難訓練』           |
|                   |                  | 『TEIKA English Day』   |
|                   | (2)国際化産業プロジェクト   | 『地域産業国際化支援』           |
|                   | E 運営経費           | 『通信連絡費』               |
|                   |                  | 『予備費』                 |
|                   | F 予備費            | 『予備費』                 |

|                    |  |                   |
|--------------------|--|-------------------|
| G 足立区教育連携事業(足立区助成) |  | ①動物ふれあい教室         |
|                    |  | ②小中学生を対象とした自然体験活動 |
|                    |  | ③小学生の大学生体験        |
|                    |  | ④中学生の大学生体験        |
|                    |  | ⑤のびのびプレイデー        |

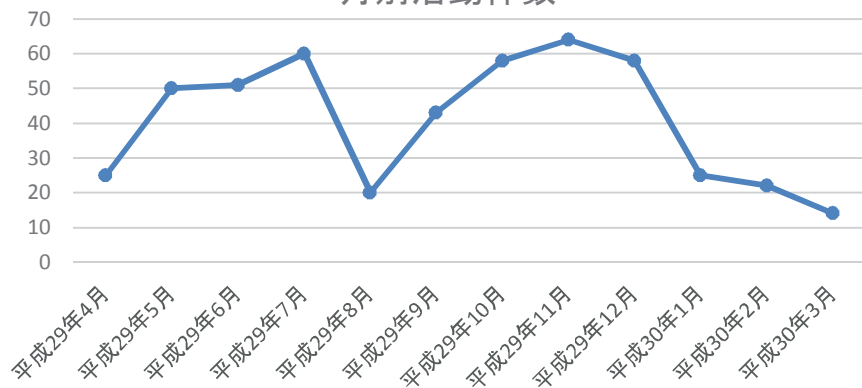
|    |            |
|----|------------|
| 合計 | 21,400,000 |
|----|------------|

平成29年度共同研究・協定書取り交わし機関一覧

| 契約年度 | 摘要                                                    | 契約先       | 本学担当教員(敬称略)、窓口 |
|------|-------------------------------------------------------|-----------|----------------|
| 2017 | 共同研究契約<br>(ロボット介在活動に関する共同研究)                          | サントピア     | 永沼充、木村龍平       |
| 2017 | 足立区教育委員会との連携事業「ふれあい動物教室」に係わる<br>動物の飼育管理業務委託契約(平成29年度) | アニマルシップ   | 帝京科学大学         |
| 2017 | 保育支援研究契約書                                             | 上野原市      | 木村龍平           |
| 2017 | 都市農業公園の鍵の借用について                                       | アニマルシップ   | 帝京科学大学         |
| 2017 | 委託契約書                                                 | 足立区教育委員会  | 帝京科学大学         |
| 2017 | 建物使用貸借契約書                                             | 上野原市      | 帝京科学大学         |
| 2017 | 旧桜井小学校使用に関する協定書                                       | 上野原市教育委員会 | 帝京科学大学         |

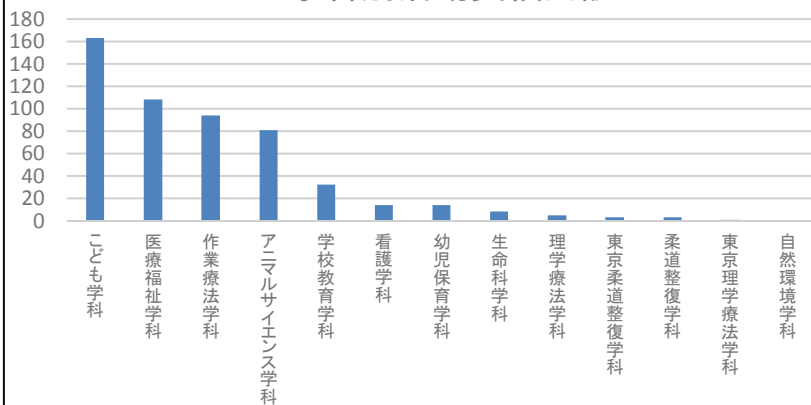
# 平成29年度地域連携推進センター活動統計(教員)

月別活動件数



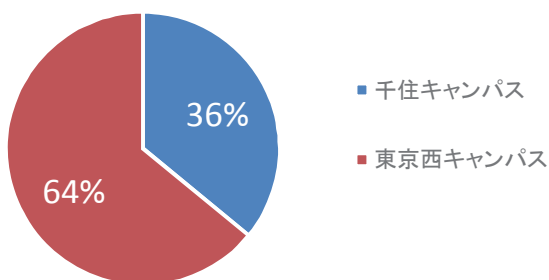
| 活動月      | 件数  |
|----------|-----|
| 平成29年4月  | 25  |
| 平成29年5月  | 50  |
| 平成29年6月  | 51  |
| 平成29年7月  | 60  |
| 平成29年8月  | 20  |
| 平成29年9月  | 43  |
| 平成29年10月 | 58  |
| 平成29年11月 | 64  |
| 平成29年12月 | 58  |
| 平成30年1月  | 25  |
| 平成30年2月  | 22  |
| 平成30年3月  | 14  |
| 総計       | 490 |

学科別活動実績内訳



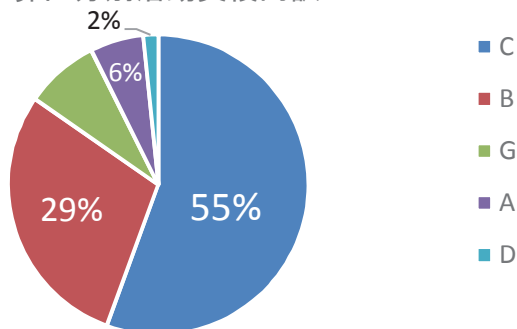
| 学科          | 件数  |
|-------------|-----|
| こども学科       | 163 |
| 医療福祉学科      | 108 |
| 作業療法学科      | 94  |
| アニマルサイエンス学科 | 81  |
| 学校教育学科      | 32  |
| 看護学科        | 14  |
| 幼児保育学科      | 14  |
| 生命科学科       | 8   |
| 理学療法学科      | 5   |
| 東京柔道整復学科    | 3   |
| 柔道整復学科      | 3   |
| 東京理学療法学科    | 1   |
| 自然環境学科      | 0   |
| 総計          | 526 |

キャンパス別活動実績



| 場所       | 件数  |
|----------|-----|
| 千住キャンパス  | 176 |
| 東京西キャンパス | 314 |
| 総計       | 490 |

予算区別活動実績内訳



| 区分 | 件数  |
|----|-----|
| C  | 174 |
| B  | 91  |
| G  | 25  |
| A  | 18  |
| D  | 5   |
| 総計 | 313 |

〈予算区分〉  
A: 教育連携・学生参画プロジェクト  
B: 産学官等の連携プロジェクト  
C: 社会貢献プロジェクト  
D: 国際化貢献プロジェクト  
E: 運営経費  
F: 予備費  
G: 足立区教育連携事業

## 平成29年度地域連携活動記録表(教員):千住キャンパス

| 月日    | 活動名                      | 活動内容                                                                | 連携機関                                                     | 対象者数        | 参加<br>学生数 | 担当教員                  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等) |
|-------|--------------------------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-------------|-----------|-----------------------|---------------------|
| 4月6日  | 長野県、ミヤマ株式会社との会議          | 平成29年自然体験キャンプの打ち合わせ                                                 | 長野県<br>ミヤマ株式会社<br>信州生物多様性<br>ネットきずな                      | 8名          |           | 江田慧子                  | 学校教育学科              |
| 4月23日 | オオルリシジミ保護対策会議への参加        | 安曇野でのオオルリシジミの研究内容の打ち合わせと、観察ツアーの調整                                   | 日本自然保護協会<br>国営アルプス<br>あづみの公園<br>安曇野<br>オオルリシジミ<br>保護対策会議 | 10名         |           | 江田慧子                  | 学校教育学科              |
| 4月24日 | せんじゅカフェ(認知症カフェ)          | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専門職などが自由に交流できる場の提供                             | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町                                | 地域住民<br>20名 |           | 定村美紀子<br>糸井和佳<br>吉岡幸子 | 看護学科                |
| 4月25日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 住区センター見学、活動内容の検討                                                    | 足立区役所                                                    |             | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 4月25日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 精神科グループホームへの訪問、交流                                                   | 社会福祉法人                                                   | 入居者         | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 4月28日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 住区センター見学、活動内容の検討                                                    | 足立区役所                                                    |             | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 4月28日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 精神科グループホームへの訪問、交流                                                   | 社会福祉法人                                                   | 利用者         | 千2名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 4月28日 | オオルリシジミの打ち合わせ            | オオルリシジミの研究・教育活動打ち合わせ                                                | 日本自然保護協会<br>NTT                                          | 6名          |           | 江田慧子                  | 学校教育学科              |
| 5月2日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 精神科グループホームへの訪問、交流                                                   | 社会福祉法人                                                   | 入居者         | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 5月9日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 精神科グループホームへの訪問、交流                                                   | 社会福祉法人                                                   | 入居者         | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 5月10日 | オオルリシジミ阿蘇打ち合わせ           | オオルリシジミが生息している阿蘇で企業との打ち合わせと関係機関にあいさつを行った。<br>当日はNHKとケーブルテレビの対応を行った。 | 日本自然保護協会<br>NTT                                          | 20名         |           | 江田慧子                  | 学校教育学科              |
| 5月12日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 住民との交流、レクリエーションの実施                                                  | 千住地域公営団地<br>自治会                                          | 利用者         | 千7名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 5月12日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 精神科グループホームへの訪問、交流                                                   | 社会福祉法人                                                   | 入居者         | 千2名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 5月16日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 住民との交流、レクリエーションの実施                                                  | 千住地域公営団地<br>自治会                                          | 入居者         | 千6名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 5月19日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 精神科グループホームへの訪問、交流                                                   | 社会福祉法人                                                   | 入居者         | 千2名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 5月19日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 高齢者グループホーム見学、活動内容の検討                                                | 社会福祉法人                                                   |             | 千6名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 5月19日 | 木曽町との会議                  | 生物多様性連携協定を結んでいる木曽町と今年度の活動に関して会議を行った。                                | 木曽町長野県                                                   |             |           | 江田慧子                  | 学校教育学科              |
| 5月19日 | 長野県・木曽との打ち合わせ            | 長野県と木曽町と包括連携協定を結んでいる関係で、今年度行う自然教室の打ち合わせを行う。                         | 長野県木曽町                                                   | 7名          |           | 江田慧子                  | 学校教育学科              |
| 5月21日 | 長野県のオオルリシジミ<br>親子観察会への参加 | 長野県とおみ市で行われる親子観察会に参加する。                                             | 北御牧の<br>オオルリシジミを<br>守る会<br>シティズンデバイス                     | 約100名       |           | 江田慧子                  | 学校教育学科              |
| 5月23日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 住区センターの夕食会に参加、交流                                                    | 足立区役所                                                    | 利用者         | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 5月23日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 精神科グループホームへの訪問、交流                                                   | 社会福祉法人                                                   | 入居者         | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 5月24日 | 校内授業研究会                  | 校内授業研究会講師                                                           | 東久留米市立<br>中央中学校                                          | 30名         |           | 赤羽根直樹                 | 学校教育学科              |
| 5月29日 | せんじゅカフェ(認知症カフェ)          | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専門職などが自由に交流できる場の提供                             | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町                                | 地域住民<br>20名 |           | 定村美紀子<br>糸井和佳<br>吉岡幸子 | 看護学科                |
| 5月30日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 精神科グループホームへの訪問、交流                                                   | 社会福祉法人                                                   | 入居者         | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 6月2日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 精神科グループホームへの訪問、交流                                                   | 社会福祉法人                                                   | 入居者         | 千2名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 6月6日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 住民との交流、レクリエーションの実施                                                  | 千住地域公営団地<br>自治会                                          | 利用者         | 千6名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 6月6日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 精神科グループホームへの訪問、交流                                                   | 社会福祉法人                                                   | 入居者         | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 6月9日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                                                 | 社会福祉法人                                                   | 入居者         | 千6名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 6月9日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動        | 精神科グループホームへの訪問、交流                                                   | 社会福祉法人                                                   | 入居者         | 千2名       | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科              |
| 6月14日 | 林業大学校グレードアップ委員会          | 長野県林業大学校グレードアップ委員会                                                  | 長野県                                                      |             |           | 江田慧子                  | 学校教育学科              |

| 月日    | 活動名                                           | 活動内容                                                           | 連携機関                                                                | 対象者数                  | 参加<br>学生数 | 担当教員                     | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)     |
|-------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----------|--------------------------|-------------------------|
| 6月16日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 住民との交流、レクリエーションの実施                                             | 千住地域公営団地<br>自治会                                                     | 利用者                   | 千7名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 6月16日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 精神科グループホームへの訪問、交流                                              | 社会福祉法人                                                              | 入居者                   | 千2名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 6月20日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 住民との交流、レクリエーションの実施                                             | 千住地域公営団地<br>自治会                                                     | 利用者                   | 千6名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 6月20日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 精神科グループホームへの訪問、交流                                              | 社会福祉法人                                                              | 入居者                   | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 6月22日 | 愛犬の健康診断(体脂肪測定)                                | 犬の体脂肪を測定し栄養相談を実施                                               | NEXCO中日本                                                            | 来客者                   | 学生<br>11名 | 大辻一也<br>小泉亜希子            | アニマル<br>サイエンス学科<br>(千住) |
| 6月23日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                                            | 社会福祉法人                                                              | 入居者                   | 千6名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 6月23日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 地域包括支援センターの見学、活動相談                                             | 社会福祉法人                                                              |                       | 千5名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 6月24日 | 岳問のすすめ                                        | 読売新聞との連携事業「岳問のすすめ」を本学で<br>はじめて開催した。                            | 読売新聞<br>信州大学                                                        | 80名                   |           | 江田慧子                     | 学校教育学科                  |
| 6月26日 | せんじゅカフェ(認知症カフェ)                               | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専<br>門職などが自由に交流できる場の提供                    | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町                                           | 地域住民<br>20名           |           | 定村美紀子<br>永井和佳<br>吉岡幸子    | 看護学科                    |
| 6月27日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 精神科グループホームへの訪問、交流                                              | 社会福祉法人                                                              | 入居者                   | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 6月28日 | 帝京科学大学presents<br>「大学生による大型絵本の<br>読みがたりと表現遊び」 | 大学生による大型絵本の読みがたりと表現遊び<br>を楽しむ                                  | ギャラクシティ                                                             | 未就学児と<br>その保護者<br>10組 | 9名        | 新家智子                     | 幼児保育学科                  |
| 6月28日 | 帝京科学大学presents<br>「カブラであそぼう！」                 | 「カブラ」を使って大学生と一緒に楽しく遊ぶ                                          | ギャラクシティ                                                             | 3歳～<br>小学生            | 17名       | 飯泉祐美子<br>杉本信<br>平野英史     | 幼児保育学科                  |
| 6月30日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 住民との交流、レクリエーションの実施                                             | 千住地域公営団地<br>自治会                                                     | 利用者                   | 千7名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 6月30日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 精神科グループホームへの訪問、交流                                              | 社会福祉法人                                                              | 入居者                   | 千2名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 7月1日  | 体験！1日大学生                                      | 講義や学科体験、キャンパスライフ体験を通して<br>将来の進路を考えるきっかけを作る                     | 足立区教育委員会                                                            | 135名                  |           | 地域連携推進<br>センター構成<br>教員、他 | 千住キャンパス<br>所属全学科        |
| 7月4日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 住民との交流、レクリエーションの実施                                             | 千住地域公営団地<br>自治会                                                     | 利用者                   | 千6名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 7月4日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 精神科グループホームへの訪問、交流                                              | 社会福祉法人                                                              | 入居者                   | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 7月4日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                                            | なし                                                                  | 来場者                   | 千6名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 7月5日  | 帝京科学大学presents<br>「ふれあい歌あそび」                  | わらべ歌や手遊びを大学生と一緒に楽しむ                                            | ギャラクシティ                                                             | 未就学児と<br>その保護者        | 5名        | 田口直子                     | 幼児保育学科                  |
| 7月5日  | 帝京科学大学presents<br>「知っておくと嬉しい漢字豆知識」            | 小学校で習う漢字の基礎知識、正しく整った文字<br>を書くために必要な知識や練習などを知りなが<br>ら、漢字の知識を増やす | ギャラクシティ                                                             | 大人                    | 10名       | 鍋持勉                      | 幼児保育学科                  |
| 7月7日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 精神科グループホームへの訪問、交流                                              | 社会福祉法人                                                              | 入居者                   | 千2名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 7月7日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                                            | 社会福祉法人                                                              | 入居者                   | 千3名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 7月7日  | 開田小学校との打ち合わせ                                  | 生物多様性連携協定を結んでいる木曽町と今年<br>度の環境教育に関する事前打ち合わせを行っ<br>た。            | 木曽町<br>長野県                                                          |                       |           | 江田慧子                     | 学校教育学科                  |
| 7月8日  | カレー甲子園                                        | 学生が創作カレーを調理・提供し、地域住民をは<br>じめ連携活動先の方と交流をもつ                      | 足立区役所<br>足立区社会福祉<br>協議会<br>千住地域町内会<br>自治会<br>商店街<br>社会福祉法人<br>NPO法人 | 来場者                   | 千40名      | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 7月11日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 精神科グループホームへの訪問、交流                                              | 社会福祉法人                                                              | 入居者                   | 千4名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 7月11日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                             | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                                            | なし                                                                  | 来場者                   | 千6名       | 医療福祉学科<br>教員             | 医療福祉学科                  |
| 7月12日 | 帝京科学大学presents<br>「絵本のミニ講座とスタンプ遊び」            | 絵本のミニ講座と、スタンプ遊び                                                | ギャラクシティ                                                             | 未就学児と<br>その保護者<br>10組 | 9名        | 新家智子                     | 幼児保育学科                  |
| 7月12日 | 帝京科学大学presents<br>「魚つり大会」                     | いろんな材料でできた魚をボートの上からつる魚<br>つり大会                                 | ギャラクシティ                                                             | 未就学児と<br>その保護者        | 9名        | 上田玲子<br>旦直子              | 幼児保育学科                  |

| 月日    | 活動名                               | 活動内容                                                         | 連携機関                      | 対象者数                | 参加<br>学生数                | 担当教員                  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)        |
|-------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------|---------------------------|---------------------|--------------------------|-----------------------|----------------------------|
| 7月12日 | 帝京科学大学presents<br>「カブラであそぼう！」     | 「カブラ」を使って大学生と一緒に楽しく遊ぶ                                        | ギャラクシティ                   | 3歳～<br>小学生          | 5名                       | 木場有紀                  | 幼児保育学科                     |
| 7月14日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 住民との交流、レクリエーションの実施                                           | 千住地域公営団地<br>自治会           | 利用者                 | 千7名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 7月14日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 精神科グループホームへの訪問、交流                                            | 社会福祉法人                    | 入居者                 | 千2名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 7月14日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                                          | なし                        | 来場者                 | 千6名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 7月14日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                                          | 社会福祉法人                    | 入居者                 | 千3名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 7月18日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 住民との交流、レクリエーションの実施                                           | 千住地域公営団地<br>自治会           | 利用者                 | 千6名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 7月21日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 精神科グループホームへの訪問、交流                                            | 社会福祉法人                    | 入居者                 | 千2名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 7月21日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                                          | なし                        | 来場者                 | 千6名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 7月21日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                                          | 社会福祉法人                    | 入居者                 | 千3名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 7月22日 | 夢の体験教室                            | 足立区小学校5,6年生を対象に学校教育学科が<br>学外講座を開講                            | 足立区教育委員会                  | 210名                | 学校教育学科<br>1年生全員<br>2年生数名 | 学校教育学科<br>教員          | 学校教育学科                     |
| 7月26日 | 帝京科学大学presents<br>「気になる子どもの子育て支援」 | 育ちが心配な幼児の保護者の相談会を実施                                          | ギャラクシティ                   | 親子5組                | 11名                      | 呂曉彤<br>林友子            | 幼児保育学科                     |
| 7月28日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 住民との交流、レクリエーションの実施                                           | 千住地域公営団地<br>自治会           | 利用者                 | 千7名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 7月31日 | せんじゅカフェ(認知症カフェ)                   | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専<br>門職などが自由に交流できる場の提供                  | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町 | 地域住民<br>20名         |                          | 定村美紀子<br>糸井和佳<br>吉岡幸子 | 看護学科                       |
| 8月4日  | 自然体験キャンプ事前打ち合わせ                   | 8/9-8/11に行われる長野県での自然体験キャン<br>プに関して学生たちとスタッフと事前打ち合わせ<br>を行った。 | 長野県                       |                     | 2年生5名                    | 江田慧子                  | 学校教育学科                     |
| 8月9日  | 自然体験キャンプの実施                       | 自然体験キャンプを行った。                                                | 長野県                       | 小学生<br>18名          | 2年生5名                    | 江田慧子                  | 学校教育学科                     |
| 8月21日 | 昆虫ワークショップの開催                      | 足立区との連携事業でギャラクシティで2回イベ<br>ントを行った。                            | 足立区                       | 来場者                 | 4年生2名                    | 江田慧子                  | 学校教育学科                     |
| 8月25日 | 林業大学校グレードアップ委員会                   | 長野県林業大学校グレードアップ委員会                                           | 長野県                       |                     |                          | 江田慧子                  | 学校教育学科                     |
| 8月28日 | せんじゅカフェ(認知症カフェ)                   | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専<br>門職などが自由に交流できる場の提供                  | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町 | 地域住民<br>20名         | 看護学科<br>学生8名             | 定村美紀子<br>糸井和佳<br>吉岡幸子 | 看護学科                       |
| 9月4日  | 東綾瀬公園事業打ち合わせ                      | オフスクールの実施についてSAT学生、<br>教員と公園側で打ち合わせを行った。                     | 株式会社アメニス                  |                     | 2年生1名                    | 江田慧子                  | 学校教育学科                     |
| 9月9日  | 足立区犬の飼い方教室                        | 犬を飼育している市民向けの講座としてしつけや<br>マナートレーニングについての講義                   | 足立保健所<br>生活衛生課            | 一般の方<br>向け          | なし                       | 柳澤綾                   | アニマル<br>サイエンス学科<br>(千住)    |
| 9月11日 | せんじゅカフェ(認知症カフェ)                   | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専<br>門職などが自由に交流できる場の提供                  | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町 | 地域住民<br>20名         | 看護学科<br>学生8名             | 定村美紀子<br>糸井和佳<br>吉岡幸子 | 看護学科                       |
| 9月16日 | TEIKA English Day in Senju        | 3歳から小学校2年生までを対象に英語のゲーム<br>や歌などを実施                            |                           | 80名                 | 23名                      | 馬場千秋                  | 学校教育学科<br>幼児保育学科<br>児童教育学科 |
| 9月22日 | 足立区理科安全教育研修会                      | 足立区内の小中学校で理科を担当する教員に<br>対しての理科教育研修会                          | 足立区教育委員会                  | 45名                 | 2名                       | 小池守                   | 学校教育学科                     |
| 9月26日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 精神科グループホームへの訪問、交流                                            | 社会福祉法人                    | 入居者                 | 千4名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 9月29日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 精神科グループホームへの訪問、交流                                            | 社会福祉法人                    | 入居者                 | 千2名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 9月29日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 地域包括支援センターでのレクリエーションの実<br>施                                  | 社会福祉法人                    | 利用者                 | 千4名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 9月29日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                                          | 社会福祉法人                    | 入居者                 | 千3名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 10月1日 | ペット同行避難訓練                         | 一般の避難訓練に並行してペット同行の避難訓<br>練を実施                                | 千住桜木二丁目<br>町会             | 千住桜木<br>二丁目<br>町内会員 | 3名                       | 山本和弘<br>川村和美          | アニマル<br>サイエンス学科<br>(千住)    |
| 10月3日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 精神科グループホームへの訪問、交流                                            | 社会福祉法人                    | 入居者                 | 千4名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 10月6日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 住民との交流、レクリエーションの実施                                           | 千住地域公営団地<br>自治会           | 利用者                 | 千7名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |
| 10月6日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                 | 精神科グループホームへの訪問、交流                                            | 社会福祉法人                    | 入居者                 | 千2名                      | 医療福祉学科<br>教員          | 医療福祉学科                     |

| 月日     | 活動名                                         | 活動内容                                             | 連携機関                                 | 対象者数         | 参加<br>学生数                    | 担当教員          | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)     |
|--------|---------------------------------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------|--------------|------------------------------|---------------|-------------------------|
| 10月6日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                              | なし                                   | 来場者          | 千6名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月6日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                              | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千3名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月7日  | 足立区猫の飼い方教室                                  | 猫の飼い方について講演                                      | 足立保健所<br>生活衛生課                       | 一般の方<br>向け   | 5名<br>(1年1名<br>3年3名<br>4年1名) | 小野寺温          | アニマル<br>サイエンス学科<br>(千住) |
| 10月8日  | 自然体験キャンプの成果発表会                              | 8月に行った自然体験キャンプの成果を一般の人に公開した。                     | 長野県                                  | 来場者          |                              | 江田慧子          | 学校教育学科                  |
| 10月10日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 住民との交流、レクリエーションの実施                               | 千住地域公営団地<br>自治会                      | 利用者          | 千6名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月10日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                              | なし                                   | 来場者          | 千6名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月13日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                              | なし                                   | 来場者          | 千6名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月13日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                              | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千3名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月14日 | 薬と健康フェア                                     | 薬物乱用防止キャンペーン                                     | 足立区薬剤師会                              | 足立区民         | 研究生1名                        | 小島尚           | 生命科学科                   |
| 10月15日 | 第46回タートルマラソン国際大会兼第20回記念<br>パリアフリータートルマラソン大会 | 受付・情報収集係と搬送係                                     | 公益社団法人<br>日本タートル協会                   | 出場者<br>7677名 | 23名                          | 大石徹           | 東京柔道整復学科                |
| 10月17日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 精神科グループホームへの訪問、交流                                | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千4名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月20日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 住民との交流、レクリエーションの実施                               | 千住地域公営団地<br>自治会                      | 利用者          | 千7名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月20日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 精神科グループホームへの訪問、交流                                | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千2名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月20日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                              | なし                                   | 来場者          | 千6名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月20日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                              | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千3名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月23日 | せんじゅカフェ(認知症カフェ)                             | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専門職などが自由に交流できる場の提供          | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町<br>足立区薬剤師会 | 地域住民<br>20名  | 薬学科<br>学生2名                  | 定村美紀子         | 看護学科                    |
| 10月24日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 精神科グループホームへの訪問、交流                                | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千4名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月24日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                              | なし                                   | 来場者          | 千6名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 10月28日 | 岳間のすすめ                                      | 読売新聞との連携事業「岳間のすすめ」を本学で開催し講演を行った。                 | 読売新聞<br>信州大学                         | 30名          |                              | 江田慧子          | 学校教育学科                  |
| 10月31日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 住民との交流、レクリエーションの実施                               | 千住地域公営団地<br>自治会                      | 利用者          | 千6名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月4日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 精神科グループホーム住民とのバーベキュー大会                           | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千2名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月7日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 精神科グループホームへの訪問、交流                                | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千4名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月10日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 精神科グループホームへの訪問、交流                                | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千2名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月10日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                              | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千3名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月10日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                              | なし                                   | 来場者          | 千6名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月10日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 住民との交流、レクリエーションの実施                               | 千住地域公営団地<br>自治会                      | 利用者          | 千7名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月10日 | 蝶の標本に関する相談                                  | 上野原市在住の人が蝶の標本コレクションの寄贈に関する相談が佐渡友先生からあり、標本を見に行った。 | 上野原市                                 |              |                              | 江田慧子          | 学校教育学科                  |
| 11月11日 | 女性フェスティバル2017あだち                            | わくわく子ども広場を実施(体育館の半分を使い様々な遊びコーナーを設置)              | 足立区女性団体<br>連合会<br>足立区                | 親子60組        | 7名                           | 林友子           | 幼児保育学科                  |
| 11月14日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 精神科グループホームへの訪問、交流                                | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千4名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月14日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                              | なし                                   | 来場者          | 千6名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月14日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 住民との交流、レクリエーションの実施                               | 千住地域公営団地<br>自治会                      | 利用者          | 千6名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月16日 | 愛犬の健康診断(体脂肪測定)                              | 犬の体脂肪を測定し栄養相談を実施                                 | NEXCO中日本                             | 来客者          | 学生7名                         | 大辻一也<br>小泉亜希子 | アニマル<br>サイエンス学科<br>(千住) |
| 11月17日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動                           | 精神科グループホームへの訪問、交流                                | 社会福祉法人                               | 入居者          | 千2名                          | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |

| 月日     | 活動名               | 活動内容                                           | 連携機関                      | 対象者数                                       | 参加<br>学生数                       | 担当教員          | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)     |
|--------|-------------------|------------------------------------------------|---------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------|---------------|-------------------------|
| 11月17日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                            | 社会福祉法人                    | 入居者                                        | 千3名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月22日 | 平成29年度第1回保健衛生研修会  | 服薬支援者のための地域・在宅における後発医薬品の活用と医薬品適正使用             | 神奈川県<br>茅ヶ崎市保健所           | 薬剤師<br>20名<br>その他<br>(ケアマネ、<br>看護師等)<br>8名 | なし                              | 小島 尚          | 生命科学科                   |
| 11月24日 | 足立区犬猫の飼い方教室       | 老犬老猫の飼い方、ケアの方法について講演                           | 足立保健所<br>生活衛生課            | 一般の方<br>向け                                 |                                 | 宮田 拓馬         | アニマル<br>サイエンス学科<br>(千住) |
| 11月24日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 精神科グループホームへの訪問、交流                              | 社会福祉法人                    | 入居者                                        | 千2名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月24日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                            | 社会福祉法人                    | 入居者                                        | 千3名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月24日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                            | なし                        | 来場者                                        | 千6名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月24日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 地域包括支援センターでのレクリエーションの実施                        | 社会福祉法人                    | 利用者                                        | 千4名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月27日 | せんじゅカフェ(認知症カフェ)   | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専門職などが自由に交流できる場の提供        | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町 | 地域住民<br>20名                                | 看護学科<br>学生5名                    | 定村美紀子<br>糸井和佳 | 看護学科                    |
| 11月28日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 精神科グループホームへの訪問、交流                              | 社会福祉法人                    | 入居者                                        | 千4名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月28日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                            | なし                        | 来場者                                        | 千6名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 11月28日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 住民との交流、レクリエーションの実施                             | 千住地域公営団地<br>自治会           | 利用者                                        | 千6名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月1日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 住民との交流、レクリエーションの実施                             | 千住地域公営団地<br>自治会           | 2年45名                                      | 千7名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月1日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                            | 社会福祉法人                    | 2年45名                                      | 千6名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月2日  | ミヤマシジミ研究会シンポジウム開催 | 平成29年度ミヤマシジミ研究会シンポジウムを大芝高原研修室にて行った。            | ミヤマシジミ研究会                 |                                            |                                 | 江田 慧子         | 学校教育学科                  |
| 12月5日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 精神科グループホームへの訪問、交流                              | 社会福祉法人                    | 2年45名                                      | 千4名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月5日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                            | なし                        | 2年45名                                      | 千6名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月8日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 地域包括支援センターでのレクリエーションの実施                        | 社会福祉法人                    | 2年45名                                      | 千4名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月8日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                            | 社会福祉法人                    | 2年45名                                      | 千6名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月9日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 住区センターでのクリスマス会に参加、交流                           | 足立区役所                     | 2年45名                                      | 千4名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月9日  | のびのびブレイディ         | 帝京科学大学に2歳以上の未就学児と保護者を募り、学生が企画・運営した遊びを一緒に行うイベント | 足立区教育委員会                  | 親子<br>484名                                 | 幼児保育学科<br>1年生全員<br>及び<br>2年生15名 | 幼児保育学科<br>全教員 | 幼児保育学科                  |
| 12月12日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 住民との交流、レクリエーションの実施                             | 千住地域公営団地<br>自治会           | 2年45名                                      | 千6名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月13日 | オフスクールパークの話し合い    | アフスクールパーク管理者のアメニスとSAT、大日向先生と江田で打ち合わせを行った。      | アメニス                      | 2年生1名                                      |                                 | 江田 慧子         | 学校教育学科                  |
| 12月15日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 精神科グループホームへの訪問、交流                              | 社会福祉法人                    | 2年45名                                      | 千2名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月15日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 住民との交流、レクリエーションの実施                             | 千住地域公営団地<br>自治会           | 2年45名                                      | 千7名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月15日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                            | 社会福祉法人                    | 2年45名                                      | 千6名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月18日 | せんじゅカフェ(認知症カフェ)   | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専門職などが自由に交流できる場の提供        | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町 | 地域住民<br>20名                                | 看護学科<br>学生5名                    | 定村美紀子<br>糸井和佳 | 看護学科                    |
| 12月19日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                            | なし                        | 2年45名                                      | 千6名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月22日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 精神科グループホームへの訪問、交流                              | 社会福祉法人                    | 2年45名                                      | 千2名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月22日 | 地域連携を中心としたゼミナール活動 | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                            | 社会福祉法人                    | 2年45名                                      | 千6名                             | 医療福祉学科<br>教員  | 医療福祉学科                  |
| 12月22日 | 林大グレードアップ推進会議への参加 | 木曽林業大学校のグレードアップ推進会議の委員のため、会議に参加した。             | 長野県                       |                                            |                                 | 江田 慧子         | 学校教育学科                  |

| 月日     | 活動名                        | 活動内容                                                                                                         | 連携機関                                                                                                         | 対象者数                                             | 参加<br>学生数     | 担当教員                                              | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)        |
|--------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------|----------------------------|
| 12月23日 | 第8回足立フレンドリーマラソン            | マラソン後のランナーのコンディショニングを行う<br>コンディショニングブースを開設                                                                   | 足立区陸上競技<br>協会<br>足立フレンドリー<br>マラソン事務局                                                                         | 436名                                             | 62名           | 清田淳<br>杉山渉<br>二神弘子<br>佐藤勉<br>登本茂芳<br>畑山元政<br>浅木健治 | 東京柔道整復学科                   |
| 1月9日   | 地域連携を中心としたゼミナール活動          | 住民との交流、レクリエーションの実施                                                                                           | 千住地域公営団地<br>自治会                                                                                              | 2年45名                                            | 千6名           | 医療福祉学科<br>教員                                      | 医療福祉学科                     |
| 1月12日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動          | 地域包括支援センターでのレクリエーションの実<br>施                                                                                  | 社会福祉法人                                                                                                       | 2年45名                                            | 千4名           | 医療福祉学科<br>教員                                      | 医療福祉学科                     |
| 1月12日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動          | 住民との交流、レクリエーションの実施                                                                                           | 千住地域公営団地<br>自治会                                                                                              | 2年45名                                            | 千7名           | 医療福祉学科<br>教員                                      | 医療福祉学科                     |
| 1月12日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動          | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                                                                                          | 社会福祉法人                                                                                                       | 2年45名                                            | 千6名           | 医療福祉学科<br>教員                                      | 医療福祉学科                     |
| 1月12日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動          | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                                                                                          | なし                                                                                                           | 2年45名                                            | 千6名           | 医療福祉学科<br>教員                                      | 医療福祉学科                     |
| 1月16日  | CASIOとの連携会議                | CASIOでの時計のコラボ依頼があり会議に参加<br>した。                                                                               | 日本自然保護協会                                                                                                     |                                                  |               | 江田慧子                                              | 学校教育学科                     |
| 1月19日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動          | 高齢者グループホームへの訪問、活動支援                                                                                          | 社会福祉法人                                                                                                       | 2年45名                                            | 千6名           | 医療福祉学科<br>教員                                      | 医療福祉学科                     |
| 1月19日  | 地域連携を中心としたゼミナール活動          | 映画鑑賞会の実施、千住地域住民との交流                                                                                          | なし                                                                                                           | 2年45名                                            | 千6名           | 医療福祉学科<br>教員                                      | 医療福祉学科                     |
| 1月20日  | 信濃毎日新聞新春会への参加              | 信毎選賞受賞者のため、新春会に呼ばれ参加し<br>た。                                                                                  | 信濃毎日新聞                                                                                                       |                                                  |               | 江田慧子                                              | 学校教育学科                     |
| 1月20日  | 里モニ全国報告会の実施                | 環境省プロジェクトのモニタリングサイト1000里山<br>の全国報告会を江田がホストになり、大学で実<br>施した。また基調講演を行った。                                        | 環境省<br>日本自然保護協会                                                                                              | 一般150人                                           |               | 江田慧子                                              | 学校教育学科                     |
| 1月22日  | せんじゅカフェ（認知症カフェ）            | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専<br>門職などが自由に交流できる場の提供                                                                  | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町                                                                                    | 地域住民<br>20名                                      | 看護学科<br>学生5名  | 定村美紀子<br>糸井和佳                                     | 看護学科                       |
| 2月3日   | 江北小学校 出張English Day        | 小学校1年生を対象に英語のゲームや歌などを<br>実施                                                                                  | 足立区立江北小学<br>校PTA                                                                                             | 32名                                              | 5名            | 馬場千秋                                              | 学校教育学科<br>幼児保育学科<br>児童教育学科 |
| 2月9日   | 地域連携を中心としたゼミナール活動          | 調理を通した住民との交流                                                                                                 | 社会福祉法人                                                                                                       | 2年45名                                            | 千6名           | 医療福祉学科<br>教員                                      | 医療福祉学科                     |
| 2月9日   | 地域連携を中心としたゼミナール活動          | 精神科グループホーム居住者との交流会                                                                                           | 社会福祉法人                                                                                                       | 2年45名                                            | 千8名           | 医療福祉学科<br>教員                                      | 医療福祉学科                     |
| 2月9日   | 日本自然保護協会との<br>研究・活動打ち合わせ   | 日本自然保護協会と来年度の研究打ち合わせと<br>活動の打ち合わせを行った。                                                                       | 日本自然保護協会                                                                                                     |                                                  |               | 江田慧子                                              | 学校教育学科                     |
| 2月23日  | CASIOとの連携会議                | CASIOでの時計のコラボ依頼があり会議に参加<br>した。                                                                               | 日本自然保護協会                                                                                                     |                                                  |               | 江田慧子                                              | 学校教育学科                     |
| 2月24日  | 荒川区猫の飼い方教室                 | 猫の飼い方について講演                                                                                                  | 荒川区保健所<br>生活衛生課                                                                                              | 1年1名<br>3年3名<br>4年1名                             | 5名            |                                                   | アニマル<br>サイエンス学科<br>(千住)    |
| 2月24日  | TEIKA English Day in Senju | 3歳から小学校2年生までを対象に英語のゲーム<br>や歌などを実施                                                                            |                                                                                                              | 80名<br>(予定)                                      | 28名           | 馬場千秋                                              | 学校教育学科<br>幼児保育学科<br>児童教育学科 |
| 2月26日  | せんじゅカフェ（認知症カフェ）            | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専<br>門職などが自由に交流できる場の提供                                                                  | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町                                                                                    | 地域住民<br>20名                                      | 看護学科<br>学生5名  | 定村美紀子<br>糸井和佳                                     | 看護学科                       |
| 3月9日   | 地域連携を中心としたゼミナール活動          | 調理を通した住民との交流                                                                                                 | 社会福祉法人                                                                                                       | 2年45名                                            | 千3名           | 医療福祉学科<br>教員                                      | 医療福祉学科                     |
| 3月18日  | 健康フェスタinせんじゅ               | 地域包括ケア、多職種連携活動、医師の講話な<br>ど専門職による健康教育、健康測定、健康相<br>談、介護相談、栄養相談、お薬相談、アロママ<br>ッサージ、フラワーアレンジメント、アニマルセラ<br>ピー、研究発表 | 大内病院<br>(東京都認知症<br>疾患医療センター)<br>足立区薬剤師会<br>茨城県立医療大学<br>足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町千住西<br>アロマサロンGreen<br>Shower | 地域住民<br>100名<br>足立区<br>近隣の<br>保健医療<br>福祉の<br>専門職 | 看護学科<br>学生5名他 | 定村美紀子<br>糸井和佳<br>佐藤亜月子                            | 看護学科                       |
| 3月21日  | 足立区民向けの公開講座                | 猫の行動学についての講演                                                                                                 | 足立区生涯学習<br>センター                                                                                              |                                                  |               |                                                   |                            |
| 3月26日  | せんじゅカフェ（認知症カフェ）            | 認知症をもつ人やその家族、学生、地域住民、専<br>門職などが自由に交流できる場の提供                                                                  | 足立区地域包括<br>支援センター<br>千住本町                                                                                    | 地域住民<br>20名                                      | 看護学科<br>学生5名  | 定村美紀子<br>糸井和佳                                     | 看護学科                       |

## 平成29年度地域連携活動記録表(教員):東京西キャンパス

| 月日    | 活動名                           | 活動内容                                                                       | 連携機関                       | 対象者数                          | 参加<br>学生数   | 担当教員         | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)                             |
|-------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------|-------------------------------|-------------|--------------|-------------------------------------------------|
| 4月1日  | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援              | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                    | NPO法人EPO                   | 5名                            |             | 石井孝弘         | 作業療学科                                           |
| 4月4日  | 桂川フェスティバル第6回実行委員会             | 第3回桂川フェスティバルの企画会議                                                          | 鄙の会                        | 鄙の会会員<br>20名                  | 3名          | 花園誠          | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科<br>生命科学学科              |
| 4月8日  | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援              | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                    | NPO法人EPO                   | 5名                            |             | 石井孝弘         | 作業療学科                                           |
| 4月10日 | 地域活性化プロジェクト                   | 談合坂SA周辺整備事業の会議                                                             | 北都留森林組合                    | 2名                            |             | 花園誠          | こども学科                                           |
| 4月11日 | 桂川フェスティバル第7回実行委員会             | 第3回桂川フェスティバルの企画会議                                                          | 鄙の会                        | 鄙の会会員<br>20名                  | 6名          | 花園誠          | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科<br>生命科学学科<br>東京理療療学科   |
| 4月14日 | 地域活性化プロジェクト                   | 談合坂SA周辺整備事業の会議                                                             | 三井総合<br>コンサルティング<br>上野原市役所 | 2名                            |             | 花園誠          | こども学科                                           |
| 4月15日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援              | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                    | NPO法人EPO                   | 5名                            |             | 石井孝弘         | 作業療学科                                           |
| 4月16日 | ふれあいの日                        | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(にんじん)。                                                | 上野原市                       | 63名                           | 14名         | 喜久村徳淑        | うまセンター                                          |
| 4月18日 | 子育て支援活動(第199回)                | 「子育てプレイ広場」の企画、実施を通して、子育てにかかわる親同士のコミュニケーションを支援するとともに、子どもたちが楽しく遊べる時間と場所を提供する |                            |                               |             | 木村龍平         | こども学科                                           |
| 4月18日 | 動物ふれあい教室                      | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                                           | 帝京めぐみ幼稚園                   | 150名                          | 30名         | 花園誠          | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科                        |
| 4月22日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援              | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                    | NPO法人EPO                   | 5名                            |             | 石井孝弘         | 作業療学科                                           |
| 4月22日 | 動物ふれあい教室                      | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                                           | 足立区教育委員会                   | 45名                           | 千4名<br>上38名 | 青木直樹<br>花園誠  | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科                        |
| 4月25日 | 桂川フェスティバル第9回実行委員会             | 第3回桂川フェスティバルの企画会議                                                          | 鄙の会                        | 鄙の会会員<br>20名                  | 4名          | 花園誠          | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科<br>生命科学学科              |
| 4月27日 | 長野市教育委員会「3年次研修」講師             | スクール・コンプライアンスに関する講演                                                        | 長野市教育委員会                   | 長野市内の<br>初任3年目の<br>小中学校<br>教員 |             | 山田知代         | こども学科                                           |
| 4月27日 | 特別支援ケース会議                     | 幼稚園に在籍する特別な支援を要する幼児について、幼稚園と教員がネット(FaceTime)を介してケース会議を行う                   | 学校法人<br>リズム学園<br>恵庭幼稚園     |                               |             | 吉川和幸         | こども学科                                           |
| 4月28日 | 特別支援教室巡回相談                    | 小学校の特別支援教室を訪問し、在籍児童の観察及び教員への助言を行う                                          | 東京都教育委員会                   |                               |             | 吉川和幸         | こども学科                                           |
| 4月30日 | 教員の社会貢献プロジェクト<br>「地域の清掃・ゴミ拾い」 | 秋山の県道沿いの不法投棄粗大ごみの回収                                                        | 秋山青年会                      | 30名                           | 8名          | 青木直樹<br>花園誠  | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科                        |
| 5月3日  | NHK「渋谷DEどーも2017」              | 動物ふれあい、ドッグショー、一般来場者向けの大学紹介ほか                                               | NHK                        | 20184名<br>(イベント<br>来場者)       | 36名         | 榊原健太郎<br>花園誠 | アニマル<br>サイエンス学科<br>こども学科 AAE<br>ドッグトレーナー<br>研究部 |
| 5月4日  | NHK「渋谷DEどーも2018」              | 動物ふれあい、ドッグショー、一般来場者向けの大学紹介ほか                                               | NHK                        | 24388名<br>(イベント<br>来場者)       | 31名         | 榊原健太郎<br>花園誠 | アニマル<br>サイエンス学科<br>こども学科 AAE<br>ドッグトレーナー<br>研究部 |
| 5月6日  | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援              | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                    | NPO法人EPO                   | 5名                            |             | 石井孝弘         | 作業療学科                                           |
| 5月9日  | 子育て支援活動(第200回)                | 「コミュニティワーク演習Ⅰ」の体験活動                                                        |                            | 0                             | 4名          | 木村龍平         | こども学科                                           |
| 5月9日  | 特別支援教室巡回相談                    | 小学校の特別支援教室を訪問し、在籍児童の観察及び教員への助言を行う                                          | 東京都教育委員会                   |                               |             | 吉川和幸         | こども学科                                           |
| 5月11日 | 授業/保育体験活動                     | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅰ」「こども文化教育演習Ⅰ」の学外体験活動。                                       | 上野原市(一部)                   | 対象学級<br>全児童<br>全園児            | 38名         | 木村龍平         | こども学科                                           |

| 月日    | 活動名                                    | 活動内容                                                                                   | 連携機関                                                                 | 対象者数                         | 参加<br>学生数   | 担当教員                  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)      |
|-------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------------|-----------------------|--------------------------|
| 5月12日 | 国際生物多様性の日<br>「生物多様性と<br>持続可能な観光シンポジウム」 | 国際生物多様性の日「生物多様性と持続可能な<br>観光シンポジウム」運営およびパネリスト                                           | 環境省<br>日本インタープリ<br>テーション協会<br>国連大学<br>サステナビリティ<br>高等研究所<br>(UNU-IAS) | 120名                         | 3名          | 古瀬浩史                  | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 5月13日 | 山梨県私立幼稚園教職員研究会<br>(東部地区)               | 山梨県東部地区の私立幼稚園教諭の研究会に<br>こども学科教員が助言者として参加する                                             | 山梨県私学教育<br>研究会<br>幼稚園部会                                              | 幼稚園教諭<br>約80名                |             | 大槻千秋<br>吉川和幸<br>鳥越ゆい子 | こども学科                    |
| 5月13日 | 児童デイサービスボランティア活動                       | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。                                                 | 社会福祉法人<br>宝山寮                                                        | 利用児童の<br>人数                  | 上3年4名       | 吉川和幸                  | こども学科                    |
| 5月13日 | 動物ふれあい教室                               | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                                                       | 足立区教育委員会                                                             | 104名                         | 千6名<br>上35名 | 青木直樹<br>花園誠           | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科 |
| 5月13日 | 動物ふれあい教室                               | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                                                       | 足立区教育委員会                                                             | 85名                          | 千4名<br>上33名 | 青木直樹<br>花園誠           | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科 |
| 5月14日 | ふれあいの日                                 | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(に<br>んじん)。                                                        | 上野原市                                                                 | 40名                          | 17名         | 喜久村徳淑                 | うまセンター                   |
| 5月14日 | 桂川フェスティバル                              | 「コミュニティーワーク演習Ⅰ」の体験活動として<br>「ロボット」ブース出展                                                 | 上野原ライオンズ<br>クラブ                                                      | 概数1万名                        | 2年4名        | 木村龍平                  | こども学科                    |
| 5月15日 | 猿橋小学校遠足                                | 馬とのふれあい、お世話体験、餌あげ(にんじ<br>ん)。                                                           | 猿橋小学校                                                                | 53名                          | 21名         | 喜久村徳淑                 | うまセンター                   |
| 5月16日 | 七生特別支援学校 発達支援                          | 児童の評価と教員への指導                                                                           | 東京都                                                                  | 3名                           |             | 石井孝弘                  | 作業療法学科                   |
| 5月16日 | 子育て支援活動(第201回)                         | 「子育てプレイ広場」の企画、実施を通して、子育<br>てにかかわる親同士のコミュニケーションを支援<br>するとともに、子どもたちが楽しく遊べる時間と場<br>所を提供する |                                                                      | 0                            |             | 木村龍平                  | こども学科                    |
| 5月16日 | 学習支援活動(第63回)                           | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活動。<br>「保育教職実践演習」の学外ワーク                                             | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会                                          | 14名                          | 4年7名        | 木村龍平                  | こども学科                    |
| 5月16日 | 甲府市教育委員会<br>「平成29年度 第1回総合教育研修講座」<br>講師 | 甲府市立小中学校管理職を対象とした、学校運<br>営と教育法規・教育裁判の動向に関する講演                                          | 甲府市教育委員会                                                             | 甲府市立<br>小中学校<br>管理職等<br>約40名 |             | 山田知代                  | こども学科                    |
| 5月17日 | 山梨感覚統合勉強会                              | 山梨県内近隣県内の教員保育士等への感覚統<br>合理論理解                                                          | 甲府支援学校                                                               | 50名                          |             | 石井孝弘                  | 作業療法学科                   |
| 5月18日 | 授業/保育体験活動                              | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅰ」「こども文化<br>教育演習Ⅰ」の学外体験活動。                                               | 上野原市(一部)                                                             | 対象学級<br>全児童<br>全園児           | 48名         | 木村龍平                  | こども学科                    |
| 5月19日 | 鳥沢小学校遠足                                | 馬とのふれあい、お世話体験、曳馬による乗馬、<br>餌あげ(にんじん)。                                                   | 鳥沢小学校                                                                | 16名                          | 11名         | 喜久村徳淑                 | うまセンター                   |
| 5月19日 | 保育園専門家相談                               | 保育園児の評価とアセスメント                                                                         | 東京都港区                                                                | 6名                           |             | 石井孝弘                  | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 5月20日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援                       | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、ス<br>タッフへの障がい理解と実施方法の指導                                            | NPO法人EPO                                                             | 5名                           |             | 石井孝弘                  | 作業療法学科                   |
| 5月20日 | 児童デイサービスボランティア活動                       | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。                                                 | 社会福祉法人<br>宝山寮                                                        | 利用児童の<br>人数                  | 上3年4名       | 吉川和幸                  | こども学科                    |
| 5月22日 | インタープリテーションセミナー講師                      | ダイビング関係者を対象にしたインタープリテ<br>ーションのセミナー                                                     | NPO法人<br>日本安全潜水教育<br>協会                                              | 25名                          |             | 古瀬浩史                  | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 5月23日 | 学習支援活動(第64回)                           | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活動。<br>「保育教職実践演習」の学外ワーク                                             | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会                                          | 16名                          | 4年7名        | 木村龍平                  | こども学科                    |
| 5月24日 | 特別支援教室巡回相談                             | 小学校の特別支援教室を訪問し、在籍児童の観<br>察及び教員への助言を行う                                                  | 東京都教育委員会                                                             |                              |             | 吉川和幸                  | こども学科                    |
| 5月26日 | 保育園専門家相談                               | 保育園児の評価とアセスメント                                                                         | 東京都港区                                                                | 6名                           |             | 石井孝弘                  | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 5月27日 | 医療機関の障害児乗馬活動支援                         | 障害児乗馬活動支援                                                                              | 都内病院                                                                 | 6名                           | 2名          | 石井孝弘                  | 作業療法学科                   |
| 5月27日 | 医療機関の障害児乗馬活動支援                         | 障害児乗馬活動支援                                                                              | 都内病院                                                                 | 6名                           | 2名          | 石井孝弘                  | 作業療法学科                   |
| 5月28日 | 障害者支援施設イベントボランティア                      | 障害者支援施設での行事の運営サポート、利用<br>者支援                                                           | 社会福祉法人<br>さつきの会<br>藤野さつき学園                                           | 入所者の<br>人数                   | 上3年6名       | 吉川和幸                  | こども学科                    |
| 5月30日 | 学習支援活動(第65回)                           | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活動。<br>「保育教職実践演習」の学外ワーク                                             | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会                                          | 14名                          | 4年6名        | 木村龍平                  | こども学科                    |
| 5月31日 | Googleの地図情報ツール ワークショップ                 | Googleの地図情報ツールに関するワークショップ<br>でのゲストスピーカー                                                | Google Earth<br>Outreach                                             | 15名                          |             | 古瀬浩史                  | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |

| 月日    | 活動名                                  | 活動内容                                                  | 連携機関                                          | 対象者数                                                                | 参加<br>学生数                    | 担当教員        | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)      |
|-------|--------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------------|--------------------------|
| 6月1日  | 授業/保育体験活動                            | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅰ」「こども文化教育演習Ⅰ」の学外体験活動。                  | 上野原市(一部)                                      | 対象学級<br>全児童<br>全園児                                                  | 1年48                         | 木村龍平        | こども学科                    |
| 6月2日  | 保育園専門家相談                             | 保育園児の評価とアセスメント                                        | 東京都港区                                         | 6名                                                                  |                              | 石井孝弘        | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 6月2日  | 群馬県教育委員会<br>「平成29年度新任生徒指導主事研修」<br>講師 | 群馬県下の新任生徒指導主事を対象とした悉皆研修において、「教育裁判から学ぶ生徒指導と危機対応」について講演 | 群馬県教育委員会                                      | 群馬県下の<br>中学校・<br>高等学校・<br>中等教育<br>学校・特別支援<br>学校の新任生<br>徒指導主事50<br>名 |                              | 山田知代        | こども学科                    |
| 6月3日  | 児童デイサービスボランティア活動                     | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子どもたちの遊びの支援を行う。                    | 社会福祉法人<br>宝山寮                                 | 利用児童の<br>人数                                                         | 上3年2名                        | 吉川和幸        | こども学科                    |
| 6月4日  | ふれあいの日                               | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(にんじん)。                           | 上野原市                                          | 84名                                                                 | 12名                          | 喜久村徳淑       | うまセンター                   |
| 6月6日  | 子育て支援活動(第202回)                       | 第199回と同内容                                             | 上野原市福祉課                                       | 1名                                                                  | 2年4名                         | 木村龍平        | こども学科                    |
| 6月8日  | 授業/保育体験活動                            | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅰ」「こども文化教育演習Ⅰ」の学外体験活動。                  | 上野原市(一部)                                      | 対象学級<br>全児童<br>全園児                                                  | 1年48名                        | 木村龍平        | こども学科                    |
| 6月9日  | 保育園専門家相談                             | 保育園児の評価とアセスメント                                        | 東京都港区                                         | 6名                                                                  |                              | 石井孝弘        | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 6月10日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援                     | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導               | NPO法人EPO                                      | 5名                                                                  |                              | 石井孝弘        | 作業療法学科                   |
| 6月10日 | 児童デイサービスボランティア活動                     | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子どもたちの遊びの支援を行う。                    | 社会福祉法人<br>宝山寮                                 | 利用児童の<br>人数                                                         | 上3年4名                        | 吉川和幸        | こども学科                    |
| 6月10日 | 動物ふれあい教室                             | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                      | 足立区教育委員会                                      | 46名                                                                 | 千3名<br>上35名                  | 青木直樹<br>花園誠 | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科 |
| 6月10日 | 動物ふれあい教室                             | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                      | 足立区教育委員会                                      | 85名                                                                 | 千5名<br>上33名                  | 青木直樹<br>花園誠 | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科 |
| 6月13日 | 子育て支援活動(第203回)                       | 第199回と同内容                                             | 上野原市福祉課                                       | 0                                                                   | 2年4名                         | 木村龍平        | こども学科                    |
| 6月13日 | 学習支援活動(第66回)                         | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活動。「保育教職実践演習」の学外ワーク                | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会                   | 22名                                                                 | 4年3名                         | 木村龍平        | こども学科                    |
| 6月13日 | 造形遊びの実施と観察、検討会                       | 造形遊びの指導と実施、幼稚園教諭との検討会                                 |                                               | 年中児<br>30名<br>幼稚園教諭<br>2名                                           | 上4年4名                        | 大須賀隆子       | こども学科                    |
| 6月15日 | 授業/保育体験活動                            | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅰ」「こども文化教育演習Ⅰ」の学外体験活動。                  | 上野原市(一部)                                      | 対象学級<br>全児童<br>全園児                                                  | 1年48名                        | 木村龍平        | こども学科                    |
| 6月15日 | 保育観察と造形遊びの検討会                        | 年少児の遊びと生活を観察し、幼稚園教諭との打ち合わせ                            |                                               | 年少児<br>20名<br>幼稚園教諭<br>3名                                           | 上4年4名                        | 大須賀隆子       | こども学科                    |
| 6月15日 | 授業/保育体験活動                            | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅰ」「こども文化教育演習Ⅰ」の学外体験活動。                  | 上野原市(一部)                                      | 全園児                                                                 | 1年13名                        | 木村龍平        | こども学科                    |
| 6月16日 | 自立支援協議会支援                            | 子どもの行動理解の勉強会                                          | 静岡県富士宮園域<br>協議会                               | 50名                                                                 |                              | 石井孝弘        | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 6月17日 | 中学校への出張事業                            | 八王子市立由井中学校での海洋教育の授業協力                                 | 八王子市立<br>由井中学校<br>一般社団法人<br>葛西臨海環境教育<br>フォーラム | 100名                                                                | 10名                          | 古瀬浩史        | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 6月17日 | 児童デイサービスボランティア活動                     | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子どもたちの遊びの支援を行う。                    | 社会福祉法人<br>宝山寮                                 | 利用児童の<br>人数                                                         | 上3年3名                        | 吉川和幸        | こども学科                    |
| 6月20日 | まちだ図書館まつり                            |                                                       |                                               |                                                                     |                              | 藤井志帆        | こども学科                    |
| 6月20日 | 学習支援活動(第67回)                         | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活動。「保育教職実践演習」の学外ワーク                | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会                   | 16名                                                                 | 4年7名                         | 木村龍平        | こども学科                    |
| 6月24日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援                     | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導               | NPO法人EPO                                      | 5名                                                                  |                              | 石井孝弘        | 作業療法学科                   |
| 6月24日 | 体育館レク活動                              | 上野原市内及び大月市内の児童デイサービス事業所の利用児童を対象に、体育館での運動遊びの提供を行う。     | 社会福祉法人<br>宝山寮                                 | 利用児童<br>14名                                                         | 上4年6名<br>上3年14名              | 吉川和幸        | こども学科                    |
| 6月24日 | 授業/園行事体験活動                           | 「コミュニケーション演習Ⅰ」の体験活動                                   |                                               | 全園児                                                                 | 1年2名<br>2年5名<br>3年5名<br>4年1名 | 木村龍平        | こども学科                    |

| 月日    | 活動名                            | 活動内容                                                      | 連携機関                        | 対象者数               | 参加<br>学生数     | 担当教員          | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)      |
|-------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------|--------------------|---------------|---------------|--------------------------|
| 6月27日 | 特別支援教室巡回相談                     | 小学校の特別支援教室を訪問し、在籍児童の観察及び教員への助言を行う                         | 東京都教育委員会                    |                    |               | 吉川和幸          | こども学科                    |
| 6月28日 | 乳幼児における造形活動と保育者への指導            |                                                           |                             |                    |               | 藤井志帆          | こども学科                    |
| 6月29日 | 授業/保育体験活動                      | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅰ」「こども文化教育演習Ⅰ」の学外体験活動。                      | 上野原市(一部)                    | 対象学級<br>全児童<br>全園児 | 1年48名         | 木村龍平          | こども学科                    |
| 6月30日 | 保育園専門家相談                       | 保育園児の評価とアセスメント                                            | 東京都港区                       | 6名                 |               | 石井孝弘          | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 6月30日 | 特別支援ケース会議                      | 幼稚園に在籍する特別な支援を要する幼児について、幼稚園と教員がネット(FaceTime)を介してケース会議を行う  | 学校法人星置学園<br>星の子幼稚園          |                    |               | 吉川和幸          | こども学科                    |
| 7月1日  | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援               | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                   | NPO法人EPO                    | 5名                 |               | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 7月1日  | 児童デイサービスボランティア活動               | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子どもたちの遊びの支援を行う。                        | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数        | 上3年4名         | 吉川和幸          | こども学科                    |
| 7月1日  | ボランティア                         | 園行事支援活動                                                   |                             | 全園児                | 1年2名<br>4年1名  | 木村龍平          | こども学科                    |
| 7月2日  | 第24回障がいのあるかたのための乗馬会「乗る・馬・体験」   | 近隣の障がい児を招待しての活動。本会内では乗馬以外の行事あり。                           | 本学主催                        | 32名                | 32名           | 小川家資<br>喜久村徳淑 | うまセンター                   |
| 7月4日  | 子育て支援活動(第204回)                 | 第199回と同内容                                                 | 上野原市福祉課                     | 0                  |               | 木村龍平          | こども学科                    |
| 7月4日  | 子育て支援活動(第205回)                 | 第199回と同内容                                                 | 上野原市福祉課                     | 0                  |               | 木村龍平          | こども学科                    |
| 7月5日  | 特別支援ケース会議                      | 幼稚園に在籍する特別な支援を要する幼児について、幼稚園と教員がネット(FaceTime)を介してケース会議を行う  | 学校法人<br>リズム学園<br>恵庭幼稚園      |                    |               | 吉川和幸          | こども学科                    |
| 7月6日  | 板橋区いじめ問題専門委員会                  | 板橋区いじめ問題専門委員会臨時会への出席                                      | 板橋区教育委員会                    |                    |               | 山田知代          | こども学科                    |
| 7月7日  | 七生特別支援学校 発達支援                  | 児童の評価と教員への指導                                              | 東京都                         | 3名                 |               | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 7月8日  | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援               | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                   | NPO法人EPO                    | 5名                 |               | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 7月8日  | 児童デイサービスボランティア活動               | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子どもたちの遊びの支援を行う。                        | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数        | 上3年5名         | 吉川和幸          | こども学科                    |
| 7月8日  | 動物ふれあい教室                       | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                          | 足立区教育委員会                    | 67名                | 千 5名<br>上 25名 | 青木直樹<br>花園誠   | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科 |
| 7月8日  | 動物ふれあい教室                       | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                          | 足立区教育委員会                    | 135名               | 千 3名<br>上 36名 | 青木直樹<br>花園誠   | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科 |
| 7月9日  | ふれあいの日                         | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(にんじん)。                               | 上野原市                        | 42名                | 19名           | 喜久村徳淑         | うまセンター                   |
| 7月10日 | 富士北麓における地域産業活性化のために行う、富士山酵母の調査 | 富士北麓の原生林からストレス耐性酵母を探索した。                                  | 山梨県富士山<br>科学研究所             | 先方の職員<br>1名        |               | 上野良平          | 生命科学科                    |
| 7月11日 | 学習支援活動(第68回)                   | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活動。「保育教職実践演習」の学外ワーク                    | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 19名                | 4年7名          | 木村龍平          | こども学科                    |
| 7月13日 | 板橋区いじめ問題専門委員会<br>専門調査委員会       | 板橋区いじめ問題専門委員会・第1回専門調査委員会への出席                              | 板橋区教育委員会                    |                    |               | 山田知代          | こども学科                    |
| 7月15日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援               | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                   | NPO法人EPO                    | 5名                 |               | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 7月16日 | 第2回帝京科学大学こども学科<br>表現発表会        | こども学科学生の音楽、造形、身体表現等の授業で培った成果を、地域の子どもたち、保護者、保育関係者を対象に発表を行う | 上野原市役所<br>上野原市<br>教育委員会     |                    | こども学科<br>全学生  | こども学科<br>全教員  | こども学科                    |
| 7月18日 | 学習支援活動(第69回)                   | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活動。「保育教職実践演習」の学外ワーク                    | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 15名                | 4年8名          | 木村龍平          | こども学科                    |
| 7月19日 | 山梨感覚統合勉強会                      | 山梨県内近隣県内の教員保育士等への感覚統合理論理解                                 | 甲府支援学校                      | 50名                |               | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 7月21日 | 通級指導学級児童支援と教員支援                | 発達障害児の支援及びアセスメント                                          | 都内小学校                       | 12名                |               | 石井孝弘          | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 7月22日 | 葛西臨海公園観覧会 協力                   | 多摩六都科学館が主催した葛西臨海公園でのプログラムへの協力                             | 多摩六都科学館                     | 60名                | 1名            | 古瀬浩史          | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 7月22日 | 児童デイサービスボランティア活動               | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子どもたちの遊びの支援を行う。                        | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数        | 上3年3名         | 吉川和幸          | こども学科                    |
| 7月22日 | 板橋区いじめ問題専門委員会<br>専門調査委員会       | 板橋区いじめ問題専門委員会・専門調査委員として、いじめの重大事態に係る調査を実施                  | 板橋区教育委員会                    |                    |               | 山田知代          | こども学科                    |
| 7月25日 | 平成29年度山梨県立吉田高校理数科<br>『課題研究』指導  | 吉田高校2年生2名に対して運動学的実験(立位重心動揺検査)を体験学習指導した                    | 山梨県立吉田高校                    | 2年生2名              | 2年生2名         | 昇寛            | 柔道整備学科                   |

| 月日    | 活動名                                   | 活動内容                                                      | 連携機関                        | 対象者数                                               | 参加<br>学生数               | 担当教員           | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)      |
|-------|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------------------------------------------|-------------------------|----------------|--------------------------|
| 7月25日 | 学習支援活動(第70回)                          | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活動。「保育教職実践演習」の学外ワーク                    | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 15名                                                | 4年7名                    | 木村龍平           | こども学科                    |
| 7月29日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援                      | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                   | NPO法人EPO                    | 5名                                                 |                         | 石井孝弘           | 作業療法学科                   |
| 7月29日 | 児童デイサービスボランティア活動                      | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子どもたちの遊びの支援を行う。                        | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数                                        | 上3年5名                   | 吉川和幸           | こども学科                    |
| 7月30日 | 帝京科学の夏まつり(第14回)                       | 「コミュニティワーク演習Ⅰ」の体験活動                                       | 富士北麓<br>教育事務所               |                                                    | 2年4名                    | 木村龍平           | こども学科                    |
| 7月30日 | 板橋区いじめ問題専門委員会<br>専門調査委員会              | 板橋区いじめ問題専門委員会・専門調査委員として、いじめの重大事態に係る調査を実施                  | 板橋区教育委員会                    |                                                    |                         | 山田知代           | こども学科                    |
| 7月30日 | 帝京科学の夏まつり(夏休み親子教室)                    | 手づくり楽器を作ろう                                                |                             |                                                    |                         | 花園誠<br>榊原健太郎   | アニマル<br>サイエンス学科<br>こども学科 |
| 8月1日  | 甲府市遊亀公園・附属動物園整備<br>における市民ワークショップ      | 第1回ワークショップ                                                | 甲府市                         | 15名                                                | 1名                      | 並木美砂子<br>佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 8月1日  | 平成29年度山梨県立吉田高校理数科<br>『課題研究』指導         | 吉田高校2年生2名に対して運動学的実験(立位<br>重心動揺検査)を体験学習指導した                | 山梨県立吉田高校                    | 2年生2名                                              | 2年生2名                   | 昇寛             | 柔道整復学科                   |
| 8月2日  | 児童デイサービスボランティア活動<br>(日帰り遠足)           | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子どもたちの日帰り遠足の引率支援、現地での遊びの支援を行う。         | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数                                        | 上4年3名                   | 吉川和幸           | こども学科                    |
| 8月3日  | 富士北麓における地域産業活性化のため<br>に行う、富士山酵母の調査    | 富士北麓の原生林からストレス耐性酵母を探索した。                                  | 山梨県富士山<br>科学研究所             | 先方の職員<br>1名                                        | 上 1名<br>(生命)            | 上野良平           | 生命科学科                    |
| 8月5日  | 馬の学校                                  | 障害児乗馬支援                                                   | 馬の学校<br>峯崎 友香理 主宰           | 10名                                                |                         | 石井孝弘           | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 8月10日 | 児童デイサービスボランティア活動                      | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子どもたちの支援を行う。                           | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数                                        | 上4年3名                   | 吉川和幸           | こども学科                    |
| 8月10日 | 障害者支援施設イベントボランティア                     | 障害者支援施設での行事のイベントブース運営                                     | 社会福祉法人<br>かながわ黎明会<br>くりのみ学園 | 入所者の<br>人数                                         | 上4年1名<br>上3年7名<br>上2年1名 | 花園誠<br>吉川和幸    | こども学科                    |
| 8月11日 | 八王子市体験学習フェスティバルへの出展                   | 八王子市が主催しているイベント体験学習フェスティバルへの自然解説ブースの出展                    | 体験学習<br>フェスティバル<br>実行委員会    | 500名                                               | 11名                     | 古瀬浩史           | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 8月11日 | 授業/園行事体験活動                            | 「コミュニティワーク演習Ⅰ」の体験活動                                       |                             | 全園児                                                | 2年3名<br>他1年7名<br>3年2名   | 木村龍平           | こども学科                    |
| 8月12日 | 板橋区いじめ問題専門委員会<br>専門調査委員会              | 板橋区いじめ問題専門委員会・専門調査委員として、いじめの重大事態に係る調査を実施                  | 板橋区教育委員会                    |                                                    |                         | 山田知代           | こども学科                    |
| 8月18日 | 保育園保育士支援                              | 保育士の勉強会                                                   | NPO法人EPO                    | 30名                                                |                         | 石井孝弘           | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 8月18日 | 児童デイサービスボランティア活動<br>(日帰り遠足)           | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子どもたちの日帰り遠足の引率支援、現地での遊びの支援を行う。         | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数                                        | 上4年2名                   | 吉川和幸           | こども学科                    |
| 8月26日 | 障害者支援施設イベントボランティア                     | 障害者支援施設での行事の運営サポート、利用者支援                                  | 社会福祉法人<br>さつきの会<br>藤野さつき学園  | 入所者の<br>人数                                         | 上4年4名                   | 吉川和幸           | こども学科                    |
| 8月29日 | 横浜市教育委員会<br>「中川西中学校ブロック小中一貫研修会」<br>講師 | 横浜市内中川西中学校ブロックの教職員を対象とした小中一貫研修会において、「スクール・コンプライアンス」について講演 | 横浜市教育委員会                    | 横浜市立<br>中川西中学校<br>ブロックの<br>小中学校の<br>教職員<br>計100名程度 |                         | 山田知代           | こども学科                    |
| 8月31日 | 甲府市遊亀公園・附属動物園整備<br>における市民ワークショップ      | 第2回ワークショップ                                                | 甲府市                         | 15名                                                |                         | 並木美砂子          | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 9月1日  | 特別支援学校教員保護者研修                         | 発達障害の理解学習                                                 | 春日部<br>特別支援学校               | 100名                                               |                         | 石井孝弘           | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 9月1日  | 県民コミュニティカレッジ                          | 地域の保育者、教育関係者、一般市民を対象に<br>幼児期の特別支援教育に関する講演を実施              | 大学コンソーシアム<br>やまなし           | 13名                                                |                         | 吉川和幸           | こども学科                    |
| 9月2日  | 特別支援学校教員保護者研修                         | あそびを通して支援実践                                               | 埼玉県自閉症協会                    | 50名                                                |                         | 石井孝弘           | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 9月4日  | 障害児乗馬活動                               | 甲府支援学校盲学校の児童乗馬活動体験                                        | 甲府支援学校                      | 30名                                                | 4名                      | 石井孝弘           | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 9月6日  | 県民カレッジ                                | 県民カレッジ                                                    | 山梨コンソーシアム                   | 20名                                                |                         | 石井孝弘           | 大学                       |
| 9月6日  | 板橋区いじめ問題専門委員会<br>専門調査委員会              | 板橋区いじめ問題専門委員会・専門調査委員会への出席                                 | 板橋区教育委員会                    |                                                    |                         | 山田知代           | こども学科                    |
| 9月7日  | 帝京科学大学 リズムで遊ぼう！                       | 音楽リズムの活動会                                                 |                             |                                                    |                         | 大海由佳           | こども学科                    |
| 9月7日  | 大学遠足(足立区立平野小学校)                       | 小学生を対象とした自然体験活動                                           | 足立区教育委員会                    | 65名                                                | 52名                     | 花園誠<br>榊原健太郎   | アニマル<br>サイエンス学科<br>こども学科 |

| 月日    | 活動名                              | 活動内容                                         | 連携機関                        | 対象者数          | 参加<br>学生数      | 担当教員                  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)      |
|-------|----------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------|---------------|----------------|-----------------------|--------------------------|
| 9月7日  | 大学遠足(足立区立千寿常東小学校)                | 小学生を対象とした自然体験活動                              | 足立区教育委員会                    | 87名           | 49名            | 花園誠<br>榊原健太郎          | アニマル<br>サイエンス学科<br>こども学科 |
| 9月8日  | 通級指導学級児童支援と教員支援                  | 発達障害児の支援及びアセスメント                             | 都内小学校                       | 12名           |                | 石井孝弘                  | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 9月9日  | 保育園保育士支援                         | 保育士の勉強会                                      | NPO法人EPO                    | 30名           |                | 石井孝弘                  | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 9月9日  | 山梨県私立幼稚園教職員研究会<br>(東部地区)         | 山梨県東部地区の私立幼稚園教諭の研究会に<br>こども学科教員が助言者として参加する   | 山梨県私学教育<br>研究会<br>幼稚園部会     | 幼稚園教諭<br>約80名 |                | 大槻千秋<br>吉川和幸<br>鳥越ゆい子 | こども学科                    |
| 9月9日  | 動物ふれあい教室                         | 小動物を用いた動物介在教育を実施                             | 足立区教育委員会                    | 191名          | 千9名<br>上47名    | 青木直樹<br>花園誠           | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科 |
| 9月11日 | 大学遠足(足立区立中島根小学校)                 | 小学生を対象とした自然体験活動                              | 足立区教育委員会                    | 75名           | 61名            | 花園誠<br>榊原健太郎          | アニマル<br>サイエンス学科<br>こども学科 |
| 9月14日 | 大学遠足(足立区立宮城小学校)                  | 小学生を対象とした自然体験活動                              | 足立区教育委員会                    | 64名           | 50名            | 花園誠<br>榊原健太郎          | アニマル<br>サイエンス学科<br>こども学科 |
| 9月15日 | 自立支援協議会支援                        | 子どもの行動理解の勉強会                                 | 静岡県富士宮圏域<br>協議会             | 50名           |                | 石井孝弘                  | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 9月15日 | 特別支援教室巡回相談                       | 小学校の特別支援教室を訪問し、在籍児童の観<br>察及び教員への助言を行う        | 東京都教育委員会                    |               |                | 吉川和幸                  | こども学科                    |
| 9月16日 | ホースセラピー体験会                       | 子どもの乗馬活動体験会                                  | NPO法人EPO                    | 3名            |                | 石井孝弘                  | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 9月16日 | ホースセラピー体験会                       | 子どもの乗馬活動体験会                                  | NPO法人EPO                    | 1名            |                | 石井孝弘                  | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 9月19日 | 学習支援活動(第71回)                     | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活<br>動。「保育教職実践演習」の学外ワーク   | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 8名            | 4年8名           | 木村龍平                  | こども学科                    |
| 9月20日 | 県民カレッジ                           | 県民カレッジ                                       | 山梨コンソーシアム                   | 20名           |                | 石井孝弘                  | 大学                       |
| 9月22日 | 保育園専門家相談                         | 保育園児の評価とアセスメント                               | 東京都港区                       | 6名            |                | 石井孝弘                  | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 9月22日 | 通級指導学級児童支援と教員支援                  | 発達障害児の支援及びアセスメント                             | 都内小学校                       | 12名           |                | 石井孝弘                  | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 9月22日 | 県民コミュニティーカレッジ                    | 地域の保育者、教育関係者、一般市民を対象に<br>幼児期の特別支援教育に関する講演を実施 | 大学コンソーシアム<br>やまなし           | 25名           |                | 吉川和幸                  | こども学科                    |
| 9月23日 | 障害者支援施設イベントボランティア                | 障害者支援施設での行事のイベントブース運営<br>支援                  | NPO法人わかば                    |               | 上3年4名<br>上4年1名 | 吉川和幸                  | こども学科                    |
| 9月24日 | ふれあいの日                           | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(に<br>んじん)。              | 上野原市                        | 42名           | 11名            | 喜久村徳淑                 | うまセンター                   |
| 9月24日 | 検査法学習会                           | 発達障害児理解のための検査法の学習                            | NPO法人EPO<br>ぶりんぐあつぷ         | 40名           |                | 石井孝弘                  | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 9月26日 | 学習支援活動(第72回)                     | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活<br>動。「保育教職実践演習」の学外ワーク   | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 |               | 4年8名           | 木村龍平                  | こども学科                    |
| 9月28日 | 甲府市遊亀公園・附属動物園整備<br>における市民ワークショップ | 第3回ワークショップ                                   | 甲府市                         | 15名           | 1名             | 並木美砂子                 | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 9月28日 | 児童デイサービスボランティア活動                 | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。       | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数   | 上3年3名          | 吉川和幸                  | こども学科                    |
| 9月29日 | 七生特別支援学校 発達支援                    | 児童の評価と教員への指導                                 | 東京都                         | 3名            |                | 石井孝弘                  | 作業療法学科                   |
| 9月30日 | 特別支援学校教員保護者研修                    | あそびを通して支援実践                                  | 埼玉県自閉症協会                    | 50名           |                | 石井孝弘                  | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 10月3日 | 上野原小学校遠足                         | 馬・小動物とのふれあい、餌あげ(にんじん)。                       | 上野原小学校                      | 74名           | 13名            | 喜久村徳淑                 | うまセンター                   |
| 10月3日 | 子育て支援活動(第1/206回)                 | 学外、子育て支援センター内で来所親子対応。<br>支援活動の実際を学ぶ          | 上野原市福祉課                     | 42名<br>(20組)  | 2年2名           | 木村龍平                  | こども学科                    |
| 10月5日 | 大月東小学校遠足                         | 馬・小動物とのふれあい、餌あげ(にんじん)。                       | 大月東小学校                      | 56名           | 4名             | 喜久村徳淑                 | うまセンター                   |
| 10月5日 | 授業/保育体験活動                        | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅱ」の学外体験活<br>動。                 |                             | 対象学級<br>全児童   | 1年6名           | 木村龍平                  | こども学科                    |
| 10月7日 | ふれあいの日                           | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(に<br>んじん)。              | 上野原市                        | 108名          | 26名            | 喜久村徳淑                 | うまセンター                   |
| 10月7日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援                 | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、ス<br>タッフへの障がい理解と実施方法の指導  | NPO法人EPO                    | 5名            |                | 石井孝弘                  | 作業療法学科                   |
| 10月8日 | ふれあいの日                           | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(に<br>んじん)。              | 上野原市                        | 126名          | 20名            | 喜久村徳淑                 | うまセンター                   |

| 月日     | 活動名                              | 活動内容                                                      | 連携機関                        | 対象者数          | 参加<br>学生数               | 担当教員           | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)         |
|--------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------|---------------|-------------------------|----------------|-----------------------------|
| 10月11日 | 地図情報ツールを活用した自然情報収集<br>整理方法の講座    | ネイチャーセンター等における地図情報ツールを<br>活用した自然情報収集、集積、活用に関する講<br>座      | 那須平成の森<br>環境省那須自然<br>保護官事務所 | 15名           | 1名                      | 古瀬浩史           | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原)    |
| 10月14日 | 更生保護施設における動物介在介入                 | 犬、ウサギを用いた動物介在介入を実施                                        | 更生保護施設<br>清和会               | 5名            |                         | 山本真理子          | アニマル<br>サイエンス学科<br>山本(真)研究室 |
| 10月14日 | 児童デイサービスボランティア活動                 | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。                    | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数   | 上3年4名                   | 吉川和幸           | こども学科                       |
| 10月14日 | 児童デイサービスボランティア活動                 | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。                    | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数   | 上3年4名                   | 吉川和幸           | こども学科                       |
| 10月14日 | 動物ふれあい教室                         | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                          | 足立区教育委員会                    | 93名           | 千4名<br>上17名             | 青木直樹<br>花園誠    | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科    |
| 10月14日 | 動物ふれあい教室                         | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                          | 足立区教育委員会                    | 161名          | 千8名<br>上27名             | 青木直樹<br>花園誠    | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科    |
| 10月17日 | 子育て支援活動(第2/207回)                 | 学外、子育て支援センター内で来所親子対応。<br>支援活動の実際を学ぶ                       | 上野原市福祉課                     |               | 2年2名                    | 木村龍平           | こども学科                       |
| 10月17日 | 学習支援活動(第73回)                     | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活<br>動。「保育教職実践演習」の学外ワーク                | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 14名           | 4年9名                    | 木村龍平           | こども学科                       |
| 10月17日 | 演奏会                              | 初秋に彩られたハーブとピアノの調べ                                         |                             |               |                         | 大海由佳           | こども学科                       |
| 10月18日 | 山梨感覚統合勉強会                        | 山梨県内近隣県内の教員保育士等への感覚統<br>合理論理解                             | 甲府支援学校                      | 50名           |                         | 石井孝弘           | 作業療法学科                      |
| 10月19日 | 授業/保育体験活動                        | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅱ」の学外体験活<br>動。                              |                             | 対象学級<br>全児童   | 1年50名                   | 木村龍平           | こども学科                       |
| 10月19日 | 板橋区いじめ問題専門委員会<br>専門調査委員会         | 板橋区いじめ問題専門委員会・専門調査委員会<br>への出席                             | 板橋区教育委員会                    |               |                         | 山田知代           | こども学科                       |
| 10月20日 | 保育園専門家相談                         | 保育園児の評価とアセスメント                                            | 東京都港区                       | 6名            |                         | 石井孝弘           | 教員個人<br>(作業療法学科)            |
| 10月21日 | 児童デイサービスボランティア活動                 | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。                    | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数   | 上3年4名                   | 吉川和幸           | こども学科                       |
| 10月21日 | 動物ふれあい教室                         | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                          | 足立区教育委員会                    | 71名           |                         | 青木直樹<br>花園誠    | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科    |
| 10月22日 | 医療機関の障害児乗馬活動支援                   | 障害児乗馬活動支援                                                 | 都内病院                        | 6名            | 2名                      | 石井孝弘           | 作業療法学科                      |
| 10月22日 | 第8回甲州フルーツマラソン大会<br>救護活動          | 参加選手に対するコンディショニング、ストレッチ<br>ング、テーピング、救急処置サポート              | 甲州市<br>甲州市教育委員会             | 参加ランナー<br>50名 | 卒業生2名<br>3年生1名<br>4年生1名 | 市ヶ谷武生          | 柔道整復学科                      |
| 10月22日 | 特養ホーム「サントピア」<br>(第112回ロボット介在活動)  | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅱ」の学外体験活<br>動。                              | 社会福祉法人<br>恒陽会               | 30名           | 1年25名<br>4年3名           | 木村龍平           | こども学科                       |
| 10月25日 | 更生保護施設における動物介在介入                 | 犬を用いた動物介在介入を実施                                            | 更生保護施設<br>清和会               | 2名            | 1名                      | 山本真理子          | アニマル<br>サイエンス学科<br>山本(真)研究室 |
| 10月26日 | 第8回ジオパーク全国大会分科会での講演              | 秋田で開かれたジオパークの全国大会での講演                                     | 第8回ジオパーク<br>全国大会実行<br>委員会   | 130名          |                         | 古瀬浩史           | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原)    |
| 10月26日 | 授業/保育体験活動                        | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅱ」の学外体験活<br>動。                              |                             | 対象学級<br>全児童   | 1年全員                    | 木村龍平           | こども学科                       |
| 10月27日 | 保育園専門家相談                         | 保育園児の評価とアセスメント                                            | 東京都港区                       | 6名            |                         | 石井孝弘           | 教員個人<br>(作業療法学科)            |
| 10月27日 | 通級指導学級児童支援と教員支援                  | 発達障害児の支援及びアセスメント                                          | 都内小学校                       | 12名           |                         | 石井孝弘           | 教員個人<br>(作業療法学科)            |
| 10月28日 | 体育館レク活動                          | 上野原市内及び大月市内の児童デイサービス事<br>業所の利用児童を対象に、体育館での運動遊び<br>の提供を行う。 | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童<br>14名   | 上4年5名<br>上3年14名         | 吉川和幸           | こども学科                       |
| 10月30日 | 甲府市遊亀公園・附属動物園整備<br>における市民ワークショップ | 第4回ワークショップ                                                | 甲府市                         | 15名           | 1名                      | 並木美砂子<br>佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原)    |
| 10月31日 | 学習支援活動(第74回)                     | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活<br>動。「保育教職実践演習」の学外ワーク                | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 11名           | 4年11名                   | 木村龍平           | こども学科                       |
| 10月31日 | 子育て支援活動(第3/208回)                 | 学外、子育て支援センター内で来所親子対応。<br>支援活動の実際を学ぶ                       | 上野原市福祉課                     | 14名           | 2年3名<br>他1年7名<br>3年2名   | 木村龍平           | こども学科                       |
| 11月1日  | 山梨県理学療法士会新人教育研修                  | 新人教育研修                                                    | 山梨県<br>理学療法士会               | 30名<br>程度     |                         | 田中和哉           | 理学療法学科                      |
| 11月1日  | 特別支援学校教員保護者研修                    | 発達障害の理解学習                                                 | 日高特別支援学校                    | 60名           |                         | 石井孝弘           | 教員個人<br>(作業療法学科)            |
| 11月1日  | 特別支援教室巡回相談                       | 小学校の特別支援教室を訪問し、在籍児童の観<br>察及び教員への助言を行う                     | 東京都教育委員会                    |               |                         | 吉川和幸           | こども学科                       |

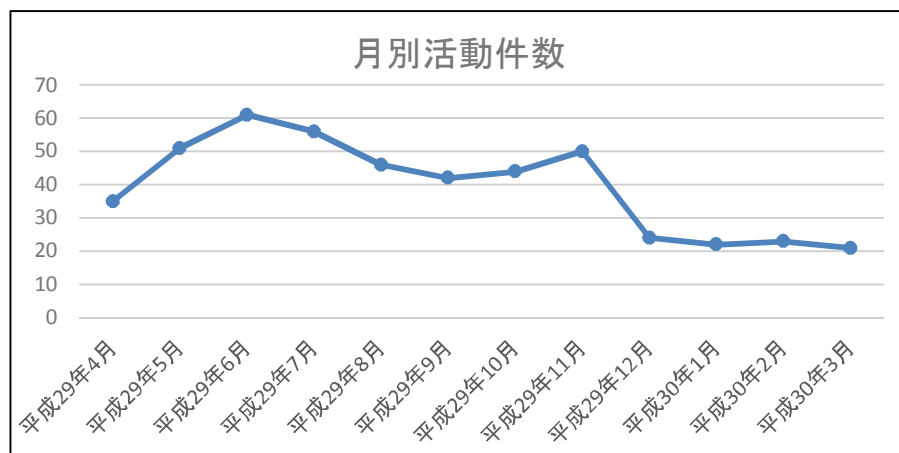
| 月日     | 活動名                                | 活動内容                                                 | 連携機関                        | 対象者数                   | 参加<br>学生数              | 担当教員                                 | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)      |
|--------|------------------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------------------|--------------------------|
| 11月1日  | 板橋区いじめ問題専門委員会<br>専門調査委員会           | 板橋区いじめ問題専門委員会・専門調査委員会<br>への出席                        | 板橋区教育委員会                    |                        |                        | 山田知代                                 | こども学科                    |
| 11月3日  | 福祉講話                               | 小学生を対象に福祉関連の講話を行う                                    | 上野原西小学校                     | 小学1年生<br>～3年生<br>約150名 | 上3年5名                  | 吉川和幸                                 | こども学科                    |
| 11月4日  | 児童デイサービスボランティア活動                   | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。               | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数            | 上3年4名                  | 吉川和幸                                 | こども学科                    |
| 11月7日  | ハグマシンの貸し出し                         | 発達障害児太守尾機器の貸し出しと説明                                   | 山梨県かえて<br>支援学校              | 10名                    |                        | 石井孝弘                                 | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 11月7日  | 子育て支援活動(第4/209回)                   | 学外、子育て支援センター内で来所親子対応。<br>支援活動の実際を学ぶ                  | 上野原市福祉課                     |                        | 2年3名<br>他1年7名<br>3年2名  | 木村龍平                                 | こども学科                    |
| 11月7日  | 学習支援活動(第75回)                       | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活<br>動。「保育教職実践演習」の学外ワーク           | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 14名                    | 4年10名                  | 木村龍平                                 | こども学科                    |
| 11月8日  | やまびこ支援学校遠足                         | 障がい児を招いての馬や小動物とのふれあい、<br>餌あげ(にんじん)。                  | やまびこ支援学校                    | 9名                     | 13名                    | 喜久村徳淑                                | うまセンター                   |
| 11月9日  | 板橋区いじめ問題専門委員会<br>専門調査委員会           | 板橋区いじめ問題専門委員会・専門調査委員会<br>への出席                        | 板橋区教育委員会                    |                        |                        | 山田知代                                 | こども学科                    |
| 11月9日  | 大学遠足(足立区立千寿小学校)                    | 小学生を対象とした自然体験活動                                      | 足立区教育委員会                    | 86名                    | 50名                    | 花園誠<br>榊原健太郎                         | アニマル<br>サイエンス学科<br>こども学科 |
| 11月10日 | 保育園専門家相談                           | 保育園児の評価とアセスメント                                       | 東京都港区                       | 6名                     |                        | 石井孝弘                                 | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 11月11日 | 児童デイサービスボランティア活動                   | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。               | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数            | 上3年4名                  | 吉川和幸                                 | こども学科                    |
| 11月11日 | 山梨県私立幼稚園教職員研究会<br>(東部地区)           | 山梨県東部地区の私立幼稚園教諭の研究会に<br>こども学科教員が助言者として参加する           | 山梨県私学教育<br>研究会<br>幼稚園部会     | 幼稚園教諭<br>約80名          |                        | 大槻千秋<br>吉川和幸<br>鳥越ゆい子                | こども学科                    |
| 11月11日 | 動物ふれあい教室                           | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                     | 足立区教育委員会                    | 92名                    | 千5名<br>上28名            | 青木直樹<br>花園誠                          | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科 |
| 11月11日 | 動物ふれあい教室                           | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                     | 足立区教育委員会                    | 145名                   | 千8名<br>上34名            | 青木直樹<br>花園誠                          | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科 |
| 11月12日 | ふれあいの日                             | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(に<br>んじん)。                      | 上野原市                        | 36名                    | 21名                    | 喜久村徳淑                                | うまセンター                   |
| 11月12日 | 特養ホーム「サントピア」<br>(第113回ロボット介在活動)    | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅱ」の学外体験活<br>動。                         | 社会福祉法人<br>恒陽会               | 30名                    | 1年25名<br>4年3名          | 木村龍平                                 | こども学科                    |
| 11月13日 | 上野原小学校5年 八重山自然観察<br>事前授業           | 小学5年生の総合的な学習の時間で行われてい<br>る八重山での自然観察会への事前授業           | 上野原小学校                      | 75名                    | 12名                    | 古瀬浩史                                 | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 11月13日 | 秋山小学校遠足                            | 馬とのふれあい、お世話体験、曳馬による乗馬、<br>餌あげ(にんじん)。                 | 秋山小学校                       | 19名                    | 9名                     | 喜久村徳淑                                | うまセンター                   |
| 11月14日 | 子育て支援活動(第5/210回)                   | 学外、子育て支援センター内で来所親子対応。<br>支援活動の実際を学ぶ                  | 上野原市福祉課                     | 12名                    | 2年3名<br>他1年7名<br>3年2名  | 木村龍平                                 | こども学科                    |
| 11月16日 | 介護職員初任者研修                          | 介護に関するからだのしくみの基本的理解                                  |                             | 2年20名                  |                        | 安齋久美子                                | 理学療法学科                   |
| 11月18日 | 科学の祭典2017山梨大会                      | 動物・ロボット介在教育演習Ⅱ、コミュニティー<br>ワーク演習Ⅱ、保育教職実践演習の学外体験活<br>動 | 山梨県立科学館                     |                        | 1年22名<br>2年7名<br>4年25名 | 花園誠<br>木村龍平<br>山田知代<br>青木直樹          | こども学科                    |
| 11月19日 | 科学の祭典2017山梨大会                      | 同上                                                   | 山梨県立科学館                     |                        | 1年26名<br>2年7名<br>4年20名 | 花園誠<br>木村龍平<br>大須賀隆子<br>山田知代<br>青木直樹 | こども学科                    |
| 11月20日 | 富士北麓における地域産業活性化のため<br>に行う、富士山酵母の調査 | 富士北麓の原生林からストレス耐性酵母を探索<br>した。                         | 山梨県富士山<br>科学研究所             | 先方の職員<br>1名            | 上3名<br>(生命)            | 上野良平                                 | 生命科学科                    |
| 11月21日 | 上野原小学校5年<br>八重山自然観察 指導             | 小学5年生の総合的な学習の時間で行われてい<br>る八重山での自然観察会へのプログラム提供        | 上野原小学校                      | 75名                    | 12名                    | 古瀬浩史                                 | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 11月21日 | 学習支援活動(第76回)                       | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活<br>動。「保育教職実践演習」の学外ワーク           | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 12名                    | 4年10名                  | 木村龍平                                 | こども学科                    |
| 11月22日 | 板橋区いじめ問題専門委員会<br>専門調査委員会           | 板橋区いじめ問題専門委員会・専門調査委員と<br>して、いじめの重大事態に係る調査を実施         | 板橋区教育委員会                    |                        |                        | 山田知代                                 | こども学科                    |
| 11月25日 | 足立区児童養護施設遠足                        | 馬とのふれあい、お世話体験、曳馬による乗馬、<br>餌あげ(にんじん)。                 | 足立区<br>児童養護施設               | 31名                    | 7名                     | 喜久村徳淑                                | うまセンター                   |
| 11月25日 | 児童デイサービスボランティア活動                   | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。               | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数            | 上3年4名                  | 吉川和幸                                 | こども学科                    |
| 11月25日 | 児童デイサービスボランティア活動                   | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。               | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数            | 上3年4名                  | 吉川和幸                                 | こども学科                    |

| 月日     | 活動名                                                           | 活動内容                                                                              | 連携機関                        | 対象者数                                               | 参加<br>学生数           | 担当教員          | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)         |
|--------|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------------------------------------------|---------------------|---------------|-----------------------------|
| 11月25日 | 大学遠足(クリスマスビレッジ)                                               | クリスマスビレッジの子どもたちを招き、良い思い出を作ってもらふ。                                                  | 足立区教育委員会                    |                                                    |                     | 花園誠<br>榊原健太郎  | アニマル<br>サイエンス学科<br>こども学科    |
| 11月26日 | 筑波山地域ジオパーク認定ジオガイド<br>養成講座講師                                   | ジオパークで活動する「ジオガイド」を対象とした<br>インテリジェントな研修                                            | 筑波山地域<br>ジオパーク推進<br>協議会     | 20名                                                |                     | 古瀬浩史          | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原)    |
| 11月28日 | 海老名市ケアマネジャー研修                                                 | 地域在宅職員向けのリハビリテーション研修                                                              | えびな脳神経外科                    | 25名                                                |                     | 平賀篤           | 理学療法学科                      |
| 11月28日 | 子育て支援活動(第6/211回)                                              | 学外、子育て支援センター内で来所親子対応。<br>支援活動の実際を学ぶ                                               | 上野原市福祉課                     |                                                    | 2年3名                | 木村龍平          | こども学科                       |
| 11月29日 | 更生保護施設における動物介在介入                                              | 犬を用いた動物介在介入を実施                                                                    | 更生保護施設<br>清和会               | 3名                                                 | 1名                  | 山本真理子         | アニマル<br>サイエンス学科<br>山本(真)研究室 |
| 11月29日 | 特別支援教室巡回相談                                                    | 小学校の特別支援教室を訪問し、在籍児童の観<br>察及び教員への助言を行う                                             | 東京都教育委員会                    |                                                    |                     | 吉川和幸          | こども学科                       |
| 11月29日 | 板橋区いじめ問題対策連絡協議会                                               | 板橋区いじめ問題対策連絡協議会への出席                                                               | 板橋区                         |                                                    |                     | 山田知代          | こども学科                       |
| 11月29日 | 板橋区いじめ問題専門委員会                                                 | 板橋区いじめ問題専門委員会への出席                                                                 | 板橋区教育委員会                    |                                                    |                     | 山田知代          | こども学科                       |
| 12月2日  | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援                                              | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、ス<br>タッフへの障がい理解と実施方法の指導                                       | NPO法人EPO                    | 5名                                                 | 0名                  | 石井孝弘          | 作業療法学科                      |
| 12月2日  | 学習支援活動(第77回)X'mas昼食会                                          | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活<br>動。「保育教職実践演習」の学外ワーク                                        | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 親子8組                                               | 4年21名               | 木村龍平          | こども学科                       |
| 12月2日  | 児童デイサービスボランティア活動                                              | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。                                            | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数                                        | 上3年4名               | 吉川和幸          | こども学科                       |
| 12月3日  | ふれあいの日                                                        | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(に<br>んじん)。                                                   | 上野原市                        | 43名                                                | 16名                 | 喜久村徳淑         | うまセンター                      |
| 12月3日  | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援                                              | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、ス<br>タッフへの障がい理解と実施方法の指導                                       | NPO法人EPO                    | 5名                                                 | 0名                  | 石井孝弘          | 作業療法学科                      |
| 12月4日  | 通級指導学級児童支援と教員支援                                               | 発達障害児の支援及びアセスメント                                                                  | 都内小学校                       | 2名                                                 |                     | 石井孝弘          | 教員個人<br>(作業療法学科)            |
| 12月4日  | 上野原市市民フォーラム                                                   | 上野原市で最後まで暮らす街づくりについての<br>フォーラム                                                    | 上野原市                        | 地域住民<br>約50名                                       | 作業療法<br>学科<br>1年生6名 | 小橋一雄          | 作業療法学科                      |
| 12月5日  | 子育て支援活動(第7/212回)                                              | 学外、子育て支援センター内で来所親子対応。<br>支援活動の実際を学ぶ                                               | 上野原市福祉課                     |                                                    | 2年2名                | 木村龍平          | こども学科                       |
| 12月5日  | 茨城県教育委員会「平成29年度第2回<br>県北教育事務所管内<br>小・中・特別支援学校<br>副校長・教頭研修会」講師 | 茨城県県北教育事務所管内の小・中・特別支援<br>学校の副校長・教頭を対象とした悉皆研修にお<br>いて、「学校事故防止における管理職の役割」に<br>ついて講演 | 茨城県教育委員会                    | 茨城県北<br>教育事務所<br>管内小・中<br>特別支援学校<br>副校長・教頭<br>92名他 |                     | 山田知代          | こども学科                       |
| 12月6日  | 地域放課後等デイサービス施設職員研修                                            | 脳性麻痺児についての研修                                                                      | NPO法人EPO                    | 10名                                                | 0名                  | 石井孝弘          | 教員個人<br>(作業療法学科)            |
| 12月6日  | 板橋区いじめ問題専門委員会<br>専門調査委員会                                      | 板橋区いじめ問題専門委員会・専門調査委員会<br>への出席                                                     | 板橋区教育委員会                    |                                                    |                     | 山田知代          | こども学科                       |
| 12月7日  | リハビリテーション相談「おはなカフェ」<br>冬期特別企画                                 | 親子で楽しくできる冬休みのストレッチ方法の講<br>座                                                       | カナウの森訪問看護                   | 大人5名<br>子ども2名                                      |                     | 安齋久美子         | 理学療法学科                      |
| 12月7日  | 地域放課後等デイサービス施設職員研修                                            | 脳性麻痺児についての研修                                                                      | 日野市                         | 3名                                                 | 0名                  | 石井孝弘          | 教員個人<br>(作業療法学科)            |
| 12月8日  | 七生特別支援学校 発達支援                                                 | 児童の評価と教員への指導                                                                      | 東京都                         | 3名                                                 | 0名                  | 石井孝弘          | 作業療法学科                      |
| 12月8日  | 特別支援ケース会議                                                     | 幼稚園に在籍する特別な支援を要する幼児につ<br>いて、幼稚園と教員が「ネット(FaceTime)」を介して<br>ケース会議を行う                | 学校法人<br>リズム学園<br>恵庭幼稚園      |                                                    |                     | 吉川和幸          | こども学科                       |
| 12月9日  | 医療機関の障害児乗馬活動支援                                                | 障害児乗馬活動支援                                                                         | 都内病院                        | 6名                                                 | 2名                  | 石井孝弘          | 作業療法学科                      |
| 12月9日  | 児童デイサービスボランティア活動                                              | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子ど<br>もたちの遊びの支援を行う。                                            | 社会福祉法人<br>宝山寮               | 利用児童の<br>人数                                        | 上3年4名               | 吉川和幸          | こども学科                       |
| 12月9日  | 動物ふれあい教室                                                      | 小動物を用いた動物介在教育を実施                                                                  | 足立区教育委員会                    | 125名                                               | 千 9名<br>上 35名       | 青木直樹<br>花園誠   | こども学科<br>アニマル<br>サイエンス学科    |
| 12月10日 | 第25回障がいのある方のための乗馬会<br>「乗る・馬・体験」                               | 近隣の障がい児を招待しての活動。本会内では<br>乗馬以外の行事あり。                                               | 本学主催                        | 23名                                                | 25名                 | 小川家資<br>喜久村徳淑 | うまセンター                      |
| 12月10日 | 大学障害者乗馬                                                       | 障害を持つお子さんの体調チェックと馬の査定                                                             | 帝京科学大学                      |                                                    |                     | 小橋一雄<br>石井孝弘  | 作業療法学科                      |
| 12月10日 | 特養ホーム「サントピア」<br>(第114回ロボット介在活動)                               | 「動物・ロボット介在教育演習Ⅱ」の学外体験活<br>動。                                                      | 社会福祉法人<br>恒陽会               | 30名                                                | 1年25名<br>4年3名       | 木村龍平          | こども学科                       |
| 12月12日 | 子育て支援活動(第8/213回)                                              | 学外、子育て支援センター内で来所親子対応。<br>支援活動の実際を学ぶ                                               | 上野原市福祉課                     |                                                    | 2年2名                | 木村龍平          | こども学科                       |
| 12月12日 | 学習支援活動(第78回)                                                  | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活<br>動。「保育教職実践演習」の学外ワーク                                        | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 16名                                                | 4年                  | 木村龍平          | こども学科                       |

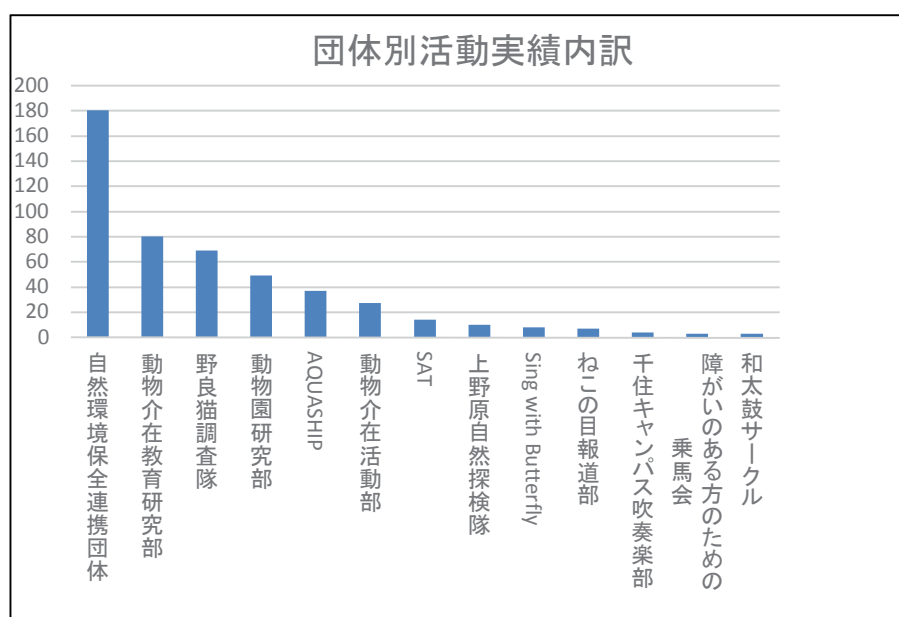
| 月日     | 活動名                          | 活動内容                                                                         | 連携機関                        | 対象者数                  | 参加<br>学生数 | 担当教員                           | 活動規模<br>(全学・学部・学科等) |
|--------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------|-----------|--------------------------------|---------------------|
| 12月14日 | 広島市小学校教育研究会<br>「生徒指導部会研修会」講師 | 広島市小学校教育研究会の生徒指導部会に所属する教員を対象とした研修において、「生徒指導とスクール・コンプライアンスーいじめの対応を通してー」について講演 | 広島市小学校教育研究会                 | 広島市立小学校の生徒指導担当教員等200名 |           | 山田知代                           | こども学科               |
| 12月15日 | 自立支援協議会支援                    | 子どもの行動理解の勉強会                                                                 | 静岡県富士宮圏域協議会                 | 50名                   | 0名        | 石井孝弘                           | 教員個人<br>(作業療法学科)    |
| 12月16日 | 自治体主催講演会                     | 発達障害の理解と感覚統合                                                                 |                             | 80名                   | 0名        | 石井孝弘                           | 教員個人<br>(作業療法学科)    |
| 12月16日 | 児童デイサービスボランティア活動             | 上野原市内の児童デイサービス事業所で、子どもたちの遊びの支援を行う。                                           | 社会福祉法人宝山寮                   | 利用児童の人数               | 上3年4名     | 吉川和幸                           | こども学科               |
| 12月18日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援             | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                      | NPO法人EPO                    | 5名                    | 0名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 12月18日 | 七生特別支援学校 療育支援                | 発達障害を持つ生徒の評価と助言指導                                                            | 東京都                         | 児童3名<br>教員7名          |           | 小橋一雄                           | 作業療法学科              |
| 12月19日 | 子育て支援活動(第9/214回)             | 学外、子育て支援センター内で来所親子対応。支援活動の実際を学ぶ                                              | 上野原市福祉課                     |                       | 2年2名      | 木村龍平                           | こども学科               |
| 12月19日 | 学習支援活動(第79回)                 | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活動。「保育教職実践演習」の学外ワーク                                       | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 14名                   | 4年7名      | 木村龍平                           | こども学科               |
| 12月20日 | 山梨感覚統合勉強会                    | 山梨県内近隣県内の教員保育士等への感覚統合理論理解                                                    | 甲府支援学校                      | 50名                   | 0名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 12月20日 | 板橋区いじめ問題専門委員会<br>専門調査委員会     | 板橋区いじめ問題専門委員会・専門調査委員会への出席                                                    | 板橋区教育委員会                    |                       |           | 山田知代                           | こども学科               |
| 12月21日 | 介護職員初任者研修                    | 医療との連携とリハビリテーション                                                             |                             | 2年20名                 |           | 安齋久美子                          | 理学療法学科              |
| 12月22日 | 通級指導学級児童支援と教員支援              | 発達障害児の支援及びアセスメント                                                             | 都内小学校                       | 12名                   |           | 石井孝弘                           | 教員個人<br>(作業療法学科)    |
| 12月23日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援             | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                      | NPO法人EPO                    | 5名                    | 0名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 12月30日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援             | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                      | NPO法人EPO                    | 6名                    | 1名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 12月31日 | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援             | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                      | NPO法人EPO                    | 7名                    | 2名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 1月5日   | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援             | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                      | NPO法人EPO                    | 8名                    | 3名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 1月7日   | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援             | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                      | NPO法人EPO                    | 9名                    | 4名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 1月12日  | 七生特別支援学校 療育支援                | 発達障害を持つ生徒の評価と助言指導                                                            | 東京都                         | 児童3名<br>教員8名          |           | 小橋一雄                           | 作業療法学科              |
| 1月12日  | 保育園専門家相談                     | 保育園児の評価とアセスメント                                                               | 東京都港区                       | 6名                    | 0名        | 石井孝弘                           | 教員個人<br>(作業療法学科)    |
| 1月12日  | 特別支援教室巡回相談                   | 小学校の特別支援教室を訪問し、在籍児童の観察及び教員への助言を行う                                            | 東京都教育委員会                    |                       |           | 吉川和幸                           | こども学科               |
| 1月14日  | ふれあいの日                       | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(にんじん)。                                                  | 上野原市                        | 21名                   | 14名       | 喜久村徳淑                          | うまセンター              |
| 1月16日  | 学習支援活動(第80回)                 | 1人親・生活困窮家庭児童対象の学習支援活動。「保育教職実践演習」の学外ワーク                                       | 上野原市社協<br>上野原市母子家庭<br>寡婦連合会 | 14名                   | 4年7名      | 木村龍平                           | こども学科               |
| 1月17日  | 山梨感覚統合勉強会                    | 山梨県内近隣県内の教員保育士等への感覚統合理論理解                                                    | 甲府支援学校                      | 50名                   | 0名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 1月19日  | 保育園専門家相談                     | 保育園児の評価とアセスメント                                                               | 東京都港区                       | 6名                    | 0名        | 石井孝弘                           | 教員個人<br>(作業療法学科)    |
| 1月20日  | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援             | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                      | NPO法人EPO                    | 7名                    | 2名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 1月21日  | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援             | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                      | NPO法人EPO                    | 8名                    | 3名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 1月27日  | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援             | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                      | NPO法人EPO                    | 9名                    | 4名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 1月28日  | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援             | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                      | NPO法人EPO                    | 11名                   | 6名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 1月31日  | 特別支援教室巡回相談                   | 小学校の特別支援教室を訪問し、在籍児童の観察及び教員への助言を行う                                            | 東京都教育委員会                    |                       |           | 吉川和幸                           | こども学科               |
| 2月3日   | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援             | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                                      | NPO法人EPO                    | 12名                   | 7名        | 石井孝弘                           | 作業療法学科              |
| 2月5日   | 盲学校生と障害のアセスメント               | 盲、知的障害の重複障害児の理解 及び教員研修会                                                      | 都立盲学校                       | 30名                   |           | 石井孝弘                           | 教員個人<br>(作業療法学科)    |
| 2月8日   | 山梨県私立幼稚園<br>教育研究大会助言者        | 山梨県私立幼稚園教育研究大会において、幼稚園教諭の実践研究に対して、助言者として講評を行う                                | 山梨県私学教育研究会<br>幼稚園部会         |                       |           | 大槻千秋<br>大須賀隆子<br>吉川和幸<br>鳥越ゆい子 | こども学科               |
| 2月9日   | 七生特別支援学校 療育支援                | 発達障害を持つ生徒の評価と助言指導                                                            | 東京都                         | 児童3名<br>教員8名          |           | 小橋一雄                           | 作業療法学科              |

| 月日            | 活動名                            | 活動内容                                                         | 連携機関                         | 対象者数         | 参加<br>学生数 | 担当教員          | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)      |
|---------------|--------------------------------|--------------------------------------------------------------|------------------------------|--------------|-----------|---------------|--------------------------|
| 2月9日          | 特別支援ケース会議                      | 幼稚園に在籍する特別な支援を要する幼児について、幼稚園と教員がネット(FaceTime)を介してケース会議を行う     | 学校法人<br>リズム学園<br>恵庭幼稚園       |              |           | 吉川和幸          | こども学科                    |
| 2月11日         | ふれあいの日(予定)                     | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(にんじん)。                                  | 上野原市                         |              |           | 喜久村徳淑         | うまセンター                   |
| 2月12日         | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援               | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                      | NPO法人EPO                     | 12名          | 7名        | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 2月17日         | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援               | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                      | NPO法人EPO                     | 13名          | 8名        | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 2月18日         | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援               | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                      | NPO法人EPO                     | 14名          | 9名        | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 2月21日         | 山梨感覚統合勉強会                      | 山梨県内近隣県内の教員保育士等への感覚統合理論理解                                    | 甲府支援学校                       | 50名          | 0名        | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 2月23日         | 七生特別支援学校 療育支援                  | 発達障害を持つ生徒の評価と助言指導                                            | 東京都                          | 児童3名<br>教員8名 |           | 小橋一雄          | 作業療法学科                   |
| 2月24日         | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援               | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                      | NPO法人EPO                     | 14名          | 9名        | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 2月25日         | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援               | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                      | NPO法人EPO                     | 15名          | 10名       | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 2月26日         | 上野原地域づくりワークショップ                | 上野原の地域づくりについてのワークショップ                                        | 上野原市                         | 委嘱構成員<br>15名 |           | 小橋一雄          | 作業療法学科                   |
| 3月3日          | 障害者支援施設イベントボランティア              | 障害者支援施設での行事の運営サポート、利用者支援                                     | 社会福祉法人<br>かながわ黎明会<br>くりのみ学園  | 入所者の<br>人数   | 上3年4名     | 吉川和幸          | こども学科                    |
| 3月4日          | ふれあいの日(予定)                     | 馬とのふれあい、引き馬による乗馬、餌あげ(にんじん)。                                  | 上野原市                         |              |           | 喜久村徳淑         | うまセンター                   |
| 3月4日          | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援               | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                      | NPO法人EPO                     | 16名          | 11名       | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 3月5日          | 藤野幼稚園遠足(予定)                    | 馬とのふれあい、お世話体験、曳馬による乗馬、餌あげ(にんじん)。                             | 藤野幼稚園                        |              |           | 喜久村徳淑         | うまセンター                   |
| 3月5日          | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援               | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                      | NPO法人EPO                     | 17名          | 12名       | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 3月9日          | 通級指導学級児童支援と教員支援                | 発達障害児の支援及びアセスメント                                             | 都内小学校                        | 2名           |           | 石井孝弘          | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 3月13日         | 通級指導学級児童支援と教員支援                | 発達障害児の支援及びアセスメント                                             | 都内小学校                        | 2名           |           | 石井孝弘          | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 3月16日         | 自立支援協議会支援                      | 子どもの行動理解の勉強会                                                 | 静岡県富士宮園域<br>協議会              | 50名          | 0名        | 石井孝弘          | 教員個人<br>(作業療法学科)         |
| 3月21日         | ミニ乗馬会(予定)                      | 近隣の障がい児を招待しての活動。本会内では乗馬以外の行事あり。                              | 本学主催                         |              |           | 小川家資<br>喜久村徳淑 | うまセンター                   |
| 3月31日         | 地域乗馬活動、障害児乗馬活動支援               | 障害児への乗馬療法の実施とボランティア、スタッフへの障がい理解と実施方法の指導                      | NPO法人EPO                     | 17名          | 12名       | 石井孝弘          | 作業療法学科                   |
| 5月13日<br>～14日 | 日米インタープリターズフォーラム               | 日米のインタープリテーション関係者によるワークショップ。実行委員                             | 日本インター<br>プリテーション協会          | 60名          |           | 古瀬浩史          | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 7月23日<br>～25日 | 海洋性レクリエーション指導員養成研修<br>講師       | ブルーシー・アンド・グリーンランド財団が主催する社会教育指導者の研修で環境教育、インタープリテーションの講義と実習を担当 | ブルーシーアンド<br>グリーンランド財団        | 70名          |           | 古瀬浩史          | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 9月12日<br>～15日 | インタープリテーション計画研修                | ASEAN諸国の遺産地域の観光関係者を対象としたインタープリテーション計画に関する研修                  | 国際機関日本<br>ASEANセンター<br>観光交流部 | 25名          |           | 古瀬浩史          | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |
| 9月16日<br>～17日 | アクアマリンふくしま<br>「アクアマリンこどもまつり」出展 | 環境水族館アクアマリンふくしまが主催したイベントへの教育プログラム提供                          | 環境水族館<br>アクアマリンふくしま          | 300名         | 17名       | 古瀬浩史          | アニマル<br>サイエンス学科<br>(上野原) |

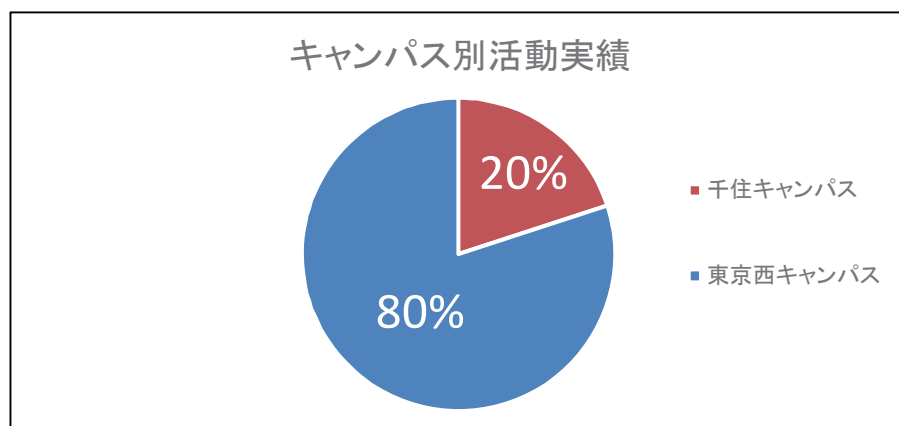
# 平成29年度地域連携推進センター活動統計(学生団体)



| 活動月      | 件数  |
|----------|-----|
| 平成29年4月  | 35  |
| 平成29年5月  | 51  |
| 平成29年6月  | 61  |
| 平成29年7月  | 56  |
| 平成29年8月  | 46  |
| 平成29年9月  | 42  |
| 平成29年10月 | 44  |
| 平成29年11月 | 50  |
| 平成29年12月 | 24  |
| 平成30年1月  | 22  |
| 平成30年2月  | 23  |
| 平成30年3月  | 21  |
| 総計       | 475 |



| 活動団体名                                        | 件数  |
|----------------------------------------------|-----|
| 自然環境保全連携団体<br>(野生生物研究部・ビオトープ研究部・<br>風の子フ〜スケ) | 180 |
| 動物介在教育研究部                                    | 80  |
| 野良猫調査隊                                       | 69  |
| 動物園研究部                                       | 49  |
| 水と水の生き物のすばらしさを<br>伝える会 AQUASHIP              | 37  |
| 動物介在活動部                                      | 27  |
| 学校教育学科公認サークル<br>SAT                          | 14  |
| 上野原自然探検隊                                     | 10  |
| Sing with Butterfly 夏の信州<br>自然体験キャンプ サポート隊   | 8   |
| ねこの目報道部                                      | 7   |
| 千住キャンパス吹奏楽部                                  | 4   |
| 障がいのある方のための乗馬会<br>「乗る・馬・体験」実行委員会             | 3   |
| 和太鼓サークル「J-DRUMS」                             | 3   |
| 総計                                           | 491 |



| 場所       | 件数  |
|----------|-----|
| 千住キャンパス  | 98  |
| 東京西キャンパス | 393 |
| 総計       | 491 |

## 平成29年度地域連携活動記録表(学生団体):千住キャンパス

| 月日    | 活動団体名   | 活動名              | 活動内容                        | 連携機関                       | 対象者数        | 参加<br>学生数    | 担当教員       | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)    |
|-------|---------|------------------|-----------------------------|----------------------------|-------------|--------------|------------|------------------------|
| 4月3日  | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 4月6日  | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 4月11日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査<br>(AMのみ)  | 足立区内の野良猫の個体数調査              |                            |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 4月12日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 4月17日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査<br>(AMのみ)  | 足立区内の野良猫の個体数調査              |                            |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 4月22日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              |                            |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 4月24日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              |                            |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 4月28日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              |                            |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 5月2日  | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 5月11日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 5月14日 | 和太鼓サークル | 第3回<br>桂川フェスティバル | 和太鼓演奏                       | まちづくり<br>プラットフォーム          | 来場者         | 千3名          | 花園誠<br>豊田輝 | 上野原市<br>掛川新田地区         |
| 5月18日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |             | 千2名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 5月20日 | SAT     | 遊びのフリマ           | 買い物中の家族の子どもを対象に工作を行う活動      | 足立区<br>教育委員会               | 約100名       | 2年1名<br>1年4名 | なし         | 学校教育学科                 |
| 5月25日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              |                            |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 5月29日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              |                            |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 6月9日  | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 6月13日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 6月15日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |             | 千1名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 6月22日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              |                            |             | 千3名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 6月24日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              |                            |             | 千2名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 6月28日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              |                            |             | 千3名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 7月1日  | SAT     | オフスクール<br>パーク    | 内容を企画し、公園に遊びにくる子どもたちを対象に活動  | 東綾瀬公園                      | 約100名       | 2年24名        | 江田慧子       | 学校教育学科                 |
| 7月8日  | 千住吹奏楽   | 老人ホーム演奏会         | グループホーム千住さくらと千住桜花苑合同で演奏会を実施 | グループホーム<br>千住さくら千住<br>桜花苑  | 入居者<br>スタッフ | 17名          |            |                        |
| 7月17日 | 野良猫調査隊  | 野良猫調査            | 足立区内の野良猫の個体数調査              | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |             | 千5名          | 大辻一也       | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |

| 月日    | 活動団体名                                       | 活動名            | 活動内容                                                                               | 連携機関                          | 対象者数        | 参加<br>学生数          | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)    |
|-------|---------------------------------------------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-------------|--------------------|-------|------------------------|
| 7月19日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク    |             | 千3名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 7月22日 | SAT                                         | 夢の体験教室         | 都内の小学生を大学に招き、講座を開く                                                                 | 足立区<br>教育委員会                  | 約200名       | 2年5名<br>1年学科<br>全員 | 赤羽根直樹 | 学校教育学科                 |
| 7月23日 | 千住吹奏楽                                       | アニマルラブ<br>フェスタ | アニマルラブフェスタにて演奏を実施                                                                  | 帝京科学大学<br>アニマルサイエンス<br>学科     | 来場者<br>スタッフ | 19名                | 山本和弘  |                        |
| 7月27日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     |                               |             | 千3名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 7月31日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク    |             | 千5名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 8月8日  | Sing with Butterflyの<br>信州自然体験キャンプ<br>サポート隊 | キャンプ前日<br>移動日  | 長野県に移動して、スタッフと最終打ち合わせを<br>行った。                                                     |                               | 2年生5名       |                    | 江田慧子  | 学校教育学科                 |
| 8月9日  | Sing with Butterflyの<br>信州自然体験キャンプ<br>サポート隊 | キャンプ1日目        | トークショーとの学生によるオリジナル缶バッジ<br>作りとレクリエーションを行った。                                         |                               | 2年生5名       |                    | 江田慧子  | 学校教育学科                 |
| 8月10日 | Sing with Butterflyの<br>信州自然体験キャンプ<br>サポート隊 | キャンプ2日目        | 伊那市ますみヶ丘平地林でのミヤマシジミの生<br>態と保全についてを指導し、午後からは湯澤さん<br>がその時に感じた気持ちを歌詞にする作業の補助<br>を行った。 |                               | 2年生5名       |                    | 江田慧子  | 学校教育学科                 |
| 8月11日 | Sing with Butterflyの<br>信州自然体験キャンプ<br>サポート隊 | キャンプ3日目<br>移動日 | 作成した歌の練習を行い、撮影インタビューを<br>行った。                                                      |                               | 2年生5名       |                    | 江田慧子  | 学校教育学科                 |
| 8月11日 | Sing with Butterflyの<br>信州自然体験キャンプ<br>サポート隊 | 新聞への掲載         | キャンプの内容が長野日報に掲載された。                                                                | 長野日報                          | 2年生5名       |                    | 江田慧子  | 学校教育学科                 |
| 8月14日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     |                               |             | 千3名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 8月18日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     |                               |             | 千3名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 8月22日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク    |             | 千1名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 8月25日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク    |             | 千2名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 8月27日 | 野良猫調査隊                                      | ボランティア活動       | 第2回アニマル・ウェルフェア サミット2017のプ<br>ースの補助                                                 | 一般財団法人<br>クリステル・<br>ヴィ・アンサンブル |             | 千2名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 8月28日 | 野良猫調査隊                                      | ボランティア活動       | 第2回アニマル・ウェルフェア サミット2018のプ<br>ースの補助                                                 | 一般財団法人<br>クリステル・<br>ヴィ・アンサンブル |             | 千4名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 8月30日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     |                               |             | 千2名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 8月31日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     |                               |             | 千2名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 9月5日  | Sing with Butterflyの<br>信州自然体験キャンプ<br>サポート隊 | HPへの掲載         | キャンプの内容について地域連携推進センター<br>に依頼し、本学のHPに掲載してもらった。                                      |                               | 2年生5名       |                    | 江田慧子  | 学校教育学科                 |
| 9月6日  | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク    |             | 千4名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 9月15日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク    |             | 千5名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 9月22日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     |                               |             | 千4名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 9月26日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査          | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                                     | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク    |             | 千2名                | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 10月8日 | 和太鼓サークル                                     | ミルディス音楽祭2017   | 和太鼓演奏                                                                              | 北千住マルイ                        | 約30名        | 千5名                | 豊田輝   | 足立区                    |

| 月日     | 活動団体名                                       | 活動名                                    | 活動内容                                      | 連携機関                                                                                                                  | 対象者数  | 参加<br>学生数    | 担当教員 | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)    |
|--------|---------------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------|------|------------------------|
| 10月11日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査                                  | 足立区内の野良猫の個体数調査                            |                                                                                                                       |       | 千3名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 10月17日 | Sing with Butterflyの<br>信州自然体験キャンプ<br>サポート隊 | 映像の到着                                  | SBC信越放送と伊那ケーブルテレビの映像が届いた。                 | SBC信越放送<br>伊那ケーブルテレビ                                                                                                  | 2年生5名 |              | 江田慧子 | 学校教育学科                 |
| 10月18日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査                                  | 足立区内の野良猫の個体数調査                            | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク                                                                                            |       | 千2名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 10月20日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査                                  | 足立区内の野良猫の個体数調査                            | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク                                                                                            |       | 千1名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 10月23日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査                                  | 足立区内の野良猫の個体数調査                            | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク                                                                                            |       | 千4名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 10月30日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査                                  | 足立区内の野良猫の個体数調査                            | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク                                                                                            |       | 千1名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 11月10日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査                                  | 足立区内の野良猫の個体数調査                            |                                                                                                                       |       | 千2名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 11月13日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査                                  | 足立区内の野良猫の個体数調査                            | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク                                                                                            |       | 千4名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 11月16日 | Sing with Butterflyの<br>信州自然体験キャンプ<br>サポート隊 | 楽曲のCD<br>ジャケットの制作                      | キャンプで制作した曲をCD化するにあたりCD<br>ジャケットイメージを作成した。 | 長野県                                                                                                                   | 2年生5名 |              | 江田慧子 | 学校教育学科                 |
| 11月18日 | SAT                                         | 遊びのフリマ                                 | 買い物中の家族の子どもを対象に工作を行う活動                    | 足立区<br>教育委員会                                                                                                          | 約100名 | 2年1名<br>1年4名 | なし   | 学校教育学科                 |
| 11月22日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査                                  | 足立区内の野良猫の個体数調査                            |                                                                                                                       |       | 千2名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 11月25日 | 千住吹奏楽                                       | 日本学校図書館<br>学会<br>学校図書館<br>フォーラム        | 日本学校図書館学会 学校図書館フォーラムに<br>て演奏を実施           | 日本学校<br>図書館学会                                                                                                         | 参加者   | 12名          | 小池和男 |                        |
| 11月26日 | 千住吹奏楽                                       | 大巻伸嗣<br>Memorial Rebirth<br>千住 2017 関屋 | 屋の部でティーンズ楽団として演奏に参加                       | 東京都<br>アーツ<br>カウンシル東京<br>(公益財団法人<br>東京都歴史文学<br>財団)<br>東京藝術大学<br>音楽部・大学院<br>国際芸術創造<br>研究科<br>特定非営利活動<br>法人音まち計画<br>足立区 | 参加者   | 5名           |      |                        |
| 11月27日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査                                  | 足立区内の野良猫の個体数調査                            | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク                                                                                            |       | 千1名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 11月30日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査                                  | 足立区内の野良猫の個体数調査                            | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク                                                                                            |       | 千1名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 12月8日  | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査12月                               | 足立区内の野良猫の個体数調査                            | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク                                                                                            |       | 千4名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 12月11日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査12月                               | 足立区内の野良猫の個体数調査                            |                                                                                                                       |       | 千2名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 12月13日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査12月                               | 足立区内の野良猫の個体数調査                            |                                                                                                                       |       | 千2名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 12月18日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査12月                               | 足立区内の野良猫の個体数調査                            | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク                                                                                            |       | 千1名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 12月25日 | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査12月                               | 足立区内の野良猫の個体数調査                            | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク                                                                                            |       | 千1名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 1月5日   | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査1月                                | 足立区内の野良猫の個体数調査                            |                                                                                                                       |       | 千1名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 1月11日  | 野良猫調査隊                                      | 野良猫調査1月                                | 足立区内の野良猫の個体数調査                            | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク                                                                                            |       | 千1名          | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |

| 月日                  | 活動団体名   | 活動名                                                | 活動内容                                                             | 連携機関                       | 対象者数  | 参加<br>学生数      | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)    |
|---------------------|---------|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------------|-------|----------------|-------|------------------------|
| 1月12日               | 野良猫調査隊  | 野良猫調査1月                                            | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                   |                            |       | 千1名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 1月13日               | SAT     | 献血                                                 | 献血協力の呼びかけ                                                        | 日本赤十字                      | 約70名  | 2年5名           | なし    | 学校教育学科                 |
| 1月15日               | 野良猫調査隊  | 野良猫調査1月                                            | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                   | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |       | 千1名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 1月19日               | 野良猫調査隊  | 野良猫調査1月                                            | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                   | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |       | 千1名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 1月27日               | 野良猫調査隊  | 野良猫調査1月                                            | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                   | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |       | 千1名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 2月5日                | 野良猫調査隊  | 野良猫調査2月                                            | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                   | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |       | 千1名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 2月6日                | 野良猫調査隊  | 野良猫調査2月<br>TNR活動見学                                 | 足立区内の野良猫の個体数調査、<br>足立区内のボランティアさんのお手伝い補助                          | 個人ボランティア                   |       | 千5名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 2月13日               | 野良猫調査隊  | 野良猫調査2月                                            | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                   | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |       | 千3名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 2月23日               | 野良猫調査隊  | 野良猫調査2月                                            | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                   |                            |       | 千2名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 3月1日                | 野良猫調査隊  | 野良猫調査3月                                            | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                   | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |       | 千1名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 3月2日                | 野良猫調査隊  | 野良猫調査3月                                            | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                   | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |       | 千1名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 3月5日                | 野良猫調査隊  | 野良猫調査3月                                            | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                   | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |       | 千1名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 10月28日<br>～29日      | 和太鼓サークル | 桜花祭                                                | 和太鼓演奏                                                            | 桜花祭<br>実行委員会               | 来場者   | 千6名            | 豊田輝   | 全学                     |
| 10月28日<br>～29日      | SAT     | 桜科祭                                                | チョコバナナ販売                                                         | 桜花祭<br>実行委員会               | 来場者   | 2年5名<br>1年4名   | なし    | 学校教育学科                 |
| 10月28日<br>～29日      | SAT     | 献血                                                 | 献血協力の呼びかけ                                                        | 桜花祭<br>実行委員会               | 約70名  | 2年5名           | なし    | 学校教育学科                 |
| 11月29日<br>～         | SAT     | 学習支援(毎週水・<br>金曜日実施:<br>中学校休業日<br>や大学行事前後<br>などは除く) | 授業や先生のお手伝い(採点、展覧会の準備)                                            | 足立区立<br>大谷田小学校             |       |                |       | 学校教育学科                 |
| 5月1日<br>～           | SAT     | 学習支援(毎週水・<br>金曜日実施:<br>中学校休業日<br>や大学行事前後<br>などは除く) | 不登校の生徒への学習支援、授業での生徒への<br>助言や先生の補助                                | 足立区立<br>花畑北中学校             | 約150名 | 2年11名          | 山田佳子  | 学校教育学科                 |
| 5月1日<br>～           | SAT     | 寺子屋(毎週月・<br>水曜日実施:<br>中学校休業日<br>や大学行事前後<br>などは除く)  | 週二日(月、水)で勉強が苦手な生徒に対して英語と<br>数学の指導                                | 東京都立<br>青井高校               | 約30名  | 2年2名           | なし    | 学校教育学科                 |
| 6月9日<br>～           | SAT     | 理科支援<br>学習支援                                       | 4～6年生の理科授業支援、理科室整備、実験準備、<br>片付けなど。漢検、数検の手伝い。                     | 葛飾区立<br>東金町小学校             | 約30名  | 2年8名           | なし    | 学校教育学科                 |
| 7月15日<br>～<br>8月31日 | SAT     | 長野キャンプ                                             | 自然と触れ合いながら、子どもたちと一緒に過ごす(魚釣り、<br>虫取り、お菓子作り、キャンプファイヤーなど)           | 野外研究財団                     | 約200名 | 2年4名<br>1年26名  | なし    | 学校教育学科                 |
| 8月                  | SAT     | 宿題応援隊                                              | 遊びに来ている子どもを対象に学校の夏休みの宿題の手伝い<br>や日頃の悩みなどの相談相手となって、コミュニケーションをとる活動。 | 足立区<br>教育委員会<br>ギャラクシティ    | 約30名  | 2年9名           | なし    | 学校教育学科                 |
| その他                 | SAT     | オープンキャンパス                                          | 企画担当と説明会の実施、当日運営                                                 | 帝京科学大学                     | 来場者   | 2年23名<br>1年80名 | 岩沼聡一郎 | 学校教育学科                 |
| 未定                  | 野良猫調査隊  | 野良猫調査2月                                            | 足立区内の野良猫の個体数調査                                                   | NPO法人<br>あだち動物共生<br>ネットワーク |       | 千1名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 未定                  | 野良猫調査隊  | TNR活動見学<br>(予定)                                    | 足立区内のボランティアさんのお手伝い補助                                             | 個人ボランティア                   |       | 千3名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 未定                  | 野良猫調査隊  | TNR活動見学<br>(予定)                                    | 足立区内のボランティアさんのお手伝い補助                                             | 個人ボランティア                   |       | 千3名            | 大辻一也  | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |

| 月日 | 活動団体名  | 活動名     | 活動内容           | 連携機関 | 対象者数 | 参加<br>学生数 | 担当教員 | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)    |
|----|--------|---------|----------------|------|------|-----------|------|------------------------|
| 未定 | 野良猫調査隊 | 野良猫調査3月 | 足立区内の野良猫の個体数調査 |      |      | 千2名       | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 未定 | 野良猫調査隊 | 野良猫調査3月 | 足立区内の野良猫の個体数調査 |      |      | 千2名       | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |
| 未定 | 野良猫調査隊 | 野良猫調査3月 | 足立区内の野良猫の個体数調査 |      |      | 千2名       | 大辻一也 | アニマル<br>サイエンス学科<br>全学年 |

# 平成29年度地域連携活動記録表(学生団体):東京西キャンパス

| 月日    | 活動団体名      | 活動名                               | 活動内容                                                                          | 連携機関          | 対象者数                       | 参加<br>学生数                  | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)    |
|-------|------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------|----------------------------|-------|------------------------|
| 4月2日  | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園 | 来園者                        | 5名                         | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等       |
| 4月2日  | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                        | 2名                         | 加賀谷玲夢 |                        |
| 4月4日  | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する                                                      |               |                            | 上10名                       | 島田将喜  |                        |
| 4月6日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                            | 上8名                        | 森貴久   |                        |
| 4月9日  | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず!                 | バッタの観察とめりえ                                                                    | 多摩動物公園        | 来園者                        | 8名                         | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等       |
| 4月9日  | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                        | 1名                         | 加賀谷玲夢 |                        |
| 4月10日 | 上野原自然探検隊   | 活動説明会                             | 年間の活動の説明、自己紹介を兼ねたレクレーション                                                      | 上野原市<br>教育委員会 | 4年5名<br>5年2名<br>6年14名      | 上8名                        | 花園誠   |                        |
| 4月11日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・田起こし・道の整備                                                                |               |                            | 上8名                        | 花園誠   |                        |
| 4月14日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                            | 上8名                        | 森貴久   |                        |
| 4月14日 | ねこの目報道部    | 課外活動<br>団体説明会                     | 1年生に向けての課外活動団体の説明会                                                            |               | アニマル<br>サイエンス<br>学科<br>1年生 | アニマル<br>サイエンス<br>学科<br>1年生 | 加賀谷玲夢 | アニマル<br>サイエンス学科<br>1年生 |
| 4月15日 | 自然環境保全連携団体 | 自然調査                              | 宮ヶ瀬で自然調査                                                                      |               |                            | 上10名                       | 島田将喜  |                        |
| 4月15日 | 動物介在教育研究部  | 桜祭り                               | 小動物等のイベントブースを展開                                                               | 足立区<br>都市農業公園 | 来客者<br>250名                | 千7名                        | 花園誠   |                        |
| 4月16日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |                            | 上10名                       | 島田将喜  |                        |
| 4月16日 | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園 | 来園者                        | 9名                         | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等       |
| 4月16日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・田起こし・道の整備                                                                |               |                            | 上8名                        | 花園誠   |                        |
| 4月16日 | 動物介在教育研究部  | 桜祭り                               | 小動物等のイベントブースを展開                                                               | 足立区<br>都市農業公園 | 来客者<br>250名                | 千8名                        | 花園誠   |                        |
| 4月16日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                        | 2名                         | 加賀谷玲夢 |                        |
| 4月18日 | 動物介在教育研究部  | 帝京めぐみ幼稚園<br>ふれあい活動                | 小動物(モルモット・ハムスター・スナネズミ)を用いた動物介在教育を実施                                           | 帝京めぐみ幼稚園      | 全学級<br>全園児                 | 上21名                       | 花園誠   |                        |
| 4月19日 | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する                                                      |               |                            | 上10名                       | 島田将喜  |                        |
| 4月19日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・田起こし・道の整備                                                                |               |                            | 上8名                        | 花園誠   |                        |
| 4月21日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                            | 上8名                        | 森貴久   |                        |
| 4月22日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい動物教室                          | 小動物(モルモット・ハムスター・爬虫類・カイク)を用いた動物介在教育を実施                                         | 足立区<br>教育委員会  | 1年26名<br>2年19名             | 千4名<br>上38名                | 花園誠   |                        |
| 4月23日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |                            | 上10名                       | 島田将喜  |                        |
| 4月23日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                        | 1名                         | 加賀谷玲夢 |                        |
| 4月28日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                            | 上8名                        | 森貴久   |                        |
| 4月29日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・田起こし・道の整備                                                                |               |                            | 上8名                        | 花園誠   |                        |
| 4月30日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                        | 1名                         | 加賀谷玲夢 |                        |
| 5月3日  | 動物介在教育研究部  | NHK渋谷DEどもー                        | 小動物(モルモット・イヌ・ハムスター)と工作を用いたイベントブースを実施                                          | NHK           | 来場者                        | 千11名<br>上9名<br>ドック3名       | 花園誠   |                        |

| 月日    | 活動団体名      | 活動名                               | 活動内容                                                                          | 連携機関          | 対象者数           | 参加<br>学生数            | 担当教員        | 活動規模<br>(全学・学部・学科等) |
|-------|------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------|----------------------|-------------|---------------------|
| 5月4日  | 自然環境保全連携団体 | 葛西臨海公園<br>バードウォッチング<br>フェスティバル    | 葛西臨海公園にて展示を通して環境教育を実施                                                         |               |                | 上15名                 | 花園誠         |                     |
| 5月4日  | 動物介在教育研究部  | NHK渋谷DEども                         | 小動物(モルモット・イヌ・ハムスター)と工作を用いたイベントブースを展開                                          | NHK           | 来場者            | 千11名<br>上9名<br>ドック4名 | 榎原健太郎       |                     |
| 5月5日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                            |               |                | 上8名                  | 森貴久         |                     |
| 5月5日  | 自然環境保全連携団体 | 葛西臨海公園<br>バードウォッチング<br>フェスティバル    | 葛西臨海公園にて展示を通して環境教育を実施                                                         |               |                | 上15名                 | 花園誠         |                     |
| 5月6日  | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・田起こし・道の整備                                                                |               |                | 上8名                  | 花園誠         |                     |
| 5月7日  | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園 | 来園者            | 7名                   | 佐渡友陽一       | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 5月7日  | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者            | 2名                   | 加賀谷玲夢       |                     |
| 5月9日  | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する                                                      |               |                | 上10名                 | 島田将喜        |                     |
| 5月9日  | 動物介在教育研究部  | 帝京めぐみ幼稚園<br>ふれあい活動                | 小動物(モルモット・ハムスター・デグー)を用いた動物介在教育を実施                                             | 帝京めぐみ幼稚園      | 全学級<br>全園児     | 上20名                 | 花園誠         |                     |
| 5月10日 | ねこの目報道部    | 広報うえのはら<br>(原稿締切日)                | 『広報うえのはら』記事制作                                                                 | 上野原<br>市役所    | 市民             | 部員全員                 | 加賀谷玲夢       |                     |
| 5月11日 | 動物介在教育研究部  | 多摩動物公園遠足                          | 多摩動物園で上野原小学校2年を対象に遠足を実施                                                       | 上野原市<br>教育委員会 | 2年69名<br>教員6名  | 上49名                 | 花園誠         |                     |
| 5月12日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                            |               |                | 上8名                  | 森貴久         |                     |
| 5月13日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をし、その人についての理解を深める活動を実施                                             | 社会福祉法人<br>緑水会 | 5名             | 上6名                  | 小川家資        | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 5月13日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい動物教室                          | 小動物(モルモット・スキニー・ハムスター・スナネズミ・カイコ・ウズラ)を用いた動物介在教育を実施                              | 足立区<br>教育委員会  | 1年55名<br>2年49名 | 千6名<br>上35名          | 花園誠<br>山本和弘 |                     |
| 5月13日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい動物教室                          | 小動物(モルモット・ハムスター・ハムスター・ウズラ・カイコ)を用いた動物介在教育の実施                                   | 足立区<br>教育委員会  | 1年41名<br>2年44名 | 千4名<br>上33名<br>ア2名   | 青木直樹        |                     |
| 5月14日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |                | 上10名                 | 島田将喜        |                     |
| 5月14日 | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫の<br>個体数調査を実施                                            |               |                | 上8名                  | 森貴久         |                     |
| 5月14日 | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず！                 | バッタの観察とぬりえ                                                                    | 多摩動物公園        | 来園者            | 8名                   | 佐渡友陽一       | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 5月14日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・田起こし・道の整備                                                                |               |                | 上8名                  | 花園誠         |                     |
| 5月14日 | 動物介在教育研究部  | 桂川フェスティバル                         | 小動物(ハムスター・モルモット・カイコ・ヘビ・フトアゴヒゲトカゲ・ウサギ・アオジタトカゲ)をイベントブースを展開                      | 部の会           | 来場者            | A28名<br>こ1年46名       | 花園誠         |                     |
| 5月14日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者            | 8名                   | 加賀谷玲夢       |                     |
| 5月15日 | 動物介在教育研究部  | 猿橋小学校<br>大学遠足                     | 小動物(モルモット・ハムスター・ヘビ・カイコ)とウマを用いた動物介在教育を実施                                       | 大月市<br>教育委員会  | 2年51名          | 上12名<br>馬6名          | 花園誠         |                     |
| 5月18日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をし、その人についての理解を深める活動を実施                                             | 社会福祉法人<br>緑水会 | 8名             | 上6名                  | 小川家資        | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 5月19日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                            |               |                | 上8名                  | 森貴久         |                     |
| 5月19日 | 動物介在教育研究部  | 鳥沢小学校<br>大学遠足                     | 小動物(モルモット・ウサギ・カイコ)とウマを用いた動物介在教育を実施                                            | 大月市<br>教育委員会  | 2年15名          | 上10名<br>馬6名          | 花園誠         |                     |
| 5月19日 | 動物介在教育研究部  | 飼育体験<br>(第1回)                     | 小動物(モルモット・ハムスター)を用いた動物介在教育を実施                                                 | 上野原市<br>教育委員会 | 2年69名          | 上23名                 | 花園誠         |                     |
| 5月20日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・田起こし・道の整備                                                                |               |                | 上8名                  | 花園誠         |                     |
| 5月21日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |                | 上10名                 | 島田将喜        |                     |
| 5月21日 | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園 | 来園者            | 8名                   | 佐渡友陽一       | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 5月21日 | 動物介在活動部    | 動物介在活動                            | 高齢者対象の動物介在活動(うさぎ、犬)実施                                                         | 社会福祉法人<br>緑水会 | 10名            | 上21名                 | 小川家資        | アニマル<br>サイエンス学科     |

| 月日    | 活動団体名      | 活動名                               | 活動内容                                                                          | 連携機関          | 対象者数                       | 参加<br>学生数                  | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)    |
|-------|------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------|----------------------------|-------|------------------------|
| 5月21日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                        | 4名                         | 加賀谷玲夢 |                        |
| 5月22日 | 動物介在教育研究部  | 飼育体験<br>(第2回)                     | 小動物(モルモット・ハムスター)を用いた動物介在教育を実施                                                 | 上野原市<br>教育委員会 | 2年69名                      | 上23名                       | 花園誠   |                        |
| 5月24日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・代掻き・道の整備                                                                 |               |                            | 上8名                        | 花園誠   |                        |
| 5月26日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                            | 上8名                        | 森貴久   |                        |
| 5月27日 | 自然環境保全連携団体 | 自然調査                              | 宮ヶ瀬で自然調査                                                                      |               |                            | 上10名                       | 島田将喜  |                        |
| 5月27日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・代掻き・道の整備                                                                 |               |                            | 上8名                        | 花園誠   |                        |
| 5月28日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |                            | 上10名                       | 島田将喜  |                        |
| 5月28日 | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫の個体数調査を実施                                                |               |                            | 上8名                        | 森貴久   |                        |
| 5月28日 | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきず！                  | バッタの観察とぬりえ                                                                    | 多摩動物公園        | 来園者                        | 7名                         | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等       |
| 5月28日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい活動                            | 小動物を用いたふれあい活動を実施                                                              | 足立区<br>都市農業公園 | 来客者<br>40名                 | 千6名                        | 花園誠   |                        |
| 5月28日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                        | 2名                         | 加賀谷玲夢 |                        |
| 5月30日 | 自然環境保全連携団体 | 上野原小学校<br>裏山探検(春)                 | 上野原小学校1年生の裏山探検の手伝いと環境教育を実施                                                    |               |                            | 上15名                       | 花園誠   |                        |
| 5月31日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・代掻き・道の整備                                                                 |               |                            | 上8名                        | 花園誠   |                        |
| 6月1日  | 動物介在教育研究部  | 4園同時<br>ふれあい活動                    | 小動物(ハムスター・カイコ・スナネズミ)を用いた動物介在教育を実施                                             | 上野原市<br>(一部)  | 園児                         | 上5名                        | 花園誠   |                        |
| 6月1日  | 動物介在教育研究部  | 4園同時<br>ふれあい活動                    | 小動物(ヘビ・モルモット・ハツカナズミ)を用いた動物介在教育を実施                                             | 上野原市<br>(一部)  | 園児                         | 上7名                        | 花園美樹  |                        |
| 6月1日  | 動物介在教育研究部  | 4園同時<br>ふれあい活動                    | 小動物(モルモット・ハムスター・ハツカナズミ)を用いた動物介在教育を実施                                          | 上野原市<br>(一部)  | 園児                         | 上3名                        | 花園誠   |                        |
| 6月1日  | 動物介在教育研究部  | 4園同時<br>ふれあい活動                    | 小動物(モルモット・ヘビ・ウサギ・カイコ)を用いた動物介在教育を実施                                            | 上野原市<br>(一部)  | 園児                         | 上8名                        | 花園誠   |                        |
| 6月2日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                            | 上8名                        | 森貴久   |                        |
| 6月2日  | 動物介在教育研究部  | 飼育体験<br>(第3回)                     | 小動物(モルモット・ハムスター)を用いた動物介在教育を実施                                                 | 上野原市<br>教育委員会 | 2年69名                      | 上11名                       | 花園誠   |                        |
| 6月4日  | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |                            | 上10名                       | 島田将喜  |                        |
| 6月4日  | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バクワイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園 | 来園者                        | 9名                         | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等       |
| 6月4日  | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・代掻き・道の整備                                                                 |               |                            | 上8名                        | 花園誠   |                        |
| 6月4日  | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                        | 5名                         | 加賀谷玲夢 |                        |
| 6月6日  | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する                                                      |               |                            | 上10名                       | 島田将喜  |                        |
| 6月6日  | 動物介在教育研究部  | ふれあい教室                            | 小動物(モルモット・ヘビ・ウサギ・スナネズミ)を用いた動物介在教育を実施                                          | 上野原市<br>教育委員会 | 1,2年18名                    | 上9名                        | 花園誠   |                        |
| 6月7日  | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・代掻き・道の整備                                                                 |               |                            | 上8名                        | 花園誠   |                        |
| 6月7日  | 自然環境保全連携団体 | 上野原小学校<br>裏山探検(春)                 | 上野原小学校2年生の裏山探検の手伝いと環境教育を実施                                                    |               |                            | 上15名                       | 花園誠   |                        |
| 6月8日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                            | 上8名                        | 森貴久   |                        |
| 6月8日  | ねこの目報道部    | 僕らの体験記                            | 1年生のこれからの学校生活のために、2～4年生4人がこれまでの体験を発表する                                        |               | アニマル<br>サイエンス<br>学科<br>1年生 | アニマル<br>サイエンス<br>学科<br>1年生 | 加賀谷玲夢 | アニマル<br>サイエンス学科<br>1年生 |
| 6月9日  | 動物介在教育研究部  | 飼育体験<br>(第1回)                     | 小動物(モルモット・ハムスター)を用いた動物介在教育を実施                                                 | 上野原市<br>教育委員会 | 2年79名                      | 上25名                       | 花園誠   |                        |
| 6月10日 | 上野原自然探検隊   | 夜の自然観察                            | ホテルとカエルの観察会、観察会前の勉強会                                                          | 上野原市<br>教育委員会 | 4年5名<br>5年2名<br>6年15名      | 上11名                       | 花園誠   |                        |
| 6月10日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・代掻き・道の整備                                                                 |               |                            | 上8名                        | 花園誠   |                        |

| 月日    | 活動団体名      | 活動名                               | 活動内容                                                                          | 連携機関          | 対象者数       | 参加<br>学生数          | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等) |
|-------|------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------|--------------------|-------|---------------------|
| 6月10日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい動物教室                          | 小動物(モルモット・ハムスター・スナネズミ・イヌ・カイク)を用いた動物介在教育を実施                                    | 足立区<br>教育委員会  | 2年46名      | 千3名<br>上35名<br>ア2名 | 青木直樹  |                     |
| 6月10日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい動物教室                          | 小動物(モルモット・ハムスター・スナネズミ・爬虫類)を用いた動物介在教育を実施                                       | 足立区<br>教育委員会  | 2年85名      | 千5名<br>上33名        | 花園誠   |                     |
| 6月11日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |            | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 6月11日 | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫の個体数調査を実施                                                |               |            | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 6月11日 | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず！                 | バッタの観察とぬりえ                                                                    | 多摩動物公園        | 来園者        | 8名                 | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 6月11日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者        | 5名                 | 加賀谷玲夢 |                     |
| 6月12日 | 動物介在教育研究部  | 飼育体験<br>(第2回)                     | 小動物(モルモット・ハムスター)を用いた動物介在教育を実施                                                 | 上野原市<br>教育委員会 | 2年79名      | 上18名               | 花園誠   |                     |
| 6月13日 | 動物介在教育研究部  | 帝京めぐみ幼稚園<br>ふれあい活動                | 小動物(ハムスター・カイク・スナネズミ)を用いた動物介在教育を実施                                             | 帝京めぐみ幼稚園      | 全学級<br>全園児 | 上21名               | 花園誠   |                     |
| 6月16日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |            | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 6月17日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 田植え                                                                           |               |            | 上8名                | 花園誠   |                     |
| 6月18日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |            | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 6月18日 | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園 | 来園者        | 10名                | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 6月18日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者        | 3名                 | 加賀谷玲夢 |                     |
| 6月19日 | 自然環境保全連携団体 | 上野原小学校<br>裏山探検(春)                 | 上野原小学校3年生の裏山探検の手伝いと環境教育を実施                                                    |               |            | 上15名               | 花園誠   |                     |
| 6月20日 | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する                                                      |               |            | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 6月20日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                            | 社会福祉法人<br>緑水会 | 13名        | 上9名                | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 6月21日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                     |               |            | 上8名                | 花園誠   |                     |
| 6月22日 | 動物介在教育研究部  | 2園同時<br>ふれあい活動                    | 小動物(ヘビ・ウサギ・アシナントカゲ・フトアゴカゲ)を用いた動物介在教育を実施                                       | 上野原市<br>(一部)  | 園児         | 上5名                | 花園美樹  |                     |
| 6月22日 | 動物介在教育研究部  | 2園同時<br>ふれあい活動                    | 小動物(ハム・カイク)を用いた動物介在教育を実施                                                      | 上野原市<br>(一部)  | 園児         | 上3名                | 花園美樹  |                     |
| 6月23日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |            | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 6月23日 | 動物介在教育研究部  | 飼育体験<br>(第3回)                     | 小動物(モルモット・ハムスター)を用いた動物介在教育を実施                                                 | 上野原市<br>教育委員会 | 2年79名      | 上10名               | 花園誠   |                     |
| 6月24日 | 自然環境保全連携団体 | 自然調査                              | 宮ヶ瀬で自然調査                                                                      |               |            | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 6月24日 | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫の個体数調査を実施                                                |               |            | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 6月24日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                     |               |            | 上8名                | 花園誠   |                     |
| 6月24日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい活動                            | 小動物を用いたふれあい活動を実施                                                              | 足立区<br>都市農業公園 | 来客者<br>60名 | 千8名                | 花園誠   |                     |
| 6月25日 | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず！                 | バッタの観察とぬりえ                                                                    | 多摩動物公園        | 来園者        | 8名                 | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 6月25日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい活動                            | 小動物を用いたふれあい活動を実施                                                              | 足立区<br>都市農業公園 | 来客者<br>30名 | 千5名                | 花園誠   |                     |
| 6月25日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者        | 4名                 | 加賀谷玲夢 |                     |
| 6月28日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                            | 社会福祉法人<br>緑水会 | 2名         | 上2名                | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 6月28日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                     |               |            | 上8名                | 花園誠   |                     |
| 6月29日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |            | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 6月29日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                            | 社会福祉法人<br>緑水会 | 4名         | 上4名                | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 6月29日 | 動物介在教育研究部  | 3園同時<br>ふれあい活動                    | 小動物(モルモット・ハムスター・ヘビ)を用いた動物介在教育を実施                                              | 上野原市<br>(一部)  | 園児         | 上6名                | 花園誠   |                     |

| 月日    | 活動団体名                           | 活動名                               | 活動内容                                                                                      | 連携機関                     | 対象者数                  | 参加<br>学生数                                     | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)                |
|-------|---------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-----------------------|-----------------------------------------------|-------|------------------------------------|
| 6月29日 | 動物介在教育研究部                       | 3園同時<br>ふれあい活動                    | 小動物(ヘビ・ハムスター・カイコ)を用いた動物<br>介在教育を実施                                                        | 上野原市<br>(一部)             | 園児                    | 上7名                                           | 花園誠   |                                    |
| 6月29日 | 動物介在教育研究部                       | 3園同時<br>ふれあい活動                    | 小動物(モルモット・ハムスター・ヘビ)とクイズを<br>用いた動物介在教育を実施                                                  | 上野原市<br>(一部)             | 園児                    | 上8名                                           | 花園誠   |                                    |
| 6月30日 | 動物介在活動部                         | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人につい<br>ての理解を深める活動を実施                                                    | 社会福祉法人<br>緑水会            | 5名                    | 上4名                                           | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科                    |
| 7月1日  | 自然環境保全連携団体                      | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |                          |                       | 上8名                                           | 花園誠   |                                    |
| 7月2日  | 障がいのある方<br>のための乗馬会<br>「乗る・馬・体験」 | 2017 第24回<br>障がい者乗馬会<br>「乗る・馬・体験」 | 障がい者乗馬を実施。他にも体操・動物(犬・ハ<br>ムスター・ウサギ・カメ)が参加。                                                | 馬事介在センター<br>紅葉台木曽<br>馬牧場 | 乗り手<br>11名            | 委員27名<br>馬事介在<br>センター<br>32名<br>課外活動<br>団体5団体 | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科<br>作業療法学科<br>こども学科 |
| 7月2日  | 自然環境保全連携団体                      | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い                                                           |                          |                       | 上10名                                          | 島田将喜  |                                    |
| 7月2日  | 動物園研究部                          | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリッ<br>クス物語                                                           | 横浜市立<br>金沢動物園            | 来園者                   | 7名                                            | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等                   |
| 7月2日  | AQUASHIP                        | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬<br>虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示<br>水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給<br>餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋                  | 来館者                   | 6名                                            | 加賀谷玲夢 |                                    |
| 7月3日  | 動物介在教育研究部                       | ふれあい活動                            | 小動物(ハムスター・モルモット・カイコ・スナネズ<br>ミ)を用いた動物介在教育を実施                                               | 大月市<br>教育委員会             | 2年49名                 | 上12名                                          | 花園誠   |                                    |
| 7月4日  | 自然環境保全連携団体                      | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査<br>する                                                              |                          |                       | 上10名                                          | 島田将喜  |                                    |
| 7月4日  | 動物介在教育研究部                       | 大鶴楽生園<br>ふれあい活動                   | 小動物(ハムスター・カメ・ウサギ・カイコ・モル<br>モット)を用いたふれあい活動と交流                                              | 大鶴楽生園                    | 自由参加                  | 上5名                                           | 花園誠   |                                    |
| 7月5日  | 自然環境保全連携団体                      | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |                          |                       | 上8名                                           | 花園誠   |                                    |
| 7月6日  | 自然環境保全連携団体                      | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                                        |                          |                       | 上8名                                           | 森貴久   |                                    |
| 7月8日  | 自然環境保全連携団体                      | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |                          |                       | 上8名                                           | 花園誠   |                                    |
| 7月8日  | 動物介在教育研究部                       | ふれあい動物教室                          | 小動物(ハムスター・スナネズミ・イヌ・ウズラ・爬<br>虫類)を用いた動物介在教育を実施                                              | 足立区<br>教育委員会             | 2年135名                | 千3名<br>上36名<br>ア2名                            | 青木直樹  |                                    |
| 7月8日  | 動物介在教育研究部                       | ふれあい動物教室                          | 小動物(ハムスター・スナネズミ・モルモット・ウズ<br>ラ・カイコ)とを用いた動物介在教育を実施                                          | 足立区<br>教育委員会             | 1～6年<br>67名           | 千5名<br>上25名                                   | 花園誠   |                                    |
| 7月9日  | 動物園研究部                          | 多摩動物公園<br>おえかきっす！                 | バッタの観察とめりえ                                                                                | 多摩動物公園                   | 来園者                   | 8名                                            | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等                   |
| 7月9日  | 上野原自然探検隊                        | 樹海探索                              | 樹海探索、富士山科学研究所を見学                                                                          | 上野原市<br>教育委員会            | 4年5名<br>5年2名<br>6年16名 | 上10名                                          | 花園誠   |                                    |
| 7月9日  | AQUASHIP                        | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬<br>虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示<br>水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給<br>餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋                  | 来館者                   | 6名                                            | 加賀谷玲夢 |                                    |
| 7月10日 | ねこの目報道部                         | 広報うえのはら<br>(原稿締切日)                | 『広報うえのはら』記事制作                                                                             | 上野原<br>市役所               | 市民                    | 部員全員                                          | 加賀谷玲夢 |                                    |
| 7月11日 | 動物介在教育研究部                       | 帝京めぐみ幼稚園<br>ふれあい活動                | 小動物(爬虫類・カイコ)を用いた動物介在教育<br>を実施                                                             | 帝京めぐみ幼稚園                 | 全学級<br>全園児            | 上23名                                          | 花園誠   |                                    |
| 7月12日 | 自然環境保全連携団体                      | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |                          |                       | 上8名                                           | 花園誠   |                                    |
| 7月14日 | 自然環境保全連携団体                      | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                                        |                          |                       | 上8名                                           | 森貴久   |                                    |
| 7月15日 | 自然環境保全連携団体                      | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫<br>の個体数調査を実施                                                        |                          |                       | 上8名                                           | 森貴久   |                                    |
| 7月15日 | 自然環境保全連携団体                      | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |                          |                       | 上8名                                           | 花園誠   |                                    |
| 7月16日 | 自然環境保全連携団体                      | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い                                                           |                          |                       | 上10名                                          | 島田将喜  |                                    |
| 7月16日 | 動物園研究部                          | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリッ<br>クス物語                                                           | 横浜市立<br>金沢動物園            | 来園者                   | 10名                                           | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等                   |
| 7月16日 | AQUASHIP                        | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬<br>虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示<br>水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給<br>餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋                  | 来館者                   | 7名                                            | 加賀谷玲夢 |                                    |
| 7月17日 | AQUASHIP                        | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | イベントにおける移動水族館                                                                             | 山梨県、桔梗屋                  | 来場者                   | 3名                                            | 加賀谷玲夢 |                                    |
| 7月18日 | 自然環境保全連携団体                      | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査<br>する                                                              |                          |                       | 上10名                                          | 島田将喜  |                                    |

| 月日    | 活動団体名      | 活動名                               | 活動内容                                                                                      | 連携機関           | 対象者数  | 参加<br>学生数 | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等) |
|-------|------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|-----------|-------|---------------------|
| 7月18日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                                        | 社会福祉法人<br>緑水会  | 5名    | 上3名       | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 7月20日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                                        |                |       | 上8名       | 森貴久   |                     |
| 7月20日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                                        | 社会福祉法人<br>緑水会  | 8名    | 上6名       | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 7月22日 | 自然環境保全連携団体 | 自然観察会<br>スタッフ                     | 宮ヶ瀬で自然観察会スタッフ                                                                             |                |       | 上10名      | 島田将喜  |                     |
| 7月22日 | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫<br>の個体数調査を実施                                                        |                |       | 上8名       | 森貴久   |                     |
| 7月22日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |                |       | 上8名       | 花園誠   |                     |
| 7月23日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い                                                           |                |       | 上10名      | 島田将喜  |                     |
| 7月23日 | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず！                 | バッタの観察とめりえ                                                                                | 多摩動物公園         | 来園者   | 8名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 7月23日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬<br>虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示<br>水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給<br>餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋        | 来館者   | 9名        | 加賀谷玲夢 |                     |
| 7月27日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                                        | 社会福祉法人<br>緑水会  | 5名    | 上3名       | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 7月28日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                                        |                |       | 上8名       | 森貴久   |                     |
| 7月28日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                                        | 社会福祉法人<br>緑水会  | 6名    | 上4名       | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 7月28日 | ねこの目報道部    | 冊子「ネコノメ」<br>(発行日)                 | 冊子「ネコノメ」の制作                                                                               |                |       | 部員全員      | 加賀谷玲夢 |                     |
| 7月29日 | 動物介在活動部    | 動物介在活動                            | 高齢者対象の動物介在活動(うさぎ、犬)実施                                                                     | 社会福祉法人<br>緑水会  | 10名   | 上25名      | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 7月29日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |                |       | 上8名       | 花園誠   |                     |
| 7月30日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い                                                           |                |       | 上10名      | 島田将喜  |                     |
| 7月30日 | 動物園研究部     | 帝京科学の<br>夏まつり                     | 多摩動物公園、金沢動物園で行っている活動の<br>簡易バージョンを実施                                                       | 富士・東部<br>教育事務所 | 来場者   | 7名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 7月30日 | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリック<br>ス物語                                                           | 横浜市立<br>金沢動物園  | 来園者   | 8名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 7月30日 | 自然環境保全連携団体 | 明日の風                              | 自然観察会や環境教育を大学にやってきた人た<br>ちに実施                                                             |                |       |           | 花園誠   |                     |
| 7月30日 | 動物介在教育研究部  | 帝京科学の<br>夏まつり                     | 小動物(モルモット・ハムスター・ヘビ等)と科学工<br>作を用いたイベントブースを展開                                               |                | 地域の方々 | 上15名      | 花園誠   |                     |
| 7月30日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬<br>虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示<br>水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給<br>餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋        | 来館者   | 7名        | 加賀谷玲夢 |                     |
| 8月3日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                                        |                |       | 上8名       | 森貴久   |                     |
| 8月5日  | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫<br>の個体数調査を実施                                                        |                |       | 上8名       | 森貴久   |                     |
| 8月5日  | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |                |       | 上8名       | 花園誠   |                     |
| 8月6日  | 自然環境保全連携団体 | 自然観察会<br>スタッフ                     | 宮ヶ瀬で自然観察会スタッフ                                                                             |                |       | 上10名      | 島田将喜  |                     |
| 8月6日  | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い                                                           |                |       | 上10名      | 島田将喜  |                     |
| 8月6日  | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリック<br>ス物語                                                           | 横浜市立<br>金沢動物園  | 来園者   | 9名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 8月6日  | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬<br>虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示<br>水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給<br>餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋        | 来館者   | 5名        | 加賀谷玲夢 |                     |
| 8月9日  | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査<br>する                                                              |                |       | 上10名      | 島田将喜  |                     |
| 8月9日  | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |                |       | 上8名       | 花園誠   |                     |
| 8月10日 | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア<br>「夏祭り」          | ユーカリの葉っぱスタンプ                                                                              | 横浜市立<br>金沢動物園  | 来園者   | 8名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 8月11日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                                        |                |       | 上8名       | 森貴久   |                     |

| 月日    | 活動団体名      | 活動名                               | 活動内容                                                                          | 連携機関                     | 対象者数                  | 参加<br>学生数   | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等) |
|-------|------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-----------------------|-------------|-------|---------------------|
| 8月11日 | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア<br>「夏祭り」          | ユーカリの葉っぱスタンプ                                                                  | 横浜市立<br>金沢動物園            | 来園者                   | 8名          | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 8月12日 | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア<br>「夏祭り」          | ユーカリの葉っぱスタンプ                                                                  | 横浜市立<br>金沢動物園            | 来園者                   | 9名          | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 8月12日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                     |                          |                       | 上8名         | 花園誠   |                     |
| 8月13日 | 自然環境保全連携団体 | 自然観察会<br>スタッフ                     | 宮ヶ瀬で自然観察会スタッフ                                                                 |                          |                       | 上10名        | 島田将喜  |                     |
| 8月13日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |                          |                       | 上10名        | 島田将喜  |                     |
| 8月13日 | 動物介在教育研究部  | 秋山ふるさと祭り                          | 小動物(モルモット・カイコ・爬虫類・ドクターフィッシュ)と工作を用いたイベントブースを展開                                 | 秋山青年会                    | 地域の方々                 | 上23名        | 花園誠   |                     |
| 8月13日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋                  | 来館者                   | 4名          | 加賀谷玲夢 |                     |
| 8月17日 | 上野原自然探検隊   | 夏のゆずり原<br>キャンプ                    | 川遊び、野外炊事、魚さばき、著作                                                              | 上野原市<br>教育委員会            | 4年5名<br>5年2名<br>6年17名 | 上12名        | 花園誠   |                     |
| 8月18日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |                          |                       | 上8名         | 森貴久   |                     |
| 8月18日 | 上野原自然探検隊   | 夏のゆずり原<br>キャンプ                    | 川遊び、野外炊事、魚さばき、著作                                                              | 上野原市<br>教育委員会            | 4年5名<br>5年2名<br>6年18名 | 上12名        | 花園誠   |                     |
| 8月19日 | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫の個体数調査を実施                                                |                          |                       | 上8名         | 森貴久   |                     |
| 8月20日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |                          |                       | 上10名        | 島田将喜  |                     |
| 8月20日 | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園            | 来園者                   | 8名          | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 8月20日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋                  | 来館者                   | 5名          | 加賀谷玲夢 |                     |
| 8月22日 | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する                                                      |                          |                       | 上10名        | 島田将喜  |                     |
| 8月25日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |                          |                       | 上8名         | 森貴久   |                     |
| 8月26日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                     |                          |                       | 上8名         | 花園誠   |                     |
| 8月27日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい活動                            | 小動物を用いたふれあい活動を実施                                                              | 足立区<br>都市農業公園            | 来客者<br>50名            | 千5名         | 花園誠   |                     |
| 8月27日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋                  | 来館者                   | 6名          | 加賀谷玲夢 |                     |
| 8月28日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                            | 社会福祉法人<br>緑水会            | 7名                    | 上3名         | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 8月30日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                     |                          |                       | 上8名         | 花園誠   |                     |
| 8月31日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                            | 社会福祉法人<br>緑水会            | 7名                    | 上6名         | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 9月1日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |                          |                       | 上8名         | 森貴久   |                     |
| 9月2日  | 自然環境保全連携団体 | カヤネズミ調査                           | 宮ヶ瀬でカヤネズミ調査                                                                   |                          |                       | 上10名        | 島田将喜  |                     |
| 9月2日  | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                     |                          |                       | 上8名         | 花園誠   |                     |
| 9月3日  | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園            | 来園者                   | 6名          | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 9月3日  | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋                  | 来館者                   | 6名          | 加賀谷玲夢 |                     |
| 9月5日  | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する                                                      |                          |                       | 上10名        | 島田将喜  |                     |
| 9月5日  | 動物介在活動部    | 介護講座                              | 介護保険の仕組みや、高齢者疑似体験、福祉用具体験を実施                                                   | 社会福祉法人<br>山梨県<br>社会福祉協議会 |                       | 上12名        | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 9月7日  | 動物介在教育研究部  | 大学遠足<br>(足立区立<br>平野小学校)           | 小学校を対象とした自然体験活動                                                               | 足立区<br>教育委員会             | 4年65名                 | 千5名<br>上23名 | 花園誠   |                     |

| 月日    | 活動団体名      | 活動名                               | 活動内容                                                                                      | 連携機関          | 対象者数                  | 参加<br>学生数          | 担当教員        | 活動規模<br>(全学・学部・学科等) |
|-------|------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------|--------------------|-------------|---------------------|
| 9月8日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                                        |               |                       | 上8名                | 森貴久         |                     |
| 9月8日  | 動物介在教育研究部  | 大学遠足<br>(足立区立<br>千寿常東小学校)         | 小学校を対象とした自然体験活動                                                                           | 足立区<br>教育委員会  | 4年97名                 | 千4名<br>上23名        | 花園誠         |                     |
| 9月9日  | 自然環境保全連携団体 | ナイトウォッチング<br>スタッフ                 | 宮ヶ瀬でナイトウォッチングのスタッフ                                                                        |               |                       | 上10名               | 島田将喜        |                     |
| 9月9日  | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫<br>の個体数調査を実施                                                        |               |                       | 上8名                | 森貴久         |                     |
| 9月9日  | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |               |                       | 上8名                | 花園誠         |                     |
| 9月9日  | 動物介在教育研究部  | ふれあい動物教室                          | 小動物(ハムスター・ウズラ・カイク)を用いた動物<br>介在教育を実施                                                       | 足立区<br>教育委員会  | 1年89名<br>2年109名       | 千9名<br>上47名<br>ア2名 | 花園誠<br>青木直樹 |                     |
| 9月10日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬<br>虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示<br>水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給<br>餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                   | 5名                 | 加賀谷玲夢       |                     |
| 9月10日 | ねこの目報道部    | 広報うえのはら<br>(原稿締切日)                | 『広報うえのはら』記事制作                                                                             | 上野原<br>市役所    | 市民                    | 部員全員               | 加賀谷玲夢       |                     |
| 9月11日 | 動物介在教育研究部  | 大学遠足<br>(足立区立<br>中島根小学校)          | 小学校を対象とした自然体験活動                                                                           | 足立区<br>教育委員会  | 4年73名                 | 千8名<br>上33名        | 花園誠         |                     |
| 9月12日 | 動物介在教育研究部  | 帝京めぐみ幼稚園<br>ふれあい活動                | 小動物(爬虫類・カイク・イヌ)を用いた動物介在<br>教育を実施                                                          | 帝京めぐみ幼稚園      | 全学級<br>全園児            | 上22名               | 花園誠         |                     |
| 9月14日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                                        |               |                       | 上8名                | 森貴久         |                     |
| 9月14日 | 動物介在教育研究部  | 大学遠足<br>(足立区立<br>宮城小学校)           | 小学校を対象とした自然体験活動                                                                           | 足立区<br>教育委員会  | 4年64名                 | 千6名<br>上26名        | 花園誠         |                     |
| 9月16日 | 動物園研究部     | 羽村市動物園<br>「ふれあい<br>動物園日」準備        | 17日に行われる「ふれあい動物園日」の準備                                                                     | 羽村市<br>動物園    | 来園者                   | 14名                | 佐渡友陽一       | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 9月17日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い                                                           |               |                       | 上10名               | 島田将喜        |                     |
| 9月17日 | 動物園研究部     | 羽村市動物園<br>「ふれあい<br>動物園日」片付け       | 雨天中止になったため、荷物の片付け                                                                         | 羽村市動物園        | 来園者                   | 12名                | 佐渡友陽一       | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 9月17日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬<br>虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示<br>水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給<br>餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                   | 7名                 | 加賀谷玲夢       |                     |
| 9月19日 | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査<br>する                                                              |               |                       | 上10名               | 島田将喜        |                     |
| 9月20日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |               |                       | 上8名                | 花園誠         |                     |
| 9月21日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                                        |               |                       | 上8名                | 森貴久         |                     |
| 9月22日 | 動物介在教育研究部  | 若者との交流                            | ことぶき勤学院の方との小動物(ウサギ・爬虫類・<br>モルモット・スナネズミ・ハムスター)を用いた交流                                       | ことぶき勤学院       | 2年11名                 | 上6名                | 花園誠         |                     |
| 9月23日 | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫<br>の個体数調査を実施                                                        |               |                       | 上8名                | 森貴久         |                     |
| 9月23日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |               |                       | 上8名                | 花園誠         |                     |
| 9月24日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い                                                           |               |                       | 上10名               | 島田将喜        |                     |
| 9月24日 | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず！                 | バッタの観察とぬりえ                                                                                | 多摩動物公園        | 来園者                   | 8名                 | 佐渡友陽一       | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 9月24日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬<br>虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示<br>水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給<br>餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                   | 6名                 | 加賀谷玲夢       |                     |
| 9月27日 | 自然環境保全連携団体 | イノバプロジェクト                         | 雑草抜き・道の整備                                                                                 |               |                       | 上8名                | 花園誠         |                     |
| 9月28日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい活動                            | 小動物(ヌードモルモット・ギリシャリクガメ・ア<br>オジタカゲ・デグー・ウコッケイ)を用いた動物介在<br>教育を実施                              | 都留市<br>教育委員会  | 1年52人                 | 上13人               | 花園誠         |                     |
| 9月29日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施                                                        |               |                       | 上8名                | 森貴久         |                     |
| 9月30日 | 上野原自然探検隊   | 秋の高原宿泊                            | ハケ岳吐竜の滝コースのハイクを実施、ハケ岳<br>少年自然の家でナイトハイク                                                    | 上野原市<br>教育委員会 | 4年5名<br>5年2名<br>6年19名 | 上10名               | 花園誠         |                     |

| 月日     | 活動団体名      | 活動名                               | 活動内容                                                                          | 連携機関          | 対象者数                   | 参加<br>学生数          | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等) |
|--------|------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------|--------------------|-------|---------------------|
| 10月1日  | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |                        | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 10月1日  | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バクウイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園 | 来園者                    | 8名                 | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 10月1日  | 上野原自然探検隊   | 秋の高原宿泊                            | ハケ岳少年自然の家で冒険ハイクを実施                                                            | 上野原市<br>教育委員会 | 4年5名<br>5年2名<br>6年20名  | 上10名               | 花園誠   |                     |
| 10月1日  | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                    | 4名                 | 加賀谷玲夢 |                     |
| 10月3日  | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する                                                      |               |                        | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 10月3日  | 動物介在教育研究部  | 上野原小学校<br>大学遠足                    | 小動物(モルモット・ハムスター・爬虫類・カイコ・ウズラ・ウサギ)とウマ・ヤギを用いた動物介在教育を実施                           | 上野原市<br>教育委員会 | 2年69名                  | 上19名<br>馬6名        | 花園誠   |                     |
| 10月5日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                        | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 10月5日  | 動物介在教育研究部  | 大月東小学校<br>大学遠足                    | 小動物(モルモット・ハムスター・爬虫類・カイコ・ウズラ・ウサギ)とウマを用いた動物介在教育を実施                              | 大月市<br>教育委員会  | 2年49名                  | 上13名<br>馬6名        | 花園誠   |                     |
| 10月7日  | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫の個体数調査を実施                                                |               |                        | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 10月7日  | 動物介在活動部    | 大学祭                               | うさぎとのふれあい、来場者への動物介在活動認知を促進                                                    | 科大祭<br>実行委員会  | 約30名                   | 上26名               | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 10月7日  | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                    | 2名                 | 加賀谷玲夢 |                     |
| 10月8日  | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫の個体数調査を実施                                                |               |                        | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 10月8日  | 動物介在活動部    | 大学祭                               | 来場者への動物介在活動認知を促進                                                              | 科大祭<br>実行委員会  | 来場者                    | 上26名               | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 10月8日  | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                    | 1名                 | 加賀谷玲夢 |                     |
| 10月12日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                        | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 10月14日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい動物教室                          | 小動物(モルモット・スナネズミ・カイコ・ウズラ・イヌ)を用いた動物介在教育を実施                                      | 足立区<br>教育委員会  | 1年39名<br>上17名<br>2年54名 | 千4名<br>上17名<br>ア3名 | 青木直樹  |                     |
| 10月14日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい動物教室                          | 小動物(モルモット・スナネズミ・カイコ・ウズラ)を用いた動物介在教育を実施                                         | 足立区<br>教育委員会  | 1年85名<br>2年75名         | 千8名<br>上27名        | 花園誠   |                     |
| 10月15日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |                        | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 10月15日 | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バクウイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園 | 来園者                    | 9名                 | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 10月15日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                    | 6名                 | 加賀谷玲夢 |                     |
| 10月18日 | 自然環境保全連携団体 | 上野原小学校<br>裏山探検(秋)                 | 上野原小学校4年生の裏山探検の手伝いと環境教育を実施                                                    |               |                        | 上15名               | 花園誠   |                     |
| 10月19日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                        | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 10月20日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい活動                            | 小動物(モルモット・スナネズミ・カイコ・ヘビ)を用いた動物介在教育を実施                                          | 立川市<br>教育委員会  | 1年68名                  | 上15名               | 花園誠   |                     |
| 10月22日 | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず!                 | パッタの観察とぬりえ                                                                    | 多摩動物公園        | 来園者                    | 8名                 | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 10月22日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者                    | 4名                 | 加賀谷玲夢 |                     |
| 10月24日 | 動物介在教育研究部  | 帝京めぐみ幼稚園<br>ふれあい活動                | 小動物(スナネズミ・タカゲ・イヌ・カイコ)を用いた動物介在教育を実施                                            | 帝京めぐみ幼稚園      | 全学級<br>全園児             | 上22名               | 花園誠   |                     |
| 10月26日 | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する                                                      |               |                        | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 10月26日 | 自然環境保全連携団体 | シカ調査                              | 宮ヶ瀬でシカ調査                                                                      |               |                        | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 10月27日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                        | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 10月28日 | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫の個体数調査を実施                                                |               |                        | 上8名                | 森貴久   |                     |

| 月日     | 活動団体名      | 活動名                               | 活動内容                                                                          | 連携機関          | 対象者数             | 参加<br>学生数          | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等) |
|--------|------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------|--------------------|-------|---------------------|
| 10月28日 | 動物介在教育研究部  | 富士湧水の里<br>水族館                     | 小動物(モルモット・カイコ・ヘビ・ドクターフィッシュ)と工作を用いたイベントブースを展開                                  | 富士湧水の里<br>水族館 | 来館者              | 上9名                | 加賀谷玲夢 |                     |
| 10月29日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |                  | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 10月29日 | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バクイズ、オリックス物語                                                    | 横浜市立<br>金沢動物園 | 来園者              | 9名                 | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 10月29日 | 動物介在教育研究部  | 富士湧水の里<br>水族館                     | 小動物(モルモット・カイコ・ヘビ・ドクターフィッシュ)と工作を用いたイベントブースを展開                                  | 富士湧水の里<br>水族館 | 来館者              | 上13名               | 花園誠   |                     |
| 10月29日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者              | 5名                 | 加賀谷玲夢 |                     |
| 10月30日 | 自然環境保全連携団体 | 上野原小学校<br>裏山探検(秋)                 | 上野原小学校5年生の裏山探検の手伝いと環境教育を実施                                                    |               |                  | 上15名               | 花園誠   |                     |
| 10月31日 | 自然環境保全連携団体 | シカ調査                              | 宮ヶ瀬でシカ調査                                                                      |               |                  | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 11月3日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                  | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 11月4日  | 自然環境保全連携団体 | ナイトツアー<br>スタッフ                    | 宮ヶ瀬でナイトツアーのスタッフ                                                               |               |                  | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 11月4日  | 自然環境保全連携団体 | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫の個体数調査を実施                                                |               |                  | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 11月5日  | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バクイズ、オリックス物語                                                    | 横浜市立<br>金沢動物園 | 来園者              | 9名                 | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 11月5日  | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者              | 4名                 | 加賀谷玲夢 |                     |
| 11月6日  | 動物介在教育研究部  | 飼育体験<br>(第1回)                     | 小動物(モルモット)を用いた動物介在教育を実施                                                       | 大月市教育委員会      | 1年11名            | 上9名                | 花園誠   |                     |
| 11月7日  | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する                                                      |               |                  | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 11月7日  | 動物介在教育研究部  | 帝京めぐみ幼稚園<br>ふれあい活動                | 小動物(モルモット・イヌ・タカゲ・カイコ)を用いた動物介在教育を実施                                            | 帝京めぐみ幼稚園      | 全学級<br>全園児       | 上23名               | 花園誠   |                     |
| 11月8日  | 動物介在教育研究部  | 飼育体験<br>(第2回)                     | 小動物(モルモット)を用いた動物介在教育を実施                                                       | 大月市<br>教育委員会  | 1年11名            | 上9名                | 花園誠   |                     |
| 11月9日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                  | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 11月10日 | ねこの目報道部    | 広報うえのはら<br>(原稿締切日)                | 『広報うえのはら』記事制作                                                                 | 上野原<br>市役所    | 市民               | 部員全員               | 加賀谷玲夢 |                     |
| 11月11日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい動物教室                          | 小動物(モルモット・ハムスター・スナネズミ・ウズラ・カイコ)を用いた動物介在教育を実施                                   | 足立区<br>教育委員会  | 1.2年133名<br>特12名 | 千8名<br>上34名        | 花園誠   |                     |
| 11月11日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい動物教室                          | 小動物(モルモット・イヌ・スナネズミ・ウズラ・カイコ)を用いた動物介在教育を実施                                      | 足立区<br>教育委員会  | 2年92名            | 千5名<br>上28名<br>ア2名 | 青木直樹  |                     |
| 11月12日 | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |               |                  | 上10名               | 島田将喜  |                     |
| 11月12日 | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず!                 | バッタの観察とぬりえ                                                                    | 多摩動物公園        | 来園者              | 8名                 | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 11月12日 | 動物介在活動部    | 動物介在活動                            | 高齢者対象の動物介在活動(うさぎ、犬、蚕)実施                                                       | 社会福祉法人<br>緑水会 | 10名              | 上25名               | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 11月12日 | AQUASHIP   | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋       | 来館者              | 4名                 | 加賀谷玲夢 |                     |
| 11月13日 | 動物介在教育研究部  | 大学遠足<br>(秋山小学校)                   | 小動物(ハムスター・カイコ・ウズラ)とウマを用いた動物介在教育を実施                                            | 上野原市<br>教育委員会 | 1.2年17名          | 上8名<br>馬6名         | 花園誠   |                     |
| 11月16日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |               |                  | 上8名                | 森貴久   |                     |
| 11月16日 | 動物介在教育研究部  | ふれあい活動                            | 小動物(モルモット・ヘビ・カイコ・ウサギ)を用いたイベントブースを展開                                           | NEXCO中日本      | 来園者              | 上12名               | 花園誠   |                     |
| 11月17日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                            | 社会福祉法人<br>緑水会 | 5名               | 上3名                | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 11月17日 | 動物介在教育研究部  | 飼育体験<br>(第3回)                     | 小動物(モルモット)を用いた動物介在教育を実施                                                       | 大月市教育委員会      | 1年11名            | 上7名                | 花園誠   |                     |
| 11月18日 | 自然環境保全連携団体 | 科学の祭典                             | 展示物を作成し、来場したお客様に環境教育を実施                                                       |               |                  | 上19名               | 花園誠   |                     |
| 11月18日 | 動物介在教育研究部  | 科学の祭典                             | 科学工作を用いたイベントブースを展開                                                            | 山梨県立科学館       | 来館者              | 上48名               | 花園誠   |                     |
| 11月18日 | 動物介在教育研究部  | 都市農収穫祭                            | 小動物等を用いたイベントブースを展開                                                            | 足立区<br>都市農業公園 | 子ども20名<br>大人20名  | 千6名                |       |                     |

| 月日     | 活動団体名                       | 活動名                               | 活動内容                                                                          | 連携機関                     | 対象者数                    | 参加<br>学生数                                                                                                       | 担当教員         | 活動規模<br>(全学・学部・学科等)                         |
|--------|-----------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------------------------------------|
| 11月19日 | 自然環境保全連携団体                  | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |                          |                         | 上10名                                                                                                            | 島田将喜         |                                             |
| 11月19日 | 動物園研究部                      | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バクウイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園            | 来園者                     | 9名                                                                                                              | 佐渡友陽一        | アニマル<br>サイエンス学科等                            |
| 11月19日 | 自然環境保全連携団体                  | 科学の祭典                             | 展示物を作成し、来場したお客様に環境教育を実施                                                       |                          |                         | 上19名                                                                                                            | 花園誠          |                                             |
| 11月19日 | 動物介在教育研究部                   | 科学の祭典                             | 科学工作を用いたイベントブースを展開                                                            | 山梨県立科学館                  | 来館者                     | 上49名                                                                                                            | 花園誠          |                                             |
| 11月19日 | AQUASHIP                    | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋                  | 来館者                     | 3名                                                                                                              | 加賀谷玲夢        |                                             |
| 11月19日 | 動物介在教育研究部                   | 都市農収穫祭                            | 小動物等を用いたイベントブースを展開                                                            | 足立区<br>都市農業公園            | 子ども118名<br>大人87名        | 千7名                                                                                                             |              |                                             |
| 11月20日 | 動物介在活動部                     | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                            | 社会福祉法人<br>緑水会            | 11名                     | 上7名                                                                                                             | 小川家資         | アニマル<br>サイエンス学科                             |
| 11月21日 | 自然環境保全連携団体                  | 水鳥調査                              | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する                                                      |                          |                         | 上10名                                                                                                            | 島田将喜         |                                             |
| 11月24日 | 自然環境保全連携団体                  | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |                          |                         | 上8名                                                                                                             | 森貴久          |                                             |
| 11月25日 | 自然環境保全連携団体                  | 池ガサ調査                             | 学内のビオトープ池にて池に生息する水生昆虫の個体数調査を実施                                                |                          |                         | 上8名                                                                                                             | 森貴久          |                                             |
| 11月25日 | 動物介在教育研究部                   | 足立区遠足<br>(クリスマスヴィレッジ)             | 野外や本館に動物や科学工作のブースを展開                                                          | 足立区<br>教育委員会             | 小2～中1<br>19名            | 千9名<br>上25名                                                                                                     | 花園誠          |                                             |
| 11月26日 | 自然環境保全連携団体                  | 鳥獣保護<br>ボランティア                    | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い                                                   |                          |                         | 上10名                                                                                                            | 島田将喜         |                                             |
| 11月26日 | 動物園研究部                      | 多摩動物公園<br>おえかきっず！                 | バッタの観察とめりえ                                                                    | 多摩動物公園                   | 来園者                     | 8名                                                                                                              | 佐渡友陽一        | アニマル<br>サイエンス学科等                            |
| 11月26日 | AQUASHIP                    | 山梨県立<br>富士湧水の里<br>水族館<br>ボランティア活動 | 貝殻工作、二重回遊水槽エサやり体験補助、爬虫類給餌、両生類給餌、タナゴ水槽給餌、展示水槽給餌、企画水槽給餌、バックヤード水槽給餌、イトウ給餌、水道掃除、等 | 山梨県、桔梗屋                  | 来館者                     | 4名                                                                                                              | 加賀谷玲夢        |                                             |
| 11月27日 | 動物介在活動部                     | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                            | 社会福祉法人<br>緑水会            | 8名                      | 上5名                                                                                                             | 小川家資         | アニマル<br>サイエンス学科                             |
| 11月27日 | 動物介在教育研究部                   | ふれあい活動                            | 小動物(カイコ・スナネズミ・ウズラ・ハムスター・モルモット)を用いた動物介在教育を実施                                   | 埼玉県<br>教育委員会             | 105名                    | 上21名<br>ア2名                                                                                                     | 花園誠<br>榎原健太郎 |                                             |
| 12月1日  | 自然環境保全連携団体                  | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |                          |                         | 上12                                                                                                             | 森貴久          |                                             |
| 12月1日  | 動物介在活動部                     | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                            | 社会福祉法人<br>緑水会            | 7名                      | ア4名                                                                                                             | 小川家資         | アニマル<br>サイエンス学科                             |
| 12月3日  | 動物園研究部                      | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バクウイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園            | 来園者                     | 7名                                                                                                              | 佐渡友陽一        | アニマル<br>サイエンス学科等                            |
| 12月5日  | 動物介在教育研究部                   | 帝京めぐみ幼稚園<br>ふれあい活動                | 小動物(デグー・モルモット・スナネズミ)を用いた動物介在教育を実施                                             | 帝京めぐみ幼稚園                 | 全学級<br>全園児              | 上26名                                                                                                            | 花園誠          |                                             |
| 12月8日  | 自然環境保全連携団体                  | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |                          |                         | 上12                                                                                                             | 森貴久          |                                             |
| 12月8日  | 動物介在活動部                     | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                            | 社会福祉法人<br>緑水会            | 10名                     | ア6名                                                                                                             | 小川家資         | アニマル<br>サイエンス学科                             |
| 12月9日  | 動物介在教育研究部                   | ふれあい動物教室                          | 小動物(イヌ・モルモット・スナネズミ・ウズラ・カイコ)を用いた動物介在教育を実施                                      | 足立区<br>教育委員会             | 1年66名<br>2年59名          | 千9名<br>上35名<br>ア2名                                                                                              | 花園誠          |                                             |
| 12月10日 | 障がいのある方のための乗馬会<br>「乗る・馬・体験」 | 2017 第25回<br>障がい者乗馬会<br>「乗る・馬・体験」 | 障がい者乗馬を実施。乗り手の家族にも乗馬体験を行った。ブースには、ヤギとカメのふれあい、ドクターフィッシュ体験、体操、めりえを設置。            | 馬事介在センター<br>紅葉台木曾<br>馬牧場 | 乗り手<br>8名<br>親兄弟<br>15名 | 実行委員<br>27名<br>アニマル<br>サイエンス<br>学科<br>22名<br>参加課外<br>活動団体<br>2団体<br>うまセンター<br>スタッフ<br>24名<br>学外<br>ボランティア<br>6名 | 小川家資         | アニマル<br>サイエンス学科<br>作業療法学科<br>日本獣医生命<br>科学大学 |
| 12月10日 | 動物園研究部                      | 多摩動物公園<br>おえかきっず！                 | バッタの観察とめりえ                                                                    | 多摩動物公園                   | 来園者                     | 8名                                                                                                              | 佐渡友陽一        | アニマル<br>サイエンス学科等                            |
| 12月15日 | 自然環境保全連携団体                  | カエル調査                             | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの個体数調査を実施                                                |                          |                         | 上12名                                                                                                            | 森貴久          |                                             |
| 12月15日 | 動物介在活動部                     | 訪問活動                              | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施                                            | 社会福祉法人<br>緑水会            | 8名                      | ア4名                                                                                                             | 小川家資         | アニマル<br>サイエンス学科                             |
| 12月17日 | 動物園研究部                      | 金沢動物園<br>ボランティア                   | コアラになろう、オカビの森、バクウイズ、オリックス物語                                                   | 横浜市立<br>金沢動物園            | 来園者                     | 10名                                                                                                             | 佐渡友陽一        | アニマル<br>サイエンス学科等                            |

| 月日     | 活動団体名      | 活動名                            | 活動内容                                | 連携機関              | 対象者数                  | 参加<br>学生数 | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等) |
|--------|------------|--------------------------------|-------------------------------------|-------------------|-----------------------|-----------|-------|---------------------|
| 12月17日 | 動物介在活動部    | 動物介在活動                         | 犬、うさぎを同伴した動物介在活動、また書道などのレクリエーションを実施 | 社会福祉法人<br>緑水会     | 14名                   | ア22名      | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 12月19日 | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                           | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する            |                   |                       | 上8名       | 島田将喜  |                     |
| 12月21日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                           | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施  | 社会福祉法人<br>緑水会     | 2名                    | ア2名       | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 12月22日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                          | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施  |                   |                       | 上8名       | 森貴久   |                     |
| 12月22日 | 動物介在活動部    | 訪問活動                           | 学生が入居者の方とお話をして、その人についての理解を深める活動を実施  | 社会福祉法人<br>緑水会     | 8名                    | ア5名       | 小川家資  | アニマル<br>サイエンス学科     |
| 12月24日 | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず！              | バツタの観察とぬりえ                          | 多摩動物公園            | 来園者                   | 8名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 12月29日 | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                          | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施  |                   |                       | 上5名       | 森貴久   |                     |
| 1月5日   | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                          | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施  |                   |                       | 上8名       | 森貴久   |                     |
| 1月7日   | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリックス物語         | 横浜市立<br>金沢動物園     | 来園者                   | 8名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 1月10日  | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                           | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する            |                   |                       | 上9名       | 島田将喜  |                     |
| 1月11日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                          | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施  |                   |                       | 上12名      | 森貴久   |                     |
| 1月13日  | 上野原自然探検隊   | 冬の自然観察                         | 大野貯水池にて水鳥の観察、冬の外遊び                  | 上野原市<br>教育委員会     | 4年5名<br>5年2名<br>6年21名 |           | 花園誠   |                     |
| 1月14日  | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                 | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い         | 山梨県<br>鳥獣保護センター   |                       | 上1名       | 島田将喜  |                     |
| 1月14日  | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず！              | バツタの観察とぬりえ                          | 多摩動物公園            | 来園者                   | 8名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 1月16日  | 動物介在教育研究部  | 帝京めぐみ幼稚園<br>ふれあい活動             | 小動物(デグー・スナネズミ・ハムスター)を用いた動物介在教育を実施   | 帝京めぐみ幼稚園          | 全学級<br>全園児            | 上18名      | 花園美樹  |                     |
| 1月19日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                          | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施  |                   |                       | 上15名      | 森貴久   |                     |
| 1月21日  | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                 | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い         | 山梨県<br>鳥獣保護センター   |                       | 上3名       | 島田将喜  |                     |
| 1月21日  | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリックス物語         | 横浜市立<br>金沢動物園     | 来園者                   | 8名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 1月25日  | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                          | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施  |                   |                       | 上15名      | 森貴久   |                     |
| 1月27日  | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                           | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する            |                   |                       | 上8名       | 島田将喜  |                     |
| 1月28日  | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                 | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い         | 山梨県<br>鳥獣保護センター   |                       | 上3名       | 島田将喜  |                     |
| 1月28日  | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず！              | バツタの観察とぬりえ                          | 多摩動物公園            | 来園者                   | 8名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 2月2日   | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                          | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施  |                   |                       | 上15       | 森貴久   |                     |
| 2月3日   | 自然環境保全連携団体 | 葛西臨海公園<br>バードウォッチング<br>フェスティバル | 葛西臨海公園にて展示を通して環境教育を実施               | NPO法人<br>生態教育センター |                       | 上22名      | 花園誠   |                     |
| 2月3日   | 上野原自然探検隊   | 冬の里山、外遊び                       | 野外炊事、外遊び                            | 上野原市<br>教育委員会     | 4年5名<br>5年2名<br>6年22名 |           | 花園誠   |                     |
| 2月3日   | 動物介在教育研究部  | ふれあい活動                         | 小動物(モルモット・スナネズミ)と工作を用いた<br>ブースを展開   | 町田自然幼稚園           | 訪れる園児                 | 上12名      | 花園誠   |                     |
| 2月4日   | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                 | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い         | 山梨県<br>鳥獣保護センター   |                       | 上3名       | 島田将喜  |                     |
| 2月4日   | 動物園研究部     | 金沢動物園<br>ボランティア                | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリックス物語         | 横浜市立<br>金沢動物園     | 来園者                   | 8名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 2月4日   | 自然環境保全連携団体 | 葛西臨海公園<br>バードウォッチング<br>フェスティバル | 葛西臨海公園にて展示を通して環境教育を実施               | NPO法人<br>生態教育センター |                       | 上23名      | 花園誠   |                     |
| 2月6日   | 自然環境保全連携団体 | 水鳥調査                           | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査する            |                   |                       | 上11名      | 島田将喜  |                     |
| 2月9日   | 自然環境保全連携団体 | カエル調査                          | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施  |                   |                       |           | 森貴久   |                     |
| 2月11日  | 自然環境保全連携団体 | 鳥獣保護<br>ボランティア                 | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハビリの手伝い         | 山梨県<br>鳥獣保護センター   |                       | 上3名       | 島田将喜  |                     |
| 2月11日  | 動物園研究部     | 多摩動物公園<br>おえかきっず！              | バツタの観察とぬりえ                          | 多摩動物公園            | 来園者                   | 8名        | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 2月13日  | 動物介在教育研究部  | 帝京めぐみ幼稚園<br>ふれあい活動             | 小動物(ハムスター・スナネズミ・モルモット)を用いた動物介在教育を実施 | 帝京めぐみ幼稚園          | 全学級<br>全園児            | 上18名      | 花園誠   |                     |

| 月日    | 活動団体名                           | 活動名                | 活動内容                                      | 連携機関            | 対象者数                  | 参加<br>学生数    | 担当教員  | 活動規模<br>(全学・学部・学科等) |
|-------|---------------------------------|--------------------|-------------------------------------------|-----------------|-----------------------|--------------|-------|---------------------|
| 2月16日 | 自然環境保全連携団体                      | カエル調査              | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施        |                 |                       |              | 森貴久   |                     |
| 2月18日 | 自然環境保全連携団体                      | 鳥獣保護<br>ボランティア     | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い           | 山梨県<br>鳥獣保護センター |                       | 上3名          | 島田将喜  |                     |
| 2月18日 | 動物園研究部                          | 金沢動物園<br>ボランティア    | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリック<br>ス物語           | 横浜市立<br>金沢動物園   | 来園者                   | 8名           | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 2月19日 | 自然環境保全連携団体                      | 水鳥調査               | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査<br>する              |                 |                       | 上10名<br>(予定) | 島田将喜  |                     |
| 2月23日 | 自然環境保全連携団体                      | カエル調査              | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施        |                 |                       |              | 森貴久   |                     |
| 2月25日 | 自然環境保全連携団体                      | 鳥獣保護<br>ボランティア     | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い           | 山梨県<br>鳥獣保護センター |                       | 上1名          | 島田将喜  |                     |
| 2月25日 | 動物園研究部                          | 多摩動物公園<br>おえかきっず！  | バッタの観察とめりえ                                | 多摩動物公園          | 来園者                   | 8名           | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 3月2日  | 自然環境保全連携団体                      | カエル調査              | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施        |                 |                       |              | 森貴久   |                     |
| 3月3日  | 上野原自然探検隊                        | まとめの会              | 一年のまとめの会                                  | 上野原市<br>教育委員会   | 4年5名<br>5年2名<br>6年23名 |              | 花園誠   |                     |
| 3月4日  | 自然環境保全連携団体                      | 鳥獣保護<br>ボランティア     | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い           | 山梨県<br>鳥獣保護センター |                       | 上3名<br>(予定)  | 島田将喜  |                     |
| 3月4日  | 動物園研究部                          | 金沢動物園<br>ボランティア    | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリック<br>ス物語           | 横浜市立<br>金沢動物園   | 来園者                   | 未定           | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 3月5日  | 動物介在教育研究部                       | 大学遠足               | 小動物(モルモット・爬虫類・ハムスター)を用い<br>た動物介在教育を実施     | 相模原市            | 幼16名                  | 上12名         | 花園誠   |                     |
| 3月6日  | 動物介在教育研究部                       | 帝京めぐみ幼稚園<br>ふれあい活動 | 小動物(スナネズミ・デグー・イヌ)を用いた動物<br>介在教育を実施        | 帝京めぐみ幼稚園        | 全学級<br>全園児            | 上20名         | 花園誠   |                     |
| 3月9日  | 自然環境保全連携団体                      | 水鳥調査               | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査<br>する              |                 |                       | 上10名<br>(予定) | 島田将喜  |                     |
| 3月9日  | 自然環境保全連携団体                      | カエル調査              | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施        |                 |                       |              | 森貴久   |                     |
| 3月11日 | 自然環境保全連携団体                      | 鳥獣保護<br>ボランティア     | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い           | 山梨県<br>鳥獣保護センター |                       | 上3名<br>(予定)  | 島田将喜  |                     |
| 3月11日 | 動物園研究部                          | 多摩動物公園<br>おえかきっず！  | バッタの観察とめりえ                                | 多摩動物公園          | 来園者                   | 未定           | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 3月16日 | 自然環境保全連携団体                      | カエル調査              | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施        |                 |                       |              | 森貴久   |                     |
| 3月18日 | 自然環境保全連携団体                      | 鳥獣保護<br>ボランティア     | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い           | 山梨県<br>鳥獣保護センター |                       | 上4名<br>(予定)  | 島田将喜  |                     |
| 3月18日 | 動物園研究部                          | 金沢動物園<br>ボランティア    | コアラになろう、オカビの森、バククイズ、オリック<br>ス物語           | 横浜市立<br>金沢動物園   | 来園者                   | 未定           | 佐渡友陽一 | アニマル<br>サイエンス学科等    |
| 3月21日 | 障がいのある方<br>のための乗馬会<br>「乗る・馬・体験」 | 2018<br>ミニ乗馬会      | うまセンターを利用した障がい者乗馬の実施。動<br>物や体操ができるブースを設置。 | 馬事介在センター        | 最大10人                 | 未定           | 小川家資  | 未定                  |
| 3月22日 | 自然環境保全連携団体                      | 水鳥調査               | 渡り鳥等がどの場所にどのくらいいるのかを調査<br>する              |                 |                       | 上10名<br>(予定) | 島田将喜  |                     |
| 3月23日 | 自然環境保全連携団体                      | カエル調査              | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施        |                 |                       |              | 森貴久   |                     |
| 3月25日 | 自然環境保全連携団体                      | 鳥獣保護<br>ボランティア     | 山梨県内で保護された傷病鳥獣のお世話、リハ<br>ビリの手伝い           | 山梨県<br>鳥獣保護センター |                       | 上3名          | 島田将喜  |                     |
| 3月30日 | 自然環境保全連携団体                      | カエル調査              | 学内のビオトープ池にて池にやってきたカエルの<br>個体数調査を実施        |                 |                       |              | 森貴久   |                     |

## 地域連携研究投稿規程

本報告書は本学の地域連携活動に関する報告書として、帝京科学大学地域連携推進センターが発行する。本学の常勤及び非常勤の教職員（退職者を含む）および学生が投稿できる。投稿内容は、地域連携活動に関連する研究・教育・実践活動の報告、論文等とする。

### 1. 発 行

本誌は年 1 回発行する。

### 2. 投稿要領

- ・別ファイルで用意する Word のテンプレートを使用すること。
- ・報告本文の構成は、以下の構成を基本とする  
タイトル  
著者・所属  
キーワード  
はじめに  
活動（研究）報告  
結果と考察、まとめ
- ・写真や図表を Word に貼り付けた場合は、オリジナルのファイルも添付すること（例えば画像ファイルや Excel のファイル）。写真、図、表のファイルは、本文のどこに配置されるのか分かるようにファイル名を付け、フォルダに整理すること。
- ・使用するフォントは、MS明朝とMSゴシックを基本とする。
- ・その他、参考文献の記述の仕方などについては、本学紀要の投稿規程に準ずる。

### 3. その他

- ・地域連携推進センターの助成を受けた団体や個人は原則、本報告書に報告をすることとする。
- ・学生の投稿は、顧問の教員や指導教員等の閲読を受けてから投稿すること。
- ・地域連携推進センターの助成活動の報告については、ページ数を 2 ～ 6 ページの範囲とする。

以 上

## 編集後記

地域連携推進センター年報「地域連携研究」の第2巻が無事完成いたしました。帝京科学大学の活発な地域連携活動に関する報告や研究が掲載されています。

今号の編集作業の中で、話題になったことが一つありましたのでこの場をお借りして共有したいと思います。それは、「継続的な活動」と「新しいチャレンジ」に関する課題です。本学の地域連携活動には、以前から行われている意義の大きな活動が多くあり、それらの継続はとても重要です。一方で地域社会の状況は常に変化しており、新しい活動のチャレンジをしていくことも重要だと考えられます。このことは、予算の配分にも関係しますし、継続的な活動をどのように本誌に報告していただくかということにも関係しています。センターの活動助成やその報告では、現状では、それらの2つが特に区別されていません。今後、本誌の編集やセンターの運営の中で検討を要することの一つではないかと考えます。多くの方の意見を伺えれば幸いです。

本誌の発行に際しまして、ご協力いただいた先生方、事務局の皆様に感謝申し上げます。

編集委員長 古瀬 浩史

## 編集委員

花園 誠、古瀬 浩史、山本 和弘、榊原 健太郎、浅沼 太郎、佐藤 仁紀

## 表紙デザイン

久保田 彩心

---

## 地域連携研究 帝京科学大学地域連携推進センター年報 第2巻

---

発行日 平成30年7月31日

発行 帝京科学大学

〒120-0045 東京都足立区千住桜木二丁目2番1号

TEL 03-6910-1010（代） URL <https://www.ntu.ac.jp>

編集 帝京科学大学 地域連携推進センター 年報「地域連携研究」 編集委員会

印刷 株式会社たけまる

---

